

富山市上下水道局
浜黒崎浄化センター・水橋浄化センター
維持管理業務包括委託

業務要領－ 1
浜黒崎浄化センター 主要機器一覧

令和 4 年 1 0 月

富山市上下水道局

浜黒崎浄化センター（機械）

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
1	No. 2 送風機		1	台	風量 150m ³ /min、回転数 3600rpm	1978(昭和 53)年 05 月 31 日
2	No. 3 送風機		1	台	風量 150m ³ /min、回転数 3600rpm	1978(昭和 53)年 05 月 31 日
3	No. 4 送風機		1	台	風量 150m ³ /min、回転数 3600rpm	1990(平成 2)年 12 月 10 日
4	No. 5 送風機		1	台	風 量 150m ³ /min × -2.45/61.25kPa	2007(平成 19)年 03 月 20 日
5	No. 6 送風機		1	台	風 量 150m ³ /min × -250/6500mmAq	2013(平成 25)年 02 月 28 日
8	No. 1 湿式空気ろ過器		1	台	600m ³ /min	2004(平成 16)年 03 月 17 日
9	No. 2 湿式空気ろ過器		1	台	600m ³ /min	2004(平成 16)年 03 月 17 日
10	No. 1 乾式空気ろ過器		1	台	600m ³ /min	2004(平成 16)年 03 月 17 日
11	No. 2 乾式空気ろ過器		1	台	600m ³ /min	2004(平成 16)年 03 月 17 日
12	No. 1 ポンプ棟揚水ポンプ	横型渦巻ポンプ	1	台	φ 125×1.6m ³ /min×33m	1978(昭和 53)年 06 月
13	No. 2 ポンプ棟揚水ポンプ	横型渦巻ポンプ	1	台	φ 125×1.6m ³ /min×33m	1978(昭和 53)年 06 月
14	No. 1 管理本館揚水ポンプ	横型渦巻ポンプ	1	台	φ 150×2.5m ³ /min×29m	1978(昭和 53)年 06 月
15	No. 2 管理本館揚水ポンプ	横型渦巻ポンプ	1	台	φ 150×2.5m ³ /min×29m	1978(昭和 53)年 06 月
16	管理本館高架水槽		1	基		
17	No. 1 次亜塩貯留タンク	円筒型槽	1	基	4m ³	2002(平成 14)年 06 月 28 日
18	No. 2 次亜塩貯留タンク	円筒型槽	1	基	4m ³	2002(平成 14)年 06 月 28 日
19	No. 3 次亜塩貯留タンク	円筒型槽	1	基	4m ³	2002(平成 14)年 06 月 28 日
20	No. 4 次亜塩貯留タンク	円筒型槽	1	基	4m ³	2002(平成 14)年 06 月 28 日
21	No. 1 次亜塩注入ポンプ		1	台	6.8L/min×0.5MPa	2002(平成 14)年 06 月 28 日
22	No. 2 次亜塩注入ポンプ		1	台	6.8L/min×0.5MPa	2002(平成 14)年 06 月 28 日
23	送風機室天井クレーン		1	台	10/1t	1978(昭和 53)年 05 月 31 日
24	No. 1 受水槽引抜弁		1	台	φ 400	1978(昭和 53)年
25	No. 2 受水槽引抜弁		1	台	φ 400	1978(昭和 53)年
26	No. 2 送風機吸込弁		1	台	φ 350	1978(昭和 53)年 05 月 31 日
27	No. 3 送風機吸込弁		1	台	φ 350	1978(昭和 53)年 05 月 31 日
28	No. 5 送風機放風弁		1	台	φ 300	2007(平成 19)年 01 月
29	No. 6 送風機放風弁		1	台	φ 300	2012(平成 24)年 11 月
30	No. 2 送風機吐出弁		1	台	φ 300	1978(昭和 53)年 05 月 31 日
31	No. 3 送風機吐出弁		1	台	φ 300	1978(昭和 53)年 05 月 31 日
32	No. 4 送風機吐出弁		1	台	φ 300	1990(平成 2)年 12 月 10 日
33	No. 5 送風機吐出弁		1	台	φ 300	2006(平成 18)年
34	No. 6 送風機吐出弁		1	台	φ 300	2012(平成 24)年
35	No. 1 エリア A 床排水ポンプ		1	台	0.7m ³ /min×7m	
36	No. 2 エリア A 床排水ポンプ		1	台	0.7m ³ /min×7m	
37	No. 1 エリア B 床排水ポンプ		1	台	1.2m ³ /min×7m	
38	No. 2 エリア B 床排水ポンプ		1	台	1.2m ³ /min×7m	
39	No. 1 粗目自動除塵機	間欠式前面かき上げ形	1	基	水路幅 2400mm×深さ 3900mm	2007(平成 19)年 03 月 15 日
40	No. 2 粗目自動除塵機	間欠式前面かき上げ形	1	基	水路幅 2400mm×深さ 3900mm	2007(平成 19)年 03 月 15 日
41	粗目スクリーンかすかき上げ機	ロープ式懸垂走行かき上げ形	1	基	水路幅 2400mm×深さ 4800mm	1991(平成 3)年 03 月 31 日
42	No. 1 細目スクリーン自動除塵機	間欠式前面かき上げ形	1	基	水路幅 2400mm×深さ 5500mm	2007(平成 19)年 03 月 15 日
43	No. 2 細目スクリーン自動除塵機	間欠式前面かき上げ形	1	基	水路幅 2400mm×深さ 5500mm	2007(平成 19)年 03 月 15 日
45	No. 4 細目スクリーン自動除塵機	間欠式前面かき上げ形	1	基	水路幅 2400mm×深さ 5400mm	2000(平成 12)年 11 月 30 日
50	粗目スクリーンかす搬出機		1	基	ベルト幅 600mm×機長 8000mm×速度 24.2m/min	2007(平成 19)年 03 月 15 日
51	No. 1 し渣コンテナ	移動式コンテナ	1	台	0.1m ³	
52	No. 2 し渣コンテナ	移動式コンテナ	1	台	0.1m ³	
53	No. 3 し渣コンテナ	移動式コンテナ	1	台	0.1m ³	
54	No. 4 し渣コンテナ	移動式コンテナ	1	台	0.1m ³	
62	No. 1 揚砂装置	噴射式	1	基	φ 100×0.5m ³ /min×25m	2007(平成 19)年 03 月 15 日
63	No. 2 揚砂装置	噴射式	1	基	φ 100×0.5m ³ /min×25m	2007(平成 19)年 03 月 15 日
64	No. 4 揚砂装置	噴射式	1	基	φ 100×0.5m ³ /min×25m	2000(平成 12)年 03 月 24 日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
65	No. 1 集砂装置	噴射集砂ノズル式	1	基	池 寸 法 W 3600mm × L18500mm×H5500mm	2007(平成 19)年 03 月 15 日
66	No. 2 集砂装置	噴射集砂ノズル式	1	基	池 寸 法 W 3600mm × L18500mm×H5500mm	2007(平成 19)年 03 月 15 日
67	No. 4 集砂装置		1	基	φ 200	2000(平成 12)年 03 月 24 日
68	加圧水タンク		1	基	31. 5m3	2000(平成 12)年 03 月 24 日
69	No. 1 加圧水ポンプ		1	台	φ 150×3m3/min×113m	2000(平成 12)年 03 月 24 日
70	No. 2 加圧水ポンプ		1	台	φ 150×3m3/min×113m	2000(平成 12)年 03 月 24 日
71	サイクロン	サイクロン	1	台	3. 2m3/min	2000(平成 12)年 03 月 24 日
72	No. 1 沈砂池流入ゲート	外ネジ式鋳鉄製電動制水扉	1	門	W1200mm×H1200mm	2007(平成 19)年 03 月 15 日
73	No. 2 沈砂池流入ゲート	外ネジ式鋳鉄製電動制水扉	1	門	W1200mm×H1200mm	2007(平成 19)年 03 月 15 日
76	No. 1 汚水ポンプ		1	台	φ 700×64m3/min×12m	2011(平成 23)年 03 月 17 日
77	No. 2 汚水ポンプ		1	台	φ 700×64m3/min×12m	2012(平成 24)年 03 月 16 日
80	No. 5 汚水ポンプ		1	台	φ 700×64m3/min×12m	2000(平成 12)年 03 月 24 日
81	No. 6 汚水ポンプ		1	台	φ 700×64m3/min×12m	2006(平成 18)年 03 月 15 日
82	No. 1 電動機	三相誘導電動機	1	台	180kW × 440V × 60Hz × 343A	2011(平成 23)年 03 月 17 日
83	No. 2 電動機	三相誘導電動機	1	台	180kW × 435V × 60Hz × 251A	2012(平成 24)年 03 月 16 日
86	No. 5 電動機	三相誘導電動機	1	台	180kW × 460V × 60Hz × 238A	2000(平成 12)年 03 月 24 日
87	No. 6 電動機	三相誘導電動機	1	台	180kW × 440V × 60Hz × 350A	2006(平成 18)年 03 月 15 日
88	No. 2 起動器抵抗器	始動器／抵抗器	1	基	180kW × 440V × 60Hz × 250A	2012(平成 24) 年
89	No. 3 起動器抵抗器	始動器／抵抗器	1	基	180kW × 440V × 60Hz × 249A	1982(昭和 57)年
91	No. 5 起動器抵抗器	始動器／抵抗器	1	基	180kW × 465V × 60Hz × 245A	2000(平成 12)年
92	No. 1 吐出弁		1	台	φ 300	2011(平成 23)年 03 月 17 日
93	No. 2 吐出弁		1	台	φ 300	2012(平成 24)年 03 月 16 日
96	No. 5 吐出弁		1	台	φ 300	2000(平成 12)年 03 月 24 日
97	No. 1 逆止弁	スイング式逆止弁	1	台	φ 700	2011(平成 23)年 03 月 17 日
98	No. 2 逆止弁	スイング式逆止弁	1	台	φ 700	2012(平成 24)年 03 月 16 日
101	No. 5 逆止弁	スイング式逆止弁	1	台	φ 700	2000(平成 12)年 03 月 24 日
102	No. 6 逆止弁	スイング式逆止弁	1	台	φ 700	2006(平成 18)年 03 月 15 日
103	No. 1 吸込弁		1	台	φ 700	1978(昭和 53)年 02 月 28 日
104	No. 2 吸込弁		1	台	φ 700	1978(昭和 53)年 02 月 28 日
106	No. 4 吸込弁		1	台	φ 700	1990(平成 2)年 12 月 10 日
107	No. 5 吸込弁		1	台	φ 700	1990(平成 2)年 12 月 10 日
108	No. 6 吸込弁		1	台	φ 700	1990(平成 2)年 12 月 10 日
109	No. 6 吐出弁		1	台	φ 700	2006(平成 18)年 03 月 15 日
110	No. 1 吐出仕切弁		1	台	φ 700	2011(平成 23)年 03 月 17 日
111	No. 2 吐出仕切弁		1	台	φ 700	2012(平成 24)年 03 月 16 日
112	No. 5 吐出仕切弁		1	台	φ 700	2000(平成 12)年 03 月 24 日
113	No. 6 吐出仕切弁		1	台	φ 700	2000(平成 12)年 03 月 24 日
114	軸封水ポンプ	給水ユニット	1	式	φ 40×180L/min×22m	2009(平成 21)年 03 月 11 日
115	No. 1 井戸ポンプ	ポンプ	1	台	φ 100	1979(昭和 54)年 02 月 28 日
116	No. 1 高架揚水ポンプ	吸込スクリュウ付ポンプ	1	台	φ 100×1. 6m3/min×26m	2009(平成 21)年 03 月 11 日
117	No. 2 高架揚水ポンプ	吸込スクリュウ付ポンプ	1	台	φ 100×1. 6m3/min×26m	2009(平成 21)年 03 月 11 日
118	No. 1 高架水槽揚水ポンプ	多段渦巻型ポンプ	1	台	φ 40×0. 2m3/min×30m	
119	No. 2 高架水槽揚水ポンプ	多段渦巻型ポンプ	1	台	φ 40×0. 2m3/min×30m	
120	No. 1 沈砂池流出ゲート	電動鋼板製スライドゲート	1	門	W2400mm×H2400mm	1991(平成 3)年 03 月 31 日
121	No. 2 沈砂池流出ゲート	電動鋼板製スライドゲート	1	門	W2400mm×H2400mm	1991(平成 3)年 03 月 31 日
122	No. 3 沈砂池流出ゲート	電動鋼板製スライドゲート	1	門	W1800mm×H2400mm	2007(平成 19)年 03 月 15 日
123	No. 4 沈砂池流出ゲート	電動鋼板製スライドゲート	1	門	W1800mm×H2400mm	2007(平成 19)年 03 月 15 日
124	ポンプ井連絡ゲート		1	門	W1500mm×H1500mm	1978(昭和 53)年 02 月 28 日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
125	沈砂池機器搬入用吊上装置	ギヤードトロリ付チェーンブロック	1	台	3t	1991(平成3)年03月31日
126	No.1 メンテナンス用吊上装置	ギヤードトロリ付チェーンブロック	1	台	1t	1991(平成3)年03月31日
127	No.2 メンテナンス用吊上装置	ギヤードトロリ付チェーンブロック	1	台	1t	1991(平成3)年03月31日
128	No.3 メンテナンス用吊上装置	ギヤードトロリ付チェーンブロック	1	台	1t	1991(平成3)年03月31日
129	No.4 メンテナンス用吊上装置	ギヤードトロリ付チェーンブロック	1	台	1t	1991(平成3)年03月31日
130	モータ室天井クレーン		1	台	10t	1978(昭和53)年02月28日
132	No.1 加圧水弁	電動ボール弁	1	台	φ300	2007(平成19)年03月15日
133	No.1 逆洗用弁	電動ボール弁	1	台	φ300	
134	No.1 揚砂用弁		1	台	φ150	2007(平成19)年03月15日
135	No.2 加圧水弁	電動ボール弁	1	台	φ300	2007(平成19)年03月15日
136	No.2 逆洗用弁	電動ボール弁	1	台	φ300	
137	No.2 揚砂用弁		1	台	φ150	2007(平成19)年03月15日
138	No.4 加圧水弁	電動ボール弁	1	台	φ300	2000(平成12)年03月24日
139	No.4 逆洗用弁	電動ボール弁	1	台	φ300	2000(平成12)年03月24日
140	No.4 揚砂用弁		1	台	φ150	2000(平成12)年03月24日
141	No.1-1 集砂用弁	電動ボール弁	1	台	φ300	2007(平成19)年03月15日
142	No.1-2 集砂用弁	電動ボール弁	1	台	φ300	2007(平成19)年03月15日
143	No.1-3 集砂用弁	電動ボール弁	1	台	φ300	2007(平成19)年03月15日
144	No.1-4 集砂用弁	電動ボール弁	1	台	φ300	2007(平成19)年03月15日
145	No.1-5 集砂用弁	電動ボール弁	1	台	φ300	2007(平成19)年03月15日
146	No.1-6 集砂用弁	電動ボール弁	1	台	φ300	2007(平成19)年03月15日
147	No.1-7 集砂用弁	電動ボール弁	1	台	φ300	2007(平成19)年03月15日
148	No.2-1 集砂用弁	電動ボール弁	1	台	φ300	2007(平成19)年03月15日
149	No.2-2 集砂用弁	電動ボール弁	1	台	φ300	2007(平成19)年03月15日
150	No.2-3 集砂用弁	電動ボール弁	1	台	φ300	2007(平成19)年03月15日
151	No.2-4 集砂用弁	電動ボール弁	1	台	φ300	2007(平成19)年03月15日
152	No.2-5 集砂用弁	電動ボール弁	1	台	φ300	2007(平成19)年03月15日
153	No.2-6 集砂用弁	電動ボール弁	1	台	φ300	2007(平成19)年03月15日
154	No.2-7 集砂用弁	電動ボール弁	1	台	φ300	2007(平成19)年03月15日
155	No.4-1 集砂用弁	電動ボール弁	1	台	φ300	2000(平成12)年03月24日
156	No.4-2 集砂用弁	電動ボール弁	1	台	φ300	2000(平成12)年03月24日
157	No.4-3 集砂用弁	電動ボール弁	1	台	φ300	2000(平成12)年03月24日
158	No.4-4 集砂用弁	電動ボール弁	1	台	φ300	2000(平成12)年03月24日
159	No.4-5 集砂用弁	電動ボール弁	1	台	φ300	2000(平成12)年03月24日
160	No.4-6 集砂用弁	電動ボール弁	1	台	φ300	2016(平成28)年
161	No.4-7 集砂用弁	電動ボール弁	1	台	φ300	2016(平成28)年
162	No.1 次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ		1	台	0.30L/min×58spm	2006(平成18)年03月15日
163	No.2 次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ		1	台	0.30L/min×58spm	2006(平成18)年03月15日
164	沈砂池次亜塩素酸ソーダ貯留タンク		1	基	1.2m ³	2006(平成18)年03月15日
165	No.1 苛性ソーダ注入ポンプ		1	台	0.30L/min×58spm	2006(平成18)年03月15日
166	No.2 苛性ソーダ注入ポンプ		1	台	0.30L/min×58spm	2006(平成18)年03月15日
167	沈砂池苛性ソーダ貯留タンク		1	基	1.2m ³	2006(平成18)年03月15日
168	薬液洗浄装置	洗浄装置	1	基	FRP 製横型気液接触スクリーン式	2006(平成18)年03月15日
169	薬液洗浄装置用脱臭ファン	シロッコファン	1	台	170m ³ /min、2.0kPa	2006(平成18)年03月15日
170	No.1 エリアC床排水ポンプ		1	台	φ80×0.3m ³ /min×18m	
171	No.2 エリアC床排水ポンプ		1	台	φ80×0.3m ³ /min×18m	
176	No.1-1 高速ろ過池流入可動堰	電動角型可動堰	1	門	W1000mm×H500mm	2007(平成19)年11月30日
177	No.1-2 高速ろ過池流入可動堰	電動角型可動堰	1	門	W1000mm×H500mm	2007(平成19)年11月30日
178	No.2-1 高速ろ過池流入可動堰	電動角型可動堰	1	門	W1000mm×H500mm	2007(平成19)年11月30日
179	No.2-2 高速ろ過池流入可動堰	電動角型可動堰	1	門	W1000mm×H500mm	2007(平成19)年11月30日
180	1系初沈可動堰	手動角型可動堰	1	門	W2000mm×H500mm	2007(平成19)年11月30日
181	2系初沈可動堰	手動角型可動堰	1	門	W2000mm×H500mm	2007(平成19)年11月30日
182	3系初沈可動堰	手動角型可動堰	1	門	W2000mm×H500mm	2007(平成19)年11月30日
183	4系初沈可動堰	手動角型可動堰	1	門	W2000mm×H500mm	2007(平成19)年11月30日
184	1系No.3 初沈クロスコレクター		1	基	幅 3400mm×長 8600mm×深 5600mm	1980(昭和55)年03月26日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
185	1系No.4 初沈クロスコレクター		1	基	幅 4000mm×長 8600mm× 深 3585mm×0.6m/min	2015(平成 27)年 02 月 01 日
186	1系No.3 初沈メインコレクター		1	基	幅 4000mm×長 18800mm× 深 4400mm×0.6m/min	1980(昭和 55)年 03 月 26 日
187	1系No.4 初沈メインコレクター		1	基	幅 4000mm×長 18800mm× 深 3310mm×0.6m/min	2015(平成 27)年 02 月 01 日
188	No.3-1 初沈スカムスキマ		1	基	φ 300	1980(昭和 55)年 03 月 26 日
189	No.3-2 初沈スカムスキマ		1	基	φ 300	1980(昭和 55)年 03 月 26 日
190	No.3-3 初沈スカムスキマ		1	基	φ 300	1980(昭和 55)年 03 月 26 日
191	No.4-1-1 系初沈スカムスキマ		1	基	φ 300mm×3700mm	2015(平成 27)年 02 月 01 日
192	No.4-2-1 系初沈スカムスキマ		1	基	φ 300mm×3400mm	2015(平成 27)年 02 月 01 日
193	No.4-3-1 系初沈スカムスキマ		1	基	φ 300mm×3700mm	2015(平成 27)年 02 月 01 日
194	No.1-1 生汚泥ポンプ		1	台	φ 100×1.0m ³ /min×23m	2015(平成 27)年 02 月 01 日
195	No.1-2 生汚泥ポンプ		1	台	φ 100×1.0m ³ /min×23m	2015(平成 27)年 02 月 01 日
196	No.1-13 反応タンク機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量 2.2m ³ /min	2015(平成 27)年 02 月 01 日
197	No.1-14 反応タンク機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量 2.2m ³ /min	2015(平成 27)年 02 月 01 日
198	No.1-15 反応タンク機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量 2.2m ³ /min	2015(平成 27)年 02 月 01 日
199	No.1-16 反応タンク機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量 2.2m ³ /min	2015(平成 27)年 02 月 01 日
200	No.1-1 散気装置		1	式	120～150/mm本×25本/ヘッダ	1978(昭和 53)年 03 月 30 日
201	No.1-2 散気装置		1	式	120～150/mm本×25本/ヘッダ	1978(昭和 53)年 03 月 30 日
202	No.1-7 散気装置	メンブレンパネル式	1	組	処理水量 6353m ³ /日	2015(平成 27)年 02 月 01 日
203	No.1-8 散気装置	メンブレンパネル式	1	組	処理水量 6353m ³ /日	2015(平成 27)年 02 月 01 日
204	1系エアタン用空気槽		1	基	95L	2014(平成 26)年 06 月
205	No.1-1 系エアタン用空気圧縮機	往復式空気圧縮機	1	台	405L/min、0.93MPa	2015(平成 27)年 02 月 01 日
206	No.1-2 系エアタン用空気圧縮機	往復式空気圧縮機	1	台	405L/min、0.93MPa	2015(平成 27)年 02 月 01 日
207	No.1-1 終沈クロスコレクター		1	基	幅 3400mm×長 8600mm× 深 5700mm×0.3 [〃] 0.9m/min	1980(昭和 55)年 03 月 26 日
208	No.1-4 終沈クロスコレクター		1	基	幅 4000mm×長 8600mm× 深 4900mm×0.3m/min	2015(平成 27)年 02 月 01 日
209	No.1-1 終沈メインコレクター		1	基	幅 4000mm×長 30000mm× 深 4500mm×0.3 [〃] 0.9m/min	1980(昭和 55)年 03 月 26 日
210	No.1-4 終沈メインコレクター		1	基	幅 4000mm×長 3000mm× 深 3200mm×0.3m/min	2015(平成 27)年 02 月 01 日
211	No.1-1 終沈スカムスキマ		1	基	φ 300	1980(昭和 55)年 03 月 26 日
212	No.1-2 終沈スカムスキマ		1	基	φ 300	1980(昭和 55)年 03 月 26 日
213	No.1-3 終沈スカムスキマ		1	基	φ 300	1980(昭和 55)年 03 月 26 日
214	No.1-10 終沈スカムスキマ		1	基	φ 300×3200mm	2015(平成 27)年 02 月 01 日
215	No.1-11 終沈スカムスキマ		1	基	φ 300×4000mm	2015(平成 27)年 02 月 01 日
216	No.1-12 終沈スカムスキマ		1	基	φ 300×4000mm	2015(平成 27)年 02 月 01 日
217	2号返送汚泥 No.1 ポンプ		1	台	φ 250×9.0m ³ /min×7m	2009(平成 21)年 10 月 28 日
218	2号返送汚泥 No.2 ポンプ		1	台	φ 250×9.0m ³ /min×7m	2009(平成 21)年 10 月 28 日
219	2号返送汚泥 No.3 ポンプ		1	台	φ 250×9.0m ³ /min×7m	2012(平成 24)年 01 月 20 日
220	2号返送汚泥ポンプ No.1		1	台	φ 150×2.5m ³ /min×6m	1978(昭和 53)年 03 月 30 日
221	No.1-1 余剰汚泥ポンプ		1	台	φ 100×1.0m ³ /min×15m	2015(平成 27)年 02 月 01 日
222	No.1-2 余剰汚泥ポンプ		1	台	φ 100×1.0m ³ /min×15m	2015(平成 27)年 02 月 01 日
223	No.1-1 終沈汚泥引拔弁		1	台	φ 300	1978(昭和 53)年 03 月 30 日
224	No.1-2 終沈汚泥引拔弁		1	台	φ 300	1978(昭和 53)年 03 月 30 日
225	No.1-3 終沈汚泥引拔弁	電動テレスコープ弁	1	台	φ 300	2015(平成 27)年 02 月 01 日
226	No.1-4 終沈汚泥引拔弁	電動テレスコープ弁	1	台	φ 300	2015(平成 27)年 02 月 01 日
227	沈砂池用ストレーナ	自動給水装置	1	基	3.2m ³ /min	2007(平成 19)年 03 月 15 日
228	フロススプレー水用ストレーナ	自動給水装置	1	基	6400L/min	1990(平成 2)年 02 月
229	脱硫用水ストレーナ	自動給水装置	1	基	2.5m ³ /min	2003(平成 15)年 03 月 17 日
230	No.3 脱硫用水用ストレーナ	自動給水装置	1	基	6800L/min	1992(平成 4)年 03 月 31 日
231	No.1-1 高速ろ過設備	高速下水処理システム	1	式	処理水量 38500m ³ /日	2007(平成 19)年 11 月 30 日
232	No.1-2 高速ろ過設備	高速下水処理システム	1	式	処理水量 38500m ³ /日	2007(平成 19)年 11 月 30 日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
233	No. 2-1 高速ろ過設備	高速下水処理システム	1	式	処理水量 38500m ³ /日	2007(平成 19)年 11 月 30 日
234	No. 2-2 高速ろ過設備	高速下水処理システム	1	式	処理水量 38500m ³ /日	2007(平成 19)年 11 月 30 日
235	パルス空洗用空気槽		1	基	2.63m ³	2007(平成 19)年 11 月 30 日
236	No. 1 パルス空洗用空気圧縮機	往復式空気圧縮機	1	台	405L/min、0.93MPa	2007(平成 19)年 11 月 30 日
237	No. 2 パルス空洗用空気圧縮機	往復式空気圧縮機	1	台	405L/min、0.93MPa	2007(平成 19)年 11 月 30 日
238	No. 1 汚泥洗浄水ポンプ		1	台	φ100×1.6m ³ /min×10m	2008(平成 20)年 03 月 14 日
239	No. 2 汚泥洗浄水ポンプ		1	台	φ125×1.3m ³ /min×10m	2008(平成 20)年 03 月 14 日
240	No. 3 汚泥洗浄水ポンプ		1	台	φ100×1.6m ³ /min×10m	2008(平成 20)年 03 月 14 日
241	No. 1 加圧水タンク圧送ポンプ		1	台	3.2m ³ /min×24m	2006(平成 18)年 01 月
242	No. 2 加圧水タンク圧送ポンプ		1	台	3.2m ³ /min×24m	2006(平成 18)年 01 月
243	No. 3 フロススプレー水ポンプ		1	台	φ125×3.2m ³ /min×24m	1990(平成 2)年
244	No. 4 フロススプレー水ポンプ		1	台	φ125×3.2m ³ /min×24m	1990(平成 2)年
245	No. 1 脱硫用水ポンプ		1	台	2.5m ³ /min×25m	2003(平成 15)年 03 月 17 日
246	No. 2 脱硫用水ポンプ		1	台	2.5m ³ /min×25m	2003(平成 15)年 03 月 17 日
247	No. 3 脱硫用水ポンプ		1	台		
248	No. 4 脱硫用水ポンプ		1	台	φ150×2.5m ³ /min×25m	2000(平成 12)年 09 月
249	No. 1 初沈流入水路ゲート		1	門	W1600mm×H1600mm	1978(昭和 53)年 03 月 30 日
250	No. 2 初沈流入水路ゲート		1	門	W1600mm×H1600mm	1978(昭和 53)年 03 月 30 日
251	No. 1-1-1 終沈流入ゲート		1	門	φ500	1980(昭和 55)年 03 月 26 日
252	No. 1-1-2 終沈流入ゲート		1	門	φ500	1980(昭和 55)年 03 月 26 日
253	No. 1-1-3 終沈流入ゲート		1	門	φ500	1980(昭和 55)年 03 月 26 日
254	No. 1-2-1 終沈流入ゲート		1	門	φ500	1980(昭和 55)年 03 月 26 日
255	No. 1-2-2 終沈流入ゲート		1	門	φ500	1980(昭和 55)年 03 月 26 日
256	No. 1-2-3 終沈流入ゲート		1	門	φ500	1980(昭和 55)年 03 月 26 日
257	No. 1-3-1 終沈流入ゲート		1	門	φ500	1980(昭和 55)年 03 月 26 日
258	No. 1-3-2 終沈流入ゲート		1	門	φ500	1980(昭和 55)年 03 月 26 日
259	No. 1-3-3 終沈流入ゲート		1	門	φ500	1980(昭和 55)年 03 月 26 日
260	No. 1-10 終沈流入ゲート		1	門	φ500	2015(平成 27)年 02 月 01 日
261	No. 1-11 終沈流入ゲート		1	門	φ500	2015(平成 27)年 02 月 01 日
262	No. 1-12 終沈流入ゲート		1	門	φ500	2015(平成 27)年 02 月 01 日
263	沈殿水放流ゲート		1	門	W1200mm×H700mm	1978(昭和 53)年 03 月 30 日
264	初沈バイパスゲート		1	門	W1600mm×H1600mm	1978(昭和 53)年 03 月 30 日
265	1 系終沈流入水路連絡ゲート		1	門	W1200mm×H500mm	1978(昭和 53)年 03 月 30 日
266	No. 1-7 初沈流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2015(平成 27)年 02 月 01 日
267	No. 1-8 初沈流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2015(平成 27)年 02 月 01 日
268	No. 1-9 初沈流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2015(平成 27)年 02 月 01 日
269	No. 1-10 初沈流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2015(平成 27)年 02 月 01 日
270	No. 1-11 初沈流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2015(平成 27)年 02 月 01 日
271	No. 1-12 初沈流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2015(平成 27)年 02 月 01 日
272	No. 1-1 反応タンク流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2015(平成 27)年 02 月 01 日
273	No. 1-2 反応タンク流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2015(平成 27)年 02 月 01 日
274	No. 1-3 反応タンク流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2015(平成 27)年 02 月 01 日
275	No. 1-4 反応タンク流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2015(平成 27)年 02 月 01 日
276	No. 1-13 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2015(平成 27)年 02 月 01 日
277	No. 1-14 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2015(平成 27)年 02 月 01 日
278	No. 1-15 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2015(平成 27)年 02 月 01 日
279	No. 1-16 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2015(平成 27)年 02 月 01 日
280	No. 1 返送汚泥流入可動堰		1	門	W600mm×H300mm	1981(昭和 56)年 03 月 20 日
281	No. 2 返送汚泥流入可動堰		1	門	W600mm×H300mm	1981(昭和 56)年 03 月 20 日
282	No. 3 返送汚泥流入可動堰		1	門	W600mm×H300mm	1981(昭和 56)年 03 月 20 日
283	No. 4 返送汚泥流入可動堰		1	門	W600mm×H300mm	1981(昭和 56)年 03 月 20 日
284	No. 5 返送汚泥流入可動堰		1	門	W600mm×H300mm	1981(昭和 56)年 03 月 20 日
285	No. 6 返送汚泥流入可動堰		1	門	W600mm×H300mm	1981(昭和 56)年 03 月 20 日
286	No. 7 返送汚泥流入可動堰		1	門	W600mm×H450mm	2015(平成 27)年 02 月 01 日
287	No. 8 返送汚泥流入可動堰		1	門	W600mm×H450mm	2015(平成 27)年 02 月 01 日
288	洗浄排水ポンプ吊上装置	ギヤードトルリ付電動チェンブロック	1	台	0.5t	
289	No. 1-7 機械攪拌機吊上装置		1	台	0.5t	2015(平成 27)年 02 月 01 日
290	No. 1-8 機械攪拌機吊上装置		1	台	0.5t	2015(平成 27)年 02 月 01 日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
291	No. 1-3 初沈床排水ポンプ		1	台	φ65×0.3m ³ /min×13m	2015(平成27)年02月01日
292	No. 1-4 初沈床排水ポンプ		1	台	φ65×0.3m ³ /min×13m	2015(平成27)年02月01日
293	No. 1 初沈池排水ポンプ		1	台	φ100×1.0m ³ /min×10m	2015(平成27)年02月01日
294	No. 1-1 初沈床排水ポンプ		1	台	φ65×0.3m ³ /min×13m	2015(平成27)年02月01日
295	No. 1-2 初沈床排水ポンプ		1	台	φ65×0.3m ³ /min×13m	2015(平成27)年02月01日
296	No. 1-1 洗浄排水ポンプ		1	台	φ200×4.3m ³ /min×10m	
297	No. 1-2 洗浄排水ポンプ		1	台	φ200×4.3m ³ /min×10m	
298	No. 2-1 洗浄排水ポンプ		1	台	φ200×4.3m ³ /min×10m	
299	No. 2-2 洗浄排水ポンプ		1	台	φ200×4.3m ³ /min×10m	
300	No. 1 エアタン床排水ポンプ		1	台	0.3m ³ /min×15m	1978(昭和53)年03月30日
301	No. 2 エアタン床排水ポンプ		1	台	0.3m ³ /min×15m	
302	No. 1 エリアN終沈床排水ポンプ		1	台	0.3m ³ /min×15m	1978(昭和53)年03月30日
303	No. 2 エリアN終沈床排水ポンプ		1	台	0.3m ³ /min×15m	
304	No. 2-1 終沈床排水ポンプ		1	台	φ65×0.3m ³ /min×10m	2009(平成21)年10月28日
305	No. 2-2 終沈床排水ポンプ		1	台	φ65×0.3m ³ /min×10m	2009(平成21)年10月28日
306	No. 1 終沈池排水ポンプ		1	台	φ100×1.0m ³ /min×10m	2015(平成27)年02月01日
307	No. 1-1 終沈床排水ポンプ		1	台	φ65×0.3m ³ /min×13m	2015(平成27)年02月01日
308	No. 1-2 終沈床排水ポンプ		1	台	φ65×0.3m ³ /min×13m	2015(平成27)年02月01日
309	No. 1-1 終沈配管ピット排水ポンプ		1	台	φ50	
310	No. 1-2 終沈配管ピット排水ポンプ		1	台	φ50	
311	1, 2 系返送汚泥流量計入口弁		1	台	φ400	1978(昭和53)年03月30日
312	1, 2 系返送汚泥流量計出口弁		1	台	φ400	1978(昭和53)年03月30日
313	3, 4 系返送汚泥切替弁		1	台	φ400	1989(平成元)年
314	No. 1 処理水受水槽引抜弁		1	台	φ400	1978(昭和53)年06月
315	No. 2 処理水受水槽引抜弁		1	台	φ400	1978(昭和53)年06月
316	放流元弁		1	台	φ800	2008(平成20)年03月01日
317	洗浄排水管連絡弁		1	台	φ450	
318	洗浄排水1系送り弁		1	台	φ450	
319	1系返送汚泥流量計入口弁		1	台	φ500	2009(平成21)年10月28日
320	1系返送汚泥流量計出口弁		1	台	φ500	2009(平成21)年10月28日
321	1系返送汚泥流量計バイパス弁		1	台	φ600	2009(平成21)年10月28日
322	1系返送汚泥増設弁		1	台	φ600	2009(平成21)年10月28日
323	No. 1-3 生汚泥引抜弁		1	台	φ150	2015(平成27)年02月01日
324	No. 1-4 生汚泥引抜弁		1	台	φ150	2015(平成27)年02月01日
325	1, 2 系返送汚泥流量調節弁		1	台	φ400	1978(昭和53)年03月30日
326	1号返送汚泥No. 1 ポンプ吐出弁		1	台	φ250	1978(昭和53)年03月30日
327	1号返送汚泥No. 2 ポンプ吐出弁		1	台	φ250	1978(昭和53)年03月30日
328	2号返送汚泥No. 1 ポンプ吐出弁		1	台	φ150	1978(昭和53)年03月30日
329	放流弁		1	台	φ800	2008(平成20)年03月01日
330	分配槽ドレン弁1-1	空気作動式バタフライ弁	1	台	φ100	
331	分配槽ドレン弁1-2	空気作動式バタフライ弁	1	台	φ100	
332	分配槽ドレン弁2-1	空気作動式バタフライ弁	1	台	φ100	
333	分配槽ドレン弁2-2	空気作動式バタフライ弁	1	台	φ100	
334	計装用空気槽		1	基	1.77m ³	2007(平成19)年11月30日
335	No. 1 計装用空気圧縮機	往復式空気圧縮機	1	台	165L/min、0.93MPa	2007(平成19)年11月30日
336	No. 2 計装用空気圧縮機	往復式空気圧縮機	1	台	165L/min、0.93MPa	2007(平成19)年11月30日
337	No. 1-7 風量調節弁	空気作動式バタフライ弁	1	台	φ150	
338	No. 1-8 風量調節弁	空気作動式バタフライ弁	1	台	φ150	
339	No. 2-1 初沈クロスコレクター		1	基	幅 4000mm×長 8600mm×深 4600mm×0.6m/min	2013(平成25)年02月28日
340	No. 2-2 初沈クロスコレクター		1	基	幅 4000mm×長 8600mm×深 3585mm×0.6m/min	2012(平成24)年01月20日
341	No. 2-3 初沈クロスコレクター		1	基	幅 4000mm×長 8600mm×深 4600mm×0.6m/min	2011(平成23)年03月17日
342	No. 2-4 初沈クロスコレクター		1	基	幅 4000mm×長 8600mm×深 3585mm×0.6m/min	2009(平成21)年10月28日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
343	No. 2-1 初沈メインコレクター		1	基	幅 4000mm×長 18800mm×深 3200mm×0.6m/min	2013(平成 25)年 02 月 28 日
344	No. 2-2 初沈メインコレクター		1	基	幅 4000mm×長 18100mm×深 3210mm×0.6m/min	2012(平成 24)年 01 月 20 日
345	No. 2-3 初沈メインコレクター		1	基	幅 4000mm×長 18800mm×深 3200mm×0.6m/min	2011(平成 23)年 03 月 17 日
346	No. 2-4 初沈メインコレクター		1	基	幅 4000mm×長 18800mm×深 3210mm×0.6m/min	2009(平成 21)年 10 月 28 日
347	No. 2-1 初沈スカムスキマ		1	基	φ 300mm×3700mm	2013(平成 25)年 02 月 28 日
348	No. 2-2 初沈スカムスキマ		1	基	φ 300mm×3400mm	2013(平成 25)年 02 月 28 日
349	No. 2-3 初沈スカムスキマ		1	基	φ 300mm×3700mm	2013(平成 25)年 02 月 28 日
350	No. 2-4 初沈スカムスキマ		1	基	φ 300mm×3700mm	2012(平成 24)年 01 月 20 日
351	No. 2-5 初沈スカムスキマ		1	基	φ 300mm×3400mm	2012(平成 24)年 01 月 20 日
352	No. 2-6 初沈スカムスキマ		1	基	φ 300mm×3700mm	2012(平成 24)年 01 月 20 日
353	No. 2-7 初沈スカムスキマ		1	基	φ 300mm×3700mm	2011(平成 23)年 03 月 17 日
354	No. 2-8 初沈スカムスキマ		1	基	φ 300mm×3400mm	2011(平成 23)年 03 月 17 日
355	No. 2-9 初沈スカムスキマ		1	基	φ 300mm×3700mm	2011(平成 23)年 03 月 17 日
356	No. 2-10 初沈スカムスキマ		1	基	φ 300mm×3700mm	2009(平成 21)年 10 月 28 日
357	No. 2-11 初沈スカムスキマ		1	基	φ 300mm×3400mm	2009(平成 21)年 10 月 28 日
358	No. 2-12 初沈スカムスキマ		1	基	φ 300mm×3700mm	2009(平成 21)年 10 月 28 日
359	No. 2-1 生汚泥ポンプ		1	台	φ 100×1.0m ³ /min×12m	2011(平成 23)年 03 月 17 日
360	No. 2-2 生汚泥ポンプ		1	台	φ 100×1.0m ³ /min×12m	2011(平成 23)年 03 月 17 日
361	No. 2-1 反応タンク機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量 2.2m ³ /min	2013(平成 25)年 02 月 28 日
362	No. 2-2 反応タンク機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量 2.2m ³ /min	2013(平成 25)年 02 月 28 日
363	No. 2-3 反応タンク機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量 2.2m ³ /min	2013(平成 25)年 02 月 28 日
364	No. 2-4 反応タンク機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量 2.2m ³ /min	2013(平成 25)年 02 月 28 日
365	No. 2-5 反応タンク機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量 2.2m ³ /min	2012(平成 24)年 01 月 20 日
366	No. 2-6 反応タンク機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量 2.2m ³ /min	2012(平成 24)年 01 月 20 日
367	No. 2-7 反応タンク機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量 2.2m ³ /min	2012(平成 24)年 01 月 20 日
368	No. 2-8 反応タンク機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量 2.2m ³ /min	2012(平成 24)年 01 月 20 日
369	No. 2-9 反応タンク機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量 2.2m ³ /min	2011(平成 23)年 03 月 17 日
370	No. 2-10 反応タンク機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量 2.2m ³ /min	2011(平成 23)年 03 月 17 日
371	No. 2-11 反応タンク機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量 2.2m ³ /min	2011(平成 23)年 03 月 17 日
372	No. 2-12 反応タンク機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量 2.2m ³ /min	2011(平成 23)年 03 月 17 日
373	No. 2-13 反応タンク機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量 2.2m ³ /min	2009(平成 21)年 10 月 28 日
374	No. 2-14 反応タンク機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量 2.2m ³ /min	2009(平成 21)年 10 月 28 日
375	No. 2-15 反応タンク機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量 2.2m ³ /min	2009(平成 21)年 10 月 28 日
376	No. 2-16 反応タンク機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量 2.2m ³ /min	2009(平成 21)年 10 月 28 日
377	No. 2-1 散気装置	メンブレンパネル式	1	組	処理水量 6353m ³ /日	2013(平成 25)年 02 月 28 日
378	No. 2-2 散気装置	メンブレンパネル式	1	組	処理水量 6353m ³ /日	2013(平成 25)年 02 月 28 日
379	No. 2-3 散気装置	メンブレンパネル式	1	組	処理水量 6353m ³ /日	2012(平成 24)年 01 月 20 日
380	No. 2-4 散気装置	メンブレンパネル式	1	組	処理水量 6353m ³ /日	2012(平成 24)年 01 月 20 日
381	No. 2-5 散気装置	メンブレンパネル式	1	組	処理水量 6353m ³ /日	2011(平成 23)年 03 月 17 日
382	No. 2-6 散気装置	メンブレンパネル式	1	組	処理水量 6353m ³ /日	2011(平成 23)年 03 月 17 日
383	No. 2-7 散気装置	メンブレンパネル式	1	組	酸素移動効率 21.8%以上	2009(平成 21)年 10 月 28 日
384	No. 2-8 散気装置	メンブレンパネル式	1	組	酸素移動効率 21.8%以上	2009(平成 21)年 10 月 28 日
385	2 系エアタン用空気槽		1	基	95L	2009(平成 21)年 02 月
386	No. 2-1 系エアタン用空気圧縮機	往復式空気圧縮機	1	台	405L/min、0.93MPa	

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
387	No. 2-2 系エアタン用空気圧縮機	往復式空気圧縮機	1	台	405L/min、0.93MPa	
388	No. 2-1 終沈クロスコレクター		1	基	幅 4000mm×長 8600mm× 深 4900mm×0.6m/min	2013(平成 25)年 02 月 28 日
389	No. 2-2 終沈クロスコレクター		1	基	幅 4000mm×長 8600mm× 深 4900mm×0.3m/min	2012(平成 24)年 01 月 20 日
390	No. 2-3 終沈クロスコレクター		1	基	幅 4000mm×長 8600mm× 深 4900mm×0.6m/min	2011(平成 23)年 03 月 17 日
391	No. 2-4 終沈クロスコレクター		1	基	幅 4000mm×長 8600mm× 深 4900mm×0.3m/min	2009(平成 21)年 10 月 28 日
392	No. 2-1 終沈メインコレクター		1	基	幅 4000mm×長 30000mm× 深 3200mm×0.6m/min	2013(平成 25)年 02 月 28 日
393	No. 2-2 終沈メインコレクター		1	基	幅 4000mm×長 30000mm× 深 3200mm×0.3m/min	2012(平成 24)年 01 月 20 日
394	No. 2-3 終沈メインコレクター		1	基	幅 4000mm×長 30000mm× 深 3200mm×0.3m/min	2011(平成 23)年 03 月 17 日
395	No. 2-4 終沈メインコレクター		1	基	幅 4000mm×長 30000mm× 深 3200mm×0.6m/min	2009(平成 21)年 10 月 28 日
396	No. 2-1 終沈スカムスキマー		1	基	φ 300×3200mm	2013(平成 25)年 02 月 28 日
397	No. 2-2 終沈スカムスキマー		1	基	φ 300×4000mm	2013(平成 25)年 02 月 28 日
398	No. 2-3 終沈スカムスキマー		1	基	φ 300×4000mm	2013(平成 25)年 02 月 28 日
399	No. 2-4 終沈スカムスキマー		1	基	φ 300×3200mm	2012(平成 24)年 01 月 20 日
400	No. 2-5 終沈スカムスキマー		1	基	φ 300×4000mm	2012(平成 24)年 01 月 20 日
401	No. 2-6 終沈スカムスキマー		1	基	φ 300×4000mm	2012(平成 24)年 01 月 20 日
402	No. 2-7 終沈スカムスキマー		1	基	φ 300×4000mm	2011(平成 23)年 03 月 17 日
403	No. 2-8 終沈スカムスキマー		1	基	φ 300×4000mm	2011(平成 23)年 03 月 17 日
404	No. 2-9 終沈スカムスキマー		1	基	φ 300×3200mm	2011(平成 23)年 03 月 17 日
405	No. 2-10 終沈スカムスキマー		1	基	φ 300×3200mm	2009(平成 21)年 10 月 28 日
406	No. 2-11 終沈スカムスキマー		1	基	φ 300×4000mm	2009(平成 21)年 10 月 28 日
407	No. 2-12 終沈スカムスキマー		1	基	φ 300×4000mm	2009(平成 21)年 10 月 28 日
408	No. 2-1 終沈スカム移送ポンプ		1	台	φ 100×1m3/min×9m	2009(平成 21)年 10 月 28 日
409	No. 2-2 終沈スカム移送ポンプ		1	台	φ 100×1m3/min×9m	2009(平成 21)年 10 月 28 日
410	No. 2-1 終沈污泥引抜弁	電動テレスコープ弁	1	台	φ 300	2012(平成 24)年 01 月 20 日
411	No. 2-2 終沈污泥引抜弁	電動テレスコープ弁	1	台	φ 300	2012(平成 24)年 01 月 20 日
412	No. 2-3 終沈污泥引抜弁	電動テレスコープ弁	1	台	φ 300	2011(平成 23)年 03 月 17 日
413	No. 2-4 終沈污泥引抜弁	電動テレスコープ弁	1	台	φ 300	2011(平成 23)年 03 月 17 日
414	No. 8-1 終沈流入ゲート		1	門	φ 500	2009(平成 21)年 10 月 28 日
415	No. 8-2 終沈流入ゲート		1	門	φ 500	2009(平成 21)年 10 月 28 日
416	No. 8-3 終沈流入ゲート		1	門	φ 500	2009(平成 21)年 10 月 28 日
417	No. 7-1 終沈流入ゲート		1	門	φ 500	2011(平成 23)年 03 月 17 日
418	No. 7-2 終沈流入ゲート		1	門	φ 500	2011(平成 23)年 03 月 17 日
419	No. 7-3 終沈流入ゲート		1	門	φ 500	2011(平成 23)年 03 月 17 日
420	No. 6-1 終沈流入ゲート		1	門	φ 500	2012(平成 24)年 01 月 20 日
421	No. 6-2 終沈流入ゲート		1	門	φ 500	2012(平成 24)年 01 月 20 日
422	No. 6-3 終沈流入ゲート		1	門	φ 500	2012(平成 24)年 01 月 20 日
423	No. 5-1 終沈流入ゲート		1	門	φ 500	2013(平成 25)年 02 月 28 日
424	No. 5-2 終沈流入ゲート		1	門	φ 500	2013(平成 25)年 02 月 28 日
425	No. 5-3 終沈流入ゲート		1	門	φ 500	2013(平成 25)年 02 月 28 日
426	No. 2-1 初沈流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2012(平成 24)年 01 月 20 日
427	No. 2-2 初沈流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2012(平成 24)年 01 月 20 日
428	No. 2-3 初沈流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2012(平成 24)年 01 月 20 日
429	No. 2-4 初沈流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2012(平成 24)年 01 月 20 日
430	No. 2-5 初沈流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2012(平成 24)年 01 月 20 日
431	No. 2-6 初沈流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2012(平成 24)年 01 月 20 日
432	No. 2-7 初沈流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2010(平成 22)年 06 月
433	No. 2-8 初沈流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2010(平成 22)年 06 月
434	No. 2-9 初沈流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2010(平成 22)年 06 月
435	No. 2-10 初沈流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2010(平成 22)年 06 月
436	No. 2-11 初沈流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2010(平成 22)年 06 月
437	No. 2-12 初沈流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2010(平成 22)年 06 月
438	No. 5 反応タンク流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2011(平成 23)年 03 月 17 日
439	No. 6 反応タンク流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2011(平成 23)年 03 月 17 日
440	No. 7 反応タンク流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2009(平成 21)年 10 月 28 日
441	No. 8 反応タンク流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2009(平成 21)年 10 月 28 日
442	No. 9 返送污泥流入可動堰		1	門	W600mm×H450mm	2013(平成 25)年 02 月 28 日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
443	No. 10 返送汚泥流入可動堰		1	門	W600mm×H450mm	2013(平成25)年02月28日
444	No. 11 返送汚泥流入可動堰		1	門	W600mm×H450mm	2012(平成24)年01月20日
445	No. 12 返送汚泥流入可動堰		1	門	W600mm×H450mm	2012(平成24)年01月20日
446	No. 13 返送汚泥流入可動堰		1	門	W600mm×H450mm	2011(平成23)年03月17日
447	No. 14 返送汚泥流入可動堰		1	門	W600mm×H450mm	2011(平成23)年03月17日
448	No. 15 返送汚泥流入可動堰		1	門	W600mm×H450mm	2009(平成21)年10月28日
449	No. 16 返送汚泥流入可動堰		1	門	W600mm×H450mm	2009(平成21)年10月28日
450	No. 2-1 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2013(平成25)年02月28日
451	No. 2-2 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2013(平成25)年02月28日
452	No. 2-3 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2013(平成25)年02月28日
453	No. 2-4 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2013(平成25)年02月28日
454	No. 2-5 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2012(平成24)年01月20日
455	No. 2-6 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2012(平成24)年01月20日
456	No. 2-7 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2012(平成24)年01月20日
457	No. 2-8 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2012(平成24)年01月20日
458	No. 2-9 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2011(平成23)年03月17日
459	No. 2-10 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2011(平成23)年03月17日
460	No. 2-11 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2011(平成23)年03月17日
461	No. 2-12 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2011(平成23)年03月17日
462	No. 2-13 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2009(平成21)年10月28日
463	No. 2-14 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2009(平成21)年10月28日
464	No. 2-15 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2009(平成21)年10月28日
465	No. 2-16 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2009(平成21)年10月28日
466	No. 2-1 機械攪拌機吊上装置		1	台	0.5t	2013(平成25)年02月28日
467	No. 2-2 機械攪拌機吊上装置		1	台	0.5t	2013(平成25)年02月28日
468	No. 2-3 機械攪拌機吊上装置		1	台	0.5t	2012(平成24)年01月20日
469	No. 2-4 機械攪拌機吊上装置		1	台	0.5t	2012(平成24)年01月20日
470	No. 2-5 機械攪拌機吊上装置		1	台	0.5t	2011(平成23)年03月17日
471	No. 2-6 機械攪拌機吊上装置		1	台	0.5t	2011(平成23)年03月17日
472	No. 2-7 機械攪拌機吊上装置		1	台	0.5t	2009(平成21)年10月28日
473	No. 2-8 機械攪拌機吊上装置		1	台	0.5t	2009(平成21)年10月28日
474	No. 1 エリア G 床排水ポンプ		1	台	φ65×0.3m ³ /min×15m	2011(平成23)年03月17日
475	No. 2 エリア G 床排水ポンプ		1	台	φ65×0.3m ³ /min×15m	2011(平成23)年03月17日
476	No. 2-1 終沈配管ピット排水ポンプ		1	台	φ65×0.3m ³ /min×15m	
477	No. 2-2 終沈配管ピット排水ポンプ		1	台	φ65×0.3m ³ /min×15m	
478	No. 2-1 生汚泥引抜弁		1	台	φ150	2011(平成23)年03月17日
479	No. 2-2 生汚泥引抜弁		1	台	φ150	2011(平成23)年03月17日
480	No. 2-3 生汚泥引抜弁		1	台	φ150	2011(平成23)年03月17日
481	No. 2-4 生汚泥引抜弁		1	台	φ150	2011(平成23)年03月17日
482	No. 2 生汚泥戻し弁		1	台	φ150	2011(平成23)年03月17日
483	No. 2 生汚泥送り弁		1	台	φ150	2011(平成23)年03月17日
484	脱水機棟ろ過水切替弁		1	台	φ250	1998(平成10)年02月25日
485	管理棟ろ過水切替弁		1	台	φ250	1998(平成10)年02月25日
486	No. 2-1 風量調節弁	空気作動式バタフライ弁	1	台	φ250	
487	No. 2-2 風量調節弁	空気作動式バタフライ弁	1	台	φ250	

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
488	No. 2-3 風量調節弁	空気作動式バタフライ弁	1	台	φ250	2012(平成24)年01月20日
489	No. 2-4 風量調節弁	空気作動式バタフライ弁	1	台	φ250	2012(平成24)年01月20日
490	No. 2-5 風量調節弁	空気作動式バタフライ弁	1	台	φ250	
491	No. 2-6 風量調節弁	空気作動式バタフライ弁	1	台	φ250	
492	No. 2-7 風量調節弁	空気作動式バタフライ弁	1	台	φ250	
493	No. 2-8 風量調節弁	空気作動式バタフライ弁	1	台	φ250	
494	No. 9 初沈クロスコレクター		1	基	幅 4000mm×長 8900mm× 深 5600mm×0.6m/min	1990(平成2)年12月20日
495	No. 10 初沈クロスコレクター		1	基	幅 4000mm×長 8900mm× 深 5600mm×0.6m/min	1990(平成2)年12月20日
496	No. 11 初沈クロスコレクター		1	基	幅 4000mm×長 7700mm× 深 5600mm×0.6m/min	1998(平成10)年02月25日
497	No. 12 初沈クロスコレクター		1	基	幅 4000mm×長 7700mm× 深 5600mm×0.6m/min	1998(平成10)年02月25日
498	No. 9 初沈メインコレクター		1	基	幅 4000mm×長 18800mm× 深 4200mm×0.6m/min	1990(平成2)年12月20日
499	No. 10 初沈メインコレクター		1	基	幅 4000mm×長 18800mm× 深 4200mm×0.6m/min	1990(平成2)年12月20日
500	No. 11 初沈メインコレクター		1	基	幅 4000mm×長 17800mm× 深 5000mm×0.6m/min	1998(平成10)年02月25日
501	No. 12 初沈メインコレクター		1	基	幅 4000mm×長 17800mm× 深 5000mm×0.6m/min	1998(平成10)年02月25日
502	No. 9-1 初沈スカムスキマ		1	基	φ300	1990(平成2)年12月20日
503	No. 9-2 初沈スカムスキマ		1	基	φ300	1990(平成2)年12月20日
504	No. 9-3 初沈スカムスキマ		1	基	φ300	1990(平成2)年12月20日
505	No. 10-1 初沈スカムスキマ		1	基	φ300	1990(平成2)年12月20日
506	No. 10-2 初沈スカムスキマ		1	基	φ300	1990(平成2)年12月20日
507	No. 10-3 初沈スカムスキマ		1	基	φ300	1990(平成2)年12月20日
508	No. 11-1 初沈スカムスキマ		1	基	φ300	1998(平成10)年02月25日
509	No. 11-2 初沈スカムスキマ		1	基	φ300	1998(平成10)年02月25日
510	No. 11-3 初沈スカムスキマ		1	基	φ300	1998(平成10)年02月25日
511	No. 12-1 初沈スカムスキマ		1	基	φ300	1998(平成10)年02月25日
512	No. 12-2 初沈スカムスキマ		1	基	φ300	1998(平成10)年02月25日
513	No. 12-3 初沈スカムスキマ		1	基	φ300	1998(平成10)年02月25日
514	No. 9 生汚泥ポンプ		1	台	φ100×1.0m ³ /min×23m	1990(平成2)年12月20日
515	No. 10 生汚泥ポンプ		1	台	φ100×1.0m ³ /min×23m	1990(平成2)年12月20日
516	No. 11 生汚泥ポンプ		1	台	φ100×1.0m ³ /min×12m	1998(平成10)年02月25日
517	No. 12 生汚泥ポンプ		1	台	φ100×1.0m ³ /min×12m	1998(平成10)年02月25日
518	No. 17 散気装置		1	式	L300×W300×30T	
519	No. 18 散気装置		1	式	L300×W300×30T	
520	No. 19 散気装置		1	式	L300×W300×30T	
521	No. 20 散気装置		1	式	L300×W300×30T	
522	No. 21 散気装置		1	式	L300×W300×30T	
523	No. 22 散気装置		1	式	L300×W300×30T	
524	No. 23 散気装置		1	式	L300×W300×30T	
525	No. 24 散気装置		1	式	L300×W300×30T	
526	No. 9 終沈クロスコレクター		1	基	幅 4000mm×長 8900mm× 深 5700mm×0.3m/min	1990(平成2)年12月20日
527	No. 10 終沈クロスコレクター		1	基	幅 4000mm×長 8900mm× 深 5700mm×0.3m/min	1990(平成2)年12月20日
528	No. 11 終沈クロスコレクター		1	基	幅 4000mm×長 12600mm× 深 5700mm×0.3m/min	1998(平成10)年02月25日
529	No. 12 終沈クロスコレクター		1	基	幅 4000mm×長 12600mm× 深 5700mm×0.3m/min	1998(平成10)年02月25日
530	No. 9 終沈メインコレクター		1	基	幅 4000mm×長 30000mm× 深 4000mm × 0.236~0.943m/min	1990(平成2)年12月20日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
531	No. 10 終沈メインコレクター		1	基	幅 4000mm×長 30000mm× 深 4000mm × 0.236~0.943m/min	1990(平成2)年12月20日
532	No. 11 終沈メインコレクター		1	基	幅 4000mm×長 34000mm× 深 4500mm×0.3m/min	1998(平成10)年02月25日
533	No. 12 終沈メインコレクター		1	基	幅 4000mm×長 34000mm× 深 4500mm×0.3m/min	1998(平成10)年02月25日
534	No. 9-1 終沈スカムスキマ		1	基	φ300	1990(平成2)年12月20日
535	No. 9-2 終沈スカムスキマ		1	基	φ300	1990(平成2)年12月20日
536	No. 9-3 終沈スカムスキマ		1	基	φ300	1990(平成2)年12月20日
537	No. 10-1 終沈スカムスキマ		1	基	φ300	1990(平成2)年12月20日
538	No. 10-2 終沈スカムスキマ		1	基	φ300	1990(平成2)年12月20日
539	No. 10-3 終沈スカムスキマ		1	基	φ300	1990(平成2)年12月20日
540	No. 11-1 終沈スカムスキマ		1	基	φ300	1998(平成10)年02月25日
541	No. 11-2 終沈スカムスキマ		1	基	φ300	1998(平成10)年02月25日
542	No. 11-3 終沈スカムスキマ		1	基	φ300	1998(平成10)年02月25日
543	No. 12-1 終沈スカムスキマ		1	基	φ300	1998(平成10)年02月25日
544	No. 12-2 終沈スカムスキマ		1	基	φ300	1998(平成10)年02月25日
545	No. 12-3 終沈スカムスキマ		1	基	φ300	1998(平成10)年02月25日
546	No. 3-1 終沈スカム圧送ポンプ		1	台	φ100×1.4m ³ /min×14m	1990(平成2)年12月20日
547	No. 3-2 終沈スカム圧送ポンプ		1	台	φ100×1.4m ³ /min×14m	1990(平成2)年12月20日
548	No. 1-3 号返送汚泥ポンプ	無閉塞型汚泥ポンプ	1	台	φ250×4.5m ³ /min×5m	1990(平成2)年12月20日
549	No. 2-3 号返送汚泥ポンプ	無閉塞型汚泥ポンプ	1	台	φ250×4.5m ³ /min×5m	1990(平成2)年12月20日
550	No. 3-3 号返送汚泥ポンプ	無閉塞型汚泥ポンプ	1	台	φ250×4.5m ³ /min×5m	1998(平成10)年02月25日
551	No. 4-3 号返送汚泥ポンプ	無閉塞型汚泥ポンプ	1	台	φ250×4.5m ³ /min×5m	1998(平成10)年02月25日
552	No. 3 余剰汚泥ポンプ	無閉塞型汚泥ポンプ	1	台	φ80×1.0m ³ /min×12m	1990(平成2)年12月20日
553	No. 4 余剰汚泥ポンプ	無閉塞型汚泥ポンプ	1	台	φ80×1.0m ³ /min×12m	1990(平成2)年12月20日
554	No. 9-1 初沈流入ゲート		1	門	W600mm×H600mm	1990(平成2)年12月20日
555	No. 9-2 初沈流入ゲート		1	門	W600mm×H600mm	1990(平成2)年12月20日
556	No. 9-3 初沈流入ゲート		1	門	W600mm×H600mm	1990(平成2)年12月20日
557	No. 10-1 初沈流入ゲート		1	門	W600mm×H600mm	1990(平成2)年12月20日
558	No. 10-2 初沈流入ゲート		1	門	W600mm×H600mm	1990(平成2)年12月20日
559	No. 10-3 初沈流入ゲート		1	門	W600mm×H600mm	1990(平成2)年12月20日
560	No. 11-1 初沈流入ゲート		1	門	W600mm×H600mm	1998(平成10)年02月25日
561	No. 11-2 初沈流入ゲート		1	門	W600mm×H600mm	1998(平成10)年02月25日
562	No. 11-3 初沈流入ゲート		1	門	W600mm×H600mm	1998(平成10)年02月25日
563	No. 12-1 初沈流入ゲート		1	門	W600mm×H600mm	1998(平成10)年02月25日
564	No. 12-2 初沈流入ゲート		1	門	W600mm×H600mm	1998(平成10)年02月25日
565	No. 12-3 初沈流入ゲート		1	門	W600mm×H600mm	1998(平成10)年02月25日
566	No. 3-9-1 終沈流入ゲート		1	門	φ500	1990(平成2)年12月20日
567	No. 3-9-2 終沈流入ゲート		1	門	φ500	1990(平成2)年12月20日
568	No. 3-9-3 終沈流入ゲート		1	門	φ500	1990(平成2)年12月20日
569	No. 3-10-1 終沈流入ゲート		1	門	φ500	1990(平成2)年12月20日
570	No. 3-10-2 終沈流入ゲート		1	門	φ500	1990(平成2)年12月20日
571	No. 3-10-3 終沈流入ゲート		1	門	φ500	1990(平成2)年12月20日
572	No. 3-11-1 終沈流入ゲート		1	門	φ500	1998(平成10)年02月25日
573	No. 3-11-2 終沈流入ゲート		1	門	φ500	1998(平成10)年02月25日
574	No. 3-11-3 終沈流入ゲート		1	門	φ500	1998(平成10)年02月25日
575	No. 3-12-1 終沈流入ゲート		1	門	φ500	1998(平成10)年02月25日
576	No. 3-12-2 終沈流入ゲート		1	門	φ500	1998(平成10)年02月25日
577	No. 3-12-3 終沈流入ゲート		1	門	φ500	1998(平成10)年02月25日
578	No. 17 初沈流出可動堰		1	門	W500mm×H650mm	1990(平成2)年12月20日
579	No. 18 初沈流出可動堰		1	門	W500mm×H650mm	1990(平成2)年12月20日
580	No. 19 初沈流出可動堰		1	門	W500mm×H650mm	1990(平成2)年12月20日
581	No. 20 初沈流出可動堰		1	門	W500mm×H650mm	1990(平成2)年12月20日
582	No. 21 初沈流出可動堰		1	門	W500mm×H650mm	1998(平成10)年02月25日
583	No. 22 初沈流出可動堰		1	門	W500mm×H650mm	1998(平成10)年02月25日
584	No. 23 初沈流出可動堰		1	門	W500mm×H650mm	1998(平成10)年02月25日
585	No. 24 初沈流出可動堰		1	門	W500mm×H650mm	1998(平成10)年02月25日
586	No. 2 沈殿放流可動堰		1	門	W1200mm×H600mm	1978(昭和53)年03月30日
587	No. 9 反応タンク流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	1990(平成2)年12月20日
588	No. 10 反応タンク流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	1990(平成2)年12月20日
589	No. 11 反応タンク流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	1998(平成10)年02月25日
590	No. 12 反応タンク流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	1998(平成10)年02月25日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
591	No. 17-1 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1990(平成2)年12月20日
592	No. 17-2 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1990(平成2)年12月20日
593	No. 17-3 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1990(平成2)年12月20日
594	No. 17-4 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1990(平成2)年12月20日
595	No. 17-5 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1990(平成2)年12月20日
596	No. 18-1 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1990(平成2)年12月20日
597	No. 18-2 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1990(平成2)年12月20日
598	No. 18-3 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1990(平成2)年12月20日
599	No. 18-4 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1990(平成2)年12月20日
600	No. 18-5 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1990(平成2)年12月20日
601	No. 19-1 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1990(平成2)年12月20日
602	No. 19-2 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1990(平成2)年12月20日
603	No. 19-3 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1990(平成2)年12月20日
604	No. 19-4 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1990(平成2)年12月20日
605	No. 19-5 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1990(平成2)年12月20日
606	No. 20-1 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1990(平成2)年12月20日
607	No. 20-2 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1990(平成2)年12月20日
608	No. 20-3 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1990(平成2)年12月20日
609	No. 20-4 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1990(平成2)年12月20日
610	No. 20-5 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1990(平成2)年12月20日
611	No. 21-1 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1998(平成10)年02月25日
612	No. 21-2 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1998(平成10)年02月25日
613	No. 21-3 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1998(平成10)年02月25日
614	No. 21-4 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1998(平成10)年02月25日
615	No. 21-5 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1998(平成10)年02月25日
616	No. 22-1 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1998(平成10)年02月25日
617	No. 22-2 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1998(平成10)年02月25日
618	No. 22-3 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1998(平成10)年02月25日
619	No. 22-4 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1998(平成10)年02月25日
620	No. 22-5 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1998(平成10)年02月25日
621	No. 23-1 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1998(平成10)年02月25日
622	No. 23-2 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1998(平成10)年02月25日
623	No. 23-3 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1998(平成10)年02月25日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
624	No. 23-4 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1998(平成10)年02月25日
625	No. 23-5 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1998(平成10)年02月25日
626	No. 24-1 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1998(平成10)年02月25日
627	No. 24-2 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1998(平成10)年02月25日
628	No. 24-3 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1998(平成10)年02月25日
629	No. 24-4 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1998(平成10)年02月25日
630	No. 24-5 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	1998(平成10)年02月25日
631	No. 17 返送汚泥流入可動堰		1	門	W600mm×H300mm	1990(平成2)年12月20日
632	No. 18 返送汚泥流入可動堰		1	門	W600mm×H300mm	1990(平成2)年12月20日
633	No. 19 返送汚泥流入可動堰		1	門	W600mm×H300mm	1990(平成2)年12月20日
634	No. 20 返送汚泥流入可動堰		1	門	W600mm×H300mm	1990(平成2)年12月20日
635	No. 21 返送汚泥流入可動堰		1	門	W600mm×H300mm	1998(平成10)年02月25日
636	No. 22 返送汚泥流入可動堰		1	門	W600mm×H300mm	1998(平成10)年02月25日
637	No. 23 返送汚泥流入可動堰		1	門	W600mm×H300mm	1998(平成10)年02月25日
638	No. 24 返送汚泥流入可動堰		1	門	W600mm×H300mm	1998(平成10)年02月25日
639	3系脱臭ファン	シロッコファン	1	台	153m ³ /min、1.5kPa	2005(平成17)年03月17日
640	3系薬液洗浄装置	薬液洗浄ユニット	1	式	横型気液接触スクリーン式(2層式)FRP製	2005(平成17)年03月17日
641	No. 3-1 終沈配管ピット排水ポンプ		1	台	φ50	
642	No. 3-2 終沈配管ピット排水ポンプ		1	台	φ50	
643	3系初沈池排水ポンプ		1	台	φ100×1.3m ³ /min×9m	1990(平成2)年12月20日
644	No. 3-1 初沈床排水ポンプ		1	台	φ50×0.3m ³ /min×13m	1990(平成2)年12月20日
645	No. 3-2 初沈床排水ポンプ		1	台	φ50×0.3m ³ /min×13m	1990(平成2)年12月20日
646	No. 1 エリアル終沈床排水ポンプ		1	台	φ50×0.3m ³ /min×11m	1990(平成2)年12月20日
647	No. 2 エリアル終沈床排水ポンプ		1	台	φ50×0.3m ³ /min×11m	1990(平成2)年12月20日
648	3系終沈池排水ポンプ	無閉塞型汚泥ポンプ	1	台	φ150×2.0m ³ /min×7m	1990(平成2)年12月20日
649	No. 3 終沈床排水ポンプ		1	台	φ50×0.3m ³ /min×11m	1990(平成2)年12月20日
650	No. 4 終沈床排水ポンプ		1	台	φ50×0.3m ³ /min×11m	1990(平成2)年12月20日
651	汚泥引抜管増設弁		1	台	φ450	1990(平成2)年12月20日
652	No. 1 生汚泥切替弁		1	台	φ200	
653	No. 2 生汚泥切替弁		1	台	φ200	
654	No. 9 汚泥引抜弁		1	台	φ300	1990(平成2)年12月20日
655	No. 10 汚泥引抜弁		1	台	φ300	1990(平成2)年12月20日
656	No. 11 汚泥引抜弁		1	台	φ300	1996(平成8)年
657	No. 12 汚泥引抜弁		1	台	φ300	1996(平成8)年
658	No. 17 風量調節弁		1	台	φ250	
659	No. 18 風量調節弁		1	台	φ250	
660	No. 19 風量調節弁		1	台	φ250	
661	No. 20 風量調節弁		1	台	φ250	
662	No. 21 風量調節弁		1	台	φ250	
663	No. 22 風量調節弁		1	台	φ250	
664	No. 23 風量調節弁		1	台	φ250	
665	No. 24 風量調節弁		1	台	φ250	
666	No. 4-1 初沈クロスコレクター		1	基	幅 4000mm×長 8600mm×深 3585mm×0.6m/min	2005(平成17)年03月17日
667	No. 4-2 初沈クロスコレクター		1	基	幅 4000mm×長 8600mm×深 3585mm×0.6m/min	2005(平成17)年03月17日
668	No. 4-1 初沈メインコレクター		1	基	幅 4000mm×長 18800mm×深 3210mm×0.6m/min	2005(平成17)年03月17日
669	No. 4-2 初沈メインコレクター		1	基	幅 4000mm×長 18800mm×深 3210mm×0.6m/min	2005(平成17)年03月17日
670	No. 4-1 初沈スカムスキマ		1	基	φ300mm×3700mm	2005(平成17)年03月17日
671	No. 4-2 初沈スカムスキマ		1	基	φ300mm×3700mm	2005(平成17)年03月17日
672	No. 4-3 初沈スカムスキマ		1	基	φ300mm×3700mm	2005(平成17)年03月17日
673	No. 4-4 初沈スカムスキマ		1	基	φ300mm×3700mm	2005(平成17)年03月17日
674	No. 4-5 初沈スカムスキマ		1	基	φ300mm×3700mm	2005(平成17)年03月17日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
675	No. 4-6 初沈スカムスキマ		1	基	φ300mm×3700mm	2005(平成17)年03月17日
676	No. 4-1 生汚泥ポンプ		1	台	φ100×1.0m ³ /min×26m	2005(平成17)年03月17日
677	No. 4-2 生汚泥ポンプ		1	台	φ100×1.0m ³ /min×26m	2005(平成17)年03月17日
678	No. 4-1 機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量2.2m ³ /min	2005(平成17)年03月17日
679	No. 4-2 機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量2.2m ³ /min	2005(平成17)年03月17日
680	No. 4-3 機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量2.2m ³ /min	2005(平成17)年03月17日
681	No. 4-4 機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量2.2m ³ /min	2005(平成17)年03月17日
682	No. 4-5 機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量2.2m ³ /min	2005(平成17)年03月17日
683	No. 4-6 機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量2.2m ³ /min	2005(平成17)年03月17日
684	No. 4-7 機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量2.2m ³ /min	2005(平成17)年03月17日
685	No. 4-8 機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量2.2m ³ /min	2005(平成17)年03月17日
686	No. 4-9 機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量2.2m ³ /min	2008(平成20)年03月14日
687	No. 4-10 機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量2.2m ³ /min	2008(平成20)年03月14日
688	No. 4-11 機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量2.2m ³ /min	2008(平成20)年03月14日
689	No. 4-12 機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量2.2m ³ /min	2008(平成20)年03月14日
690	No. 4-13 機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量2.2m ³ /min	2008(平成20)年03月14日
691	No. 4-14 機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量2.2m ³ /min	2008(平成20)年03月14日
692	No. 4-15 機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量2.2m ³ /min	2008(平成20)年03月14日
693	No. 4-16 機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量2.2m ³ /min	2008(平成20)年03月14日
694	No. 4-1 散気装置	超微細起泡用散気板	1	式	必要酸素供給量 1332kgO ₂ /日・池	2005(平成17)年03月17日
695	No. 4-2 散気装置	超微細起泡用散気板	1	式	必要酸素供給量 1332kgO ₂ /日・池	2005(平成17)年03月17日
696	No. 4-3 散気装置	超微細起泡用散気板	1	式	必要酸素供給量 1332kgO ₂ /日・池	2005(平成17)年03月17日
697	No. 4-4 散気装置	超微細起泡用散気板	1	式	必要酸素供給量 1332kgO ₂ /日・池	2005(平成17)年03月17日
698	No. 4-5 散気装置	超微細起泡用散気板	1	式	必要酸素供給量 1332kgO ₂ /日・池	2008(平成20)年03月14日
699	No. 4-6 散気装置	超微細起泡用散気板	1	式	必要酸素供給量 1332kgO ₂ /日・池	2008(平成20)年03月14日
700	No. 4-7 散気装置	超微細起泡用散気板	1	式	必要酸素供給量 1332kgO ₂ /日・池	2008(平成20)年03月14日
701	No. 4-8 散気装置	超微細起泡用散気板	1	式	必要酸素供給量 1332kgO ₂ /日・池	2008(平成20)年03月14日
702	4系終沈空気槽		1	基	95L	2004(平成16)年05月
703	No. 4-1 空気圧縮機	往復式空気圧縮機	1	台	405L/min、0.93MPa	2005(平成17)年03月17日
704	No. 4-2 空気圧縮機	往復式空気圧縮機	1	台	405L/min、0.93MPa	2005(平成17)年03月17日
705	No. 4-1 終沈クロスコレクター		1	基	幅4000mm×長8600mm× 深4910mm×0.3m/min	2005(平成17)年03月17日
706	No. 4-2 終沈クロスコレクター		1	基	幅4000mm×長8600mm× 深4910mm×0.3m/min	2005(平成17)年03月17日
707	No. 4-3 終沈クロスコレクター		1	基	幅4000mm×長8600mm× 深4910mm×0.3m/min	2008(平成20)年03月14日
708	No. 4-4 終沈クロスコレクター		1	基	幅4000mm×長8600mm× 深4910mm×0.3m/min	2008(平成20)年03月14日
709	No. 4-1 終沈メインコレクター		1	基	幅4000mm×長30000mm× 深3210mm×0.3m/min	2005(平成17)年03月17日
710	No. 4-2 終沈メインコレクター		1	基	幅4000mm×長30000mm× 深3210mm×0.3m/min	2005(平成17)年03月17日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
711	No. 4-3 終沈メインコレクター		1	基	幅 4000mm×長 30000mm× 深 3210mm×0.3m/min	2008(平成 20)年 03 月 14 日
712	No. 4-4 終沈メインコレクター		1	基	幅 4000mm×長 30000mm× 深 3210mm×0.3m/min	2008(平成 20)年 03 月 14 日
713	No. 4-1 終沈スカムスキマ		1	基	φ300×4000mm	2005(平成 17)年 03 月 17 日
714	No. 4-2 終沈スカムスキマ		1	基	φ300×4000mm	2005(平成 17)年 03 月 17 日
715	No. 4-3 終沈スカムスキマ		1	基	φ300×3200mm	2005(平成 17)年 03 月 17 日
716	No. 4-4 終沈スカムスキマ		1	基	φ300×3200mm	2005(平成 17)年 03 月 17 日
717	No. 4-5 終沈スカムスキマ		1	基	φ300×4000mm	2005(平成 17)年 03 月 17 日
718	No. 4-6 終沈スカムスキマ		1	基	φ300×4000mm	2005(平成 17)年 03 月 17 日
719	No. 4-7 終沈スカムスキマ		1	基	φ300×4000mm	2008(平成 20)年 03 月 14 日
720	No. 4-8 終沈スカムスキマ		1	基	φ300×4000mm	2008(平成 20)年 03 月 14 日
721	No. 4-9 終沈スカムスキマ		1	基	φ300×3200mm	2008(平成 20)年 03 月 14 日
722	No. 4-10 終沈スカムスキマ		1	基	φ300×3200mm	2008(平成 20)年 03 月 14 日
723	No. 4-11 終沈スカムスキマ		1	基	φ300×4000mm	2008(平成 20)年 03 月 14 日
724	No. 4-12 終沈スカムスキマ		1	基	φ300×4000mm	2008(平成 20)年 03 月 14 日
725	No. 4-1 返送汚泥ポンプ		1	台	φ250×9.0m ³ /min×7m	2005(平成 17)年 03 月 17 日
726	No. 4-2 返送汚泥ポンプ		1	台	φ250×9.0m ³ /min×7m	2005(平成 17)年 03 月 17 日
727	No. 4-3 返送汚泥ポンプ		1	台	φ250×9.0m ³ /min×7m	2008(平成 20)年 03 月 14 日
728	No. 4-4 返送汚泥ポンプ		1	台	φ250×9.0m ³ /min×7m	2008(平成 20)年 03 月 14 日
729	No. 4-1 余剰汚泥ポンプ		1	台	φ100×1.0m ³ /min×15m	2005(平成 17)年 03 月 17 日
730	No. 4-2 余剰汚泥ポンプ		1	台	φ100×1.0m ³ /min×15m	2005(平成 17)年 03 月 17 日
731	3 系 4 系水処理次亜塩素酸ソーダ貯留タンク		1	基	1.2m ³	2005(平成 17)年 03 月 17 日
732	3 系 4 系水処理苛性ソーダ貯留タンク		1	基	1.2m ³	2005(平成 17)年 03 月 17 日
733	3 系次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ		1	台	0.305L/min×0.5MPa	2005(平成 17)年 03 月 17 日
734	4 系次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ		1	台	0.305L/min×0.5MPa	2005(平成 17)年 03 月 17 日
735	共通予備次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ		1	台	0.305L/min×0.5MPa	2005(平成 17)年 03 月 17 日
736	3 系苛性ソーダ注入ポンプ		1	台	0.305L/min×0.5MPa	2005(平成 17)年 03 月 17 日
737	4 系苛性ソーダ注入ポンプ		1	台	0.305L/min×0.5MPa	2005(平成 17)年 03 月 17 日
738	共通予備苛性ソーダ注入ポンプ		1	台	0.305L/min×0.5MPa	2005(平成 17)年 03 月 17 日
739	No. 4-1-1 終沈流入ゲート		1	門	φ500	2005(平成 17)年 03 月 17 日
740	No. 4-1-2 終沈流入ゲート		1	門	φ500	2005(平成 17)年 03 月 17 日
741	No. 4-1-3 終沈流入ゲート		1	門	φ500	2005(平成 17)年 03 月 17 日
742	No. 4-2-1 終沈流入ゲート		1	門	φ500	2005(平成 17)年 03 月 17 日
743	No. 4-2-2 終沈流入ゲート		1	門	φ500	2005(平成 17)年 03 月 17 日
744	No. 4-2-3 終沈流入ゲート		1	門	φ500	2005(平成 17)年 03 月 17 日
745	No. 4-3-1 終沈流入ゲート		1	門	φ500	2005(平成 17)年 03 月 17 日
746	No. 4-3-2 終沈流入ゲート		1	門	φ500	2005(平成 17)年 03 月 17 日
747	No. 4-3-3 終沈流入ゲート		1	門	φ500	2005(平成 17)年 03 月 17 日
748	No. 4-4-1 終沈流入ゲート		1	門	φ500	2005(平成 17)年 03 月 17 日
749	No. 4-4-2 終沈流入ゲート		1	門	φ500	2005(平成 17)年 03 月 17 日
750	No. 4-4-3 終沈流入ゲート		1	門	φ500	2005(平成 17)年 03 月 17 日
751	No. 4-1 初沈流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2005(平成 17)年 03 月 17 日
752	No. 4-2 初沈流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2005(平成 17)年 03 月 17 日
753	No. 4-3 初沈流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2005(平成 17)年 03 月 17 日
754	No. 4-4 初沈流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2005(平成 17)年 03 月 17 日
755	No. 4-5 初沈流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2005(平成 17)年 03 月 17 日
756	No. 4-6 初沈流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2005(平成 17)年 03 月 17 日
757	No. 4-7 初沈流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2005(平成 17)年 03 月 17 日
758	No. 4-8 初沈流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2005(平成 17)年 03 月 17 日
759	No. 4-9 初沈流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2005(平成 17)年 03 月 17 日
760	No. 4-10 初沈流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2005(平成 17)年 03 月 17 日
761	No. 4-11 初沈流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2005(平成 17)年 03 月 17 日
762	No. 4-12 初沈流入可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2005(平成 17)年 03 月 17 日
763	No. 4-1 反応タンク流入可動堰		1	門	W450mm×H600mm	2005(平成 17)年 03 月 17 日
764	No. 4-2 反応タンク流入可動堰		1	門	W450mm×H600mm	2005(平成 17)年 03 月 17 日
765	No. 4-3 反応タンク流入可動堰		1	門	W450mm×H600mm	2005(平成 17)年 03 月 17 日
766	No. 4-4 反応タンク流入可動堰		1	門	W450mm×H600mm	2005(平成 17)年 03 月 17 日
767	No. 4-5 反応タンク流入可動堰		1	門	W450mm×H600mm	2005(平成 17)年 03 月 17 日
768	No. 4-6 反応タンク流入可動堰		1	門	W450mm×H600mm	2005(平成 17)年 03 月 17 日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
769	No. 4-7 反応タンク流入可動堰		1	門	W450mm×H600mm	2005(平成17)年03月17日
770	No. 4-8 反応タンク流入可動堰		1	門	W450mm×H600mm	2005(平成17)年03月17日
771	No. 4-1-1 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2005(平成17)年03月17日
772	No. 4-1-2 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2005(平成17)年03月17日
773	No. 4-2-1 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2005(平成17)年03月17日
774	No. 4-2-2 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2005(平成17)年03月17日
775	No. 4-3-1 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2005(平成17)年03月17日
776	No. 4-3-2 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2005(平成17)年03月17日
777	No. 4-4-1 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2005(平成17)年03月17日
778	No. 4-4-2 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2005(平成17)年03月17日
779	No. 4-5-1 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2008(平成20)年03月14日
780	No. 4-5-2 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2008(平成20)年03月14日
781	No. 4-6-1 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2008(平成20)年03月14日
782	No. 4-6-2 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2008(平成20)年03月14日
783	No. 4-7-1 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2008(平成20)年03月14日
784	No. 4-7-2 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2008(平成20)年03月14日
785	No. 4-8-1 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2008(平成20)年03月14日
786	No. 4-8-2 反応タンク流入水路可動堰		1	門	W400mm×H300mm	2008(平成20)年03月14日
787	No. 4-1 返送汚泥流入可動堰		1	門	W600mm×H450mm	2005(平成17)年03月17日
788	No. 4-2 返送汚泥流入可動堰		1	門	W600mm×H450mm	2005(平成17)年03月17日
789	No. 4-3 返送汚泥流入可動堰		1	門	W600mm×H450mm	2005(平成17)年03月17日
790	No. 4-4 返送汚泥流入可動堰		1	門	W600mm×H450mm	2005(平成17)年03月17日
791	No. 4-5 返送汚泥流入可動堰		1	門	W600mm×H450mm	2005(平成17)年03月17日
792	No. 4-6 返送汚泥流入可動堰		1	門	W600mm×H450mm	2005(平成17)年03月17日
793	No. 4-7 返送汚泥流入可動堰		1	門	W600mm×H450mm	2005(平成17)年03月17日
794	No. 4-8 返送汚泥流入可動堰		1	門	W600mm×H450mm	2005(平成17)年03月17日
795	4系薬液洗浄装置	薬液洗浄ユニット	1	式	横型気液接触スクリーン式(2層式)FRP製	2005(平成17)年03月17日
796	4系脱臭ファン	シロッコファン	1	台	153m ³ /min、1.5kPa	2005(平成17)年03月17日
797	4系初沈機器搬入用吊上装置		1	台	1t	2005(平成17)年03月17日
798	No. 4-1 機械攪拌機吊上装置	ギヤードトロリ付電動チェンブロック	1	台	0.5t	2005(平成17)年03月17日
799	No. 4-2 機械攪拌機吊上装置	ギヤードトロリ付電動チェンブロック	1	台	0.5t	2005(平成17)年03月17日
800	4系終沈機器搬入用吊上装置		1	台	2t	
801	No. 4-1 初沈床排水ポンプ		1	台	φ65×0.3m ³ /min×13m	2005(平成17)年03月17日
802	No. 4-2 初沈床排水ポンプ		1	台	φ65×0.3m ³ /min×13m	2005(平成17)年03月17日
803	No. 4-1 終沈床排水ポンプ		1	台	φ65×0.3m ³ /min×14m	2005(平成17)年03月17日
804	No. 4-2 終沈床排水ポンプ		1	台	φ65×0.3m ³ /min×14m	2005(平成17)年03月17日
805	4系終沈池排水ポンプ		1	台	φ150×2.0m ³ /min×11m	2005(平成17)年03月17日
806	4系返送汚泥流量計入口弁		1	台	φ500	2005(平成17)年03月17日
807	4系返送汚泥流量計出口弁		1	台	φ500	2005(平成17)年03月17日
808	No. 4-1 終沈汚泥引抜元弁		1	台	φ450	2003(平成15)年
809	No. 4-2 終沈汚泥引抜元弁		1	台	φ450	2003(平成15)年
810	No. 4-3 終沈汚泥引抜元弁		1	台	φ450	
811	No. 4-4 終沈汚泥引抜元弁		1	台	φ450	
812	4系終沈汚泥引抜管増設弁		1	台	φ600	2005(平成17)年03月17日
813	No. 4-1 生汚泥引抜弁		1	台	φ200	2005(平成17)年03月17日
814	No. 4-2 生汚泥引抜弁		1	台	φ200	2005(平成17)年03月17日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
815	No. 4 初沈送り弁		1	台	φ200	2005(平成17)年03月17日
816	No. 4 初沈戻し弁		1	台	φ200	2005(平成17)年03月17日
817	No. 4-1 終沈汚泥引抜弁		1	台	φ450	2005(平成17)年03月17日
818	No. 4-2 終沈汚泥引抜弁		1	台	φ450	2005(平成17)年03月17日
819	No. 4-3 終沈汚泥引抜弁		1	台	φ450	2005(平成17)年03月17日
820	No. 4-4 終沈汚泥引抜弁		1	台	φ450	2005(平成17)年03月17日
821	No. 4-1 風量調節弁	空気作動式バタフライ弁	1	台	φ250	
822	No. 4-2 風量調節弁	空気作動式バタフライ弁	1	台	φ250	
823	No. 4-3 風量調節弁	空気作動式バタフライ弁	1	台	φ250	
824	No. 4-4 風量調節弁	空気作動式バタフライ弁	1	台	φ250	
825	No. 4-5 風量調節弁	空気作動式バタフライ弁	1	台	φ250	
826	No. 4-6 風量調節弁	空気作動式バタフライ弁	1	台	φ250	
827	No. 4-7 風量調節弁	空気作動式バタフライ弁	1	台	φ250	2008(平成20)年03月14日
828	No. 4-8 風量調節弁	空気作動式バタフライ弁	1	台	φ250	
835	No. 2 スカム分離機用コンテナ	移動式コンテナ	1	台	0.2m3	
836	No. 3 スカム分離機用コンテナ	移動式コンテナ	1	台	0.2m3	
841	No. 1 原水用ストレーナ	自動給水装置	1	基	1.1m3/min	2006(平成18)年12月15日
842	No. 2 原水用ストレーナ	自動給水装置	1	基	1.1m3/min	2006(平成18)年12月15日
843	No. 3 原水用ストレーナ	自動給水装置	1	基	1.1m3/min	2006(平成18)年12月15日
844	No. 4 原水用ストレーナ	自動給水装置	1	基	1.1m3/min	2006(平成18)年12月15日
845	No. 1 砂ろ過器	移床式上向流連続式	1	基	ろ過速度 300m/日	2006(平成18)年12月15日
846	No. 2 砂ろ過器	移床式上向流連続式	1	基	ろ過速度 300m/日	2006(平成18)年12月15日
847	No. 3 砂ろ過器	移床式上向流連続式	1	基	ろ過速度 300m/日	2006(平成18)年12月15日
848	No. 4 砂ろ過器	移床式上向流連続式	1	基	ろ過速度 300m/日	2006(平成18)年12月15日
849	砂ろ過用空気タンク		1	基	150L	2006(平成18)年02月
850	No. 1 砂ろ過用空気圧縮機	往復式空気圧縮機	1	台	875L/min、0.85MPa	
851	No. 2 砂ろ過用空気圧縮機	往復式空気圧縮機	1	台	875L/min、0.85MPa	
852	No. 1 原水ポンプ		1	台	φ100×1.1m3/min×16m	2006(平成18)年12月15日
853	No. 2 原水ポンプ		1	台	φ100×1.1m3/min×16m	2006(平成18)年12月15日
854	No. 3 原水ポンプ		1	台	φ100×1.1m3/min×16m	2006(平成18)年12月15日
855	No. 4 原水ポンプ		1	台	φ100×1.1m3/min×16m	2006(平成18)年12月15日
856	No. 1 ろ過水移送ポンプ		1	台	φ200×4.7m3/min×15m	2006(平成18)年12月15日
857	No. 2 ろ過水移送ポンプ		1	台	φ200×4.7m3/min×15m	2006(平成18)年12月15日
858	No. 1 原水槽流入ゲート		1	門	φ200	2006(平成18)年12月15日
859	No. 2 原水槽流入ゲート		1	門	φ200	2006(平成18)年12月15日
860	原水槽連通ゲート		1	門	W400mm×H400mm	2006(平成18)年12月15日
861	ろ過水槽連通ゲート		1	門	W400mm×H400mm	2006(平成18)年12月15日
862	ろ過水切替弁		1	台	φ250	
863	塩素混和池流入ゲート	外ネジ式铸铁製電動制水扉	1	門	W1800mm×H1800mm	1978(昭和53)年02月
864	塩素混和池バイパスゲート	外ネジ式铸铁製電動制水扉	1	門	W2400mm×H2400mm	1978(昭和53)年02月
865	放流ゲート	二連式手動ゲート	1	門		
866	放流バイパスゲート		1	門		
867	オイルサービスタンク		1	基	1000m3	
871	No. 2-2 汚泥循環ポンプ	無閉塞型汚泥ポンプ	1	台	φ100×0.9m3/min×15m	1991(平成3)年03月30日
872	No. 2-3 汚泥循環ポンプ	無閉塞型汚泥ポンプ	1	台	φ100×0.9m3/min×15m	1991(平成3)年03月30日
873	貯留汚泥移送ポンプ	無閉塞型汚泥ポンプ	1	台	φ100×1.0m3/min×10m	2003(平成15)年03月14日
874	2系消化汚泥圧送ポンプ	無閉塞型汚泥ポンプ	1	台	φ100×1.0m3/min×22m	1991(平成3)年03月30日
877	No. 1 貯留タンク攪拌ポンプ	無閉塞型汚泥ポンプ	1	台	φ200×6m3/min×10m	2003(平成15)年03月14日
878	No. 2 貯留タンク攪拌ポンプ	無閉塞型汚泥ポンプ	1	台	φ200×6m3/min×10m	2003(平成15)年03月14日
879	1系ガス昇圧ブロウ		1	台	風量 138Nm3/h	2002(平成14)年02月
880	2系ガス昇圧ブロウ		1	台	風量 158Nm3/h	2011(平成23)年12月
881	予備ガス昇圧ブロウ		1	台	風量 138Nm3/h	2002(平成14)年02月
882	1系温水ヒータ	横形炉筒煙管式温水ヒータ	1	台	伝熱面積 17.5m2	2003(平成15)年03月14日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
883	2系温水ヒータ	横形炉筒煙管式温水ヒータ	1	台	伝熱面積 18.1m ²	2012(平成24)年02月29日
884	予備温水ヒータ	横形炉筒煙管式温水ヒータ	1	台	伝熱面積 17.5m ²	2003(平成15)年03月14日
885	1系膨張タンク		1	基		
886	2系膨張タンク		1	基		
887	予備膨張タンク		1	基		
888	1-1 汚泥熱交換器	熱交換器	1	台	16m ²	2003(平成15)年03月14日
889	1-2 汚泥熱交換器	熱交換器	1	台	16m ²	2003(平成15)年03月14日
890	2-3 汚泥熱交換器	熱交換器	1	台	伝熱面積: 約 16m ²	1991(平成3)年03月30日
891	2-2 汚泥熱交換器	熱交換器	1	台	伝熱面積: 約 16m ²	1991(平成3)年03月30日
892	No. 1-1 空気圧縮機	往復式空気圧縮機	1	台	240L/min	2003(平成15)年03月14日
893	No. 1-2 空気圧縮機	往復式空気圧縮機	1	台	240L/min	2003(平成15)年03月14日
894	2系計装用コンプレッサーNo. 1	往復式空気圧縮機	1	台	235L/min、8.5kgf/cm ²	1991(平成3)年03月30日
895	2系計装用コンプレッサーNo. 2	往復式空気圧縮機	1	台	235L/min、8.5kgf/cm ²	1991(平成3)年03月30日
896	2系消化タンク除湿器	冷凍式	1	台	235L/min	1991(平成3)年03月30日
897	機器搬入用吊上機	可搬式電動チェンブ ロック	1	台	1t	1991(平成3)年
898	No. 1-1 温水循環ポンプ	ラインポンプ	1	台	φ65×0.5m ³ /min×28m	2003(平成15)年03月14日
899	No. 1-2 温水循環ポンプ	ラインポンプ	1	台	φ65×0.5m ³ /min×28m	2003(平成15)年03月14日
900	No. 1-3 温水循環ポンプ	ラインポンプ	1	台	φ65×0.5m ³ /min×28m	2003(平成15)年03月14日
901	No. 2-2 温水循環ポンプ	ラインポンプ	1	台	φ65×0.5m ³ /min×30m	1991(平成3)年03月30日
902	No. 2-3 温水循環ポンプ	ラインポンプ	1	台	φ65×0.5m ³ /min×30m	1991(平成3)年03月30日
903	一次雑用水加圧ポンプ	ラインポンプ	1	台	φ65×0.5m ³ /min×30m	2003(平成15)年03月14日
904	二次雑用水加圧ポンプ	ラインポンプ	1	台	φ65×0.5m ³ /min×30m	1991(平成3)年03月30日
905	9-1 貯留汚泥引抜切替弁		1	台	φ200	2003(平成15)年03月14日
906	9-2 貯留汚泥引抜切替弁		1	台	φ200	2003(平成15)年03月14日
907	10 貯留汚泥移送切替弁		1	台	φ150	2003(平成15)年03月14日
908	No. 1 濃縮汚泥移送弁	空気作動偏心構造弁	1	台	φ200	2003(平成15)年03月14日
909	No. 2 濃縮汚泥移送弁	空気作動偏心構造弁	1	台	φ200	2003(平成15)年03月14日
910	No. 1-1 温度調節弁		1	台	φ100	2002(平成14)年03月
911	No. 1-2 温度調節弁		1	台	φ100	2007(平成19)年12月
912	No. 2-2 温度調節弁		1	台	φ100	1991(平成3)年01月
913	No. 2-3 温度調節弁		1	台	φ100	1991(平成3)年01月
914	No. 1-1 消化汚泥引抜弁	空気作動式偏心構造弁	1	台	φ200	2003(平成15)年03月14日
915	No. 1-2 消化汚泥引抜弁	空気作動式偏心構造弁	1	台	φ200	2003(平成15)年03月14日
916	No. 2-2 消化汚泥引抜弁	空気作動式偏心構造弁	1	台	φ200	1991(平成3)年03月30日
917	No. 2-3 消化汚泥引抜弁	空気作動式偏心構造弁	1	台	φ200	1991(平成3)年03月30日
918	No. 1-1 循環汚泥引抜弁	空気作動式偏心構造弁	1	台	φ200	2003(平成15)年03月14日
919	No. 1-2 循環汚泥引抜弁	空気作動式偏心構造弁	1	台	φ200	2003(平成15)年03月14日
920	No. 2-2 循環汚泥引抜弁	空気作動式偏心構造弁	1	台	φ200	1991(平成3)年03月30日
921	No. 2-3 循環汚泥引抜弁	空気作動式偏心構造弁	1	台	φ200	1991(平成3)年03月30日
922	1系濃縮汚泥切替弁	空気作動式偏心構造弁	1	台	φ200	
923	2系濃縮汚泥切替弁	空気作動式偏心構造弁	1	台	φ200	
924	No. 2-2 濃縮汚泥移送弁	空気作動式偏心構造弁	1	台	φ200	
925	No. 2-3 濃縮汚泥移送弁	空気作動式偏心構造弁	1	台	φ200	
926	No. 2-2 一次消化汚泥移送弁	空気作動式偏心構造弁	1	台	φ250	1991(平成3)年03月30日
927	貯留汚泥引抜弁	空気作動式偏心構造弁	1	台	φ200	2003(平成15)年03月14日
928	消化汚泥緊急遮断弁	空気作動式偏心構造弁	1	台	φ200	
929	No. 1 エリア Q床排水ポンプ		1	台	φ65×0.3m ³ /min×12m	2003(平成15)年03月14日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
930	No. 2 エリア Q 床排水ポンプ		1	台	φ65×0.3m ³ /min×12m	2003(平成15)年03月14日
931	No. 1-1 センタードーム	センタードーム	1	基	円形ガスドーム	2003(平成15)年03月14日
934	No. 1-1 セジメントトラップ	セジメントトラップ	1	台	φ150	2003(平成15)年03月14日
935	No. 1-1 消化タンク攪拌機	機械攪拌式	1	台	22000m ³ /h	2003(平成15)年03月14日
936	No. 1-1 スカム排出弁		1	台	φ300	1991(平成3)年03月30日
937	No. 1-1 消化タンク投入弁 A		1	台	φ200	2003(平成15)年03月14日
938	No. 1-1 消化タンク投入弁 B		1	台	φ200	2003(平成15)年03月14日
939	No. 1-1 消化汚泥引抜テレスコープ弁	電動テレスコープ弁	1	台	φ200	2003(平成15)年03月14日
940	No. 1-2 センタードーム	センタードーム	1	基	円形ガスドーム	2003(平成15)年03月14日
941	No. 1-2-1 安全弁	機械式安全弁	1	台	φ150	2003(平成15)年03月14日
942	No. 1-2-2 安全弁	機械式安全弁	1	台	φ150	2003(平成15)年03月14日
943	No. 1-2 セジメントトラップ	セジメントトラップ	1	台	φ150	2003(平成15)年03月14日
944	No. 1-2 消化タンク攪拌機	機械攪拌式	1	台	22000m ³ /h	2003(平成15)年03月14日
945	No. 1-2 スカム排出弁		1	台	φ300	1991(平成3)年03月30日
946	No. 1-2 消化タンク投入弁 B		1	台	φ200	2003(平成15)年03月14日
947	No. 1-2 消化タンク投入弁 A		1	台	φ200	2003(平成15)年03月14日
948	No. 1-2 消化汚泥引抜テレスコープ弁	電動テレスコープ弁	1	台	φ200	2003(平成15)年03月14日
949	No. 2-2 湿式安全弁	湿式安全弁	1	台	φ200	
951	No. 2-2 消化タンク攪拌機	上下向流式スクリー ー形攪拌機	1	台	攪拌容量 2000m ³ /h	1991(平成3)年03月30日
952	No. 2-2 スカム排出弁		1	台	φ300	2003(平成15)年03月14日
953	No. 2-2(下) 消化タンク汚泥投入 弁		1	台	φ200	1991(平成3)年03月30日
954	No. 2-2(上) 消化タンク汚泥投入 弁		1	台	φ200	1991(平成3)年03月30日
955	No. 2-2(下) 消化汚泥引抜テレス コープ弁	電動テレスコープ弁	1	台	φ200	1991(平成3)年03月30日
956	No. 2-2(上) 消化汚泥引抜テレス コープ弁	電動テレスコープ弁	1	台	φ200	1991(平成3)年03月30日
957	No. 2-3 湿式安全弁	湿式安全弁	1	台	φ200	
959	No. 2-3 消化タンク攪拌機	上下向流式スクリー ー形攪拌機	1	台	攪拌容量 2000m ³ /h	1991(平成3)年03月30日
960	No. 2-3 スカム排出弁		1	台	φ300	2003(平成15)年03月14日
961	No. 2-3(下) 消化タンク汚泥投入 弁		1	台	φ200	1991(平成3)年03月30日
962	No. 2-3(上) 消化タンク汚泥投入 弁		1	台	φ200	1991(平成3)年03月30日
963	No. 2-3(下) 消化汚泥引抜テレス コープ弁	電動テレスコープ弁	1	台	φ200	1991(平成3)年03月30日
964	No. 2-3(上) 消化汚泥引抜テレス コープ弁	電動テレスコープ弁	1	台	φ200	1991(平成3)年03月30日
965	No. 2-3 脱離液引抜テレスコー プ弁	電動テレスコープ弁	1	台	φ200	1991(平成3)年03月30日
966	汚泥貯留槽センタードーム	センタードーム	1	基	センタードーム	
967	No. 1 貯留タンク投入弁		1	台	φ150	2003(平成15)年03月14日
968	No. 2 貯留タンク投入弁		1	台	φ150	2003(平成15)年03月14日
969	分離液引抜テレスコープ弁	電動テレスコープ弁	1	台	φ200	2003(平成15)年03月14日
970	二次汚泥洗浄タンク流入可動堰	手動可動堰	1	門		
971	No. 1 洗浄タンク汚泥掻寄機	中央駆動支柱形	1	基	槽寸法 φ17300mm×深さ 3000mm	2009(平成21)年03月11日
972	No. 2 洗浄タンク汚泥掻寄機	中央駆動支柱形	1	基	槽寸法 φ17300mm×深さ 3000mm	1989(平成元)年03月31日
973	No. 1 濃縮汚泥掻寄機	中央駆動支柱形	1	基	槽寸法 φ15700×深さ 3500mm	2006(平成18)年03月15日
974	浮上汚泥移送ポンプ		1	台	φ80×1.0m ³ /min×10m	2006(平成18)年03月15日
975	No. 2 濃縮汚泥掻寄機	中央駆動支柱形	1	基	槽寸法 φ15700×深さ 3500mm	2012(平成24)年02月29日
976	汚泥移送ポンプ	無閉塞型汚泥ポンプ	1	台	φ100×1.5m ³ /min×11m	1999(平成11)年03月26日
977	汚泥移送吐出弁		1	台	φ100	1999(平成11)年03月26日
978	No. 3 エリア U 床排水ポンプ		1	台	φ50×0.3m ³ /min×8m	2012(平成24)年02月29日
979	No. 4 エリア U 床排水ポンプ		1	台	φ50×0.3m ³ /min×8m	2012(平成24)年02月29日
980	No. 1 洗浄タンク空気圧縮機	往復式空気圧縮機	1	台	165L/min	
981	No. 2 洗浄タンク空気圧縮機	往復式空気圧縮機	1	台	150L/min	1989(平成元)年03月31日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
982	No. 1 洗浄汚泥移送ポンプ		1	台	φ150×60m3/h×20m	2003(平成15)年03月14日
983	No. 2 洗浄汚泥移送ポンプ		1	台	φ150×60m3/h×20m	2003(平成15)年03月17日
984	No. 2-1 分配槽投入ポンプ	無閉塞型汚泥ポンプ	1	台	φ100×1.0m3/min×18m	2004(平成16)年08月31日
985	No. 2-2 分配槽投入ポンプ	無閉塞型汚泥ポンプ	1	台	φ100×1.0m3/min×18m	2004(平成16)年08月31日
986	No. 1 洗浄タンク切替弁	空気作動式偏芯構造弁	1	台	φ200	2003(平成15)年03月14日
987	No. 2 洗浄タンク切替弁	空気作動式偏芯構造弁	1	台	φ200	2003(平成15)年03月14日
988	洗浄汚泥移送弁	空気作動式偏芯構造弁	1	台	φ200	1988(昭和63)年
989	No. 1 エリアV床排水ポンプ		1	台	φ50×0.3m3/min×8m	1978(昭和53)年02月
990	No. 2 エリアV床排水ポンプ		1	台	φ50×0.3m3/min×8m	1978(昭和53)年02月
991	No. 1 濃縮汚泥移送ポンプ		1	台	φ150×1.0m3/min×40m	2012(平成24)年02月29日
992	No. 2 濃縮汚泥移送ポンプ		1	台	φ150×1.0m3/min×40m	2012(平成24)年02月29日
993	No. 1 濃縮汚泥引抜弁		1	台	φ200	
994	No. 2 濃縮汚泥引抜弁		1	台	φ200	
995	No. 1 エリアT床排水ポンプ		1	台	φ50×0.3m3/min×2m	2012(平成24)年02月29日
996	No. 2 エリアT床排水ポンプ		1	台	φ50×0.3m3/min×2m	2012(平成24)年02月29日
997	ろ布洗浄水ポンプ (FP-1)	横型渦巻ポンプ	1	台	φ100×1.2m3/min×85m	2002(平成14)年02月
998	ろ布洗浄水ポンプ (FP-2)	横型渦巻ポンプ	1	台	φ100×1.2m3/min×85m	2002(平成14)年02月
999	圧搾水ポンプ (FP-1)	横型渦巻ポンプ	1	台	φ80×0.6m3/min×160m	2003(平成15)年03月14日
1000	圧搾水ポンプ (FP-2)	横型渦巻ポンプ	1	台	φ80×0.6m3/min×160m	2005(平成17)年03月17日
1001	圧搾水ポンプ (FP-3)	横型渦巻ポンプ	1	台	φ50×0.2m3/min×165m	2015(平成27)年03月10日
1002	圧搾水ポンプ (FP-4)	横型渦巻ポンプ	1	台	φ50×0.2m3/min×165m	2015(平成27)年03月10日
1003	圧搾水ポンプ (FP 予備)	横型渦巻ポンプ	1	台	φ80×0.6m3/min×160m	2003(平成15)年03月14日
1004	No. 2-1 薬品溶解水ポンプ	横型渦巻ポンプ	1	台	φ65×0.6m3/min×8m	1991(平成3)年03月25日
1005	No. 2-2 薬品溶解水ポンプ	横型渦巻ポンプ	1	台	φ65×0.6m3/min×8m	1991(平成3)年03月25日
1006	No. 2-1 ろ布洗浄水ポンプ	横型渦巻ポンプ	1	台	φ65×0.8m3/min×80m	2003(平成15)年03月14日
1007	No. 2-2 ろ布洗浄水ポンプ	横型渦巻ポンプ	1	台	φ65×0.8m3/min×80m	2003(平成15)年03月14日
1008	2系汚泥貯留槽		1	基	63m3	1991(平成3)年03月25日
1009	2系汚泥貯留槽攪拌ポンプ		1	台	φ100×1.0m3/min×5m	1990(平成2)年12月
1010	汚泥貯留槽攪拌ポンプ (FP)		1	台	φ100×1.8m3/min×9m	2003(平成15)年03月14日
1011	消石灰溶解槽 (攪拌機付)	攪拌機付鋼板製円筒槽	1	基	1.5m3	2003(平成15)年03月14日
1012	消石灰移送コンベヤ (FP)	フライトコンベヤ	1	基	12m3/h	2003(平成15)年03月14日
1013	消石灰ホッパ集塵装置 (FP)	集塵装置	1	台	フィルターエリア 10.4m2	2003(平成15)年03月14日
1014	集塵ファン	シロッコファン	1	台	20m3/min	2002(平成14)年03月
1015	消石灰ホッパ (FP)	円筒形槽	1	基	容量: 60m3	2003(平成15)年03月14日
1016	塩化第2鉄注入ポンプ (FP-1)		1	台	φ65×50L/min×0.33MPa	2003(平成15)年03月14日
1017	塩化第2鉄注入ポンプ (FP-2)		1	台	φ65×50L/min×0.33MPa	2003(平成15)年03月14日
1018	No. 2-1 薬品供給ポンプ		1	台	φ50×0.5m3/h×20mAq	1991(平成3)年03月25日
1019	No. 2-2 薬品供給ポンプ		1	台	φ50×0.5m3/h	2001(平成13)年03月07日
1020	No. 2-5 薬品供給ポンプ		1	台	φ50×0.5m3/h×20mAq	1991(平成3)年03月25日
1021	No. 2-1 定量フィーダ	定量供給機	1	基	4L/min	1991(平成3)年03月25日
1022	No. 2-2 定量フィーダ	定量供給機	1	基	4L/min	2001(平成13)年03月07日
1023	No. 2-1-1 薬品コンテナ	反転式コンテナ	1	台	0.5m3	
1024	No. 2-1-2 薬品コンテナ	反転式コンテナ	1	台	0.5m3	
1025	No. 2-2-1 薬品コンテナ	反転式コンテナ	1	台	0.5m3	
1026	No. 2-2-2 薬品コンテナ	反転式コンテナ	1	台	0.5m3	
1027	No. 2-1 薬品溶解タンク (攪拌機付)	立型攪拌機付鋼板製円筒槽	1	基	16m3	1991(平成3)年03月25日
1028	No. 2-2 薬品溶解タンク (攪拌機付)	立型攪拌機付鋼板製円筒槽	1	基	16m3	2001(平成13)年03月07日
1029	塩化第2鉄希釈槽 (FP-1) (攪拌機付)	立型攪拌機付 FRP 製円筒タンク	1	基	2.8m3	2003(平成15)年03月14日
1030	塩化第2鉄希釈槽 (FP-2) (攪拌機付)	立型攪拌機付 FRP 製円筒タンク	1	基	2.8m3	2003(平成15)年03月14日
1031	塩化第2鉄貯留槽 (FP)	FRP 製角形タンク	1	基	17m3	2003(平成15)年03月14日
1032	凝集混和槽 (FP) (攪拌機付)	攪拌機付鋼板製角形槽	1	基	混合槽 5.25m3、調整槽 21.1m3	2003(平成15)年03月14日
1033	No. 1-a 脱水ケーキ搬出機	3連式スクリュコンベヤ	1	基	φ300×機長 8935mm	2003(平成15)年03月14日
1034	No. 1-b 脱水ケーキ搬出機	3連式スクリュコンベヤ	1	基	φ380×機長 8935mm	2005(平成17)年03月17日
1035	No. 1-c 脱水ケーキ搬出機		1	基	900mm	2015(平成27)年03月10日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
1036	No. 1-d 脱水ケーキ搬出機		1	基	900mm	2015(平成27)年03月10日
1037	No. 2-a 脱水ケーキ搬出機	スクリュコンベヤ	1	基	φ400×機長 13390mm	2003(平成15)年03月14日
1038	No. 2-b 脱水ケーキ搬出機		1	基	900mm	2015(平成27)年03月10日
1039	No. 3-a 脱水ケーキ搬出機	スクリュコンベヤ	1	基	φ420×機長 6808mm	2003(平成15)年03月14日
1040	No. 3-b 脱水ケーキ搬出機	スクリュコンベヤ	1	基	φ600×機長 15498mm	2003(平成15)年03月14日
1041	No. 4-a 脱水ケーキ搬出機	スクリュコンベヤ	1	基	φ500×機長 9790mm	2003(平成15)年03月14日
1042	No. 4-b 脱水ケーキ搬出機	スクリュコンベヤ	1	基	φ500×機長 9790mm	2003(平成15)年03月14日
1043	No. 5 脱水ケーキ搬出機	スクリュコンベヤ	1	基	φ500×機長 8450mm	2003(平成15)年03月14日
1044	No. 6 脱水ケーキ搬出機	スクリュコンベヤ	1	基	φ400×機長 5270mm	2003(平成15)年03月14日
1045	No. 2-1 脱水ケーキ搬出機		1	基	ベルト幅 600mm×機長 16300mm	1991(平成3)年03月25日
1046	No. 2-2 脱水ケーキ搬出機	平ベルト形ベルトコンベヤ	1	基	ベルト幅 600mm×機長 5000mm	1991(平成3)年03月25日
1047	No. 2-1 脱水ケーキホッパ	角形油圧開閉式	1	基	10m3	1991(平成3)年03月25日
1048	No. 2-2 脱水ケーキホッパ	角形油圧開閉式	1	基	10m3	1991(平成3)年03月25日
1049	脱水ケーキ貯留ホッパ (FP-1)	角形電動カットゲート式	1	基	13m3	2003(平成15)年03月14日
1050	脱水ケーキ貯留ホッパ (FP-2)	角形電動カットゲート式	1	基	13m3	2003(平成15)年03月14日
1051	脱水ケーキ散布装置	散布装置	1	台		
1052	No. 2-1 薬品定量フィーダ用空気圧縮機	往復式空気圧縮機	1	台	75L/min	2004(平成16)年07月
1053	No. 2-2 薬品定量フィーダ用空気圧縮機	往復式空気圧縮機	1	台	55L、10.7kgf/cm2	2002(平成14)年11月
1054	No. 2 定量フィーダ用除湿器	冷凍式	1	台	0.93MPa	
1055	計装用空気タンク	円筒形空気槽	1	基	2.0m3	2003(平成15)年03月14日
1056	No. 1 計装用コンプレッサ	往復式空気圧縮機	1	台	260L、0.83MPa	2003(平成15)年03月14日
1057	No. 2 計装用コンプレッサ	往復式空気圧縮機	1	台	260L、0.83MPa	2003(平成15)年03月14日
1058	計装用コンプレッサ用除湿器	冷凍式	1	台	0.93MPa	2003(平成15)年03月14日
1059	ブロー用空気タンク (FP)	円筒形空気槽	1	基	20m3	2003(平成15)年03月14日
1060	ブロー用コンプレッサ (FP-1)		1	台	0.69MPa	2003(平成15)年03月14日
1061	ブロー用コンプレッサ (FP-2)		1	台	0.69MPa	2003(平成15)年03月14日
1062	ブロー用オイルクリーナーコンプレッサ (FP-1)	オイルクリーナー	1	台	15L、0.97MPa	
1063	ブロー用オイルクリーナーコンプレッサ (FP-2)	オイルクリーナー	1	台	15L、0.97MPa	
1064	No. 2-1 脱水機用空気圧縮機	往復式空気圧縮機	1	台	265L/min	2002(平成14)年11月
1065	No. 2-2 脱水機用空気圧縮機	往復式空気圧縮機	1	台	265L/min	2001(平成13)年03月07日
1066	No. 2-5 脱水機用空気圧縮機	往復式空気圧縮機	1	台	265L/min	2002(平成14)年11月
1067	No. 2-1 脱水機用除湿器	冷凍式	1	台	0.37m3/min	
1068	No. 2-2 脱水機用除湿器	冷凍式	1	台	0.35m3/min	2001(平成13)年03月07日
1069	汚泥脱水機 (FP-1)	加圧脱水機	1	基	ろ過面積 120m2	2003(平成15)年03月14日
1070	汚泥脱水機 (FP-2)	加圧脱水機	1	基	ろ過面積 120m2	2005(平成17)年03月17日
1071	汚泥脱水機 (FP-3)	加圧脱水機	1	基	ろ過面積 102m2	2015(平成27)年03月10日
1072	汚泥脱水機 (FP-4)	加圧脱水機	1	基	ろ過面積 100m2	1988(昭和63)年03月31日
1073	No. 2-1 汚泥脱水機	ベルトプレス形	1	基	有効バンド幅 3.0m	1991(平成3)年03月25日
1074	No. 2-2 汚泥脱水機	ベルトプレス形	1	基	有効バンド幅 3.0m	2001(平成13)年03月07日
1075	汚泥供給ポンプ (FP-1)		1	台	φ100×0.4m3/min	2002(平成14)年03月
1076	汚泥供給ポンプ (FP-2)		1	台	φ100×0.4m3/min	2002(平成14)年03月
1077	No. 2-1 汚泥供給ポンプ		1	台	φ150×2m3/min×20mAq	2003(平成15)年03月14日
1078	No. 2-2 汚泥供給ポンプ		1	台	φ100×2m3/min	2001(平成13)年03月07日
1079	No. 2-5 汚泥供給ポンプ		1	台	φ150×2m3/min×20mAq	2003(平成15)年03月14日
1080	汚泥打込ポンプ (FP-1)		1	台	φ150×0.5m3/min	2003(平成15)年03月14日
1081	汚泥打込ポンプ (FP-2)		1	台	φ100×0.5m3/min	2005(平成17)年03月17日
1082	汚泥打込ポンプ (FP-3)		1	台	φ100×0.3m3/min	2015(平成27)年03月10日
1083	汚泥打込ポンプ (FP-4)		1	台	φ100×0.3m3/min	2015(平成27)年03月10日
1084	汚泥打込ポンプ (FP 予備)		1	台	φ150×0.5m3/min	2003(平成15)年03月14日
1085	脱水機用真空槽		1	基		
1086	汚泥脱水機用真空ポンプ (FP-3)	無閉塞型ポンプ	1	台	φ400×1.9m3/min	2015(平成27)年03月10日
1087	汚泥脱水機用油圧ユニット (FP-1)	油圧ユニット	1	基	21MPa	2003(平成15)年03月
1089	汚泥脱水機用油圧ユニット (FP-3)	油圧ユニット	1	基	20.6MPa	2015(平成27)年03月10日
1090	No. 4 脱水機油圧ユニット	油圧ユニット	1	基	210kg/cm2	1988(昭和63)年01月
1091	脱臭噴霧装置	脱臭用噴霧器	1	式	6.2L/min	

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
1092	薬品搬入用ホイス		1	台	1t	
1093	消石灰ホイス		1	台	2t	
1094	脱水用チェーンブロック (FP-1)	手動式チェーンブロック	1	台	5t	
1095	脱水用チェーンブロック (FP-2)	手動式チェーンブロック	1	台	5t	2005(平成17)年03月17日
1096	脱水用チェーンブロック (FP-3)	手動式チェーンブロック	1	台	5t	
1097	脱水用チェーンブロック (FP-4)	手動式チェーンブロック	1	台	5t	
1098	No. 2-1 脱水用チェーンブロック	手動式チェーンブロック	1	台	5t	1991(平成3)年03月25日
1099	No. 2-2 脱水用チェーンブロック	手動式チェーンブロック	1	台	5t	2001(平成13)年03月07日
1100	脱臭ホイス		1	台	2t	
1101	No. 1 循環ポンプ	吸込スクリー付ポンプ	1	台	φ100×1200L/min×15m	2011(平成23)年03月17日
1102	No. 2 循環ポンプ	吸込スクリー付ポンプ	1	台	φ100×1200L/min×15m	2011(平成23)年03月17日
1103	No. 3 循環ポンプ	吸込スクリー付ポンプ	1	台	φ100×1200L/min×15m	2011(平成23)年03月17日
1104	No. 4 循環ポンプ	吸込スクリー付ポンプ	1	台	φ100×1200L/min×15m	2011(平成23)年03月17日
1105	薬液洗浄塔		1	基	処理量 400m3/min	2011(平成23)年03月17日
1106	活性炭吸着槽	固定槽横型吸着槽	1	基	処理風量 400m3/min	1978(昭和53)年12月
1107	No. 1 脱水機棟脱臭ファン	シロッコファン	1	台	200m3/min、3.0kPa	2011(平成23)年03月17日
1108	No. 2 脱水機棟脱臭ファン	シロッコファン	1	台	200m3/min、3.0kPa	2011(平成23)年03月17日
1109	脱水機棟ミストセパレータ		1	基	処理量 400m3/min	2011(平成23)年03月17日
1110	No. 1 エリア W 床排水ポンプ		1	台	φ80×0.5m3/min×9m	2003(平成15)年03月14日
1111	No. 2 エリア W 床排水ポンプ		1	台	φ80×0.5m3/min×9m	2003(平成15)年03月14日
1112	消石灰ホッパーロータリーバルブ (FP)	電動バルブ	1	台	1500kg/H	
1113	No. 1 脱水機室受水槽流入弁		1	台	φ100	
1114	No. 1 薬品溶解タンク給水弁	電動ボール弁	1	台	φ100	
1115	No. 2 薬品溶解タンク給水弁	電動ボール弁	1	台	φ100	
1116	No. 2-1 薬品引抜弁	空気作動ダイヤフラム弁	1	台	φ100	1990(平成2)年11月
1117	No. 2-2 薬品引抜弁	空気作動ダイヤフラム弁	1	台	φ100	1990(平成2)年11月
1118	2系汚泥貯留槽投入弁	空気作動式偏芯構造弁	1	台	φ200	1990(平成2)年
1119	No. 1 汚泥受入弁	空気作動式偏芯構造弁	1	台	φ200	
1120	No. 2 汚泥受入弁	空気作動式偏芯構造弁	1	台	φ200	1988(昭和63)年
1121	汚泥流入弁 (FP-1)	空気作動式偏芯構造弁	1	台	φ150	
1122	汚泥戻り弁 (FP-1)	空気作動式偏芯構造弁	1	台	φ100	
1123	ろ液弁 (FP-1)	空気作動式偏芯構造弁	1	台	φ125	
1124	汚泥流入弁 (FP-2)	空気作動式偏芯構造弁	1	台	φ150	
1125	汚泥戻り弁 (FP-2)	空気作動式偏芯構造弁	1	台	φ100	
1126	ろ液弁 (FP-2)	空気作動式偏芯構造弁	1	台	φ125	
1127	汚泥流入弁 (FP-3)	空気作動式偏芯構造弁	1	台	φ150	
1128	汚泥戻り弁 (FP-3)	空気作動式偏芯構造弁	1	台	φ150	
1129	汚泥圧搾戻り弁 (FP-3)	空気作動式偏芯構造弁	1	台	φ100	
1130	汚泥流入弁 (FP-4)	空気作動式偏芯構造弁	1	台	φ100	

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
1131	汚泥戻り弁 (FP-4)	空気作動式偏芯構造弁	1	台	φ100	
1132	ろ液弁 (FP-4)	空気作動式偏芯構造弁	1	台	φ100	
1133	生汚泥スクリーン	自動スクリーン	1	基	目巾 4mm	1996(平成8)年03月04日
1134	余剰汚泥スクリーン	自動スクリーン	1	基	目巾 4mm	2006(平成18)年03月15日
1135	生・余剰汚泥スクリーン	自動スクリーン	1	基	目巾 4mm	1993(平成5)年12月10日
1136	No.1 機械濃縮スクリーンかす搬出機		1	基	幅 900mm×機長 8600mm	1996(平成8)年03月04日
1137	No.2 機械濃縮スクリーンかす搬出機	横棧耳付傾斜ベルトコンベヤ	1	基	幅 600mm×機長 水平 17800mm+傾斜 7300mm	1996(平成8)年03月04日
1138	No.3 機械濃縮スクリーンかす搬出機		1	基	幅 600mm×機長 4300	1996(平成8)年03月04日
1139	No.1 コンテナ	可搬式ステンレス製角型	1	台	0.2m3	
1140	No.2 コンテナ	可搬式ステンレス製角型	1	台	0.2m3	
1141	No.3 コンテナ	可搬式鋼板製角型	1	台	0.2m3	
1142	No.4 コンテナ	可搬式鋼板製角型	1	台	0.2m3	
1143	No.5 コンテナ	可搬式鋼板製角型	1	台	0.2m3	
1144	No.6 コンテナ	可搬式鋼板製角型	1	台	0.2m3	
1145	No.7 コンテナ	可搬式鋼板製角型	1	台	0.2m3	
1146	No.1 スクリーンかす貯留ホッパ	鋼板製角形電動開閉式ホッパ	1	基	6m3	1996(平成8)年03月04日
1147	No.2 スクリーンかす貯留ホッパ	鋼板製角形電動開閉式ホッパ	1	基	6m3	1999(平成11)年03月26日
1148	濃縮汚泥攪拌ポンプ	無閉塞型汚泥ポンプ	1	台	φ150×2.4m3/min×13m	1996(平成8)年03月04日
1149	No.2 遠心濃縮汚泥移送ポンプ		1	台	φ150×1.0m3/min×45mAq	1996(平成8)年03月04日
1150	No.1 遠心濃縮汚泥移送ポンプ		1	台	φ150×1.0m3/min×45mAq	1996(平成8)年03月04日
1151	No.2 濃縮機汚泥供給ポンプ		1	台	φ100×0.6m3/min×28m	1999(平成11)年03月26日
1152	No.3 濃縮機汚泥供給ポンプ		1	台	φ100×0.6m3/min×28m	1996(平成8)年03月04日
1153	No.4 濃縮機汚泥供給ポンプ		1	台	φ100×0.6m3/min×28m	1996(平成8)年03月04日
1154	余剰汚泥攪拌ポンプ	無閉塞型汚泥ポンプ	1	台	φ150×2.1m3/min×11m	1996(平成8)年03月04日
1155	No.2 遠心濃縮機	遠心濃縮機	1	台	処理量 30m3/h	1999(平成11)年03月26日
1156	No.3 遠心濃縮機	遠心濃縮機	1	台	処理量 30m3/h	1996(平成8)年03月04日
1157	No.4 遠心濃縮機	遠心濃縮機	1	台	処理量 30m3/h	1996(平成8)年03月04日
1158	搬出入用チェンブロック		1	台	1t	1996(平成8)年03月04日
1159	No.1 遠心濃縮機天井クレーン		1	台	5t	1996(平成8)年03月04日
1160	No.2 遠心濃縮機天井クレーン		1	台	5t	1996(平成8)年03月04日
1161	コンテナ搬出用吊上機	電動ホイスト付チェンブロック	1	台	2t	
1162	濃縮活性炭吸着塔	FRP製2層式吸着塔	1	基	処理風量 80m3/min	2003(平成15)年03月17日
1163	濃縮生物脱臭装置	角形充填塔式生物脱臭塔	1	基	処理風量 80m3/min	2003(平成15)年03月17日
1164	No.1-1 循環散水ポンプ	立型耐蝕ポンプ	1	台	φ40×240L/min×22m	2003(平成15)年12月
1165	No.1-2 循環散水ポンプ	立型耐蝕ポンプ	1	台	φ40×240L/min×22m	2003(平成15)年12月
1166	No.2-1 循環散水ポンプ	立型耐蝕ポンプ	1	台	φ40×240L/min×22m	2003(平成15)年12月
1167	No.2-2 循環散水ポンプ	立型耐蝕ポンプ	1	台	φ40×240L/min×22m	2003(平成15)年12月
1168	No.1 濃縮脱臭ファン	シロッコファン	1	台	80m3/min、3.23kPa	2003(平成15)年03月17日
1169	No.2 濃縮脱臭ファン	シロッコファン	1	台	80m3/min、3.23kPa	2003(平成15)年03月17日
1170	濃縮ミストセパレータ		1	基	処理風量 80m3/min	2003(平成15)年03月17日
1171	洗浄水給水装置	給水ユニット	1	式	0.7m3/min×18m	1999(平成11)年01月
1172	軸封水用給水ポンプA	給水ユニット	1	式	0.15m3/min×26m	
1173	軸封水用給水ポンプB	給水ユニット	1	式	0.15m3/min×26m	2000(平成12)年12月
1174	洗浄水用給水ポンプ	給水ユニット	1	式	0.7m3/min×18m	1995(平成7)年09月
1175	ラインポンプ	ラインポンプ	1	台	φ50×0.38m3/min×15m	2006(平成18)年03月15日
1176	No.1 エリアS床排水ポンプ		1	台	φ50×0.3m3/min×8m	1978(昭和53)年02月
1177	No.2 エリアS床排水ポンプ		1	台	φ50×0.3m3/min×8m	1978(昭和53)年02月
1178	No.1 消化汚泥切替弁用コンプレッサー	往復式空気圧縮機	1	台	165L/min×0.93MPa	
1179	No.2 消化汚泥切替弁用コンプレッサー	往復式空気圧縮機	1	台	165L/min×0.93MPa	
1180	消化汚泥切替弁用除湿器	冷凍式	1	台	165L/min	

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
1181	No. 2 消化汚泥切替弁	空気作動式偏芯構造弁	1	台	φ200	
1182	No. 4 消化汚泥切替弁	空気作動式偏芯構造弁	1	台	φ200	
1183	No. 5 消化汚泥切替弁	空気作動式偏芯構造弁	1	台	φ200	
1184	No. 6 消化汚泥切替弁	空気作動式偏芯構造弁	1	台	φ200	
1185	No. 1 エリア P 床排水ポンプ		1	台	0.3m ³ /min×12m	1979(昭和54)年03月30日
1186	No. 2 エリア P 床排水ポンプ		1	台	0.3m ³ /min×12m	1979(昭和54)年03月30日
1187	No. 1 エリア R 床排水ポンプ		1	台	0.05m ³ /min×20.2m	2004(平成16)年04月
1188	No. 2 エリア R 床排水ポンプ		1	台	0.05m ³ /min×20.2m	2004(平成16)年04月
1194	サンプリングポンプ	片吸込渦巻ポンプ	1	台	60L/min×30m	2008(平成20)年03月14日
1195	井戸ポンプ		1	台	φ100	1979(昭和54)年02月28日
1196	ボイラー用重油ポンプ	陸上ポンプ	1	台	20m ³	
1197	地下重油タンク	地下燃料タンク	1	基	20000L	
1198	No. 1-1 脱硫塔	乾式間欠式脱硫塔	1	基	処理能力 230Nm ³ /h	2009(平成21)年02月27日
1199	No. 1-2 脱硫塔	乾式間欠式脱硫塔	1	基	処理能力 230Nm ³ /h	2009(平成21)年02月27日
1200	No. 2 脱硫塔	湿式脱硫塔	1	基	処理能力 500Nm ³ /h	1992(平成4)年03月31日
1201	No. 1 余剰ガス燃焼装置	余剰ガス燃焼装置	1	基		1979(昭和54)年03月30日
1202	No. 2 余剰ガス燃焼装置	余剰ガス燃焼装置	1	基		2005(平成17)年
1203	No. 1 ガスタンク		1	基	3300m ³	1979(昭和54)年03月30日
1204	No. 2 ガスタンク		1	基	3300m ³	1987(昭和62)年
1205	脱硫剤吊上げ装置	電動チェーンブロック	1	台		
1206	主ゲート		1	門	W1200mm×H1200mm	1979(昭和54)年01月
1207	バイパスゲート		1	門	W600mm×H1000mm	1979(昭和54)年01月
1209	仕切りラックゲート	手動ゲート	1	門		
3642	N01 潤滑油ヘッドタンク		1	台	800L	1978(昭和53)年05月31日
3643	N02 潤滑油ヘッドタンク		1	台	800L	1990(平成2)年08月30日
3644	N01 主油槽		1	台	2000L	1978(昭和53)年05月31日
3645	N02 主油槽		1	台	2000L	1990(平成2)年08月30日
3646	N01 潤滑油ポンプ		1	台	200L/min	1978(昭和53)年05月31日
3647	N02 潤滑油ポンプ		1	台	200L/min	1978(昭和53)年05月31日
3648	N03 潤滑油ポンプ		1	台	200L/min	1978(昭和53)年03月30日
3649	N04 潤滑油ポンプ		1	台	200L/min	1978(昭和53)年03月30日
3650	N01 潤滑油クーラー		1	台		1978(昭和53)年05月31日
3651	N02 潤滑油クーラー		1	台		1978(昭和53)年05月31日
3652	N03 潤滑油クーラー		1	台		1990(平成2)年08月30日
3653	N04 潤滑油クーラー		1	台		1990(平成2)年08月30日
3654	N01 潤滑油濾し器		1	台		1978(昭和53)年05月31日
3655	N02 潤滑油濾し器		1	台		1990(平成2)年08月30日
3656	N01 流量調節弁		1	台		2004(平成16)年03月17日
3657	N02 流量調整弁		1	台		1990(平成2)年08月30日
11471	スカム分離機	回転ドラム型	1	基	処理量 3.3m ³ /min×目幅 2mm×回転数 1~3min-1	2018(平成30)年02月28日
11472	スカム分離流入弁		1	台	φ400	2018(平成30)年02月28日
11473	スカム搬出ホイス	電動トリ付ホイス	1	台	2.0t	2018(平成30)年02月28日
11474	No. 1 床排水ポンプ	水中床排水ポンプ	1	台	φ 65 × 0.3m ³ /min × 9.0m(着脱式)	2018(平成30)年02月28日
11475	No. 2 床排水ポンプ	水中床排水ポンプ	1	台	φ 65 × 0.3m ³ /min × 9.0m(着脱式)	2018(平成30)年02月28日
11476	No. 1 スカム分離液圧送ポンプ	水中汚水ポンプ	1	台	φ150×2.5m ³ /min×11m	2018(平成30)年02月28日
11477	No. 2 スカム分離液圧送ポンプ	水中汚水ポンプ	1	台	φ150×2.5m ³ /min×11m	2018(平成30)年02月28日
11500	No. 3 沈砂池流入ゲート	外ねじ式鋳鉄製	1	門	W1200mm×H1200mm	2019(平成31)年02月
11501	No. 4 沈砂池流入ゲート	外ねじ式鋳鉄製	1	門	W1200mm×H1200mm	2019(平成31)年02月
11502	沈砂搬出機	ダブルチェーン式トラフコンベヤ	1	台	速度：6m/min、機長：5.1m(水平部)25m(傾斜部)	2019(平成31)年02月
11503	沈砂ホッパ	カットゲート式	1	台	3m ³ (呼称容量)	2019(平成31)年02月
11504	No. 1 スクリーンかす搬出機	トラフ形ベルトコンベヤ	1	台	ベルト幅 600mm×機長 10000mm×速度 24m/min	2019(平成31)年02月
11505	No. 2 スクリーンかす搬出機	トラフ形ベルトコンベヤ	1	台	ベルト幅 600mm×機長 10500mm×速度 24m/min	2019(平成31)年02月

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
11506	No. 3 スクリーンかす搬出機	トラフ形ベルトコンベヤ(傾斜角度 15 度)	1	台	ベルト幅 600mm×機長 13250mm×速度 24m/min	2019(平成 31)年 02 月
11507	スクリーンかす破碎機	二軸差動回転型	1	台	0.033m ³ /min	2019(平成 31)年 02 月
11508	スクリーンかす移送機	噴射式	1	台	口径 : 80A、吸込 : 0.6m ³ /min、容量 : 4m ³ (タンク容量)、揚程 : 7.36m	2019(平成 31)年 02 月
11509	スクリーンかす分離機	回転ドラム型	1	台	処理量 : 1.9m ³ /min、目幅 : 5mm、回転数 : 1~3min-1	2019(平成 31)年 02 月
11510	スクリーンかす脱水機	スクリュース式	1	台	2.0m ³ /h	2019(平成 31)年 02 月
11511	No. 4 スクリーンかす搬出機	トラフ形ベルトコンベヤ(傾斜角度 18 度)	1	台	ベルト幅 600mm×機長 25000mm×速度 20m/min	2019(平成 31)年 02 月
11512	スクリーンかすホッパ	カットゲート式	1	台	3m ³ (呼称容量)	2019(平成 31)年 02 月
11513	No. 1 スクリーンかす移送用加圧水ポンプ	横軸渦巻ポンプ	1	台	φ 125 × φ 100 × 1.6m ³ /min×50m	2019(平成 31)年 02 月
11514	No. 2 スクリーンかす移送用加圧水ポンプ	横軸渦巻ポンプ	1	台	φ 125 × φ 100 × 1.6m ³ /min×50m	2019(平成 31)年 02 月
11515	スクリーンかす搬出ホイス	ホイス	1	台	2.0t	2019(平成 31)年 02 月
11552	No. 3 汚水ポンプ	立軸渦巻斜流ポンプ	1	台	φ700×55m ³ /min×13m	2019(平成 31)年 02 月
11553	No. 3 汚水ポンプ用電動機	三相誘導電動機	1	台	170kW × 6600V × 60Hz × 21.0A	2019(平成 31)年 02 月
11554	No. 3 吸込弁	手動式外ねじ仕切弁	1	台	φ700	2019(平成 31)年 02 月
11555	No. 3 汚水ポンプ用逆止弁	ダッシュポット付逆止弁	1	台	φ700	2019(平成 31)年 02 月
11556	No. 3 吐出弁	電動式バタフライ弁	1	台	φ700	2019(平成 31)年 02 月
11557	No. 3 汚水ポンプ用手動仕切弁	手動式外ねじ仕切弁	1	台	φ700	2019(平成 31)年 02 月
11584	加圧脱水機用ろ板		1	組		2019(令和元)年 09 月 25 日
11585	加圧脱水機用ろ板		1	組		2020(令和 2)年 10 月 19 日
11594	No. 4 汚水ポンプ	立軸渦巻斜流ポンプ	1	台	φ700×55m ³ /min×13m	2020(令和 2)年 02 月 20 日
11595	No. 4 汚水ポンプ電動機	三相誘導電動機	1	台	170kW	2020(令和 2)年 02 月 20 日
11596	No. 4 汚水ポンプ起動器抵抗器	始動器/抵抗器	1	台	170kW	2020(令和 2)年 02 月 20 日
11597	No. 4 汚水ポンプ吐出弁	電動バタフライ弁	1	台	φ700	2020(令和 2)年 02 月 20 日
11598	No. 4 汚水ポンプ吐出仕切弁	手動仕切弁	1	台	φ700	2020(令和 2)年 02 月 20 日
11599	No. 4 汚水ポンプ逆止弁	スイング式逆止弁	1	台	φ700	2020(令和 2)年 02 月 20 日
12427	No. 1-1-1 安全弁	機械式安全弁	1	台	φ150	2020(令和 2)年 02 月 07 日
12428	No. 1-1-2 安全弁	機械式安全弁	1	台	φ150	2020(令和 2)年 02 月 07 日
12429	No. 2-2 機械式安全弁	機械式安全弁	1	台	φ200	2020(令和 2)年 02 月 07 日
12430	No. 2-3 機械式安全弁	機械式安全弁	1	台	φ200	2020(令和 2)年 02 月 07 日
12431	汚泥脱水機用油圧ユニット (FP-2)	油圧ユニット	1	基	21MPa	2019(令和元)年 10 月 31 日
12434	加圧脱水機用ろ板		1	組		2021(令和 3)年 11 月 26 日
12592	No. 1-1 汚泥循環ポンプ	無閉塞型汚泥ポンプ	1	台	φ100×0.9m ³ /min×17m	2021(令和 3)年 02 月 26 日
12593	No. 1-2 汚泥循環ポンプ	無閉塞型汚泥ポンプ	1	台	φ100×0.9m ³ /min×17m	2021(令和 3)年 02 月 26 日
12594	No. 1-3 汚泥循環ポンプ	無閉塞型汚泥ポンプ	1	台	φ100×0.9m ³ /min×17m	2021(令和 3)年 02 月 26 日
12595	No. 1-1 消化タンク攪拌ポンプ	無閉塞型汚泥ポンプ	1	台	φ200/150×3.1m ³ /min×10m	2021(令和 3)年 02 月 26 日
12596	No. 1-2 消化タンク攪拌ポンプ	無閉塞型汚泥ポンプ	1	台	φ200/150×3.1m ³ /min×10m	2021(令和 3)年 02 月 26 日
12607	反応タンク機械攪拌機	水中機械式曝気攪拌装置	1	台	送風量:2.2Nm ³ /min	

浜黒崎浄化センター（電気）

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
1211	No. 1 引込盤(管理本館)	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2007(平成19)年03月15日
1212	No. 2 引込盤(管理本館)	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2007(平成19)年03月15日
1213	母線連絡盤(管理本館)1	屋内自立形	1	面	W700×D2100×H2300	1990(平成2)年12月20日
1214	母線連絡盤(管理本館)2	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2007(平成19)年03月15日
1216	No. 2 送風機引込盤	屋内自立形	1	面	W800×D2100×H2300	2007(平成19)年03月20日
1217	No. 1 動力変圧器一次盤／照明変圧器一次盤(管理本館)	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2007(平成19)年03月15日
1218	No. 2 動力変圧器一次盤／空き盤	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2007(平成19)年03月15日
1219	No. 5, 6 送風機変圧器一次盤	屋内自立形	1	面	W800×D2100×H2300	2007(平成19)年03月20日
1220	発電電源出力盤	屋内自立形	1	面	W700×D2000×H2300	2011(平成23)年03月17日
1221	No. 1 動力変圧器盤(管理本館)	屋内自立形	1	面	W1500×D2000×H2300	2007(平成19)年03月15日
1222	No. 2 動力変圧器盤(管理本館)	屋内自立形	1	面	W1500×D2000×H2300	2007(平成19)年03月15日
1223	照明変圧器盤(管理本館)	屋内自立形	1	面	W1200×D2000×H2300	2007(平成19)年03月15日
1224	No. 5, 6 送風機変圧器盤	屋内自立形	1	面	W1500×D2000×H2300	2007(平成19)年03月20日
1225	No. 1 動力配電盤(管理本館)	屋内自立形	1	面	W1200×D2000×H2300	2007(平成19)年03月15日
1226	No. 2 動力配電盤(管理本館)	屋内自立形	1	面	W1000×D2000×H2300	2007(平成19)年03月15日
1227	No. 1 照明配電盤	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2007(平成19)年03月15日
1228	No. 2 照明配電盤	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2007(平成19)年03月15日
1229	No. 5, 6 送風機配電盤	屋内自立形	1	面	W900×D2000×H2300	2007(平成19)年03月20日
1230	分電盤 1	屋内自立形	1	面	W600×D500×H2300	
1231	分電盤 2	屋内自立形	1	面	W600×D500×H2300	
1232	無停電分電盤	屋内自立形	1	面	W600×D500×H2300	
1233	No. 1 発電装置		1	台	1250kVA	2016(平成28)年12月16日
1234	No. 2 発電装置		1	台	1250kVA	2011(平成23)年03月17日
1235	No. 1 発電機盤	屋内自立形	1	面	W700×D2000×H2300	2016(平成28)年12月16日
1236	No. 2 発電機盤	屋内自立形	1	面	W700×D2000×H2300	2011(平成23)年03月17日
1237	自動同期盤	屋内自立形	1	面	W700×D2000×H2300	2011(平成23)年03月17日
1238	No. 1 自動始動盤	屋内自立形	1	面	W700×D2000×H2300	2016(平成28)年12月16日
1239	No. 2 自動始動盤	屋内自立形	1	面	W700×D2000×H2300	2011(平成23)年03月17日
1240	冷却塔	樹脂製角形タンク	1	基	390000KCAL/h	
1241	給気ファン	多翼型ファン	1	台	2200m ³ /min×324Pa	2010(平成22)年
1242	塩害フィルター	塩害フィルター	1	台		
1243	換気排気ファン		1	台		
1244	換気ファン		1	台		
1245	排風ファン		1	台		
1246	No. 1 排気消音器	縦置き角形	1	台		2016(平成28)年12月16日
1247	No. 2 排気消音器	縦置き角形	1	台		
1248	換気排気消音器	横置き角形	1	台		2016(平成28)年12月16日
1249	排風消音器	横置き角形	1	台		
1250	換気消音器	横置き角形	1	台		
1251	給気消音器	角形消音器	1	台		
1252	No. 1 燃料移送ポンプ		1	台	φ32×67L/min	2011(平成23)年03月17日
1253	No. 2 燃料移送ポンプ		1	台	φ32×67L/min	2011(平成23)年03月17日
1254	地下燃料タンク		1	基	20000L	1978(昭和53)年09月14日
1255	燃料小出槽		1	基	1950L	2011(平成23)年03月17日
1256	蓄電池盤(管理本館)	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2006(平成18)年04月
1257	整流器盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2006(平成18)年04月
1258	直流電源装置盤	屋内自立形	1	面	W1000×D1200×H2300	1978(昭和53)年03月
1259	No. 1 始動用直流電源盤	屋内自立形	1	面	W1000×D2000×H2300	2016(平成28)年12月16日
1260	No. 2 始動用直流電源盤	屋内自立形	1	面	W1000×D2000×H2300	2011(平成23)年03月17日
1261	無停電電源装置	UPS	1	台	20kVA	2005(平成17)年03月17日
1263	コントロールセンタ CC-6	屋内自立形	1	面	W2800×D800×H2300	1979(昭和54)年03月26日
1264	コントロールセンタ CC-A1	屋内自立形	1	面	W600×D500×H2300	1978(昭和53)年03月
1265	コントロールセンタ CC-A2	屋内自立形	16	面	W600×D500×H2300	1978(昭和53)年03月
1266	コントロールセンタ CC-15(1)～(6)	屋内自立形	1	面	W4000×D800×H2300	1979(昭和54)年03月26日
1267	コントロールセンタ CC-15(7)	屋内自立形	1	面	W600×D550×H2300	1990(平成2)年12月20日
1268	コントロールセンタ CC-15(8)	屋内自立形	1	面	W600×D550×H2300	1990(平成2)年
1269	発電機補機設備コントロールセンタ(1)(2)	屋内自立形	2	面	W600×D550×H2300	2011(平成23)年03月17日
1270	発電機補機設備コントロールセンタ(0)	屋内自立形	1	面	W600×D550×H2300	2016(平成28)年12月16日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
1274	No. 4 送風機盤	屋内自立形	1	面	W700×D2100×H2300	1990(平成2)年12月20日
1275	No. 2・3・4 送風機連動制御盤	屋内自立形	2	面	W800×D800×H2300	2016(平成28)年02月29日
1276	No. 5, 6 送風機・二次処理水設備連動制御盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2016(平成28)年02月29日
1277	次亜塩注入ポンプ盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2002(平成14)年06月28日
1278	No. 2 送風機吸込風量計		1	式	0～550MMH2O	1979(昭和54)年04月01日
1279	No. 3 送風機吸込風量計		1	式	0～550MMH2O	1979(昭和54)年04月01日
1281	No. 5 送風機吸込風量計(圧力式)		1	式	0～5KPa	
1282	No. 5 送風機吸込風量計(超音波式)		1	式		2007(平成19)年03月20日
1283	No. 6 送風機吸込風量計(超音波式)		1	式		2013(平成25)年02月28日
1284	No. 6 送風機吸込風量計(圧力式)		1	式	0～5KPa	2012(平成24)年09月
1285	次亜塩注入量計		1	式	φ25、800L/H	2002(平成14)年06月28日
1286	地下燃料タンクレベル計		1	式	0～20L	
1287	1系吐出圧力計		1	式	0～78.45KPa	
1288	No. 1 次亜貯留タンク液位計		1	式	0～19.61KPa	2002(平成14)年06月28日
1289	No. 2 次亜貯留タンク液位計		1	式	0～19.61KPa	2002(平成14)年06月28日
1290	No. 3 次亜貯留タンク液位計		1	式	0～19.61KPa	2002(平成14)年06月28日
1291	No. 4 次亜貯留タンク液位計		1	式	0～19.61KPa	2002(平成14)年06月28日
1292	次亜塩貯留タンク液位警報盤	屋外壁掛形	1	面	W400×D300×H500	2002(平成14)年06月28日
1293	処理水水质分電盤	屋外自立形	1	面	W700×D1200×H1900	2002(平成14)年04月
1294	処理水水质盤	屋外自立形	1	面	W4400×D1200×H1900	2002(平成14)年06月28日
1295	管理本館揚水ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W500×D300×H600+900	1979(昭和54)年03月26日
1296	ポンプ棟揚水ポンプ現場盤(管理本館)	屋内スタンド形	1	面	W500×D300×H600+900	1979(昭和54)年03月26日
1299	No. 4 送風機現場盤	屋内自立形	1	面	W600×D500×H1900	1990(平成2)年12月20日
1301	No. 3, 4 潤滑油装置現場盤	屋内スタンド形	1	面	W500×D300×H600+1000	1990(平成2)年12月20日
1302	発電機室換気排気ファン現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2011(平成23)年03月17日
1303	発電機補機設備現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2011(平成23)年03月17日
1304	次亜塩注入設備現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2002(平成14)年06月28日
1305	給気ファン現場盤	屋内壁掛形	1	面	W500×D300×H600	2010(平成22)年10月
1306	No. 1 補助継電器盤(CC-51)	屋内自立形	1	面	W600×D500×H2300	1979(昭和54)年04月01日
1307	No. 2 補助継電器盤(CC-51)	屋内自立形	1	面	W600×D500×H2300	
1308	No. 3 補助継電器盤(CC-51)	屋内自立形	1	面	W600×D500×H2300	
1310	No. 1 補助継電器盤(CC-6)	屋内自立形	1	面	W600×D500×H2300	1979(昭和54)年03月26日
1311	No. 1 補助継電器盤(CC-15)	屋内自立形	1	面	W600×D500×H2300	
1312	No. 2 補助継電器盤(CC-15)	屋内自立形	1	面	W600×D500×H2300	
1313	No. 3 補助継電器盤(CC-15)	屋内自立形	1	面	W600×D500×H2300	1990(平成2)年06月
1316	送風機設備計装変換器盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2007(平成19)年03月20日
1317	計装盤	屋内自立形	1	面	W800×D600×H2300	2003(平成15)年11月
1319	ゲートウェイ装置盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2005(平成17)年03月17日
1320	プラントデータサーバ装置盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2005(平成17)年03月17日
1321	光伝送装置盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2016(平成28)年02月29日
1322	制御電源分電盤(管理本館)	屋内自立形	1	面	W1200×D800×H2300	2005(平成17)年03月17日
1323	ITV 制御盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2005(平成17)年03月17日
1324	岩瀬ポンプ場伝送装置盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2004(平成16)年12月
1325	岩瀬ポンプ場 ITV 伝送装置盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2004(平成16)年12月
1326	ITV 操作卓1	屋内自立形	1	面		2005(平成17)年03月17日
1327	ITV 操作卓2	屋内自立形	1	面		2005(平成17)年03月17日
1328	ITV 操作卓3	屋内自立形	1	面		2005(平成17)年03月17日
1329	場外マンホールポンプ監視卓	パソコン	1	面		
1330	CRT 監視装置1(管理本館)		1	面		2005(平成17)年03月17日
1331	CRT 監視装置2(管理本館)		1	面		2005(平成17)年03月17日
1332	CRT 監視装置3(管理本館)		1	面		2005(平成17)年03月17日
1333	管理本館受変電設備統括コントローラ盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2007(平成19)年03月15日
1334	送風機設備プラントコントローラ盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2016(平成28)年02月29日
1335	発電設備配電盤統括コントローラ盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2011(平成23)年03月17日
1336	管理本館プラントコントローラ盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2007(平成19)年03月15日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
1337	オフライン装置		1	台		2005(平成17)年03月17日
1338	帳票用プリンタ		1	台		
1339	カラーハードコピー(管理本館)		1	台		
1340	メッセージ用プリンタ		1	台		
1341	カラープリンタ		1	台		
1342	気中開閉器		1	台	400kVA	2007(平成19)年03月15日
1343	返送水流量計		1	式	0～0.65m	
1344	No.1 引込盤(沈砂池ポンプ棟)	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2003(平成15)年03月14日
1345	No.2 引込盤(沈砂池ポンプ棟)	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2003(平成15)年03月14日
1346	母線連絡盤(沈砂池ポンプ棟)	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2003(平成15)年03月14日
1347	No.1 動力変圧器一次盤/照明変圧器一次盤(沈砂池ポンプ棟)	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2003(平成15)年03月14日
1348	No.2 動力変圧器一次盤/No.3～5 汚水ポンプ一次盤	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2003(平成15)年03月14日
1349	No.1,6 汚水ポンプ一次盤/No.2 汚水ポンプ一次盤	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2006(平成18)年03月15日
1350	No.1 動力変圧器盤(沈砂池ポンプ棟)	屋内自立形	1	面	W1000×D2000×H2300	2003(平成15)年03月14日
1351	No.2 動力変圧器盤(沈砂池ポンプ棟)	屋内自立形	1	面	W1000×D2000×H2300	2003(平成15)年03月14日
1352	照明変圧器盤(沈砂池ポンプ棟)	屋内自立形	1	面	W1000×D2000×H2300	2003(平成15)年03月14日
1353	No.1 動力配電盤(沈砂池ポンプ棟)	屋内自立形	1	面	W700×D2000×H2300	2003(平成15)年03月14日
1354	No.2 動力配電盤(沈砂池ポンプ棟)	屋内自立形	1	面	W700×D2000×H2300	2003(平成15)年03月14日
1355	照明配電盤(沈砂池ポンプ棟)	屋内自立形	1	面	W900×D2000×H2300	2003(平成15)年03月14日
1356	制御用直流電源盤(沈砂池ポンプ棟)	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2003(平成15)年03月14日
1357	蓄電池盤(沈砂池ポンプ棟)	屋内自立形	1	面	W600×D800×H2300	2002(平成14)年07月
1358	No.1 沈砂池設備コントロールセンタ	屋内自立形	4	面	W600×D550×H2300	2007(平成19)年03月15日
1359	沈砂池共通連動制御盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2007(平成19)年03月15日
1360	接地端子箱(沈砂池ポンプ棟)	屋内壁掛形	1	面	W500×D180×H550	
1361	沈砂池ポンプ設備計装変換器盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2007(平成19)年03月15日
1362	沈砂池ポンプ棟受変電設備統括コントローラ盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2003(平成15)年03月14日
1363	沈砂池ポンプ設備プラントコントローラ盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2007(平成19)年03月15日
1364	沈砂池ポンプ設備(2)プラントコントローラ盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2016(平成28)年02月29日
1365	No.1,6 汚水ポンプ引込盤	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2006(平成18)年03月15日
1367	No.3～5 汚水ポンプ引込盤	屋内自立形	1	面	W700×D2100×H2300	1982(昭和57)年02月
1368	No.1,6 汚水ポンプ受電盤/予備盤	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2006(平成18)年03月15日
1369	No.1,6 汚水ポンプ変圧器盤	屋内自立形	1	面	W1200×D2000×H2300	2006(平成18)年03月15日
1370	No.1,6 汚水ポンプ変圧器二次・電源分岐盤	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2006(平成18)年03月15日
1372	沈砂池ポンプ設備系無停電電源変圧器盤	屋内自立形	1	面	W600×D500×H1600	2016(平成28)年02月29日
1375	コントロールセンタ CC-1(8)	屋内自立形	1	面	W600×D550×H2300	1990(平成2)年03月
1379	汚水ポンプ補機設備コントロールセンタ	屋内自立形	2	面	W600×D550×H2300	2006(平成18)年03月15日
1380	加圧水ポンプ設備コントロールセンタ	屋内自立形	2	面	W600×D550×H2300	2000(平成12)年11月30日
1381	No.2 汚水ポンプ盤	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2012(平成24)年03月16日
1384	No.5 汚水ポンプ盤	屋内自立形	1	面	W700×D2100×H2300	2000(平成12)年11月30日
1385	No.1 汚水ポンプ始動盤	屋内自立形	1	面	W2900×D1200×H2300	2011(平成23)年03月17日
1386	No.6 汚水ポンプ始動盤	屋内自立形	1	面	W2100×D1200×H2300	2006(平成18)年03月15日
1387	沈砂池設備連動制御盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2016(平成28)年02月29日
1388	汚水ポンプ連動制御盤(1)	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2006(平成18)年03月15日
1389	汚水ポンプ(2)連動制御盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2016(平成28)年02月29日
1390	No.2 井戸ポンプ流量計		1	式	φ100	
1391	No.1 汚水ポンプ送水流量計		1	式	φ700	2011(平成23)年03月17日
1392	No.2 汚水ポンプ送水流量計		1	式	φ700	2012(平成24)年03月16日
1396	No.6 汚水ポンプ送水流量計		1	式	φ700	2008(平成20)年05月

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
1397	流入渠水位計		1	式		2007(平成19)年03月15日
1398	加圧水タンク液位計		1	式	0~29.42kPa	2000(平成12)年11月30日
1399	No.1 ポンプ井水位計		1	式	0~8m	2007(平成19)年03月15日
1400	No.2 ポンプ井水位計		1	式	0~8m	
1402	No.1,2 沈砂池流入ゲート現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2007(平成19)年03月15日
1403	粗目自動除塵機粗目スクリーン かす搬出機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2007(平成19)年03月15日
1405	No.1,2 細目自動除塵機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2007(平成19)年03月15日
1415	集砂・揚砂装置現場盤	屋内自立形	1	面	W1000×D600×H2300	2000(平成12)年11月30日
1417	No.1,2 沈砂池流出ゲート現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2007(平成19)年03月15日
1418	No.3,4 沈砂池流出ゲート現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2007(平成19)年03月15日
1420	沈砂洗浄用ベビコン現場盤	屋内壁掛形	1	面	W400×D300×H500	1978(昭和53)年03月27日
1422	排気用送風機(1階)現場盤	屋内壁掛形	1	面	W400×D300×H500	1978(昭和53)年03月27日
1425	ポンプ棟揚水ポンプ現場盤(沈砂池ポンプ棟)	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2009(平成21)年03月
1426	No.1 汚水ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2011(平成23)年03月17日
1427	No.2 汚水ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2012(平成24)年03月16日
1430	No.5 汚水ポンプ現場盤	屋内自立形	1	面	W600×D500×H1900	2000(平成12)年11月30日
1431	No.6 汚水ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2005(平成17)年12月
1433	No.2 排風機(地下1階)現場盤	屋内壁掛形	1	面	W400×D300×H500	1978(昭和53)年03月27日
1434	シャッター(ポンプ室)盤	屋内壁掛形	1	面	W400×D300×H500	1978(昭和53)年03月27日
1435	天井走行クレーン盤	屋内壁掛形	1	面	W400×D300×H500	1978(昭和53)年03月27日
1437	シャッター(ホッパー室)盤	屋内壁掛形	1	面	W400×D300×H500	1978(昭和53)年03月27日
1447	加圧水ポンプ設備補助継電器盤	屋内自立形	1	面	W600×D550×H2300	2000(平成12)年11月30日
1448	沈砂池中継端子盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	1990(平成2)年03月
1452	沈砂池ポンプ棟制御電源分電盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2007(平成19)年03月15日
1453	ITV 電源分電盤(沈砂池ポンプ棟)	屋内自立形	1	面	W600×D550×H2300	2005(平成17)年03月17日
1454	沈砂池 ITV カメラ		1	台		2005(平成17)年03月17日
1459	高速ろ過池流入可動堰現場盤	屋外スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2007(平成19)年11月30日
1460	1系水処理設備負荷配電盤	屋内自立形	1	面	W1600×D800×H2300	2014(平成26)年06月
1461	ミニ UPS(1系水処理棟)		1	台	5kVA	
1462	1-2 系水処理設備コントロールセンタ	屋内自立形	5	面	W600×D550×H2300	2014(平成26)年05月
1463	1-2 系水処理設備連動制御盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2014(平成26)年07月
1464	1系水処理共通設備連動制御盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2014(平成26)年07月
1465	1,2 系生汚泥流量計		1	式		2011(平成23)年02月28日
1466	1系初沈流入流量計		1	式		2007(平成19)年11月30日
1467	No.1 洗浄排水流量計		1	式		2007(平成19)年11月30日
1468	No.2 洗浄排水流量計		1	式		2007(平成19)年11月30日
1469	No.1-7 反応タンク曝気風量計		1	式		
1470	No.1-8 反応タンク曝気風量計		1	式		
1471	2系返送汚泥流量計		1	式	φ500	2009(平成21)年08月25日
1472	終沈汚泥ピット水位計		1	式	0~6m	2011(平成23)年02月28日
1473	No.1-2 反応タンク ORP 計		1	式		
1474	No.1-2 反応タンク DO 計(前段)		1	式		
1475	No.1-2 反応タンク DO 計(後段)		1	式	0~15mg/L	
1476	No.1-4 反応タンク DO 計(後段)		1	式	0~10mg/L	
1477	1,2 系生汚泥濃度計		1	式		2011(平成23)年02月28日
1478	2系返送汚泥濃度計		1	式	φ500	2009(平成21)年08月25日
1479	No.1-2 初沈汚泥界面計		1	式		2014(平成26)年08月
1480	No.1-1 終沈汚泥界面計		1	式		1978(昭和53)年
1481	No.1-2 終沈汚泥界面計		1	式		2014(平成26)年08月
1482	No.1 初沈池排水ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2014(平成26)年08月
1483	1系生汚泥ポンプ現場盤	屋内自立形	1	面	W700×D500×H1900	2014(平成26)年08月
1484	No.1-1 初沈床排水ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2014(平成26)年08月
1485	No.1-2 初沈床排水ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2014(平成26)年08月
1486	2系返送汚泥ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2009(平成21)年08月25日
1487	1,2 系余剰汚泥ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2014(平成26)年08月
1488	No.1 終沈池排水ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2014(平成26)年08月

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
1489	No. 1-1 終沈床排水ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2014(平成 26)年 08 月
1490	放流弁現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2007(平成 19)年 11 月 30 日
1491	No. 1-3 初沈流入可動堰現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2014(平成 26)年 08 月
1492	No. 1-4 初沈流入可動堰現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2014(平成 26)年 08 月
1493	No. 1-4 初沈汚泥掻寄せ機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2014(平成 26)年 08 月
1494	No. 1-4 初沈スカムスキマ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2014(平成 26)年 08 月
1495	1 系初沈保守電源盤	屋内壁掛形	1	面	W700×D300×H800	2014(平成 26)年 08 月
1496	沈殿可動セキ現場盤	屋外自立形	1	面	W600×D700×H1800	1978(昭和 53)年 03 月 27 日
1497	No. 1-4 反応タンク機械攪拌機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2014(平成 26)年 08 月
1498	No. 1-7 反応タンク風量調節弁現場盤	屋内壁掛形	1	面	W800×D400×H900	2014(平成 26)年 08 月
1499	No. 1-8 反応タンク風量調節弁現場盤	屋内壁掛形	1	面	W800×D400×H900	2014(平成 26)年 08 月
1500	1-2 系終沈汚泥引抜弁現場盤	屋外スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2014(平成 26)年 08 月
1501	No. 1-4 終沈汚泥掻寄せ機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2014(平成 26)年 08 月
1502	No. 1-4 終沈スカムスキマ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2014(平成 26)年 08 月
1503	1 系終沈保守電源盤	屋内壁掛形	1	面	W700×D300×H800	2014(平成 26)年 08 月
1504	1 系水処理設備計装変換器盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2014(平成 26)年 07 月
1505	1 系制御電源分岐盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2014(平成 26)年 07 月
1506	1 系水処理設備プラントコントローラ盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2014(平成 26)年 07 月
1507	1 系初沈 ITV カメラ		1	台		2005(平成 17)年 03 月 17 日
1508	1 系終沈 ITV カメラ		1	台		2005(平成 17)年 03 月 17 日
1509	ミニ UPS (2 系水処理棟)		1	台	5kVA	2017(平成 29)年 01 月
1510	2-1 系水処理設備コントロールセンタ (1)～(3)	屋内自立形	3	面	W600×D550×H2300	2012(平成 24)年 01 月 20 日
1511	2-1 系水処理設備コントロールセンタ (4)	屋内自立形	1	面	W600×D550×H2300	2013(平成 25)年 02 月 28 日
1512	2-2 系水処理設備コントロールセンタ 1	屋内自立形	3	面	W600×D550×H2300	2009(平成 21)年 08 月 25 日
1513	2-2 系水処理設備コントロールセンタ 2	屋内自立形	3	面	W600×D550×H2300	2011(平成 23)年 02 月 28 日
1514	No. 2-1 返送汚泥ポンプ盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2009(平成 21)年 08 月 25 日
1515	No. 2-2 返送汚泥ポンプ盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2009(平成 21)年 08 月 25 日
1516	No. 2-3 返送汚泥ポンプ盤	屋内自立形	2	面	W800×D800×H2300	2012(平成 24)年 01 月 20 日
1517	2-1 系水処理設備連動制御盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2012(平成 24)年 01 月 20 日
1518	2-2 系水処理設備連動制御盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2009(平成 21)年 08 月 25 日
1519	2 系水処理共通設備連動制御盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2009(平成 21)年 08 月 25 日
1520	2 系初沈流入流量計		1	式		2007(平成 19)年 11 月 30 日
1521	No. 2-1 反応タンク曝気風量計		1	式		2013(平成 25)年 02 月 28 日
1522	No. 2-2 反応タンク曝気風量計		1	式		2013(平成 25)年 02 月 28 日
1523	No. 2-3 反応タンク曝気風量計		1	式		2012(平成 24)年 01 月 20 日
1524	No. 2-4 反応タンク曝気風量計		1	式		2011(平成 23)年 02 月 28 日
1525	No. 2-5 反応タンク曝気風量計		1	式		2011(平成 23)年 02 月 28 日
1526	No. 2-6 反応タンク曝気風量計		1	式		
1527	No. 2-7 反応タンク曝気風量計		1	式		
1528	No. 2-8 反応タンク曝気風量計		1	式		
1529	No. 2-1 反応タンク ORP 計		1	式		2012(平成 24)年 01 月 20 日
1530	No. 2-2 反応タンク ORP 計		1	式		2009(平成 21)年 08 月 25 日
1531	No. 2-1 反応タンク DO 計(前段)		1	式	0～10mg/L	2012(平成 24)年 01 月 20 日
1532	No. 2-2 反応タンク DO 計(前段)		1	式		2009(平成 21)年 08 月 25 日
1533	No. 2-1 反応タンク DO 計(後段)		1	式	0～10mg/L	2013(平成 25)年 02 月 28 日
1534	No. 2-2 反応タンク DO 計(後段)		1	式	0～10mg/L	2012(平成 24)年 01 月 20 日
1535	No. 2-3 反応タンク DO 計(後段)		1	式	0～10mg/L	2011(平成 23)年 02 月 28 日
1536	No. 2-4 反応タンク DO 計(後段)		1	式	0～10mg/L	2009(平成 21)年 08 月 25 日
1537	No. 2-1 反応タンク MLSS 計		1	式		2012(平成 24)年 01 月 20 日
1538	No. 2-2 反応タンク MLSS 計		1	式		2009(平成 21)年 08 月 25 日
1539	No. 2-1 初沈汚泥界面計		1	式		2012(平成 24)年 01 月 20 日
1540	No. 2-2 初沈汚泥界面計		1	式		2011(平成 23)年 02 月 28 日
1541	No. 2-1 終沈汚泥界面計		1	式		2012(平成 24)年 01 月 20 日
1542	No. 2-2 終沈汚泥界面計		1	式		2009(平成 21)年 08 月 25 日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
1543	端子盤(2系水処理棟)	屋内壁掛形	1	面	W460×D110×H360	1981(昭和56)年01月
1544	2系生汚泥ポンプ現場盤	屋内自立形	1	面	W700×D500×H1900	2011(平成23)年02月28日
1545	2-1系生汚泥引抜弁現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+900	2011(平成23)年02月28日
1546	2系初沈床排水ポンプ現場盤	屋内壁掛形	1	面	W700×D400×H800	2011(平成23)年02月28日
1547	2系終沈床排水ポンプ現場盤	屋内壁掛形	1	面	W700×D400×H800	2009(平成21)年08月25日
1548	No. 2-1 初沈流入可動堰現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2012(平成24)年01月20日
1549	No. 2-2 初沈流入可動堰現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2012(平成24)年01月20日
1550	No. 2-3 初沈流入可動堰現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2011(平成23)年02月28日
1551	No. 2-4 初沈流入可動堰現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2011(平成23)年02月28日
1552	No. 2-1 初沈汚泥掻寄機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2013(平成25)年02月28日
1553	No. 2-2 初沈汚泥掻寄機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2012(平成24)年01月20日
1554	No. 2-3 初沈汚泥掻寄機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2011(平成23)年02月28日
1555	No. 2-4 初沈汚泥掻寄機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2009(平成21)年08月25日
1556	No. 2-1 初沈スカムスキマ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2013(平成25)年02月28日
1557	No. 2-2 初沈スカムスキマ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2012(平成24)年01月20日
1558	No. 2-3 初沈スカムスキマ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2011(平成23)年02月28日
1559	No. 2-4 初沈スカムスキマ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2009(平成21)年08月25日
1560	2系初沈保守電源盤	屋内壁掛形	1	面	W700×D300×H800	2011(平成23)年02月28日
1561	No. 2-1 反応タンク機械攪拌機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2013(平成25)年02月28日
1562	No. 2-2 反応タンク機械攪拌機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2012(平成24)年01月20日
1563	No. 2-3 反応タンク機械攪拌機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2011(平成23)年02月28日
1564	No. 2-4 反応タンク機械攪拌機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2009(平成21)年08月25日
1565	No. 2-1 反応タンク風量調節弁現場盤	屋内壁掛形	1	面	W800×D400×H900	2013(平成25)年02月28日
1566	No. 2-2 反応タンク風量調節弁現場盤	屋内壁掛形	1	面	W800×D400×H900	2013(平成25)年02月28日
1567	No. 2-3 反応タンク風量調節弁現場盤	屋内壁掛形	1	面	W800×D400×H900	2012(平成24)年01月20日
1568	No. 2-4 反応タンク風量調節弁現場盤	屋内壁掛形	1	面	W800×D400×H900	2012(平成24)年01月20日
1569	No. 2-5 反応タンク風量調節弁現場盤	屋内壁掛形	1	面	W800×D400×H900	2011(平成23)年02月28日
1570	No. 2-6 反応タンク風量調節弁現場盤	屋内壁掛形	1	面	W800×D400×H900	2011(平成23)年02月28日
1571	No. 2-7 反応タンク風量調節弁現場盤	屋内壁掛形	1	面	W800×D400×H900	2009(平成21)年08月25日
1572	No. 2-8 反応タンク風量調節弁現場盤	屋内壁掛形	1	面	W800×D400×H900	2009(平成21)年08月25日
1573	No. 2-1 終沈汚泥掻寄機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2013(平成25)年02月28日
1574	No. 2-2 終沈汚泥掻寄機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2012(平成24)年01月20日
1575	No. 2-3 終沈汚泥掻寄機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2011(平成23)年02月28日
1576	No. 2-4 終沈汚泥掻寄機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2009(平成21)年08月25日
1577	No. 2-1 終沈スカムスキマ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2013(平成25)年02月28日
1578	No. 2-2 終沈スカムスキマ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2012(平成24)年01月20日
1579	No. 2-3 終沈スカムスキマ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2011(平成23)年02月28日
1580	No. 2-4 終沈スカムスキマ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2009(平成21)年08月25日
1581	2系終沈保守電源盤	屋内壁掛形	1	面	W600×D300×H700	2009(平成21)年08月25日
1582	2系終沈スカム移送ポンプ現場盤	屋外スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2009(平成21)年08月25日
1583	終沈スカム圧送ポンプ現場盤	屋外自立形	1	面	W600×D700×H1800	1990(平成2)年12月20日
1584	2-1系終沈汚泥引抜弁現場盤	屋外スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2012(平成24)年01月20日
1585	2-2系終沈汚泥引抜弁現場盤	屋外スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2011(平成23)年02月28日
1586	2系水処理設備計装変換器盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2009(平成21)年08月25日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
1587	制御電源分岐盤(2系水処理棟)	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2009(平成21)年08月25日
1588	2系水処理設備プラントコントロール盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2009(平成21)年08月25日
1589	2系初沈ITVカメラ		1	台		2005(平成17)年03月17日
1590	2系終沈ITVカメラ		1	台		2005(平成17)年03月17日
1591	3系水処理設備系無停電電源変圧器盤	屋内自立形	1	面	W600×D500×H1600	2016(平成28)年02月29日
1593	最初沈殿池設備コントロールセンタ(1)～(4)	屋内自立形	1	面	W2600×D800×H2300	1990(平成2)年12月20日
1594	最初沈殿池設備コントロールセンタ(5)	屋内自立形	1	面	W600×D550×H2300	1998(平成10)年02月25日
1595	最終沈殿池設備コントロールセンタ(1)～(5)	屋内自立形	1	面	W3200×D800×H2300	1990(平成2)年12月20日
1596	最終沈殿池設備コントロールセンタ(6)～(8)	屋内自立形	3	面	W600×D550×H2300	1997(平成9)年11月
1597	分水槽・高速ろ過設備コントロールセンタ	屋内自立形	2	面	W600×D550×H2300	2007(平成19)年11月30日
1598	処理水再利用設備コントロールセンタ(1)(2)	屋内自立形	2	面	W600×D550×H2300	2005(平成17)年03月17日
1599	処理水再利用設備コントロールセンタ(3)	屋内自立形	1	面	W600×D550×H2300	2006(平成18)年12月15日
1600	3系水処理共通設備連動制御盤	屋内自立形	3	面	W800×D800×H2300	2016(平成28)年02月29日
1601	分水槽・高速ろ過設備連動制御盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2007(平成19)年11月30日
1602	処理水再利用設備連動制御盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2005(平成17)年03月17日
1603	3・4系生汚泥流量計		1	式	φ100	2013(平成25)年12月
1604	3系返送汚泥流量計		1	式	φ300	
1605	1,2系余剰汚泥流量計		1	式	φ200	
1606	3・4系余剰汚泥流量計		1	式	φ100、0～200m ³ /h	1990(平成2)年12月20日
1607	3系初沈流入流量計		1	式		2007(平成19)年11月30日
1608	No. 3-1 反応タンク曝気風量計		1	式	φ250、0～75m ³ /min	1990(平成2)年12月20日
1609	No. 3-2 反応タンク曝気風量計		1	式	φ250、0～75m ³ /min	1990(平成2)年12月20日
1610	No. 3-3 反応タンク曝気風量計		1	式	φ250、0～75m ³ /min	1990(平成2)年12月20日
1611	No. 3-4 反応タンク曝気風量計		1	式	φ250、0～75m ³ /min	1990(平成2)年12月20日
1612	No. 3-5 反応タンク曝気風量計		1	式		1998(平成10)年02月25日
1613	No. 3-6 反応タンク曝気風量計		1	式		1998(平成10)年02月25日
1614	No. 3-7 反応タンク曝気風量計		1	式		1998(平成10)年02月25日
1615	No. 3-8 反応タンク曝気風量計		1	式		1998(平成10)年02月25日
1616	2系初沈流入水路PH計		1	式	4～10pH	2007(平成19)年03月15日
1617	3系エアタン DO 計(後段)No. 17		1	式	0～15mg/L	
1618	3系エアタン DO 計(後段)No. 18		1	式	0～15mg/L	
1619	3-2 エアタン DO 計(後段)		1	式	0～15mg/L	
1620	3-3 エアタン DO 計(後段)		1	式	0～15mg/L	1998(平成10)年02月25日
1621	3系エアタン DO 計(後段)No. 23		1	式	0～15mg/L	1998(平成10)年02月25日
1622	3系エアタン DO 計(後段)No. 24		1	式	0～15mg/L	1998(平成10)年02月25日
1623	3・4系生汚泥濃度計		1	式	φ100	2013(平成25)年12月
1624	3系返送汚泥濃度計		1	式		
1625	余剰汚泥濃度計		1	式		2014(平成26)年08月
1626	3系エアタン MLSS 計 No. 18		1	式		1990(平成2)年12月20日
1627	No. 1-2 反応タンク MLSS 計		1	式		1998(平成10)年02月25日
1628	3系終沈汚泥界面計		1	式		1990(平成2)年12月20日
1629	池排水ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W400×D300×H500+1100	1990(平成2)年12月20日
1630	3系生汚泥ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D300×H800+800	1990(平成2)年12月20日
1631	3系初沈床排水ポンプ現場盤	屋内壁掛形	1	面	W500×D300×H600	1990(平成2)年12月20日
1632	3系終沈池排水ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W400×D300×H500+1100	1990(平成2)年12月20日
1633	3系返送汚泥ポンプ現場盤(7, 8用)	屋内スタンド形	1	面	W700×D300×H800+800	1990(平成2)年12月20日
1634	3系返送汚泥ポンプ現場盤(9, 10用)	屋内スタンド形	1	面	W700×D300×H800+800	1998(平成10)年02月25日
1635	3系余剰汚泥ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W500×D300×H600+1000	1990(平成2)年12月20日
1636	3系終沈床排水ポンプ現場盤(No. 1, 2用)	屋内壁掛形	1	面	W500×D300×H600	1990(平成2)年12月20日
1637	3系終沈床排水ポンプ現場盤(No. 3, 4用)	屋内壁掛形	1	面	W500×D300×H600	1990(平成2)年12月20日
1638	脱硫水ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W500×D300×H600+1000	1990(平成2)年

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
1639	脱硫用水ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2004(平成16)年03月17日
1640	フロススプレーポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W500×D300×H600+1000	1990(平成2)年12月20日
1641	加圧水タンク圧送ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2007(平成19)年03月15日
1642	汚泥洗浄水ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W500×D300×H600+900	1979(昭和54)年03月26日
1643	床排水ポンプ現場盤1(3系水処理棟)	屋内スタンド形	1	面	W400×D300×H500+1000	1979(昭和54)年03月26日
1644	床排水ポンプ現場盤2(3系水処理棟)	屋内スタンド形	1	面	W400×D300×H500+1000	1979(昭和54)年06月
1645	初沈流入可動堰現場盤(No.1～3)	屋内壁掛形	1	面	W600×D300×H700	1998(平成10)年02月25日
1646	初沈流入可動堰現場盤(No.4～6)	屋内壁掛形	1	面	W600×D300×H700	1998(平成10)年02月25日
1647	3系水処理脱臭設備現場盤	屋内壁掛形	1	面	W700×D400×H800	2005(平成17)年03月17日
1648	No.9 初沈汚泥かき寄機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W500×D300×H600+1000	1990(平成2)年12月20日
1649	No.10 初沈汚泥かき寄機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W500×D300×H600+1000	1990(平成2)年12月20日
1650	No.11 初沈汚泥かき寄機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W500×D300×H600+1000	1998(平成10)年02月25日
1651	No.12 初沈汚泥かき寄機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W500×D300×H600+1000	1998(平成10)年02月25日
1652	No.9 初沈スカムスキマ現場盤	屋内壁掛形	1	面	W600×D300×H700	1990(平成2)年12月20日
1653	No.10 初沈スカムスキマ現場盤	屋内壁掛形	1	面	W600×D300×H700	1990(平成2)年12月20日
1654	No.11 初沈スカムスキマ現場盤	屋内壁掛形	1	面	W600×D300×H700	1998(平成10)年02月25日
1655	No.12 初沈スカムスキマ現場盤	屋内壁掛形	1	面	W600×D300×H700	1998(平成10)年02月25日
1656	No.2 沈殿可動せき現場盤	屋内壁掛形	1	面	W400×D300×H500	1990(平成2)年12月20日
1657	エアタン空気流量調節弁現場盤(No.17～20)	屋内壁掛形	1	面	W500×D300×H600	1990(平成2)年12月20日
1658	エアタン空気流量調節弁現場盤(No.21～24)	屋内壁掛形	1	面	W500×D300×H600	1998(平成10)年02月25日
1659	No.9 終沈汚泥かき寄機現場盤	屋外スタンド形	1	面	W500×D400×H560+980	1990(平成2)年12月20日
1660	No.10 終沈汚泥かき寄機現場盤	屋外スタンド形	1	面	W500×D400×H560+980	1990(平成2)年12月20日
1661	No.11 終沈汚泥かき寄機現場盤	屋外スタンド形	1	面	W500×D400×H560+1000	1998(平成10)年02月25日
1662	No.12 終沈汚泥かき寄機現場盤	屋外スタンド形	1	面	W500×D400×H560+1000	1998(平成10)年02月25日
1663	No.9 終沈スカムスキマ現場盤	屋外スタンド形	1	面	W600×D400×H670+870	1990(平成2)年12月20日
1664	No.10 終沈スカムスキマ現場盤	屋外スタンド形	1	面	W600×D400×H670+870	1990(平成2)年12月20日
1665	No.11 終沈スカムスキマ現場盤	屋外スタンド形	1	面	W600×D400×H700+900	1998(平成10)年02月25日
1666	No.12 終沈スカムスキマ現場盤	屋外スタンド形	1	面	W600×D400×H700+900	1998(平成10)年02月25日
1667	No.1 補助継電器盤(CC-32)	屋内自立形	1	面	W600×D550×H2300	1990(平成2)年06月
1668	No.2 補助継電器盤(CC-32)	屋内自立形	1	面	W600×D550×H2300	
1669	No.3 補助継電器盤(CC-32)	屋内自立形	1	面	W600×D550×H2300	1997(平成9)年11月
1670	No.1 補助継電器盤(CC-42)	屋内自立形	1	面	W600×D550×H2300	
1671	No.2 補助継電器盤(CC-42)	屋内自立形	1	面	W600×D550×H2300	
1672	No.3 補助継電器盤(CC-42)	屋内自立形	1	面	W600×D550×H2300	
1673	No.4 補助継電器盤(CC-42)	屋内自立形	1	面	W600×D550×H2300	1990(平成2)年06月
1674	No.5 補助継電器盤(CC-42)	屋内自立形	1	面	W600×D550×H2300	1998(平成10)年02月25日
1675	3系初沈中継端子盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	1990(平成2)年12月20日
1676	3系終沈中継端子盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	1990(平成2)年12月20日
1677	3・4系水処理計装盤	屋内自立形	1	面	W1200×D800×H2300	1990(平成2)年12月20日
1678	3・4系水処理監視盤	屋内自立形	1	面	W2400×D800×H2300	1990(平成2)年12月20日
1679	CVCF電源分電盤(3系水処理棟)	屋内自立形	1	面	W600×D600×H2300	1991(平成3)年03月25日
1680	3系水処理設備プラントコントロール盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2016(平成28)年02月29日
1681	3系初沈ITVカメラ		1	台		2005(平成17)年03月17日
1682	3系終沈ITVカメラ		1	台		2005(平成17)年03月17日
1683	ミニUPS(4系水処理棟)		1	台	10kVA	2005(平成17)年03月17日
1684	4系最初沈殿池設備コントロールセンタ	屋内自立形	4	面	W600×D550×H2300	2005(平成17)年03月17日
1685	4系最終沈殿池設備コントロールセンタ(1)～(4)	屋内自立形	4	面	W600×D550×H2300	2005(平成17)年03月17日
1686	4系最終沈殿池設備コントロールセンタ(5)(6)	屋内自立形	2	面	W600×D550×H2300	2008(平成20)年03月14日
1687	4系水処理設備池連動制御盤(1)	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2005(平成17)年03月17日
1688	4系水処理設備池連動制御盤(2)	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2008(平成20)年03月14日
1689	4系水処理共通設備連動制御盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2005(平成17)年03月17日
1690	4系返送汚泥ポンプVVVF盤(1)	屋内自立形	1	面	W1000×D800×H2300	2005(平成17)年03月17日
1691	4系返送汚泥ポンプVVVF盤(2)	屋内自立形	1	面	W1400×D800×H2300	2008(平成20)年03月14日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
1692	4系返送汚泥流量計		1	式	φ500	2005(平成17)年03月17日
1693	4系初沈流入流量計		1	式		2007(平成19)年11月30日
1694	No. 4-1 反応タンク曝気風量計		1	式		2005(平成17)年03月17日
1695	No. 4-2 反応タンク曝気風量計		1	式		2005(平成17)年03月17日
1696	No. 4-3 反応タンク曝気風量計		1	式		2005(平成17)年03月17日
1697	No. 4-4 反応タンク曝気風量計		1	式		2005(平成17)年03月17日
1698	No. 4-5 反応タンク曝気風量計		1	式		2008(平成20)年03月14日
1699	No. 4-6 反応タンク曝気風量計		1	式		2008(平成20)年03月14日
1700	No. 4-7 反応タンク曝気風量計		1	式		2008(平成20)年03月14日
1701	No. 4-8 反応タンク曝気風量計		1	式		2008(平成20)年03月14日
1702	No. 4-1 反応タンク ORP 計		1	式		2005(平成17)年03月17日
1703	No. 4-2 反応タンク ORP 計		1	式		2008(平成20)年03月14日
1704	No. 4-1 反応タンク DO 計(前段)		1	式	0~10mg/L	2005(平成17)年03月17日
1705	No. 4-2 反応タンク DO 計(前段)		1	式	0~10mg/L	2008(平成20)年03月14日
1706	No. 4-1 反応タンク DO 計(後段)		1	式	0~10mg/L	2005(平成17)年03月17日
1707	No. 4-2 反応タンク DO 計(後段)		1	式	0~10mg/L	2005(平成17)年03月17日
1708	No. 4-3 反応タンク DO 計(後段)		1	式	0~10mg/L	2008(平成20)年03月14日
1709	No. 4-4 反応タンク DO 計(後段)		1	式	0~10mg/L	2008(平成20)年03月14日
1710	4系返送汚泥濃度計		1	式	φ500	2005(平成17)年03月17日
1713	No. 4-1 終沈汚泥界面計		1	式		2008(平成20)年03月14日
1714	No. 4-2 終沈汚泥界面計		1	式		2005(平成17)年03月17日
1715	No. 4-3 終沈汚泥界面計		1	式		2008(平成20)年03月14日
1716	No. 4-4 終沈汚泥界面計		1	式		2008(平成20)年03月14日
1717	4系生汚泥ポンプ現場盤	屋内自立形	1	面	W700×D500×H1900	2005(平成17)年03月17日
1718	4系初沈床排水ポンプ現場盤	屋内壁掛形	1	面	W700×D400×H800	2005(平成17)年03月17日
1719	4系終沈池排水ポンプ現場盤	屋内壁掛形	1	面	W700×D400×H800	2005(平成17)年03月17日
1720	4系返送・余剰汚泥ポンプ現場盤	屋内自立形	1	面	W1000×D500×H1900	2005(平成17)年03月17日
1721	4系終沈床排水ポンプ現場盤	屋内壁掛形	1	面	W700×D400×H800	2004(平成16)年08月
1722	4系水処理脱臭設備現場盤	屋内壁掛形	1	面	W700×D400×H800	2005(平成17)年03月17日
1723	No. 4-1 初沈流入可動堰現場盤	屋内壁掛形	1	面	W700×D400×H800	2005(平成17)年03月17日
1724	No. 4-2 初沈流入可動堰現場盤	屋内壁掛形	1	面	W700×D400×H800	2005(平成17)年03月17日
1725	No. 4-3 初沈流入可動堰現場盤	屋内壁掛形	1	面	W700×D400×H800	2005(平成17)年03月17日
1726	No. 4-4 初沈流入可動堰現場盤	屋内壁掛形	1	面	W700×D400×H800	2005(平成17)年03月17日
1727	No. 4-1 初沈汚泥掻寄機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2005(平成17)年03月17日
1728	No. 4-2 初沈汚泥掻寄機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2005(平成17)年03月17日
1729	No. 4-1 初沈スカムスキマ現場盤	屋内壁掛形	1	面	W700×D400×H800	2005(平成17)年03月17日
1730	No. 4-2 初沈スカムスキマ現場盤	屋内壁掛形	1	面	W700×D400×H800	2005(平成17)年03月17日
1731	No. 4-1 反応タンク機械攪拌機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2005(平成17)年03月17日
1732	No. 4-2 反応タンク機械攪拌機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2005(平成17)年03月17日
1733	No. 4-3 反応タンク機械攪拌機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2008(平成20)年03月14日
1734	No. 4-4 反応タンク機械攪拌機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2008(平成20)年03月14日
1735	No. 4-1 反応タンク風量調節弁現場盤	屋内スタンド形	1	面	W800×D400×H900+700	2005(平成17)年03月17日
1736	No. 4-2 反応タンク風量調節弁現場盤	屋内スタンド形	1	面	W800×D400×H900+700	2005(平成17)年03月17日
1737	No. 4-3 反応タンク風量調節弁現場盤	屋内スタンド形	1	面	W800×D400×H900+700	2008(平成20)年03月14日
1738	No. 4-4 反応タンク風量調節弁現場盤	屋内スタンド形	1	面	W800×D400×H900+700	2008(平成20)年03月14日
1739	4系水処理 No. 1 保守電源盤	屋内壁掛形	1	面	W600×D300×H700	2005(平成17)年03月17日
1740	4系水処理 No. 3 保守電源盤	屋内壁掛形	1	面	W600×D300×H700	2008(平成20)年03月14日
1741	No. 4-1 終沈汚泥掻寄機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2005(平成17)年03月17日
1742	No. 4-2 終沈汚泥掻寄機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2005(平成17)年03月17日
1743	No. 4-3 終沈汚泥掻寄機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2008(平成20)年03月14日
1744	No. 4-4 終沈汚泥掻寄機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2008(平成20)年03月14日
1745	No. 4-1 終沈スカムスキマ現場盤	屋内壁掛形	1	面	W700×D400×H800	2005(平成17)年03月17日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
1746	No. 4-2 終沈スカムスキマ現場盤	屋内壁掛形	1	面	W700×D400×H800	2005(平成17)年03月17日
1747	No. 4-3 終沈スカムスキマ現場盤	屋内壁掛形	1	面	W700×D400×H800	2008(平成20)年03月14日
1748	No. 4-4 終沈スカムスキマ現場盤	屋内壁掛形	1	面	W700×D400×H800	2008(平成20)年03月14日
1749	4系水処理 No. 2 保守電源盤	屋内壁掛形	1	面	W600×D300×H700	2005(平成17)年03月17日
1750	4系水処理 No. 4 保守電源盤	屋内壁掛形	1	面	W600×D300×H700	2008(平成20)年03月14日
1751	4系水処理設備計装変換器盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2005(平成17)年03月17日
1752	制御電源分岐盤(4系水処理棟)	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2005(平成17)年03月17日
1753	3・4系水処理設備プラントコントローラ盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2005(平成17)年03月17日
1754	4系終沈 ITV カメラ		1	台		2005(平成17)年03月17日
1755	3・4系放流流量計		1	式	0～1m	2005(平成17)年03月17日
1756	1・2系高級処理流量計		1	式	0～0.8m	
1757	3・4系高級処理流量計		1	式	0～0.8m	1990(平成2)年12月20日
1758	3・4系放流流量計盤	屋外自立形	1	面	W700×D600×H1900	2005(平成17)年03月17日
1759	塩素混和地ゲート現場盤	屋外スタンド形	1	面	W400×D400×H500+1000	1979(昭和54)年03月26日
1760	ろ過水流量計		1	式	φ250	
1761	No. 1 ろ過水槽水位計		1	式	0～5m	2006(平成18)年12月15日
1762	No. 2 ろ過水槽水位計		1	式	0～5m	2006(平成18)年12月15日
1763	砂ろ過現場盤	屋外自立形	1	面	W1000×D650×H1900	2006(平成18)年12月15日
1764	空気源装置現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2006(平成18)年12月15日
1765	No. 1 消化汚泥分配槽液位計		1	式	0～5m	1983(昭和58)年08月
1766	No. 2 消化汚泥分配槽液位計		1	式	0～10m	1989(平成元)年02月28日
1767	洗浄汚泥圧送流量計		1	式	φ150	1989(平成元)年02月28日
1768	空気圧縮機現場盤	屋内壁掛形	1	面	W500×D300×H600	1989(平成元)年02月28日
1769	No. 2 分配槽投入ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2004(平成16)年08月31日
1770	洗浄汚泥移送ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2003(平成15)年03月14日
1771	2次洗浄タンク投入ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W600×D300×H700+800	1989(平成元)年02月28日
1772	No. 1 汚泥圧送ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W400×D300×H500+1000	1978(昭和53)年03月27日
1773	床排水ポンプ現場盤(洗浄タンク)	屋内スタンド形	1	面	W400×D300×H500+1000	1978(昭和53)年03月
1774	No. 1 洗浄タンク汚泥掻寄機現場盤	屋外スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2009(平成21)年02月27日
1775	No. 2 洗浄タンク汚泥掻寄機現場盤	屋外スタンド形	1	面	W400×D400×H500+1000	1989(平成元)年02月28日
1776	コントロールセンタ CC-7(1)～(5)(7)	屋内自立形	1	面	W3800×D550×H2300	1978(昭和53)年03月27日
1777	コントロールセンタ CC-7(8)	屋内自立形	1	面	W600×D550×H2300	1991(平成3)年02月
1778	コントロールセンタ CC-8(1)～(6)	屋内自立形	6	面	W600×D500×H2300	1978(昭和53)年03月27日
1779	コントロールセンタ CC-8(7)	屋内自立形	1	面	W600×D500×H2300	1989(平成元)年02月28日
1780	汚泥移送ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D300×H800+800	1998(平成10)年12月
1781	No. 3, 4 床排水ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2012(平成24)年02月29日
1782	No. 1 補助継電器盤(CC-7)	屋内自立形	1	面	W600×D500×H2300	1978(昭和53)年03月27日
1783	No. 2 補助継電器盤(CC-7)	屋内自立形	1	面	W600×D500×H2300	1982(昭和57)年03月10日
1784	No. 1 補助継電器盤(CC-8)	屋内自立形	1	面	W600×D500×H2300	1978(昭和53)年03月27日
1785	No. 2 補助継電器盤(CC-8)	屋内自立形	1	面	W600×D500×H2300	1989(昭和64)年01月
1786	濃縮汚泥流量計		1	式	φ150	2012(平成24)年02月29日
1787	濃縮汚泥濃度計	近赤外光式	1	式	φ100	2012(平成24)年02月29日
1788	濃縮汚泥移送ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W800×D400×H900+700	2012(平成24)年02月29日
1789	No. 1, 2 床排水ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2012(平成24)年02月29日
1790	汚泥ビット水位計		1	式	0～5m	2006(平成18)年03月15日
1791	No. 2 濃縮タンク液位計		1	式	0～50kPa	2012(平成24)年02月29日
1792	No. 1 汚泥掻寄機・浮上汚泥移送ポンプ現場盤	屋外スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2006(平成18)年03月15日
1793	No. 2 濃縮タンク汚泥掻寄機現場盤	屋外スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2012(平成24)年02月29日
1794	高圧引込盤	屋内自立形	1	面	W900×D2000×H2300	2007(平成19)年03月15日
1795	自家発連絡盤	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2007(平成19)年03月15日
1796	高圧受電盤	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2007(平成19)年03月15日
1797	沈砂池ポンプ棟(1)き電盤/脱水機棟(1)き電盤	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2007(平成19)年03月15日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
1798	沈砂池ポンプ棟(2)き電盤/脱水機棟(2)き電盤	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2007(平成19)年03月15日
1799	送風機設備(1)き電盤/管理本館(1)き電盤	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2007(平成19)年03月15日
1800	送風機設備(2)き電盤/管理本館(2)き電盤	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2007(平成19)年03月15日
1801	ZPD(1)盤/コンデンサ一次盤	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2007(平成19)年03月15日
1802	母線連絡盤(機械濃縮棟)	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2007(平成19)年03月15日
1803	No.1 コンデンサ盤	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2007(平成19)年03月15日
1804	No.2 コンデンサ盤	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2007(平成19)年03月15日
1805	ZPD(2)盤/予備盤	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2007(平成19)年03月15日
1806	直流電源盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2006(平成18)年04月
1807	汚泥濃縮・洗浄設備系無停電電源変圧器盤	屋内自立形	1	面	W600×D500×H1600	2013(平成25)年05月31日
1808	ミニ UPS(機械濃縮棟)		1	台	2kVA	2013(平成25)年05月31日
1809	機械濃縮設備コントロールセンタ CC-16	屋内自立形	1	面	W3800×D800×H2300	1996(平成8)年03月04日
1810	機械濃縮設備コントロールセンタ CC-17	屋内自立形	1	面	W2000×D800×H2300	1998(平成10)年12月
1811	汚泥濃縮洗浄タンク設備コントロールセンタ(1),(2)	屋内自立形	2	面	W600×D550×H2300	2004(平成16)年08月31日
1812	汚泥濃縮洗浄タンク設備コントロールセンタ(3)	屋内自立形	1	面	W600×D550×H2300	2012(平成24)年02月29日
1813	濃縮脱臭設備コントロールセンタ	屋内自立形	2	面	W600×D550×H2300	2004(平成16)年03月17日
1814	No.1,2 機械濃縮設備連動制御盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2013(平成25)年03月15日
1815	No.3,4 機械濃縮設備連動制御盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2013(平成25)年03月15日
1816	汚泥濃縮洗浄タンク設備連動制御盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2006(平成18)年03月15日
1817	No.2 濃縮機汚泥供給流量計		1	式	φ75	
1818	No.3 濃縮機汚泥供給流量計		1	式	φ80	1996(平成8)年03月04日
1819	No.4 濃縮機汚泥供給流量計		1	式	φ80	1996(平成8)年03月04日
1820	遠心濃縮汚泥移送流量計		1	式	φ100	1996(平成8)年03月04日
1821	No.1 濃縮汚泥貯留槽液位計		1	式	0~3.5m	
1822	No.2 濃縮汚泥貯留槽液位計		1	式	0~3.5m	
1823	No.1 余剰汚泥貯留槽液位計		1	式	0~6m	
1824	No.2 余剰汚泥貯留槽液位計		1	式	0~6m	
1826	遠心濃縮汚泥移送濃度計	マイクロ波濃度計	1	式	0~8%TS	1996(平成8)年03月04日
1827	遠心濃縮汚泥移送ポンプ現場盤	屋内自立形	1	面	W600×D500×H1900	1996(平成8)年03月04日
1828	濃縮機汚泥供給ポンプ現場盤	屋内自立形	1	面	W800×D500×H1900	1996(平成8)年03月04日
1829	余剰汚泥貯留槽搅拌ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W500×D300×H600+1000	1996(平成8)年03月04日
1830	床排水ポンプ制御盤	屋内壁掛形	1	面	W600×D250×H700	
1831	濃縮脱臭ファン現場盤	屋内壁掛形	1	面	W700×D400×H800	2004(平成16)年03月17日
1832	No.1 スクリーンかす搬出機現場盤(機械濃縮棟)	屋内スタンド形	1	面	W400×D300×H500+1100	1996(平成8)年03月04日
1833	No.2,3 スクリーンかす搬出機現場盤	屋外スタンド形	1	面	W500×D400×H600+1000	1996(平成8)年03月04日
1834	接地端子箱(機械濃縮棟)	屋内壁掛形	1	面	W400×D150×H400	
1835	No.1 補助継電器盤(CC-16)	屋内自立形	1	面	W600×D550×H2300	1995(平成7)年12月
1836	No.2 補助継電器盤(CC-16)	屋内自立形	1	面	W600×D550×H2300	
1837	No.1 補助継電器盤(CC-17)	屋内自立形	1	面	W600×D550×H2300	1998(平成10)年12月
1838	機械濃縮中継端子盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	1995(平成7)年12月
1839	機械濃縮計装盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	1996(平成8)年03月04日
1840	汚泥濃縮洗浄タンク設備計装変換器盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2012(平成24)年02月29日
1841	CVCF 電源分電盤(機械濃縮棟)	屋内自立形	1	面	W600×D600×H2300	1995(平成7)年12月
1842	濃縮設備プラントコントローラ盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2013(平成25)年03月15日
1843	機械濃縮棟受変電設備統括コントローラ盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2007(平成19)年03月15日
1844	消化タンク設備系無停電電源変圧器盤	屋内自立形	1	面	W600×D500×H1600	2013(平成25)年05月31日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
1845	ミニ UPS(ブロー室棟)		1	台	3kVA	2013(平成 25)年 05 月 31 日
1846	コントロールセンタ CC-9(1)～(6)	屋内自立形	1	面	W3800×D800×H2300	1982(昭和 57)年 03 月 10 日
1847	コントロールセンタ CC-9(7)	屋内自立形	1	面	W600×D500×H2300	1979(昭和 54)年 02 月 28 日
1848	コントロールセンタ CC-9(8)～(10)	屋内自立形	3	面	W600×D500×H2300	1991(平成 3)年 02 月
1849	コントロールセンタ CC-9(11)	屋内自立形	1	面	W600×D500×H2300	1992(平成 4)年 03 月 13 日
1850	消化設備コントロールセンタ(1)	屋内自立形	6	面	W600×D550×H2300	2002(平成 14)年 03 月
1851	消化設備連動制御盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2002(平成 14)年 03 月
1852	2 系消化設備連動制御盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2013(平成 25)年 03 月 15 日
1853	ボイラー制御盤	屋内自立形	1	面	W800×D350×H1700	
1854	換気コントロール盤	屋内自立形	1	面	W1000×D430×H1930	
1855	洗浄汚泥引抜流量計		1	式	φ 200、0～100m ³ /h	2003(平成 15)年 03 月 14 日
1856	1 系消化汚泥流量計		1	式	φ 200、0～400m ³ /h	
1857	2-2 消化汚泥移送流量計		1	式	φ 200、0～400m ³ /h	1991(平成 3)年 01 月
1858	2-3 消化汚泥移送流量計		1	式	φ 200、0～400m ³ /h	1991(平成 3)年 01 月
1859	2-2 濃縮汚泥移送流量計		1	式	φ 200、0～120m ³ /h	1991(平成 3)年 01 月
1860	2-3 濃縮汚泥移送流量計		1	式	φ 200、0～120m ³ /h	1991(平成 3)年 01 月
1861	No. 1-1 消化タンク汚泥循環量計		1	式	φ 200、0～150m ³ /h	2003(平成 15)年 03 月 14 日
1862	No. 1-2 消化タンク汚泥循環量計		1	式	φ 200、0～150m ³ /h	2003(平成 15)年 03 月 14 日
1863	2-2 消化タンク汚泥循環流量計		1	式	φ 200、0～200m ³ /h	1991(平成 3)年 01 月
1864	2-3 消化タンク汚泥循環流量計		1	式	φ 200、0～200m ³ /h	1991(平成 3)年 01 月
1865	脱離液流量計		1	式	φ 200、0～240m ³ /h	1991(平成 3)年 01 月
1866	No. 1-1 消化タンク汚泥投入量計		1	式	φ 200、0～100m ³ /h	2003(平成 15)年 03 月 14 日
1867	No. 1-2 消化タンク汚泥投入量計		1	式	φ 200、0～100m ³ /h	2003(平成 15)年 03 月 14 日
1868	No. 1-1 消化汚泥引抜量計		1	式	φ 200、0～150m ³ /h	2003(平成 15)年 03 月 14 日
1869	No. 1-2 消化汚泥引抜量計		1	式	φ 200、0～150m ³ /h	2003(平成 15)年 03 月 14 日
1870	貯留汚泥引抜量計		1	式	φ 200、0～200m ³ /h	2003(平成 15)年 03 月 14 日
1871	1 次消化汚泥移送流量計		1	式	φ 250、0～120m ³ /h	1991(平成 3)年 01 月
1872	1 系ガス流量計		1	式		2002(平成 14)年 01 月
1873	2 系ガス流量計		1	式	0～1.5kPa	2011(平成 23)年 11 月
1874	予備ガス流量計		1	式		2002(平成 14)年 01 月
1875	No. 1-1 消化ガス流量計		1	式	φ 100	2003(平成 15)年 03 月 14 日
1876	No. 1-2 消化ガス流量計		1	式	φ 100	2003(平成 15)年 03 月 14 日
1877	No. 2-2 消化ガス流量計		1	式	0～0.3kPa	
1878	No. 2-3 消化ガス流量計		1	式	0～0.3kPa	
1879	No. 1-1 消化タンク液位計		1	式	0～2m	2003(平成 15)年 03 月 14 日
1880	No. 1-2 消化タンク液位計		1	式	0～2m	2003(平成 15)年 03 月 14 日
1881	汚泥貯留タンク液位計		1	式	0～2m	2003(平成 15)年 03 月 14 日
1882	No. 1-1 熱交換器汚泥差圧計		1	式	0～200kPa	2003(平成 15)年 03 月 14 日
1883	No. 1-1 熱交換器温水差圧計		1	式	0～500kPa	2003(平成 15)年 03 月 14 日
1884	No. 1-2 熱交換器汚泥差圧計		1	式	0～200kPa	2003(平成 15)年 03 月 14 日
1885	No. 1-2 熱交換器温水差圧計		1	式	0～500kPa	2003(平成 15)年 03 月 14 日
1886	No. 2-2 熱交換器汚泥差圧計		1	式	0～2kg/cm ²	1991(平成 3)年 03 月 25 日
1887	No. 2-2 熱交換器温水差圧計		1	式	0～2kg/cm ²	1991(平成 3)年 03 月 25 日
1888	No. 2-3 熱交換器汚泥差圧計		1	式	0～2kg/cm ²	1991(平成 3)年 03 月 25 日
1889	No. 2-3 熱交換器温水差圧計		1	式	0～2kg/cm ²	1991(平成 3)年 03 月 25 日
1890	No. 2-2 消化タンク液位計		1	式	0～21m	1991(平成 3)年 02 月
1891	No. 2-3 消化タンク液位計		1	式	0～21m	1990(平成 2)年 12 月
1892	No. 1-1 消化タンク圧力計		1	式		2003(平成 15)年 03 月 14 日
1893	No. 1-2 消化タンク圧力計		1	式		2003(平成 15)年 03 月 14 日
1894	No. 2-2 消化タンク圧力計		1	式		1991(平成 3)年 03 月 25 日
1895	No. 2-3 消化タンク圧力計		1	式		1991(平成 3)年 03 月 25 日
1896	No. 1-1 消化タンク下部温度計		1	式		2003(平成 15)年 03 月 14 日
1897	No. 1-2 消化タンク下部温度計		1	式	0～60℃	2003(平成 15)年 03 月 14 日
1898	No. 2-2 消化タンク下部温度計		1	式		1991(平成 3)年 02 月
1899	No. 2-3 消化タンク下部温度計		1	式		1991(平成 3)年 02 月
1900	No. 1-1 熱交換器入口汚泥温度計		1	式	0～60℃	2003(平成 15)年 03 月 14 日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
1901	No. 1-1 熱交換器出口汚泥温度計		1	式	0～60℃	2003(平成15)年03月14日
1902	No. 1-2 熱交換器入口汚泥温度計		1	式	0～60℃	2003(平成15)年03月14日
1903	No. 1-2 熱交換器出口汚泥温度計		1	式	0～60℃	2003(平成15)年03月14日
1904	No. 2-2 熱交換器入口温度計		1	式		
1905	No. 2-2 熱交換器出口温度計		1	式		1990(平成2)年12月
1906	No. 2-3 熱交換器入口温度計		1	式		
1907	No. 2-3 熱交換器出口温度計		1	式		1990(平成2)年12月
1908	No. 1-1 消化タンク中部温度計		1	式		2003(平成15)年03月14日
1909	No. 1-2 消化タンク中部温度計		1	式		2003(平成15)年03月14日
1910	No. 2-2 消化タンク中部温度計		1	式		
1911	No. 1-1 消化タンク上部温度計		1	式		2003(平成15)年03月14日
1912	No. 1-2 消化タンク上部温度計		1	式		2003(平成15)年03月14日
1913	No. 2-2 消化タンク上部温度計		1	式		
1914	洗浄汚泥濃度計	マイクロ波濃度計	1	式	0～5%TS	2003(平成15)年03月14日
1915	1次消化汚泥移送濃度計	消泡式超音波濃度計	1	式	φ250	
1916	2系(2-2, 2-3)消化汚泥移送濃度計	消泡式超音波濃度計	1	式	φ200	1991(平成3)年03月25日
1917	脱離液濃度計	消泡式超音波濃度計	1	式	φ200	1991(平成3)年03月25日
1918	貯留タンク攪拌ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2003(平成15)年03月14日
1919	貯留汚泥移送ポンプ現場盤	屋内自立形	1	面	W1000×D500×H1900	2003(平成15)年03月14日
1920	汚泥循環ポンプ現場盤1	屋内自立形	1	面	W800×D400×H1900	1990(平成2)年
1921	汚泥循環ポンプ現場盤2	屋内自立形	1	面	W700×D500×H1900	2003(平成15)年03月14日
1922	温水循環ポンプ現場盤1	屋内壁掛形	1	面	W600×D300×H700	1990(平成2)年
1923	温水循環ポンプ現場盤2	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2003(平成15)年03月14日
1924	2系消化汚泥圧送ポンプ現場盤	屋内壁掛形	1	面	W400×D300×H500	1990(平成2)年
1925	No. 1-1 消化タンク攪拌ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2003(平成15)年03月14日
1926	No. 1-2 消化タンク攪拌ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2003(平成15)年03月14日
1927	雑用水加圧ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W400×D300×H500+1100	1990(平成2)年
1928	1系雑用水加圧ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2003(平成15)年03月14日
1929	消化タンク空気圧縮機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W500×D300×H600+1000	1990(平成2)年
1930	床排水ポンプ現場盤(ブロワー室棟)	屋内壁掛形	1	面	W700×D400×H800	2003(平成15)年03月14日
1931	ガス昇圧ブロワ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2003(平成15)年03月14日
1932	No. 1-1 消化タンク攪拌機現場盤	屋外スタンド形	1	面	W800×D400×H900+700	2003(平成15)年03月14日
1933	No. 1-2 消化タンク攪拌機現場盤	屋外スタンド形	1	面	W800×D400×H900+700	2003(平成15)年03月14日
1934	No. 2-2 消化タンク攪拌機現場盤	屋外スタンド形	1	面	W600×D400×H700+900	1990(平成2)年
1935	No. 2-3 消化タンク攪拌機現場盤	屋外スタンド形	1	面	W600×D400×H700+900	1990(平成2)年
1936	No. 2-2 消化タンクテレスコープ弁現場盤	屋外自立形	1	面	W700×D700×H1800	1990(平成2)年
1937	No. 2-3 消化タンクテレスコープ弁現場盤	屋外自立形	1	面	W700×D700×H1800	1990(平成2)年
1938	分離液引抜テレスコープ弁現場盤	屋外スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2003(平成15)年03月14日
1939	消化設備補助継電器盤	屋内自立形	1	面	W600×D500×H2300	2012(平成24)年05月
1940	No. 4 補助継電器盤(消化設備)	屋内自立形	1	面	W600×D500×H2300	1990(平成2)年
1941	No. 5 補助継電器盤(消化設備)	屋内自立形	1	面	W600×D800×H2300	1990(平成2)年
1942	消化タンク中継端子盤	屋内自立形	1	面	W600×D800×H2300	1990(平成2)年
1943	消化タンク計装盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	1990(平成2)年
1944	消化設備計装変換器盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2003(平成15)年03月14日
1945	CVCF 電源分電盤(ブロワー室棟)	屋内自立形	1	面	W600×D600×H2300	1990(平成2)年
1946	消化設備プラントコントローラ盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2013(平成25)年03月15日
1947	No. 1 引込盤(脱水機棟)	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2003(平成15)年03月14日
1948	No. 2 引込盤(脱水機棟)	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2003(平成15)年03月14日
1949	母線連絡盤(脱水機棟)	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2003(平成15)年03月14日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
1950	No. 1 動力変圧器一次盤／照明変圧器一次盤(脱水機棟)	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2003(平成15)年03月14日
1951	予備／No. 2 動力変圧器一次盤	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2003(平成15)年03月14日
1952	No. 1 動力変圧器盤(脱水機棟)	屋内自立形	1	面	W1500×D2000×H2300	2003(平成15)年03月14日
1953	No. 2 動力変圧器盤(脱水機棟)	屋内自立形	1	面	W1500×D2000×H2300	2003(平成15)年03月14日
1954	照明変圧器盤(脱水機棟)	屋内自立形	1	面	W1000×D2000×H2300	2003(平成15)年03月14日
1955	No. 1 動力配電盤(脱水機棟)	屋内自立形	1	面	W1500×D2000×H2300	2003(平成15)年03月14日
1956	No. 2 動力配電盤(脱水機棟)	屋内自立形	1	面	W1500×D2000×H2300	2003(平成15)年03月14日
1957	照明配電盤(脱水機棟)	屋内自立形	1	面	W1000×D2000×H2300	2003(平成15)年03月14日
1958	蓄電池盤(脱水機棟)	屋内自立形	1	面	W600×D800×H2300	2002(平成14)年07月
1959	制御用直流電源盤(脱水機棟)	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2003(平成15)年03月14日
1960	蓄電池盤(非常照明用)	屋内自立形	1	面	W900×D800×H2300	2002(平成14)年07月
1961	非常照明用直流電源盤	屋内自立形	1	面	W600×D800×H2300	2003(平成15)年03月14日
1962	ミニ UPS(脱水機棟)		1	台	5kVA	2013(平成25)年05月31日
1964	コントロールセンタ CC-4	屋内自立形	7	面	W600×D550×H2300	1978(昭和53)年07月
1965	コントロールセンタ CC-12(1)～(6)	屋内自立形	1	面	W3800×D800×H2300	1991(平成3)年03月25日
1966	コントロールセンタ CC-12(7)	屋内自立形	1	面	W600×D550×H2300	2001(平成13)年02月28日
1967	脱水設備コントロールセンタ(1)～(6)	屋内自立形	1	面	W4000×D800×H2300	2002(平成14)年03月
1968	脱水設備コントロールセンタ(7)～(9)	屋内自立形	1	面	W2000×D800×H2300	2005(平成17)年03月17日
1969	脱水設備コントロールセンタ(10)	屋内自立形	1	面	W600×D550×H2300	2014(平成26)年07月
1970	脱水機共通補機コントロールセンタ	屋内自立形	5	面	W600×D550×H2300	2002(平成14)年03月
1971	薬注・脱臭設備コントロールセンタ(0)	屋内自立形	1	面	W600×D550×H2300	2011(平成23)年03月17日
1972	薬注・脱臭設備コントロールセンタ(1)～(4)	屋内自立形	1	面	W2600×D800×H2300	2002(平成14)年03月
1973	No. 1, 2BP 脱水設備連動制御盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2013(平成25)年03月15日
1974	No. 1, 2FP 脱水設備連動制御盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2003(平成15)年03月14日
1975	No. 3, 4FP 脱水設備連動制御盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2013(平成25)年03月15日
1976	FP 脱水設備共通補機連動制御盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2003(平成15)年03月14日
1977	FP-3 汚泥打込ポンプ VVF 盤	屋内自立形	1	面	W1200×D1000×H2300	2014(平成26)年08月
1978	FP-4 汚泥打込ポンプ VVF 盤	屋内自立形	1	面	W1200×D1000×H2300	2014(平成26)年08月
1979	No. 2-1 脱水機汚泥供給流量計		1	式	φ50	1991(平成3)年03月25日
1980	No. 2-2 脱水機汚泥供給流量計		1	式	φ50	
1981	FP-1 脱水機供給汚泥流量計		1	式	φ100、0～150m ³ /h	2003(平成15)年03月14日
1982	FP-2 脱水機供給汚泥流量計		1	式	φ100、0～150m ³ /h	2005(平成17)年03月17日
1983	FP-3 脱水機供給汚泥流量計		1	式	φ100、0～150m ³ /h	
1984	FP-4 脱水機供給汚泥流量計		1	式	φ100、0～150m ³ /h	
1985	No. 2-1 脱水機薬品供給流量計		1	式	φ25	1991(平成3)年03月25日
1986	No. 2-2 脱水機薬品供給流量計		1	式	φ25	
1987	FP 混和槽汚泥移送流量計		1	式	φ100、0～120m ³ /h	2003(平成15)年03月14日
1988	FP 塩化第2鉄注入量計		1	式	0～70L/min	2003(平成15)年03月14日
1989	消石灰溶解槽給水流量計		1	式	φ50	2003(平成15)年05月
1990	2系汚泥貯留槽液位計		1	式	140kg/cm ²	1991(平成3)年03月25日
1991	No. 2-1 薬品溶解タンクレベル計		1	式	2kg/cm ²	
1992	No. 2-2 薬品溶解タンクレベル計		1	式	0～34.32kPa	2001(平成13)年02月28日
1993	FP-2 塩化第2鉄希釈槽液位計		1	式	0～16.18kPa	2003(平成15)年03月14日
1994	FP-1 塩化第2鉄希釈槽液位計		1	式	0～16.18kPa	2003(平成15)年03月14日
1995	FP 凝集混和槽液位計		1	式	0～34.32kPa	2003(平成15)年03月14日
1996	FP 消石灰溶解槽液位計		1	式	0～13.48kPa	2003(平成15)年03月14日
1997	FP-1 脱水機打込圧力計		1	式	0～1MPa	
1998	FP-4 汚泥打込圧力計		1	式	0～2MPa	
1999	FP-2 汚泥打込圧力計		1	式	0～1MPa	
2000	FP 貯留槽液位計		1	式		2003(平成15)年03月14日
2001	1系脱水機供給汚泥濃度計	消泡式超音波濃度計	1	式	φ150	1991(平成3)年03月25日
2002	2系脱水機供給汚泥濃度計	消泡式超音波濃度計	1	式	φ150	1991(平成3)年03月25日
2003	FP 混和槽汚泥移送濃度計	マイクロ波濃度計	1	式	0～10%TS	2003(平成15)年03月14日
2004	2系汚泥引抜濃度計	マイクロ波濃度計	1	式	0～5%TS	2005(平成17)年03月17日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
2005	FP 塩化第2 鉄貯留槽液位警報盤	屋外壁掛形	1	面	W400×D300×H500	2003(平成15)年03月14日
2006	苛性ソーダ・次亜塩貯留タンク警報盤	屋外壁掛形	1	面	W400×D300×H500	2011(平成23)年03月17日
2007	FP 汚泥供給ポンプ現場盤	屋内自立形	1	面	W700×D500×H1900	2003(平成15)年03月14日
2008	FP ろ布洗浄水ポンプ現場盤	屋内壁掛形	1	面	W700×D400×H800	2003(平成15)年03月14日
2009	FP 圧搾水ポンプ現場盤	屋内自立形	1	面	W800×D500×H1900	2003(平成15)年03月14日
2010	薬品溶解タンク薬品供給ポンプ現場盤(No. 2-1, 2-2)	屋内自立形	1	面	W600×D500×H1900	1991(平成3)年03月25日
2011	薬品溶解タンク薬品供給ポンプ現場盤(No. 2-3, 2-4)	屋内自立形	1	面	W600×D500×H1900	2001(平成13)年02月28日
2012	薬品溶解水ろ布洗浄水ポンプ現場盤	屋内壁掛形	1	面	W700×D300×H800	1991(平成3)年03月25日
2013	薬品定量フィーダ用空気圧縮機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W500×D300×H600+1000	1991(平成3)年03月25日
2014	FP 汚泥脱水機用真空ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2014(平成26)年08月
2015	FP 塩化第2 鉄注入ポンプ現場盤	屋内自立形	1	面	W1000×D500×H1900	2003(平成15)年03月14日
2016	FP 汚泥打込ポンプ現場盤	屋内自立形	1	面	W900×D500×H1900	2003(平成15)年03月14日
2017	FP 汚泥脱水機用油圧ユニット現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2003(平成15)年03月14日
2018	FP 凝集混和槽攪拌機現場盤	屋内自立形	1	面	W800×D500×H1900	2003(平成15)年03月14日
2019	FP 消石灰ホッパーロータリーバルブ現場盤	屋内自立形	1	面	W800×D500×H1900	2003(平成15)年03月14日
2020	計装用コンプレッサ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2003(平成15)年03月14日
2021	FP ブロー用コンプレッサ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2003(平成15)年03月14日
2022	汚泥供給ポンプ現場盤	屋内自立形	1	面	W600×D500×H1900	1991(平成3)年03月25日
2023	床排水ポンプ現場盤(脱水機棟)	屋内壁掛形	1	面	W700×D400×H800	2003(平成15)年03月14日
2024	苛性ソーダ・次亜塩供給ポンプ現場盤	屋内自立形	1	面	W700×D500×H1900	2011(平成23)年03月17日
2025	FP 貯留槽液位計盤	屋内自立形	1	面	W700×D700×H1900	2003(平成15)年03月14日
2026	No. 1-a 脱水ケーキ搬出機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2003(平成15)年03月14日
2027	No. 1-b 脱水ケーキ搬出機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2005(平成17)年03月17日
2028	No. 1-c 脱水ケーキ搬出機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2014(平成26)年08月
2029	No. 1-d 脱水ケーキ搬出機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2014(平成26)年08月
2030	No. 2-a 脱水ケーキ搬出機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2003(平成15)年03月14日
2031	No. 2-b 脱水ケーキ搬出機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2014(平成26)年08月
2032	No. 3 脱水ケーキ搬出機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2003(平成15)年03月14日
2033	No. 4 脱水ケーキ搬出機現場盤	屋外スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2003(平成15)年03月14日
2034	No. 5 脱水ケーキ搬出機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2003(平成15)年03月14日
2035	No. 6 脱水ケーキ搬出機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2003(平成15)年03月14日
2036	No. 2-1, 2 脱水ケーキ搬出機現場盤	屋内壁掛形	1	面	W600×D300×H700	1991(平成3)年03月25日
2037	FP-3 汚泥脱水機制御盤	屋内自立形	1	面	W1000×D500×H1900	2014(平成26)年08月
2038	FP-4 汚泥脱水機制御盤	屋内自立形	1	面	W1000×D500×H1900	2014(平成26)年08月
2039	消石灰ホイスト盤	屋内壁掛形	1	面	W400×D300×H500	1979(昭和54)年03月26日
2040	脱臭ホイスト盤	屋内壁掛形	1	面	W400×D300×H500	1979(昭和54)年03月26日
2041	脱水機棟脱臭ファン・循環ポンプ現場盤	屋内自立形	1	面	W800×D500×H1900	2011(平成23)年03月17日
2042	No. 1 補助継電器盤(CC-12)	屋内自立形	1	面	W600×D550×H2300	1991(平成3)年02月
2043	No. 2 補助継電器盤(CC-12)	屋内自立形	1	面	W600×D550×H2300	
2044	No. 3 補助継電器盤(CC-12)	屋内自立形	1	面	W600×D550×H2300	2000(平成12)年11月
2045	2系脱水機中継端子盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	1991(平成3)年03月25日
2046	2系脱水機計装盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	1991(平成3)年03月25日
2047	FP 脱水設備計装変換器盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2003(平成15)年03月14日
2048	ITV 電源分電盤(脱水機棟)	屋内壁掛形	1	面	W600×D800×H1000	2005(平成17)年03月17日
2049	伝送装置盤(1)	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2012(平成24)年05月
2050	伝送装置盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2002(平成14)年08月
2051	制御電源分電盤(脱水機棟)	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2002(平成14)年08月

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
2052	CVCF 電源分電盤(脱水機棟)	屋内自立形	1	面	W800×D600×H2300	1991(平成3)年03月25日
2053	大型スクリーン操作卓	屋内自立形	1	面		2002(平成14)年08月
2054	大型スクリーン	モニター	1	面		
2055	CRT 監視装置1(脱水機棟)		1	面		2003(平成15)年03月14日
2056	CRT 監視装置2(脱水機棟)		1	面		2003(平成15)年03月14日
2057	CRT 監視装置3(脱水機棟)		1	面		2003(平成15)年03月14日
2058	CRT 監視装置4(脱水機棟)		1	面		2013(平成25)年03月15日
2059	脱水機棟受変電設備統括コントローラ盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2003(平成15)年03月14日
2060	汚泥脱水設備プラントコントローラ盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2013(平成25)年03月15日
2061	汚泥処理プラントコントローラ盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2003(平成15)年03月14日
2062	脱水機室 ITV カメラ		1	台		2005(平成17)年03月17日
2063	脱水機棟2階 ITV カメラ		1	台		2005(平成17)年03月17日
2064	脱水機棟屋上 ITV カメラ		1	台		2005(平成17)年03月17日
2065	濃縮タンク ITV カメラ		1	台		2005(平成17)年03月17日
2066	メッセージプリンタ		1	台		2003(平成15)年03月14日
2067	カラーハードコピー(脱水機棟)		1	台		2003(平成15)年03月14日
2068	No.1 井水ポンプ流量計		1	式	250A	
2069	砂ろ過水流量計		1	式	250A	
2070	ろ過水切替弁現場盤	屋内壁掛形	1	面	W700×D400×H800	2006(平成18)年12月15日
2071	No.1 井戸ポンプ現場盤	屋外スタンド形	1	面	W500×D400×H600+900	1979(昭和54)年03月26日
2072	消化汚泥切替弁現場盤	屋内壁掛形	1	面	W600×D300×H700	2000(平成12)年10月
2073	床排水ポンプ現場盤(機械濃縮棟～消化タンク)	屋内スタンド形	1	面	W400×D300×H500+1000	1978(昭和53)年03月
2074	床排水ポンプ現場盤(消化タンク～沈砂池ポンプ棟)	屋内スタンド形	1	面	W400×D300×H500+1000	1978(昭和53)年12月
11438	No.1 送風機引込盤	屋内自立形	1	面	定格電圧: 7.2kV、定格周波数: 60Hz、定格母線電流: 600A	2018(平成30)年02月28日
11439	No.2 送風機盤	屋内自立形	1	面	定格使用電圧: 6.6kV、定格遮断電流: 40kA、定格母線電流: 600A、定格周波数: 60Hz	2018(平成30)年02月28日
11440	No.3 送風機盤	屋内自立形	1	面	定格使用電圧: 6.6kV、定格遮断電流: 40kA、定格母線電流: 600A、定格周波数: 60Hz	2018(平成30)年02月28日
11441	送風機設備コントロールセンタ		1	式	定格使用電圧: 440V、定格電流: 800A、定格遮断電流: 50kA、定格周波数: 60Hz	2018(平成30)年02月28日
11442	No.2 送風機現場操作盤	屋内自立形	1	面	W800×D600×H1900	2018(平成30)年02月28日
11443	No.3 送風機現場操作盤	屋内自立形	1	面	W800×D600×H1900	2018(平成30)年02月28日
11444	No.1,2 潤滑油装置現場操作盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800	2018(平成30)年02月28日
11445	No.2,3,4 送風機連動制御盤(1)機能増設	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2018(平成30)年02月28日
11446	No.2,3,4 送風機連動制御盤(2)機能増設	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2018(平成30)年02月28日
11447	送風機設備プラントコントローラ盤機能増設		1	面		2018(平成30)年02月28日
11448	No.2 送風機吸込流量		1	式		2018(平成30)年02月28日
11449	No.3 送風機吸込流量		1	式	MAX W.P: 13.8MPa、CAL 0 TO: 4.903KPA	2018(平成30)年02月28日
11450	No.2 送風機吸込弁開度		1	式		2018(平成30)年02月28日
11451	No.3 送風機吸込弁開度		1	式		2018(平成30)年02月28日
11452	吐出圧力		1	式	MAX W.P: 0.248MPa、CAL 0 TO: 80KPA	2018(平成30)年02月28日
11453	送風機設備計装盤機能増設	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2018(平成30)年02月28日
11454	管理本館 LCD 監視制御装置(1)機能増設		1	台		2018(平成30)年02月28日
11455	管理本館 LCD 監視制御装置(2)機能増設		1	台		2018(平成30)年02月28日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
11456	管理本館 LCD 監視制御装置(3)機能増設		1	台		2018(平成 30)年 02 月 28 日
11457	管理本館データサーバ装置機能増設	屋内自立形	1	面		2018(平成 30)年 02 月 28 日
11458	母線連絡盤 機能増設	屋内自立形	1	面	定格電圧：6.9kV、定格周波数：60Hz、定格母線電流：600A	2018(平成 30)年 02 月 28 日
11460	1-2 系水処理設備コントロールセンタ機能増設		1	式	定格使用電圧：440V、定格電流：800A、定格遮断電流：50 k A、定格周波数：60Hz	2018(平成 30)年 02 月 28 日
11461	スカム分離液圧送ポンプ現場操作盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800	2018(平成 30)年 02 月 28 日
11462	スカム分離機・床排水ポンプ(スカム)現場操作盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800	2018(平成 30)年 02 月 28 日
11463	汚水ポンプ連動制御盤(1)機能増設	屋内自立形	1	面		2018(平成 30)年 02 月 28 日
11464	1 系水処理共通設備連動制御盤機能増設	屋内自立形	1	面		2018(平成 30)年 02 月 28 日
11465	沈砂池ポンププラントコントローラ機能増設		1	面		2018(平成 30)年 02 月 28 日
11466	1 系水処理設備プラントコントローラ機能増設		1	面		2018(平成 30)年 02 月 28 日
11467	LCD 監視装置(1)機能増設		1	台		2018(平成 30)年 02 月 28 日
11468	LCD 監視装置(2)機能増設		1	台		2018(平成 30)年 02 月 28 日
11469	LCD 監視装置(3)機能増設		1	台		2018(平成 30)年 02 月 28 日
11470	データサーバ盤機能増設	屋内自立形	1	面		2018(平成 30)年 02 月 28 日
11516	沈砂・スクリーンかすホッパ制御盤	屋内自立形	1	面	入力電源：3φ×440V×60Hz、使用電源：AC100V	2019(平成 31)年 02 月
11517	No. 2 沈砂池コントロールセンタ		1	式	定格使用電圧：440V、定格電流：800A、定格遮断電流：50kA 定格周波数：60Hz	2019(平成 31)年 02 月 28 日
11518	No. 3. 4 沈砂池流入ゲート現場操作盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800	2019(平成 31)年 02 月 28 日
11519	沈砂搬出機現場操作盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800	2019(平成 31)年 02 月 28 日
11520	No. 1～3 スクリーンかす搬出機現場操作盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800	2019(平成 31)年 02 月 28 日
11521	No. 4 スクリーンかす搬出機現場操作盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800	2019(平成 31)年 02 月 28 日
11522	No. 4 細目スクリーンかす自動除塵機現場操作盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800	2019(平成 31)年 02 月 28 日
11523	No. 4 沈砂池流入ゲート開度計		1	式		2019(平成 31)年 02 月 28 日
11524	No. 3 沈砂池流入ゲート開度計		1	式		2019(平成 31)年 02 月 28 日
11525	加圧水タンク水位計		1	式	MAX W. P: 0. 062MPa、CAL -1 TO: 28. 34KPA	2019(平成 31)年 02 月 28 日
11526	沈砂池設備連動制御盤機能増設	屋内自立形	1	面		2019(平成 31)年 02 月 28 日
11527	沈砂池ポンプ設備計装変換機盤機能増設	屋内自立形	1	面		2019(平成 31)年 02 月 28 日
11528	沈砂池ポンプ棟受変電設備総括コントローラ機能増設		1	面		2019(平成 31)年 02 月 28 日
11529	沈砂池ポンプ設備(2)プラントコントローラ機能増設		1	面		2019(平成 31)年 02 月 28 日
11530	沈砂池ポンプ設備プラントコントローラ機能増設		1	面		2019(平成 31)年 02 月 28 日
11531	データサーバ機能増設	屋内自立形	1	面		2019(平成 31)年 02 月 28 日
11532	CRT 監視制御装置(1)機能増設		1	台		2019(平成 31)年 02 月 28 日
11533	CRT 監視制御装置(2)機能増設		1	台		2019(平成 31)年 02 月 28 日
11534	CRT 監視制御装置(3)機能増設		1	台		2019(平成 31)年 02 月 28 日
11535	No. 1 動力配電盤機能増設	屋内自立形	1	面		2019(平成 31)年 02 月 28 日
11536	沈砂池・加圧ポンプ連動制御盤機能増設	屋内自立形	1	面		2019(平成 31)年 02 月 28 日
11537	配電盤統括コントロール盤 機能増設		1	面		2019(平成 31)年 02 月 28 日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
11538	No. 3 汚水ポンプ盤	屋内自立形	1	面	定格使用電圧：6.6kV、定格遮断電流：40kA、定格母線電流：600A 定格周波数：60Hz	2019(平成31)年02月28日
11539	No. 2 汚水ポンプ補機設備コントロールセンタ		1	式	定格使用電圧：440V、定格電流：800A、定格遮断電流：50kA 定格周波数：60Hz	2019(平成31)年02月28日
11540	No. 3 汚水ポンプ現場操作盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800	2019(平成31)年02月28日
11541	No. 3 汚水ポンプ送水流量計		1	式	AC100V120VA、1.0228A、4～20mA、8kg、CAL. SPAN 6000m3/h	2019(平成31)年02月28日
11542	汚水ポンプ(2)連動制御盤機能増設	屋内自立形	1	面		2019(平成31)年02月28日
11543	沈砂池ポンプ設備プラントコントロール盤機能増設		1	面		2019(平成31)年02月28日
11544	沈砂池ポンプ設備(2)プラントコントロール盤機能増設		1	面		2019(平成31)年02月28日
11545	沈砂池ポンプ設備計装変換機盤機能増設	屋内自立形	1	面		2019(平成31)年02月28日
11546	LCD 監視装置(1)機能増設		1	台		2019(平成31)年02月28日
11547	LCD 監視装置(2)機能増設		1	台		2019(平成31)年02月28日
11548	LCD 監視装置(3)機能増設		1	台		2019(平成31)年02月28日
11549	データサーバ盤機能増設	屋内自立形	1	面		2019(平成31)年02月28日
11550	No. 1 汚水ポンプ 1 次盤 機能増設	屋内自立形	1	面	定格電圧：7.2kV、定格母線電流：600A、定格周波数：60Hz	2019(平成31)年02月28日
11551	No. 2 汚水ポンプ 1 次盤 機能増設	屋内自立形	1	面	定格電圧：7.2kV、定格母線電流：600A、定格周波数：60Hz	2019(平成31)年02月28日
11588	No. 4 送風機吸込風量計	超音波気体流量計	1	式	流量測定範囲 1～250m3/min	2019(令和元)年10月31日
11589	濃縮汚泥供給濃度計	マイクロ波濃度計	1	式	測定方式：マイクロ波を用いた位相差方式	2021(令和3)年03月27日
11600	汚水ポンプ母線連絡盤	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2020(令和2)年02月28日
11601	No. 4 汚水ポンプ盤	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	2020(令和2)年02月28日
11602	No. 4 汚水ポンプ送水流量計	電磁流量計	1	式	φ700	2020(令和2)年02月28日
11603	No. 5 汚水ポンプ送水流量計	電磁流量計	1	式	φ700	2020(令和2)年02月28日
11605	沈砂池ポンプ棟床排水ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2020(令和2)年02月28日
11606	No. 4 汚水ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2020(令和2)年02月28日
11607	高架水槽揚水ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2020(令和2)年02月28日
11608	沈砂池ポンプ井計器盤	屋内スタンド形	1	面	W500×D300×H600+1000	2020(令和2)年02月28日
11609	No. 2～4 汚水ポンプ引込盤機能増設	屋内自立形	1	面		2020(令和2)年02月28日
11610	No. 1, 6 汚水ポンプ引込盤機能増設	屋内自立形	1	面		2020(令和2)年02月28日
11611	No. 1, 6 汚水ポンプ受電盤／No. 5 汚水ポンプ一次盤機能増設	屋内自立形	1	面		2020(令和2)年02月28日
11612	No. 1, 6 汚水ポンプ一次盤／No. 2 汚水ポンプ一次盤機能増設	屋内自立形	1	面		2020(令和2)年02月28日
11613	No. 2 動力変圧器一次盤／No. 3～5 汚水ポンプ一次盤機能増設	屋内自立形	1	面		2020(令和2)年02月28日
11614	汚水ポンプ補機設備コントロールセンタ機能増設	屋内自立形	1	面		2020(令和2)年02月28日
11615	No. 2 汚水ポンプ補機設備コントロールセンタ機能増設	屋内自立形	1	式		2020(令和2)年02月28日
11616	汚水ポンプ連動制御盤(1)機能増設	屋内自立形	1	面		2020(令和2)年02月28日
11617	汚水ポンプ(2)連動制御盤機能増設	屋内自立形	1	面		2020(令和2)年02月28日
11618	No. 2 汚水ポンプ盤機能増設	屋内自立形	1	面		2020(令和2)年02月28日
11619	No. 3 汚水ポンプ盤機能増設	屋内自立形	1	面		2020(令和2)年02月28日
11620	No. 5 汚水ポンプ盤機能増設	屋内自立形	1	面		2020(令和2)年02月28日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
11621	沈砂池ポンプ設備計装変換器盤機能増設	屋内自立形	1	面		2020(令和2)年02月28日
11622	プラントデータサーバ装置盤機能増設	屋内自立形	1	面		2020(令和2)年02月28日
11623	CRT 監視装置 1(管理本館)機能増設	デスク形	1	面		2020(令和2)年02月28日
11624	CRT 監視装置 2(管理本館)機能増設	デスク形	1	面		2020(令和2)年02月28日
11625	CRT 監視装置 3(管理本館)機能増設	デスク形	1	面		2020(令和2)年02月28日
11626	沈砂池ポンプ設備プラントコントローラ盤機能増設	屋内自立形	1	面		2020(令和2)年02月28日
11627	沈砂池ポンプ設備(2)プラントコントローラ盤機能増設	屋内自立形	1	面		2020(令和2)年02月28日
11628	No.2 汚水ポンプ補機設備コントロールセンタ機能増設	屋内自立形	1	式		2019(令和元)年09月03日
11629	汚水ポンプ連動制御盤(1)機能増設	屋内自立形	1	面		2019(令和元)年09月03日
11630	汚水ポンプ(2)連動制御盤機能増設	屋内自立形	1	面		2019(令和元)年09月03日
11631	No.2 井戸ポンプ現場盤	屋外スタンド形	1	面	W700×D400×H800+800	2019(令和元)年09月03日
11632	沈砂池ポンプ設備プラントコントローラ盤機能増設	屋内自立形	1	面		2019(令和元)年09月03日
11633	プラントデータサーバ装置盤機能増設	屋内自立形	1	面		2020(令和2)年03月27日
11634	岩瀬ポンプ場伝送装置盤機能増設	屋内自立形	1	面		2020(令和2)年03月27日
11635	CRT 監視装置 1(管理本館)機能増設	デスク形	1	面		2020(令和2)年03月27日
11636	CRT 監視装置 2(管理本館)機能増設	デスク形	1	面		2020(令和2)年03月27日
11637	CRT 監視装置 3(管理本館)機能増設	デスク形	1	面		2020(令和2)年03月27日
12421	汚泥脱水設備系ミニUPS		1	台	定格出力：100V、5kVA	2019(平成31)年02月28日
12422	ミニUPS(沈砂池ポンプ棟)		1	台	定格出力：100V、5kVA	2019(平成31)年02月28日
12423	No.4-1 反応タンク MLSS 計		1	式	近赤外散乱光測定方式	2019(平成31)年02月28日
12424	No.4-2 反応タンク MLSS 計		1	式	近赤外散乱光測定方式	2019(平成31)年02月28日
12432	ミニUPS(3系水処理棟)		1	台	定格出力：100V、3kVA	2020(令和2)年10月30日
12433	ミニUPS(4系水処理棟)		1	台	定格出力容量：10kVA／8500W、常時インバータ運転、停電時無瞬断切換	
12597	ITV 制御盤機能増設	屋内自立形	1	式	ITV 設備更新に伴い、浜黒崎浄化センターに設置されている ITV 制御盤(M-ITVC)に監視制御を行うために必要な機能増設を実施	2021(令和3)年03月12日
12598	岩瀬ポンプ場 ITV 伝送装置盤機能増設	屋内自立形	1	式	ITV 設備更新に伴い、浜黒崎浄化センターに設置されている ITV 伝送装置盤(M-DW2)に監視制御を行うために必要な機能増設を実施	2021(令和3)年03月12日
12599	CRT 監視装置 1(管理本館)機能増設	デスク形	1	式	岩瀬汚水中継ポンプ場更新に伴う機能増設	2021(令和3)年03月12日
12600	CRT 監視装置 2(管理本館)機能増設	デスク形	1	式	岩瀬汚水中継ポンプ場更新に伴う機能増設	2021(令和3)年03月12日
12601	CRT 監視装置 3(管理本館)機能増設	デスク形	1	式	岩瀬汚水中継ポンプ場更新に伴う機能増設	2021(令和3)年03月12日
12602	プラントデータサーバ装置盤機能増設	屋内自立形	1	式	岩瀬汚水中継ポンプ場更新に伴う機能増設	2021(令和3)年03月12日
12603	岩瀬ポンプ場伝送装置盤機能増設	屋内自立形	1	式	水処理・汚泥処理用ディスプレイ装置で監視するための機能増設	2021(令和3)年03月12日

富山市上下水道局
浜黒崎浄化センター・水橋浄化センター
維持管理業務包括委託

業務要領－ 1
水橋浄化センター 主要機器一覧

令和 4 年 1 0 月

富山市上下水道局

水橋浄化センター（機械）

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
4397	砂ろ過用滅菌器		1	台	576m ³ /d	2001(平成13)年03月16日
4536	No.1 沈砂かき上げ機		1	台	φ80×100m ³ /min×25m	2001(平成13)年03月16日
4537	No.2 沈砂かき上げ機		1	台	φ80×100m ³ /min×25m	2001(平成13)年03月16日
4538	No.1-1 汚水ポンプ		1	台	φ200×4m ³ /min×10m	1994(平成6)年03月18日
4539	No.1-2 汚水ポンプ		1	台	φ200×4m ³ /min×10m	1994(平成6)年03月18日
4540	No.2-1 汚水ポンプ		1	台	φ250×8m ³ /min×10m	1994(平成6)年03月18日
4541	No.2-2 汚水ポンプ		1	台	φ250×8m ³ /min×10m	2001(平成13)年03月16日
4542	No.1 細目スクリーン自動除塵機	間欠式前面かき揚げ形	1	基	水路幅 1000mm×深さ 3000mm	2017(平成29)年09月29日
4543	No.2 細目スクリーン自動除塵機		1	基	水路幅 1000mm×深さ 3100mm	2001(平成13)年03月16日
4544	スカム分離機		1	基	180m ³ /min	1994(平成6)年03月18日
4545	スクリーンかす洗浄装置		1	基	0.5m ³ /h×5.0m/min	2001(平成13)年03月01日
4546	スクリーンかす脱水機	スクリュースレス形	1	基	0.5m ³ /h	2017(平成29)年09月29日
4547	No.1 スクリーンかす搬出機		1	基	ベルト幅 600mm×機長 8500mm×速度 20m/min	2017(平成29)年09月29日
4548	No.2 スクリーンかす搬出機		1	基	ベルト幅 600mm	2001(平成13)年03月16日
4549	No.3 スクリーンかす搬出機		1	基	ベルト幅 600mm×機長 6750mm×速度 24m/min	2001(平成13)年03月16日
4550	No.4 スクリーンかす搬出機		1	基	ベルト幅 600mm×機長 22000mm	2001(平成13)年03月16日
4551	スクリーンかすホッパ		1	基	2m ³	2001(平成13)年03月01日
4552	沈砂洗浄装置		1	基	φ300×処理能力 0.5m ³ /h	2001(平成13)年03月16日
4553	沈砂搬出機		1	基	ベルト幅 300mm×機長 19000mm×速度 24m/min	2001(平成13)年03月16日
4554	沈砂ホッパ		1	基	2m ³	2001(平成13)年03月01日
4555	No.1 コンテナ(大)	台車付ステンレス製	1	台	0.25m ³	1994(平成6)年03月18日
4556	No.2 コンテナ(大)	台車付ステンレス製	1	台	0.25m ³	1994(平成6)年03月18日
4557	No.1 コンテナ(小)	台車付ステンレス製	1	台	0.2m ³	1994(平成6)年03月18日
4558	No.2 コンテナ(小)	台車付ステンレス製	1	台	0.2m ³	1994(平成6)年03月18日
4559	ポンプ井仕切ゲート		1	門	W700mm×H700mm	1994(平成6)年03月18日
4560	沈砂掻き揚げ機吊上用チェンブロック		1	台	0.5t	1994(平成6)年03月18日
4561	ポンプ吊上用チェンブロック		1	台	1t	1994(平成6)年03月18日
4562	沈砂池機器搬出入用吊上装置		1	台	1t	1994(平成6)年03月18日
4563	No.1 流量点検弁		1	台	φ400	1994(平成6)年03月18日
4564	No.2 流量点検弁		1	台	φ400	1994(平成6)年03月18日
4565	No.3 流量点検弁		1	台	φ400	1994(平成6)年03月18日
4566	スカム分離機流入弁		1	台	φ300	1993(平成5)年
4567	沈砂池脱臭装置		1	基	処理風量 70m ³ /min×寸法 巾 2709mm×長 2709mm×高 2150mm	1994(平成6)年03月18日
4568	脱臭ファン		1	台	70m ³ /min×300mmAq	1994(平成6)年03月18日
4569	沈砂池エリミネータ	エリミネータ	1	基	70m ³ /min	1994(平成6)年03月18日
4570	No.1 流入ゲート		1	門	W700mm×H700mm	1994(平成6)年03月18日
4571	No.2 流入ゲート		1	門	W700mm×H700mm	1994(平成6)年03月18日
4572	No.1-1 初沈汚泥かき寄せ機		1	台	φ8600mm×側水深 5050mm×3.0m/min	1994(平成6)年03月18日
4573	No.1-2 初沈汚泥かき寄せ機		1	台	φ8600mm×側水深 5050mm×3.0m/min	1994(平成6)年03月18日
4574	No.1 生汚泥ポンプ		1	台	φ65×1.0m ³ /min×10m	1994(平成6)年03月18日
4575	No.2 生汚泥ポンプ		1	台	φ65×1.0m ³ /min×10m	1994(平成6)年03月18日
4576	初沈池排水ポンプ		1	台	φ100×1.5m ³ /min×10m	1994(平成6)年03月18日
4577	No.1-1 生汚泥引抜弁		1	台	φ200	1994(平成6)年03月18日
4578	No.1-2 生汚泥引抜弁		1	台	φ200	1994(平成6)年03月18日
4579	No.1 初沈床排水ポンプ		1	台	φ65×0.3m ³ /min×10m	1994(平成6)年03月18日
4580	No.2 初沈床排水ポンプ		1	台	φ65×0.3m ³ /min×10m	1994(平成6)年03月18日
4581	分水槽流入ゲート		1	門	W1000mm×H1000mm	1994(平成6)年03月18日
4582	分配槽バイパスゲート		1	門	W600mm×H600mm	1994(平成6)年03月18日
4583	No.1 分水可動堰		1	門	W600mm×H600mm	1994(平成6)年03月18日
4584	No.2 分水可動堰		1	門	W600mm×H600mm	1994(平成6)年03月18日
4585	No.1 初沈脱臭ファン		1	台	40m ³ /min×3.43kPa	1994(平成6)年03月18日
4586	No.1 初沈エリミネータ	エリミネータ	1	基	40m ³ /min	1994(平成6)年03月18日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
4587	No. 1 初沈脱臭装置		1	基	40m ³ /min	1994(平成6)年03月18日
4588	No. 2-1 初沈汚泥かき寄せ機		1	台	φ8600mm×測水深3500mm ×3.0m/min	2001(平成13)年03月01日
4589	No. 2-1 生汚泥引抜弁		1	台	φ200	2001(平成13)年03月01日
4590	No. 2-1 分水可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2001(平成13)年03月16日
4591	No. 2-2 分水可動堰		1	門	W600mm×H600mm	2001(平成13)年03月16日
4592	No. 2 初沈脱臭ファン		1	台	40m ³ /min×3.43kPa	2001(平成13)年03月16日
4593	No. 2 初沈エリミネータ	エリミネータ	1	基	40m ³ /min	2001(平成13)年03月16日
4594	No. 2 初沈脱臭装置		1	基	40m ³ /分	2001(平成13)年03月16日
4595	No. 1-1 曝気機		1	台		1994(平成6)年03月18日
4596	No. 1-2 曝気機		1	台		1994(平成6)年03月18日
4597	No. 1-3 曝気機		1	台		1994(平成6)年03月18日
4598	No. 1-4 曝気機		1	台		1994(平成6)年03月18日
4599	No. 1-5 曝気機		1	台		1994(平成6)年03月18日
4600	No. 1-6 曝気機		1	台		1994(平成6)年03月18日
4601	No. 1-7 曝気機		1	台		1994(平成6)年03月18日
4602	No. 1-8 曝気機		1	台		1994(平成6)年03月18日
4603	No. 1-9 曝気機		1	台		1994(平成6)年03月18日
4604	No. 1-10 曝気機		1	台		1994(平成6)年03月18日
4605	No. 1-1 エアタン流入ゲート		1	門	W600mm×H600mm	1994(平成6)年03月18日
4606	No. 1-2 エアタン流入ゲート		1	門	W600mm×H600mm	1994(平成6)年03月18日
4607	No. 1-1 エアタン流入可動堰		1	門	W600mm×H400mm	1994(平成6)年03月18日
4608	No. 1-2 エアタン流入可動堰		1	門	W600mm×H400mm	1994(平成6)年03月18日
4609	No. 1-3 エアタン流入可動堰		1	門	W600mm×H400mm	1994(平成6)年03月18日
4610	No. 1-4 エアタン流入可動堰		1	門	W600mm×H400mm	1994(平成6)年03月18日
4611	No. 1-5 エアタン流入可動堰		1	門	W600mm×H400mm	1994(平成6)年03月18日
4612	No. 1-6 エアタン流入可動堰		1	門	W600mm×H400mm	1994(平成6)年03月18日
4613	No. 1-1 返送汚泥投入可動堰		1	門	W500mm×H500mm	1994(平成6)年03月18日
4614	No. 1-2 返送汚泥投入可動堰		1	門	W500mm×H500mm	1994(平成6)年03月18日
4615	No. 1-1 曝気機吊上装置		1	台	1t	1994(平成6)年03月18日
4616	No. 1-2 曝気機吊上装置		1	台	1t	1994(平成6)年03月18日
4617	No. 1-3 曝気機吊上装置		1	台	1t	1994(平成6)年03月18日
4618	No. 1-4 曝気機吊上装置		1	台	1t	1994(平成6)年03月18日
4619	No. 1-5 曝気機吊上装置		1	台	1t	1994(平成6)年03月18日
4620	No. 2-1 曝気機		1	台		2001(平成13)年03月16日
4621	No. 2-2 曝気機		1	台		2001(平成13)年03月16日
4622	No. 2-3 曝気機		1	台		2001(平成13)年03月16日
4623	No. 2-4 曝気機		1	台		2001(平成13)年03月16日
4624	No. 2-5 曝気機		1	台		2001(平成13)年03月16日
4625	No. 2-1 エアタン流入ゲート		1	門	W600mm×H600mm	2001(平成13)年03月16日
4626	No. 2-2 エアタン流入ゲート		1	門	W600mm×H600mm	2001(平成13)年03月16日
4627	No. 2-1 エアタン流入可動堰		1	門	W600mm×H400mm	2001(平成13)年03月16日
4628	No. 2-2 エアタン流入可動堰		1	門	W600mm×H400mm	2001(平成13)年03月16日
4629	No. 2-3 エアタン流入可動堰		1	門	W600mm×H400mm	2001(平成13)年03月16日
4630	No. 2-1 返送汚泥投入可動堰		1	門	W500mm×H500mm	2001(平成13)年03月16日
4631	No. 2-2 返送汚泥投入可動堰		1	門	W500mm×H500mm	2001(平成13)年03月16日
4632	No. 1-1 終沈汚泥かき寄せ機		1	台	幅 3800mm×長 14800mm× 深 3790~3540mm × 0.3m/min	1994(平成6)年03月18日
4633	No. 1-2 終沈汚泥かき寄せ機		1	台	幅 3800mm×長 14800mm× 深 3790~3540mm × 0.3m/min	1994(平成6)年03月18日
4634	No. 1 返送汚泥ポンプ		1	台	φ100×0.7m ³ /min×5m	1994(平成6)年03月18日
4635	No. 2 返送汚泥ポンプ		1	台	φ100×0.7m ³ /min×5m	1994(平成6)年03月18日
4636	No. 3 返送汚泥ポンプ		1	台	1.5m ³ /min×5m	2001(平成13)年03月16日
4637	エアタン終沈池排水ポンプ		1	台	1.5m ³ /min×10m	1994(平成6)年03月18日
4638	No. 1 余剰汚泥ポンプ		1	台	φ100×1.0m ³ /min×10m	1994(平成6)年03月18日
4639	No. 2 余剰汚泥ポンプ		1	台	φ100×1.0m ³ /min×10m	1994(平成6)年03月18日
4640	No. 1-1 終沈汚泥引抜弁		1	台	φ200	2001(平成13)年03月16日
4641	No. 1-2 終沈汚泥引抜弁		1	台	φ200	2001(平成13)年03月01日
4642	No. 1-3 終沈汚泥引抜弁		1	台	φ200	2001(平成13)年03月16日
4643	No. 1-4 終沈汚泥引抜弁		1	台	φ200	2001(平成13)年03月16日
4644	池排水弁		1	台	φ200	2000(平成12)年
4645	No. 1 終沈床排水ポンプ		1	台	φ65×0.3m ³ /min×10m	1994(平成6)年03月18日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
4646	No. 2 終沈床排水ポンプ		1	台	φ65×0.3m ³ /min×10m	1994(平成6)年03月18日
4647	No. 1-1 スカムスキマー		1	台	減速比 15/46	1994(平成6)年03月18日
4648	No. 1-2 スカムスキマー		1	台	減速比 15/46	1994(平成6)年03月18日
4649	No. 1-3 スカムスキマー		1	台	減速比 15/46	1994(平成6)年03月18日
4650	No. 1-4 スカムスキマー		1	台	減速比 15/46	1994(平成6)年03月18日
4651	No. 1-1 終沈流入ゲート		1	門	W600mm×H600mm	1994(平成6)年03月18日
4652	No. 1-2 終沈流入ゲート		1	門	W600mm×H600mm	1994(平成6)年03月18日
4653	No. 1-3 終沈流入ゲート		1	門	W600mm×H600mm	1994(平成6)年03月18日
4654	No. 1-4 終沈流入ゲート		1	門	W600mm×H600mm	1994(平成6)年03月18日
4655	砂ろ過原水ストレーナ		1	台	36m ³ /h	2001(平成13)年03月01日
4656	No. 1 砂ろ過原水ポンプ		1	台	φ50×0.3m ³ /min×11m	2001(平成13)年03月16日
4657	No. 2 砂ろ過原水ポンプ		1	台	φ50×0.3m ³ /min×11m	2001(平成13)年03月16日
4658	No. 3 砂ろ過原水ポンプ		1	台	φ50×0.3m ³ /min×11m	2001(平成13)年03月16日
4659	No. 1 砂ろ過器空気圧縮機		1	台	0.93MPa×400V	2018(平成30)年08月17日
4660	No. 2 砂ろ過器空気圧縮機		1	台	0.93MPa×400V	2018(平成30)年08月17日
4661	除湿器	冷凍式エアドライヤ	1	台	1.4MPa	2001(平成13)年03月16日
4662	水処理機器搬出入用吊上装置		1	台	1t	1994(平成6)年03月18日
4663	No. 1 ろ過水送水ポンプ		1	台	φ65×0.28~0.50m ³ /min ×89.5~76m	2001(平成13)年03月16日
4664	No. 2 ろ過水送水ポンプ		1	台	φ65×0.28~0.50m ³ /min ×89.5~76m	2001(平成13)年03月16日
4665	No. 3 ろ過水送水ポンプ		1	台	φ65×0.28~0.50m ³ /min ×89.5~76m	2001(平成13)年03月16日
4666	場内用水ポンプ		1	台	鋳鉄	
4667	No. 1 砂ろ過器		1	台	1.5m ² ×1.4m	2001(平成13)年03月16日
4668	No. 2 砂ろ過器		1	台	1.5m ² ×1.4m	2001(平成13)年03月16日
4669	No. 2-1 終沈汚泥かき寄せ機		1	台	幅 3800mm×長 14800mm× 深 3790~3540mm × 0.3m/min	2001(平成13)年03月16日
4670	No. 4 返送汚泥ポンプ		1	台	1.5m ³ /min×5m	2001(平成13)年03月16日
4671	No. 2-1 終沈汚泥引抜弁		1	台	φ200	2001(平成13)年03月16日
4672	No. 2-2 終沈汚泥引抜弁		1	台	φ200	2001(平成13)年03月16日
4673	No. 2-1 スカムスキマー		1	台	減速比 15/46	2001(平成13)年03月16日
4674	No. 2-2 スカムスキマー		1	台	φ250	2001(平成13)年03月16日
4675	No. 2-1 終沈流入ゲート		1	門	W600mm×H600mm	2001(平成13)年03月16日
4676	No. 2-2 終沈流入ゲート		1	門	W600mm×H600mm	2001(平成13)年03月16日
4677	No. 2-3 終沈流入ゲート		1	門	W600mm×H600mm	2001(平成13)年03月16日
4678	No. 2-4 終沈流入ゲート		1	門	W600mm×H600mm	2001(平成13)年03月16日
4679	No. 1 消泡水ポンプ		1	台	φ100×1.0m ³ /min×30m	1994(平成6)年03月18日
4680	No. 2 消泡水ポンプ		1	台	φ100×1.0m ³ /min×30m	1994(平成6)年03月18日
4681	No. 1 洗煙用水ポンプ		1	台	φ100×1.5m ³ /min×30m	1994(平成6)年03月18日
4682	No. 2 洗煙用水ポンプ		1	台	φ100×1.5m ³ /min×30m	1994(平成6)年03月18日
4683	No. 1 ろ布洗浄水ポンプ		1	台	φ100×0.2m ³ /min×40m	1995(平成7)年03月17日
4684	No. 2 ろ布洗浄水ポンプ		1	台	φ100×0.2m ³ /min×40m	1995(平成7)年03月17日
4685	No. 1 場内消雪水ポンプ		1	台	φ100×0.7m ³ /min×30m	1993(平成5)年
4686	No. 2 場内消雪水ポンプ		1	台	φ100×0.7m ³ /min×30m	1993(平成5)年
4687	場外消雪水ポンプ		1	台	φ 100 × 0.5m ³ /min × 43.5m	1993(平成5)年
4688	自動洗浄ストレーナー(エアタン消泡水用)		1	台	φ150×2000L/min	1994(平成6)年03月18日
4689	自動洗浄ストレーナー(ろ布洗浄水用)		1	台	φ150×1000L/min	1995(平成7)年03月17日
4690	自動洗浄ストレーナー(焼却洗煙用水用)		1	台	φ150×3000L/min	1994(平成6)年03月18日
4691	消雪用オートストレーナ(場内)		1	台	φ150×120m ³ /h	1994(平成6)年09月
4692	消雪用オートストレーナ(場外)		1	台	84m ³ /h	1994(平成6)年10月
4693	洗浄水給水ユニット		1	台	1000L/min	1994(平成6)年03月18日
4694	雑用水給水ユニット		1	台	500L/min	1994(平成6)年03月18日
4695	機械用水給水ユニット		1	台	500L/min	1994(平成6)年03月18日
4696	管理棟消雪ポンプ		1	台	60L/min	1993(平成5)年
4697	塩素混和池流入ゲート		1	門	W700mm×H700mm	1994(平成6)年03月18日
4698	砂ろ過水入ロゲート		1	門	W700mm×H700mm	1994(平成6)年03月18日
4699	No. 1 二次処理水入ロゲート		1	門	W700mm×H700mm	1994(平成6)年03月18日
4700	No. 2 二次処理水入ロゲート		1	門	W700mm×H700mm	1994(平成6)年03月18日
4701	No. 1 二次処理水ゲート		1	門	W700mm×H700mm	1994(平成6)年03月18日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
4702	No. 2 二次処理水ゲート		1	門	W700mm×H700mm	1994(平成6)年03月18日
4703	No. 1 井水流入ゲート		1	門	W300mm×H300mm	1994(平成6)年03月18日
4704	No. 2 井水流入ゲート		1	門	W300mm×H300mm	1994(平成6)年03月18日
4705	砂ろ過水流出ゲート		1	門	W700mm×H700mm	1994(平成6)年03月18日
4706	砂ろ過水バイパスゲート		1	門	W700mm×H700mm	1994(平成6)年03月18日
4707	塩素混和池バイパスゲート		1	門	W700mm×H700mm	1994(平成6)年03月18日
4708	ポンプ吊上装置		1	台	1t	1994(平成6)年03月18日
4709	No. 1 次亜塩素酸ソーダ貯留タンク		1	台	3m ³	1994(平成6)年03月18日
4710	No. 2 次亜塩素酸ソーダ貯留タンク		1	台	3m ³ ×φ1600mm×1900mm	2001(平成13)年03月16日
4711	No. 1 次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ		1	台	0.429L/min	1994(平成6)年03月18日
4712	No. 2 次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ		1	台	0.429L/min	1994(平成6)年03月18日
4713	No. 1 余剰汚泥供給ポンプ		1	台	0.05 ～ 0.27m ³ /min × 20mAq	1999(平成11)年10月29日
4714	No. 2 余剰汚泥供給ポンプ		1	台	0.05 ～ 0.27m ³ /min × 20mAq	1999(平成11)年10月29日
4715	No. 1 重力濃縮汚泥引抜ポンプ		1	台	φ100×φ80×0.5m ³ /min ×10m	1995(平成7)年03月17日
4716	No. 2 重力濃縮汚泥引抜ポンプ		1	台	φ100×φ80×0.5m ³ /min ×10m	1995(平成7)年03月17日
4717	No. 1 汚泥貯留槽攪拌機		1	台		1999(平成11)年10月29日
4719	No. 1 汚泥供給ポンプ		1	台	φ100×0.05～0.5m ³ /min ×20mAq	1995(平成7)年03月17日
4720	No. 2 汚泥供給ポンプ		1	台	φ100×0.05～0.5m ³ /min ×20mAq	1995(平成7)年03月17日
4721	No. 3 汚泥供給ポンプ		1	台	φ100×0.05～0.5m ³ /min ×20m	2001(平成13)年03月16日
4722	カートリッジ用チェーンブロック		1	台	1t	1995(平成7)年03月17日
4723	No. 1 濃縮汚泥貯留槽投入弁		1	台	φ400	1999(平成11)年10月29日
4724	No. 2 濃縮汚泥貯留槽投入弁		1	台	φ400	1999(平成11)年10月29日
4725	汚泥処理脱臭装置		1	基	40m ³ /分	1995(平成7)年03月17日
4726	汚泥処理脱臭ファン		1	台	40m ³ /min	1995(平成7)年03月17日
4727	汚泥処理ミストセパレータ		1	台	40m ³ /min	1995(平成7)年03月17日
4728	No. 1 ポンプ室床排水ポンプ		1	台	φ65×0.3m ³ /min×10m	1995(平成7)年03月17日
4729	No. 2 ポンプ室床排水ポンプ		1	台	φ65×0.3m ³ /min×10m	1995(平成7)年03月17日
4730	No. 1 脱臭床排水ポンプ		1	台	φ65×0.3m ³ /min×10m	1995(平成7)年03月17日
4731	No. 2 脱臭床排水ポンプ		1	台	φ65×0.3m ³ /min×10m	1995(平成7)年03月17日
4732	No. 1 送風機		1	台	15m ³ /min	1994(平成6)年03月18日
4733	No. 2 送風機		1	台	15m ³ /min	2013(平成25)年10月
4734	No. 3 送風機		1	台	15m ³ /min	2001(平成13)年03月16日
4735	No. 4 送風機		1	台	15m ³ /min	2002(平成14)年02月
4736	No. 1 脱水設備用空気圧縮機		1	台	3φ×150L/min	1995(平成7)年03月17日
4737	No. 2 脱水設備用空気圧縮機		1	台	3φ×150L/min	1995(平成7)年03月17日
4738	脱水設備用除湿器		1	台	1.0MPa	1995(平成7)年03月17日
4739	外部ケーキ搬出機		1	台		1995(平成7)年03月17日
4740	外部ケーキ受入ホッパー		1	台	容量 25m ³ ×幅 2500mm×長 3500mm×高 4000mm	1995(平成7)年03月17日
4741	No. 1 ケーキヤード床排水ポンプ		1	台	φ65・80×0.3m ³ /min×10m	
4742	No. 2 ケーキヤード床排水ポンプ		1	台	φ65・80×0.3m ³ /min×10m	
4743	No. 1 遠心濃縮機		1	台	8.0m ³ /h	1999(平成11)年10月29日
4744	No. 1 余剰汚泥受槽攪拌機		1	台		1999(平成11)年10月29日
4745	No. 2 余剰汚泥受槽攪拌機		1	台		1999(平成11)年10月29日
4746	No. 1 薬品溶解タンク		1	基	容量 5m ³ ×φ2000mm×高さ 1850mm	1995(平成7)年03月17日
4747	No. 1 薬品定量フィダー		1	台	供給量 1.3-4.0L/min	1995(平成7)年03月17日
4748	No. 2 薬品溶解タンク		1	基	容量 5m ³ ×φ2000mm×高さ 1850mm	2001(平成13)年03月16日
4749	No. 2 薬品定量フィダー		1	台		2001(平成13)年03月16日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
4750	No. 1 薬品供給ポンプ		1	台	0.007 ～ 0.07m ³ /min × 20mAq	1995(平成7)年03月17日
4751	No. 2 薬品供給ポンプ		1	台	0.007 ～ 0.07m ³ /min × 20mAq	1995(平成7)年03月17日
4752	No. 3 薬品供給ポンプ		1	台	0.007 ～ 0.07m ³ /min × 0.2MPa	2001(平成13)年03月16日
4753	No. 1 薬品コンテナ	アルミニウム製	1	台	0.5m ³	1995(平成7)年03月17日
4754	濃縮機用チェーンブロック		1	台	3t	1999(平成11)年10月29日
4755	薬品コンテナ用ホイスト		1	台	1t	1995(平成7)年03月17日
4756	汚泥分配槽		1	台	容量 1.35m ³ ×幅 1200mm ×長 1500mm×高 1000mm	1995(平成7)年03月17日
4757	汚泥スクリーンコンテナ1	台車付ステンレス製	1	台	0.2m ³	1995(平成7)年03月17日
4758	汚泥スクリーンコンテナ2	台車付ステンレス製	1	台	0.2m ³	1995(平成7)年03月17日
4759	汚泥スクリーンコンテナ3	台車付ステンレス製	1	台	0.2m ³	1995(平成7)年03月17日
4760	汚泥スクリーンコンテナ4	台車付ステンレス製	1	台	0.2m ³	1995(平成7)年03月17日
4761	汚泥スクリーンコンテナ5	台車付ステンレス製	1	台	0.2m ³	1995(平成7)年03月17日
4762	生汚泥スクリーン		1	台	60m ³ /hr×40mm	1995(平成7)年03月17日
4763	スクリーンかす搬出用電動ホイスト(屋内)		1	台	1t	1995(平成7)年
4764	スクリーンかす搬出用電動ホイスト(屋外)		1	台	1t	1995(平成7)年03月17日
4765	No. 1 汚泥脱水機		1	台	0 ～ 8.3m/min/0 ～ 3.6m/min×2000mm	1995(平成7)年03月17日
4766	No. 2 汚泥脱水機		1	台	0.14 ～ 8.3m/min/0.04 ～ 3.6m/min×2000mm	2001(平成13)年03月16日
4767	No. 1 ケーキ搬出コンベヤー		1	基	ベルト幅 600mm×機長 26000mm×速度 22m/min	1995(平成7)年03月17日
4768	No. 2 ケーキ搬出コンベヤー		1	基	ベルト幅 600mm×機長 37900mm×速度 28.7t/h	1995(平成7)年03月17日
4769	No. 1 汚泥脱水機用チェーンブロック		1	台	3t	1995(平成7)年03月17日
4770	No. 2 汚泥脱水機用チェーンブロック		1	台	3t	2001(平成13)年03月16日
4771	流動床炉		1	基	流動床式15t/d 含水率78～81%	1994(平成6)年03月31日
4772	空気予熱器		1	基	209004kcal/h	1995(平成7)年03月17日
4773	白煙防止予熱器		1	基	87140kcal/h	1995(平成7)年03月17日
4774	苛性ソーダ貯槽		1	基	4m ³	1995(平成7)年03月17日
4775	No. 1 苛性ソーダ供給ポンプ		1	台	0.6L/min	1995(平成7)年03月17日
4776	No. 2 苛性ソーダ供給ポンプ		1	台	0.6L/min	1995(平成7)年03月17日
4777	No. 1-1 洗浄水循環ポンプ		1	台	0.3m ³ /min×25m	1995(平成7)年03月17日
4778	No. 1-2 洗浄水循環ポンプ		1	台	0.3m ³ /min×25m	1995(平成7)年03月17日
4779	排煙処理塔		1	基		1995(平成7)年03月17日
4780	下部排水タンク		1	基	0.4m ³	1995(平成7)年03月17日
4781	湿式電気集塵機		1	基	1570m ³ /h	1995(平成7)年03月17日
4782	No. 2 薬品コンテナ	アルミニウム製	1	台	0.5m ³	1995(平成7)年03月17日
4783	EP 入口ダンパ		1	台	φ300	1995(平成7)年03月17日
4784	流動ブロワ		1	台	30m ³ /min	1995(平成7)年03月17日
4785	昇圧ブロワ		1	台	13m ³ /min	1995(平成7)年03月17日
4786	白煙防止ブロワ		1	台	40m ³ /min	1995(平成7)年03月17日
4787	誘引ファン		1	台	55m ³ /min	1995(平成7)年03月17日
4788	誘引ファンミストセパレータ		1	基	55m ³ /min	1995(平成7)年03月17日
4789	No. 1 焼却用空気圧縮機		1	台	1.5m ³ /min	1995(平成7)年03月17日
4790	燃焼用エアタンク		1	基	2m ³	1995(平成7)年03月17日
4791	焼却設備ミストセパレータ		1	基	1.5m ³ /min	1995(平成7)年03月17日
4792	燃焼用除湿器		1	台	1.5m ³ /min	1995(平成7)年03月17日
4793	No. 2 焼却用空気圧縮機		1	台	1.5m ³ /min	1995(平成7)年03月17日
4794	No. 1 オイルクリーナ	オイルクリーナ	1	台	9L	1995(平成7)年03月17日
4795	No. 2 オイルクリーナ	オイルクリーナ	1	台	9L	1995(平成7)年03月17日
4796	焼却設備脱臭塔カートリッジ用吊上装置		1	台	1t	1995(平成7)年03月17日
4797	流動ブロワ風量調整ダンパ		1	台	φ250	1995(平成7)年03月17日
4798	昇圧ブロワ風量調整ダンパ		1	台	φ150	1995(平成7)年03月17日
4799	白煙防止ブロワ吸込ダンパ		1	台	φ300	1995(平成7)年03月17日
4800	誘引ファン風量調整ダンパ		1	台	φ300	1995(平成7)年03月17日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
4801	焼却設備脱臭塔		1	基	30m ³ /min	1995(平成7)年03月17日
4802	焼却設備脱臭ファン		1	台	30m ³ /min×250mmAq	1995(平成7)年03月17日
4803	脱臭用チャンバー	角形チャンバー	1	基	300A	1995(平成7)年03月17日
4804	脱臭ダンパ(脱臭ファン)		1	台	300A	1995(平成7)年03月17日
4805	脱臭ダンパ(焼却炉)		1	台	300A	1995(平成7)年03月17日
4806	ケーキホッパ		1	基	8m ³	1995(平成7)年03月17日
4807	No.1 脱水ケーキ貯留装置		1	基	15m ³	1995(平成7)年03月17日
4808	No.1-1 ケーキ供給ポンプ		1	台	0.4-1.0m ³ /h×16kg/cm ²	1995(平成7)年03月17日
4809	No.1-2 ケーキ供給ポンプ		1	台	0.4-1.0m ³ /h×16kg/cm ²	1995(平成7)年03月17日
4810	No.3 ケーキコンベヤ		1	基	28.7t/h	1995(平成7)年03月17日
4811	重油サービスタンク		1	基	490L	1995(平成7)年03月17日
4812	No.1 オイル移送ポンプ		1	台	300L/min	1995(平成7)年03月17日
4813	No.2 オイル移送ポンプ		1	台	300L/min	1995(平成7)年03月17日
4814	No.1-1 オイル供給ポンプ		1	台	150L/h	1995(平成7)年03月17日
4815	No.1-2 オイル供給ポンプ		1	台	150L/h	1995(平成7)年03月17日
4816	地下重油タンク		1	基	15m ³	1995(平成7)年03月17日
4817	ベンチュリースクラバ	スクラバ	1	基	スクラバ	1995(平成7)年03月17日
4818	No.2 ケーキ搬出コンベヤ端子盤	屋内壁掛形	1	面	W400mm×D150mm×H300mm	1995(平成7)年03月17日
4819	No.3 ケーキ搬出コンベヤ端子盤	屋内壁掛形	1	面	W400mm×D150mm×H300mm	1995(平成7)年03月17日
4820	誘引ファン出口ミストセパレータ		1	基	55m ³ /min	1995(平成7)年03月17日
4821	誘引ファン出口サイレンサー	消音器	1	基	350A	1995(平成7)年03月17日
4822	ケーキ投入機		1	基	0.4-1.0m ³ /h	1995(平成7)年03月17日
4823	灰移送コンベヤ		1	基	ベルト幅 200mm×機長 16000mm	1995(平成7)年03月17日
4824	灰加湿器		1	台	8.0m ³ /h	1995(平成7)年03月17日
4825	ケーキ投入弁		1	台	φ200	1995(平成7)年03月17日
4826	ケーキ投入遮断弁		1	台	φ200	1995(平成7)年03月17日
4827	燃焼排ガス冷却ダンパ		1	台	φ150	1995(平成7)年03月17日
4828	二次燃焼用ファン		1	台	7m ³ /min	1995(平成7)年03月17日
4829	電気集塵用シリコン整流装置	シリコン整流装置	1	基	油量 300L×60kV	1995(平成7)年03月17日
4830	サイクロン搬出機		1	基	200kg/h	1995(平成7)年03月17日
4831	灰ホッパ		1	基	φ2400mm×3200mm	1995(平成7)年03月17日
4832	灰ホッパ用エアタンク	空気槽	1	基	97L	1995(平成7)年03月17日
4833	砂コンテナ		1	台	0.3m ³	1995(平成7)年03月17日
4834	砂コンテナ搬出ホイスト		1	台	1t	1995(平成7)年03月17日
4835	ホイスト手元開閉器盤	屋内壁掛形	1	面	W300×D200×H500	1995(平成7)年03月17日
4836	EP 出口ダンパ		1	台	φ300	1995(平成7)年03月17日
4837	バイパスダンパ		1	台	φ300	1995(平成7)年03月17日
4838	集塵機		1	基	フィルター16.1m ²	1995(平成7)年03月17日
4839	サイクロン		1	基	65m ³ /min	1995(平成7)年03月17日
4840	放風弁		1	台	φ500	1995(平成7)年03月17日
4841	天井クレーン		1	台	5t	1995(平成7)年03月17日
4842	No.1 洗煙排水ポンプ		1	台	0.54m ³ /min×20m	
4843	No.2 洗煙排水ポンプ		1	台	0.54m ³ /min×20m	
4844	井戸ポンプ		1	台	φ100×1m ³ /min×40m	1994(平成6)年03月18日
4845	場外消雪用方弁		1	台	45kgfm	
8795	N01 重力濃縮槽フイットウェル		1	基	フイットウェル	1995(平成7)年04月01日
8796	N02 重力濃縮槽フイットウェル		1	基	フイットウェル	1995(平成7)年04月01日
8797	排煙処理塔循環タンク		1	基	SUS製	1995(平成7)年04月01日
8798	補助燃料装置		1	台	SS製	1995(平成7)年04月01日
8799	煙突		1	基	SUS製	1995(平成7)年04月01日
12425	No.2 汚泥貯留槽攪拌機		1	台	流量:13m ³ /min	2019(令和元)年08月06日

水橋浄化センター（電気）

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
3695	気中開閉器		1	台	300A	2016(平成28)年02月29日
3696	井戸ポンプ現場盤	屋外スタンド形	1	面	W500×D400×H800+800	1994(平成6)年03月18日
3697	接地端子箱(PAS用)	屋内壁掛形	1	面	W250×D120×H400	2016(平成28)年02月29日
3698	電源分岐盤	屋内自立形	1	面	W600×D800×H2300	1994(平成6)年03月18日
3699	CRT監視装置	CRT監視装置	1	面	W800×D1300×H700	2015(平成27)年01月30日
3700	データベースコントローラ	屋内自立形	1	面	W700×D900×H2300	1994(平成6)年03月18日
3701	非常警報システム	屋内壁掛形	1	面		
3702	プリンタ(管理本館)		1	台	W800×D800×H700	2015(平成27)年01月30日
3703	沈砂池・ポンプ設備所内電源盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	1994(平成6)年03月18日
3704	沈砂池ポンプ棟ミニUPS		1	台	1.5kVA	2016(平成28)年02月29日
3705	沈砂池・ポンプ設備コントロールセンタ1-1	屋内自立形	2	面	W600×D600×H2300	1994(平成6)年03月18日
3706	沈砂池・ポンプ設備コントロールセンタ1-2	屋内自立形	2	面	W600×D600×H2300	2001(平成13)年03月16日
3707	沈砂池・ポンプ設備コントロールセンタ2	屋内自立形	1	面	W600×D600×H2300	2017(平成29)年09月29日
3708	No.1-1,1-2 汚水ポンプ速度制御盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2017(平成29)年09月29日
3710	No.2-1,2-2 汚水ポンプ速度制御盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2017(平成29)年09月29日
3711	汚水揚水量計		1	式	φ400	1978(昭和53)年02月
3712	流入渠水位計		1	式	0～2.9m	2017(平成29)年09月29日
3713	No.1 汚水ポンプ井水位計		1	式	0～4.1m	1978(昭和53)年02月
3714	No.2 汚水ポンプ井水位計		1	式	0～4.1m	1978(昭和53)年02月
3715	流入ゲート現場盤	屋内壁掛形	1	面	W600×D300×H800	1994(平成6)年03月18日
3716	除塵設備現場盤(No.1用)	屋内スタンド形	1	面	W600×D300×H800+800	2017(平成29)年09月29日
3717	除塵設備現場盤(No.2用)	屋内スタンド形	1	面	W800×D300×H1100+500	1994(平成6)年03月18日
3718	沈砂かき上げ機現場盤	屋内壁掛形	1	面	W500×D300×H600	1994(平成6)年03月18日
3719	No.2,3 スクリーンかす搬出機現場盤	屋内壁掛形	1	面	W600×D300×H700	2017(平成29)年09月29日
3720	沈砂, No.4 スクリーンかす搬出機現場盤	屋内壁掛形	1	面	W600×D300×H800	2001(平成13)年03月16日
3721	スカム分離機現場盤	屋内壁掛形	1	面	W400×D300×H600	1994(平成6)年03月18日
3722	沈砂池脱臭ファン現場盤	屋内壁掛形	1	面	W400×D300×H700	1994(平成6)年03月18日
3723	No.1 汚水ポンプ現場盤	屋内壁掛形	1	面	W700×D300×H1100	1994(平成6)年03月18日
3724	No.2 汚水ポンプ現場盤	屋内壁掛形	1	面	W600×D300×H1000	1994(平成6)年03月18日
3725	沈砂洗浄装置現場盤	屋内壁掛形	1	面	W500×D300×H800	2001(平成13)年03月16日
3726	スクリーンかす洗浄装置現場盤	屋内壁掛形	1	面	W800×D300×H700	2001(平成13)年03月16日
3727	スクリーンかす脱水機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W600×D300×H700+900	2017(平成29)年09月29日
3728	作業用電源箱(SD-SP)	屋内壁掛形	1	面	W600×D300×H800	2017(平成29)年09月29日
3729	沈砂池ポンプ棟接地端子盤	屋内壁掛形	1	面	W600×D250×H600	1994(平成6)年03月18日
3730	沈砂池・ポンプ棟設備制御電源切替盤	屋内壁掛形	1	面	W500×D300×H600	2016(平成28)年02月29日
3731	沈砂池・ポンプ設備補助継電器盤(1)	屋内自立形	1	面	W800×D600×H2300	1994(平成6)年03月18日
3732	沈砂池・ポンプ設備補助継電器盤(2)	屋内自立形	1	面	W800×D600×H2300	1994(平成6)年03月18日
3733	沈砂池・ポンプ設備補助継電器盤(3)	屋内自立形	1	面	W800×D600×H2300	2001(平成13)年03月16日
3734	沈砂池・ポンプ設備補助継電器盤	屋内自立形	1	面	W800×D600×H2300	2017(平成29)年09月29日
3735	沈砂池ポンプ設備中継端子盤	屋内自立形	1	面	W600×D600×H2300	1994(平成6)年03月18日
3736	沈砂池ポンプ設備変換器盤2	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2017(平成29)年09月29日
3737	沈砂池・ポンプ設備入出力装置盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2016(平成28)年02月29日
3738	Web ロガー監視盤	屋内自立形	1	面	W400×D350×H500	1978(昭和53)年02月
3739	初沈汚泥流量計		1	式	φ100	2016(平成28)年02月29日
3740	生汚泥ポンプ現場盤	屋内自立形	1	面	W1000×D600×H1900	1994(平成6)年03月18日
3741	初沈床排水・池排水ポンプ現場盤	屋内壁掛形	1	面	W600×D300×H800	1994(平成6)年03月18日
3742	作業用電源箱(SD-W1B)	屋内壁掛形	1	面	W700×D300×H800	2016(平成28)年02月29日
3743	No.1-1 初沈汚泥かき寄せ機現場盤	屋内壁掛形	1	面	W500×D300×H700	1994(平成6)年03月18日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
3744	No. 1-2 初沈汚泥かき寄せ機現場盤	屋内壁掛形	1	面	W500×D300×H700	1994(平成6)年03月18日
3745	No. 2-1 初沈汚泥かき寄せ機現場盤	屋内壁掛形	1	面	W500×D300×H700	2001(平成13)年03月16日
3746	No. 1 初沈脱臭ファン現場盤	屋内壁掛形	1	面	W500×D300×H700	1994(平成6)年03月18日
3747	No. 2 初沈脱臭ファン現場盤	屋内壁掛形	1	面	W500×D300×H700	2001(平成13)年03月16日
3748	作業用電源箱(SD-W1A)	屋内壁掛形	1	面	W700×D300×H800	2016(平成28)年02月29日
3749	No. 1 エアタン ORP 計		1	式	4~20mA	2016(平成28)年02月29日
3750	No. 2-3 エアタン ORP 計		1	式		2000(平成12)年
3751	No. 1-1 エアタン DO 計 1-3 池用		1	式		2000(平成12)年02月
3753	No. 1-1 エアタン DO 計 1-4 池用		1	式		2000(平成12)年02月
3754	No. 1-1 エアタン DO 計 1-5 池用		1	式	0.0~10.0mg/L	2016(平成28)年02月29日
3755	No. 1-1 エアタン DO 計 1-8 池用		1	式	0.0~10.0mg/L	2016(平成28)年02月29日
3756	No. 2 エアタン DO 計 2-4 池用		1	式	4~20mA	1978(昭和53)年02月
3757	No. 2 エアタン DO 計 2-5 池用		1	式		
3758	No. 1 エアタン MLSS 計		1	式	0~3000mg/L	2016(平成28)年02月29日
3759	No. 1-1~5 曝気機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W600×D300×H800+800	1994(平成6)年03月18日
3760	No. 1-6~10 曝気機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W600×D300×H800+800	1994(平成6)年03月18日
3761	No. 2-1~5 曝気槽現場盤	屋内スタンド形	1	面	W600×D300×H800+800	2001(平成13)年03月16日
3762	作業用電源箱(SD-W2A)	屋内壁掛形	1	面	W700×D300×H800	2016(平成28)年02月29日
3763	余剰汚泥流量計		1	式	φ100	2016(平成28)年02月29日
3764	返送汚泥流量計		1	式	φ200、0~180m ³ /h	2016(平成28)年02月29日
3765	返送汚泥濃度計		1	式	0~2%	2016(平成28)年02月29日
3766	余剰汚泥ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W500×D300×H800+800	1994(平成6)年03月18日
3767	返送汚泥ポンプ現場盤	屋内自立形	1	面	W800×D600×H1900	1994(平成6)年03月18日
3768	終沈床排水エアタン・終沈池排水ポンプ現場盤	屋内壁掛形	1	面	W600×D300×H800	1994(平成6)年03月18日
3769	池排水弁現場盤	屋内壁掛形	1	面	W400×D300×H600	2001(平成13)年03月16日
3770	終沈汚泥引抜弁現場盤	屋内スタンド形	1	面	W600×D300×H900+700	1998(平成10)年09月
3771	No. 2-1~4 終沈汚泥引抜弁現場盤	屋内スタンド形	1	面	W600×D300×H900+700	2001(平成13)年03月16日
3772	作業用電源箱(SD-W2B)	屋内壁掛形	1	面	W700×D300×H800	2016(平成28)年02月29日
3773	No. 1-1 終沈汚泥かき寄せ機現場盤	屋内壁掛形	1	面	W400×D300×H700	1994(平成6)年03月18日
3774	No. 1-2 終沈汚泥かき寄せ機現場盤	屋内壁掛形	1	面	W400×D300×H700	1994(平成6)年03月18日
3775	No. 2-1 終沈汚泥かき寄せ機現場盤	屋内壁掛形	1	面	W400×D300×H700	2001(平成13)年03月16日
3776	砂ろ過原水ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W600×D300×H700+900	2001(平成13)年03月16日
3777	砂ろ過器空気圧縮機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W500×D300×H700+900	2001(平成13)年03月16日
3778	ろ過水送水ポンプ現場操作盤	屋外スタンド形	1	面	W800×D500×H1100+500	2001(平成13)年03月16日
3779	給水・滅菌設備所内電源盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	1994(平成6)年03月18日
3780	塩素混和池ミニ UPS		1	台	(130×2 個)×D370×H200	2016(平成28)年02月29日
3781	給水・滅菌設備コントロールセンタ 1	屋内自立形	3	面	W630×D600×H2300	1994(平成6)年03月18日
3782	給水・滅菌設備コントロールセンタ 2	屋内自立形	1	面	W630×D600×H2300	1995(平成7)年03月17日
3783	No. 1 次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ速度制御盤	屋内自立形	1	面	W700×D800×H2300	2016(平成28)年02月29日
3784	No. 2 次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ速度制御盤	屋内自立形	1	面	W700×D800×H2300	2016(平成28)年02月29日
3785	次亜塩注入量計		1	式	0~50.0L/h	2016(平成28)年02月29日
3786	処理水槽水位計		1	式	0.60~3.80m	2016(平成28)年02月29日
3787	放流水位計		1	式	400.0~720.7mm	1978(昭和53)年02月
3788	処理水 UV 計	UV 計	1	式	4~20mA	1978(昭和53)年02月
3789	消泡水ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W500×D300×H800+800	1994(平成6)年03月18日
3790	ろ布洗浄水ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D300×H800+800	1995(平成7)年03月17日
3791	消雪水ポンプ現場盤	屋内壁掛形	1	面	W600×D300×H700	1994(平成6)年03月18日
3792	場外消雪用 3 方弁制御盤	屋内壁掛形	1	面	W500×D300×H600	1994(平成6)年
3793	洗煙用水ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W600×D300×H800+800	1994(平成6)年03月18日
3794	次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ現場盤	屋内自立形	1	面	W800×D600×H1900	1994(平成6)年03月18日
3795	給水・滅菌作業用電源盤	屋内壁掛形	1	面	W600×D300×H700	1994(平成6)年03月18日
3796	作業用電源箱(SD-CW)	屋内壁掛形	1	面	W700×D300×H800	2016(平成28)年02月29日
3797	次亜警報盤	屋外壁掛形	1	面	W500×D400×H500	1994(平成6)年03月18日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
3798	給水・滅菌設備制御電源切替盤	屋内壁掛形	1	面	W500×D300×H600	2016(平成28)年02月29日
3799	塩素混和池接地端子盤	屋内壁掛形	1	面	W600×D250×H600	1994(平成6)年03月18日
3800	給水・滅菌設備補助継電器盤	屋内自立形	1	面	W800×D600×H2300	1994(平成6)年03月18日
3801	給水・滅菌設備中継端子盤	屋内自立形	1	面	W600×D600×H2300	1994(平成6)年03月18日
3802	給水・滅菌設備変換器盤	屋内自立形	1	面	W800×D600×H2300	2016(平成28)年02月29日
3803	給水・滅菌設備入出力装置盤	屋内自立形	1	面	W700×D600×H2300	2016(平成28)年02月29日
3804	引込盤(HSG-1)	屋内自立形	1	面	W900×D200×H2300	1994(平成6)年03月18日
3805	受電盤(HSG-2)	屋内自立形	1	面	W700×D200×H2300	1994(平成6)年03月18日
3806	受電連絡盤／自家発引込盤(HSG-3A, B)	屋内自立形	1	面	W700×D200×H2300	1994(平成6)年03月18日
3807	No. 1 動力変圧器 1 次盤／No. 2 動力変圧器 1 次盤(HSG-4A, B)	屋内自立形	1	面	W700×D200×H2300	1994(平成6)年03月18日
3808	照明変圧器 1 次 ZPC・PT 盤(HSG-5)	屋内自立形	1	面	W800×D200×H2300	1994(平成6)年03月18日
3809	No. 1 動力変圧器盤	屋内自立形	1	面	W1400×D2000×H2300	1994(平成6)年03月18日
3810	照明変圧器盤	屋内自立形	1	面	W1000×D2000×H2300	1994(平成6)年03月18日
3811	No. 2 動力変圧器 2 次盤	屋内自立形	1	面	W1000×D2000×H2300	1994(平成6)年03月18日
3812	No. 1 コンデンサ盤／No. 2 コンデンサ盤	屋内自立形	1	面	W800×D200×H2300	1994(平成6)年03月18日
3813	No. 3 コンデンサ盤	屋内自立形	1	面	W700×D200×H2300	1994(平成6)年03月18日
3814	No. 1 動力変圧器 2 次盤	屋内自立形	1	面	W1000×D2000×H2300	1994(平成6)年03月18日
3815	No. 1 動力主幹盤	屋内自立形	1	面	W900×D2000×H2300	1994(平成6)年03月18日
3816	No. 2 動力主幹盤	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	1994(平成6)年03月18日
3817	照明主幹盤	屋内自立形	1	面	W1000×D2000×H2300	1994(平成6)年03月18日
3818	汚泥処理低圧主幹盤(1)	屋内自立形	1	面	W700×D1000×H2300	1995(平成7)年03月17日
3819	汚泥処理低圧主幹盤(2)	屋内自立形	1	面	W700×D1000×H2300	1995(平成7)年03月17日
3820	汚泥処理設備電源分岐盤	屋内自立形	1	面	W600×D800×H2300	1995(平成7)年03月17日
3821	方向性 SOG 制御装置盤	屋内壁掛形	1	面	W400×D300×H500	2016(平成28)年02月29日
3822	自家発電装置		1	台	300kVA	1994(平成6)年03月18日
3823	発電機盤(HSG-G)	屋内自立形	1	面	W800×D2000×H2300	1994(平成6)年03月18日
3824	自動始動盤	屋内自立形	1	面	W700×D2000×H2300	1994(平成6)年03月18日
3825	補機盤	屋内自立形	1	面	W700×D800×H2300	1994(平成6)年03月18日
3826	ダクトライン排気ファン		1	台		1994(平成6)年03月18日
3827	排気消音器		1	台		1994(平成6)年03月18日
3828	No. 1 燃料移送ポンプ		1	台	4gf/cm ²	1994(平成6)年03月18日
3829	No. 2 燃料移送ポンプ		1	台	4gf/cm ²	1994(平成6)年03月18日
3830	燃料小出槽		1	基	490L	1994(平成6)年03月18日
3831	自家発用地下重油タンク		1	基	6000L	
3832	自家発始動用蓄電池設備盤	屋内自立形	1	面	W1200×D800×H2300	1994(平成6)年03月18日
3833	直流電源盤	屋内自立形	1	面	W900×D1000×H2300	2016(平成28)年02月29日
3834	非常灯用直流電源装置	屋内自立形	1	面	W1000×D1000×H2300	1994(平成6)年03月18日
3835	機械棟電気室 A ミニ UPS		1	台	3kVA	2016(平成28)年02月29日
3836	機械棟電気室 B ミニ UPS		1	台	1kVA	2015(平成27)年01月30日
3837	機械棟監視室ミニ UPS		1	台	2kVA	2015(平成27)年01月30日
3838	初沈・エアタン設備コントロールセンタ 1	屋内自立形	2	面	W630×D600×H2300	1994(平成6)年03月18日
3839	初沈・エアタン設備コントロールセンタ 2	屋内自立形	2	面	W630×D600×H2300	2001(平成13)年03月16日
3840	送風機設備コントロールセンタ 1	屋内自立形	1	面	W600×D600×H2300	1994(平成6)年03月18日
3841	送風機設備コントロールセンタ 2	屋内自立形	1	面	W600×D600×H2300	2001(平成13)年03月16日
3842	終沈設備コントロールセンタ	屋内自立形	2	面	W630×D600×H2300	1994(平成6)年03月18日
3843	砂ろ過設備コントロールセンタ	屋内自立形	1	面	W600×D600×H2300	2001(平成13)年03月16日
3844	濃縮・脱水設備コントロールセンタ	屋内自立形	3	面	W630×D600×H2300	1995(平成7)年03月17日
3845	No. 1 送風機速度制御盤	屋内自立形	1	面	W1400×D800×H2300	2016(平成28)年02月29日
3846	No. 2 送風機速度制御盤	屋内自立形	1	面	W1400×D800×H2300	2016(平成28)年02月29日
3847	返送汚泥ポンプ速度制御盤	屋内自立形	1	面	W700×D800×H2300	2016(平成28)年02月29日
3848	薬品供給ポンプ速度制御盤	屋内自立形	1	面	W900×D800×H2300	1995(平成7)年03月17日
3849	汚泥供給ポンプ速度制御盤	屋内自立形	1	面	W900×D800×H2300	1995(平成7)年03月17日
3850	汚泥供給ポンプ・薬品供給ポンプ速度制御盤	屋内自立形	1	面	W1000×D800×H2300	2000(平成12)年02月
3851	薬品供給ポンプ速度制御盤(1)	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2015(平成27)年01月30日
3852	薬品供給ポンプ速度制御盤(2)	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2015(平成27)年01月30日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
3853	汚泥供給ポンプ速度制御盤(1)	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2015(平成27)年01月30日
3854	汚泥供給ポンプ速度制御盤(2)	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2015(平成27)年01月30日
3855	ブロウ送風量計		1	式	0~2000m3/h	2016(平成28)年02月29日
3856	No.1 脱水機供給汚泥流量計		1	式	φ80	2015(平成27)年01月30日
3857	No.2 脱水機供給汚泥流量計		1	式	φ80	2017(平成29)年02月
3858	No.1 脱水機供給薬品流量計		1	式	φ50、0~5m3/h	2015(平成27)年01月30日
3859	No.2 脱水機供給薬品流量計		1	式	φ50、0~0.5m3/h	2015(平成27)年01月30日
3860	No.1 機械濃縮汚泥量計		1	式	φ80、0~20m3/h	2017(平成29)年08月
3861	自家発用地下重油タンク液面計		1	式	0~6000L	
3862	No.1 濃縮汚泥貯留槽レベル計		1	式	0~3m	2015(平成27)年01月30日
3863	No.2 濃縮汚泥貯留槽液位計		1	式		1995(平成7)年03月17日
3864	No.1 余剰汚泥受槽レベル計		1	式	0~6m	2015(平成27)年01月30日
3865	No.2 余剰汚泥受槽液位計		1	式	0~6000mmH20	1999(平成11)年10月29日
3866	No.1 薬品溶解タンクレベル計		1	式	0~5m3	2015(平成27)年01月30日
3867	No.2 薬品溶解タンクレベル計		1	式	0~5m3	2015(平成27)年01月30日
3868	生汚泥濃度計		1	式		1999(平成11)年10月29日
3869	重力濃縮汚泥濃度計		1	式		
3870	脱水機供給汚泥濃度計	レーザー光式	1	式	0~6%	2015(平成27)年01月30日
3871	自動降雪検知器		1	式		
3873	No.1,2 送風機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D300×H1200+400	1994(平成6)年03月18日
3874	No.3,4 送風機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W600×D300×H700+900	2001(平成13)年03月16日
3875	脱水設備用空気圧縮機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W600×D300×H600+1000	1995(平成7)年03月17日
3876	重力濃縮槽汚泥引抜ポンプ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W600×D300×H800+800	1995(平成7)年03月17日
3877	余剰汚泥供給ポンプ現場盤	屋内自立形	1	面	W700×D500×H1900	1999(平成11)年10月29日
3878	汚泥供給ポンプ現場盤	屋内自立形	1	面	W900×D600×H1900	1995(平成7)年03月17日
3879	ポンプ室床排水ポンプ現場盤	屋内壁掛形	1	面	W500×D300×H600	1995(平成7)年03月17日
3880	脱臭床排水ポンプ現場盤	屋内壁掛形	1	面	W500×D300×H600	1995(平成7)年03月17日
3881	汚泥処理脱臭ファン現場盤	屋内壁掛形	1	面	W400×D300×H700	1995(平成7)年03月17日
3882	濃縮汚泥貯留槽攪拌機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W500×D300×H700+900	1999(平成11)年10月29日
3883	濃縮・脱水作業用電源盤1	屋内壁掛形	1	面	W600×D300×H800	2015(平成27)年01月30日
3884	濃縮汚泥貯留槽エアバージ盤	屋内自立形	1	面	W800×D600×H1900	1995(平成7)年03月17日
3885	自家発室接地端子盤	屋内壁掛形	1	面	W600×D250×H850	1994(平成6)年03月18日
3886	自家発室接地端子盤(VVVF用)	屋内壁掛形	1	面	W400×D200×H400	2015(平成27)年01月30日
3887	生汚泥スクリーン現場盤	屋内壁掛形	1	面	W400×D300×H600	1995(平成7)年03月17日
3888	生汚泥スクリーン用ホイスト電源箱	屋内壁掛形	1	面	W500×D300×H600	1995(平成7)年03月17日
3889	余剰汚泥受槽攪拌機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W600×D300×H900+700	1999(平成11)年10月29日
3890	薬品溶解設備現場盤	屋内自立形	1	面	W900×D600×H1900	1995(平成7)年03月17日
3891	薬品供給ポンプ現場盤	屋内自立形	1	面	W800×D600×H1900	1995(平成7)年03月17日
3892	薬品コンテナ用ホイスト電源箱	屋内壁掛形	1	面	W500×D300×H600	1995(平成7)年03月17日
3893	濃縮・脱水作業用電源盤2	屋内壁掛形	1	面	W600×D300×H800	2015(平成27)年01月30日
3894	余剰汚泥受槽エアバージ盤	屋内自立形	1	面	W800×D600×H1900	1999(平成11)年10月29日
3895	外部ケーキ設備現場盤	屋内壁掛形	1	面	W800×D400×H1200	1995(平成7)年03月17日
3896	電源分岐盤(1)	屋内壁掛形	1	面	W600×D300×H700	2015(平成27)年01月30日
3897	電源分岐盤(2)	屋内壁掛形	1	面	W800×D300×H700	2016(平成28)年02月29日
3898	制御電源切替盤(2)	屋内壁掛形	1	面	W500×D300×H600	2015(平成27)年01月30日
3899	No.1 ケーキコンベヤ現場盤	屋内壁掛形	1	面	W600×D300×H900	1995(平成7)年03月17日
3900	濃縮・脱水作業用電源盤3	屋内壁掛形	1	面	W600×D300×H800	2015(平成27)年01月30日
3901	制御電源切替盤(1)	屋内壁掛形	1	面	W500×D300×H600	2015(平成27)年01月30日
3902	初沈・エアタン設備補助継電器盤(1)	屋内自立形	1	面	W800×D600×H2300	1994(平成6)年03月18日
3903	初沈・エアタン設備補助継電器盤(2)	屋内自立形	1	面	W800×D600×H2300	1994(平成6)年03月18日
3904	初沈・エアタン設備補助継電器盤(3)	屋内自立形	1	面	W800×D600×H2300	2001(平成13)年03月16日
3905	送風機設備補助継電器盤	屋内自立形	1	面	W800×D600×H2300	1994(平成6)年03月18日
3906	終沈設備補助継電器盤	屋内自立形	1	面	W800×D600×H2300	1994(平成6)年03月18日
3907	終沈・砂ろ過設備補助継電器盤	屋内自立形	1	面	W800×D600×H2300	2001(平成13)年03月16日
3908	水処理設備中継端子盤(1)	屋内自立形	1	面	W600×D600×H2300	1994(平成6)年03月18日
3909	水処理設備中継端子盤(2)	屋内自立形	1	面	W600×D600×H2300	1994(平成6)年03月18日
3910	濃縮・脱水設備補助継電器盤(1)	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	1995(平成7)年03月17日
3911	濃縮・脱水設備補助継電器盤(2)	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	1995(平成7)年03月17日
3912	濃縮・脱水設備補助継電器盤(3)	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	1999(平成11)年10月29日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
3913	水処理設備変換器盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2016(平成28)年02月29日
3914	濃縮・脱水設備変換器盤	屋内自立形	1	面	W1000×D600×H2300	1995(平成7)年03月17日
3915	計装計器盤	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	1995(平成7)年03月17日
3916	焼却設備監視操作盤(1)	屋内自立形	1	面	W800×D1300×H1250	1995(平成7)年03月17日
3917	焼却設備監視操作盤(2)	屋内自立形	1	面	W800×D1300×H1250	1995(平成7)年03月17日
3918	焼却設備監視操作盤(3)	屋内自立形	1	面	W1000×D1300×H1250	1995(平成7)年03月17日
3919	監視制御用データサーバ(1)	屋内自立形	1	面	W700×D900×H2300	2015(平成27)年01月30日
3920	監視制御用データサーバ(2)	屋内自立形	1	面	W700×D900×H2300	2015(平成27)年01月30日
3921	LCD 監視装置(1)		1	面	W800×D1300×H700	2015(平成27)年01月30日
3922	LCD 監視装置(2)		1	面	W800×D1300×H700	2015(平成27)年01月30日
3923	焼却設備 CRT 装置		1	面	W800×D1300×H1250	1995(平成7)年03月17日
3924	水処理設備コントローラ(1)	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2016(平成28)年02月29日
3925	水処理設備コントローラ(2)	屋内自立形	1	面	W800×D800×H2300	2016(平成28)年02月29日
3926	濃縮・脱水設備コントローラ(1)	屋内自立形	1	面	W700×D600×H2300	2015(平成27)年01月30日
3927	濃縮・脱水設備コントローラ(2)	屋内自立形	1	面	W700×D600×H2300	2015(平成27)年01月30日
3928	焼却監視操作コントローラ(1)	屋内自立形	1	面	W700×D900×H2300	1995(平成7)年03月17日
3929	焼却監視操作コントローラ(2)	屋内自立形	1	面	W700×D900×H2300	1995(平成7)年03月17日
3930	プリンタ(機械棟)		1	台	W800×D800×H700	2015(平成27)年01月30日
3931	ハードコピー		1	台	W700×D600×H700	1995(平成7)年03月17日
3932	焼却設備所内電源盤	屋内自立形	1	面	W1000×D800×H2300	1995(平成7)年03月17日
3933	焼却共通設備コントロールセンタ	屋内自立形	2	面	W630×D600×H2300	1995(平成7)年03月17日
3934	焼却(1号炉補機)設備コントロールセンタ	屋内自立形	3	面	W630×D600×H2300	1995(平成7)年03月17日
3935	No.1 誘引ファン動力盤	屋内自立形	1	面	W700×D800×H2300	1995(平成7)年03月17日
3936	No.1 流動ブロワ動力盤	屋内自立形	1	面	W700×D800×H2300	1995(平成7)年03月17日
3937	No.1-1 ケーキ供給ポンプ速度制御盤	屋内自立形	1	面	W630×D600×H2300	1995(平成7)年03月17日
3938	No.1-2 ケーキ供給ポンプ速度制御盤	屋内自立形	1	面	W630×D600×H2300	1995(平成7)年03月17日
3939	流動空気流量計		1	式	0～150mmAq	1995(平成7)年03月17日
3940	白煙空気吹込流量計		1	式	0～100mmAq	1995(平成7)年03月17日
3941	脱水ケーキ移送量計		1	式	φ100	1995(平成7)年03月17日
3942	誘引ファン出口ガス流量計		1	式	0～100mmAq	1995(平成7)年03月17日
3943	空気予熱器出口ガス圧力計		1	式	0～900mmAq	1995(平成7)年03月17日
3944	ウインドボックス圧力計		1	式	0～400mmAq	1995(平成7)年03月17日
3945	誘引ファン出口ガス圧力計		1	式	0～200mmAq	1995(平成7)年03月17日
3946	流動ブロワ吐出圧力計		1	式	0～4000mmAq	1995(平成7)年03月17日
3947	白煙防止予熱器出口ガス圧力計		1	式	0～800mmAq	1995(平成7)年03月17日
3948	フリーボード圧力計		1	式	0～400mmAq	1995(平成7)年03月17日
3949	灰ホッパ用エアタンク空気圧力計		1	式		1995(平成7)年03月17日
3950	排煙処理塔出口ガス圧力計		1	式	0～1200mmAq	1995(平成7)年03月17日
3951	EP 出口ガス圧力計		1	式	0～1200mmAq	1995(平成7)年03月17日
3952	サイクロン出口ガス圧力計		1	式	0～1000mmAq	1995(平成7)年03月17日
3953	空気予熱機出口ガス温度計		1	式		1995(平成7)年03月17日
3954	ウインドボックス温度計		1	式	φ3.2	1995(平成7)年03月17日
3955	誘引ファン出口ガス温度計		1	式		1995(平成7)年03月17日
3956	砂層上部温度計		1	式	φ3.2	1995(平成7)年03月17日
3957	砂層下部温度計		1	式	φ3.2	1995(平成7)年03月17日
3958	白煙防止予熱器出口ガス温度計		1	式		1995(平成7)年03月17日
3959	白煙防止予熱器出口空気温度計		1	式		1995(平成7)年03月17日
3960	流動空気温度計		1	式		1995(平成7)年03月17日
3961	フリーボード温度計		1	式	φ3.2	1995(平成7)年03月17日
3962	排煙処理塔出口ガス温度計		1	式		1995(平成7)年03月17日
3963	煙突ガス温度計		1	式		1995(平成7)年03月17日
3964	炉出口ガス温度計		1	式		1995(平成7)年03月17日
3965	排煙処理塔下部タンク PH 計		1	式		1995(平成7)年03月17日
3966	排煙処理塔循環タンク PH 計		1	式		1995(平成7)年03月17日
3967	煙突ガス CO・SO ₂ ・O ₂ 濃度計		1	式	1.5kVA	2003(平成15)年11月
3968	ジルコニア酸素分析計		1	式	1.2kVA	2007(平成19)年09月
3969	焼却設備空気圧縮機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W600×D300×H900+700	1995(平成7)年03月17日
3970	ケーキホッパ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W500×D300×H1000+600	1995(平成7)年03月17日
3971	脱水ケーキ貯留装置現場盤	屋内自立形	1	面	W900×D600×H1900	1995(平成7)年03月17日

設備 ID	設備名称	設備形式	数量	単位	仕様概要	設置年月日
3972	流動・昇圧ブロワ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W700×D300×H1200+400	1995(平成7)年03月17日
3973	オイル移送ポンプ現場盤	屋外スタンド形	1	面	W600×D400×H700+900	1995(平成7)年03月17日
3974	オイル供給ポンプ現場盤	屋外スタンド形	1	面	W500×D300×H600+1000	1995(平成7)年03月17日
3975	自煙防止ブロワ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W500×D300×H800+800	1995(平成7)年03月17日
3976	誘引ファン現場盤	屋内自立形	1	面	W800×D600×H1900	1995(平成7)年03月17日
3977	焼却設備脱臭ファン現場盤	屋内スタンド形	1	面	W600×D300×H800+800	1995(平成7)年03月17日
3978	洗煙排水ポンプ現場盤	屋内壁掛形	1	面	W700×D250×H1400	1998(平成10)年04月
3979	排煙処理塔ポンプ現場盤	屋内自立形	1	面	W800×D600×H1900	1995(平成7)年03月17日
3980	苛性ソーダ貯槽現場盤	屋内スタンド形	1	面	W600×D300×H800+800	1995(平成7)年03月17日
3981	焼却作業用電源盤(2)	屋内壁掛形	1	面	W600×D300×H700	1995(平成7)年03月17日
3982	接地端子箱(焼却炉室)	屋外壁掛形	1	面	W400×D150×H500	1995(平成7)年03月17日
3983	汚泥焼却炉棟接地端子盤	屋内壁掛形	1	面	W600×D250×H600	1995(平成7)年03月17日
3984	ケーキ投入機現場盤	屋内スタンド形	1	面	W600×D300×H1000+600	1995(平成7)年03月17日
3985	ケーキコンベヤ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W600×D300×H1000+600	1995(平成7)年03月17日
3986	電気集塵機ダンパ現場盤	屋内スタンド形	1	面	W600×D300×H700+900	1995(平成7)年03月17日
3987	焼却作業用電源盤(1)	屋内壁掛形	1	面	W600×D300×H700	1995(平成7)年03月17日
3988	放風弁現場盤	屋内スタンド形	1	面	W400×D300×H600+1000	1995(平成7)年03月17日
3989	灰回収現場盤	屋内自立形	1	面	W800×D600×H1900	1995(平成7)年03月17日
3990	焼却設備補助継電器盤(1)	屋内自立形	1	面	W800×D600×H2300	1995(平成7)年03月17日
3991	焼却設備補助継電器盤(2)	屋内自立形	1	面	W800×D600×H2300	1995(平成7)年03月17日
3992	焼却設備補助継電器盤(3)	屋内自立形	1	面	W800×D600×H2300	1995(平成7)年03月17日
3993	焼却設備中継端子盤(1)	屋内自立形	1	面	W800×D600×H2300	1995(平成7)年03月17日
3994	焼却設備中継端子盤(2)	屋内自立形	1	面	W800×D600×H2300	1995(平成7)年03月17日
3995	焼却設備変換器盤	屋内自立形	1	面	W1400×D600×H2300	1995(平成7)年03月17日
3996	計装変換器盤	屋内自立形	1	面	W800×D600×H1900	1995(平成7)年03月17日
3997	焼却設備コントローラ盤(1)	屋内自立形	1	面	W700×D900×H2300	1995(平成7)年03月17日
3998	焼却設備コントローラ盤(2)	屋内自立形	1	面	W700×D900×H2300	1995(平成7)年03月17日
8888	外部ケーシング重量		1	式		1995(平成7)年03月17日
8889	上部バナー主重油流量		1	式		1995(平成7)年03月17日
8890	上部N02重油流量		1	式		1995(平成7)年03月17日
8891	L-5 燃料タンク量		1	式		1995(平成7)年03月17日
8892	L-3 重油サージタンク液位		1	式		1995(平成7)年03月17日
8893	N01F-2 上部バナー重油流量		1	式		1995(平成7)年03月17日
8894	F-1 下部バナー重油流量		1	式		1995(平成7)年03月17日
9067	ガスタービン機関		1	台		1994(平成6)年03月18日
9068	沈砂ホッパー重量		1	式		1994(平成6)年03月18日
9069	スクリーンホッパー重量		1	式		1994(平成6)年03月18日
9070	排気消音器		1	台		1994(平成6)年03月18日

富山市上下水道局
浜黒崎浄化センター・水橋浄化センター
維持管理業務包括委託

業務要領－ 2
水質分析要領(案)

令和 4 年 1 0 月

富山市上下水道局

1. 試験結果等の報告

受託者は下記に挙げる報告書を作成し、浜黒崎浄化センターにおいては、施設・維持管理情報システムに各種報告書をインポート又は保存すること（施設・維持管理情報システム運用要領参照）。一方、水橋浄化センターにおいては下記のとりの期日（時間）までに水橋浄化センター所長に報告すること。

なお、浜黒崎浄化センターの報告書の様式は施設・維持管理情報システムにおけるインポート機能と密接に関連しているため、様式を変更する際には局職員と協議し、インポート機能において支障が出ないようにすること。

ここで、下記報告書以外に、受託者による任意の試験結果等についても、必要に応じて委託者が提出を求めた場合には受託者は提出すること。

（1）浜黒崎浄化センター

報告書	インポート 又は保存頻度	インポート 又は保存期日	インポート 又は保存先
活性汚泥試験報告書(イ) 生物相報告書(保)	4 回/月以上	試験実施翌日まで	施設・維持管理情報 システム
返流水試験報告書(イ)	2 回/月以上		
汚泥試験報告書(イ)	2 回/月以上	試験実施翌々日まで	
中試験報告書(イ)	4 回/月以上	試験実施 1 週間後 まで	
高速ろ過試験報告書(イ)	2 回/年		
松川貯留管・牛島雨水滞 水池等貯留施設返水試行 運転時の水質試験報告書 (イ)	試験実施毎(3 回 /契約期間程度)	試験実施翌日まで	
分析精度管理報告書(イ)	2 回/年	分析精度管理実施 1 か月後まで	
水質計器精度管理報告書 (イ)	1 回/月(水質)、 2 回/年(汚泥質)	精度管理実施翌日 まで	
水質関係機器の保守・点 検・清掃・修繕報告書(保)	1 回/週	翌週の初日まで	
試薬在庫調査報告書(保)	1 回/月	翌月の 5 日まで	
廃液数量報告書(イ)	1 回/月	翌月の 5 日まで	

※（イ）：PI 化のためにインポートする報告書

（保）：文書として保存する報告書

(2) 水橋浄化センター

報告書	報告頻度	報告期日	報告先
日常試験報告書	1 回/日※平日	当日の午後 3 時まで	水橋浄化センター 所長
活性汚泥試験報告書	1 回/日※平日		
生物相報告書	※生物相は 1 回/週		
返流水試験報告書	1 回/月	試験実施翌日まで	
汚泥試験報告書	3 回/週		
中試験報告書	4 回/月以上	試験実施 1 週間後まで	
分析精度管理報告書	2 回/年	分析精度管理実施 1 か月後まで	
試薬在庫調査報告書	1 回/月	翌月の 5 日まで	
廃液数量報告書	1 回/月	翌月の 5 日まで	

※浜黒崎浄化センター水質係にも翌日には提出すること。

2. 採水等

各試験に関する採水方法等は次の通りとする。また、採水実施日については水質試験予定表を局に提出し、局の承諾を得ること。

局へ提出する試料は、採水記録（浄化センター名、試料名、採水日時、採水実施者名等）を添えて採水当日の午前 9 時 30 分までに浜黒崎浄化センター水質試験室に提出すること。なお、次回使用する採水容器を持ち帰ること。

（1）浜黒崎浄化センター

<活性汚泥試験>

試料名	採水方法	局へ提出する試料量
エアタン混合液・返送汚泥	採水当日の代表的な試料が得られる場所、時刻、方法でスポット採水すること。	無

<返流水試験>

試料名	採水方法	局へ提出する試料量
濃縮タンク分離液・機械濃縮分離液・洗浄タンク分離液・脱水ろ液	採水当日の代表的な試料が得られる場所、時刻、方法でスポット採水すること。	無

<汚泥試験>

試料名	採水方法	局へ提出する試料量
余剰汚泥・重力濃縮汚泥・機械濃縮汚泥・消化汚泥・洗浄汚泥・FP 脱水汚泥・BP 脱水汚泥	採水当日の代表的な試料が得られる場所、時刻、方法でスポット採取すること。	無
初沈汚泥	採水当日の任意の 1 回の汚泥引き抜き時間内においてコンポジット採取すること。	無

<中試験>

試料名	採水方法	局へ提出する試料量
初沈流入水・エアタン流入水・終沈流出水・放流水・総返流水	水質試験予定日の前日の 9 時から当日の 8 時までの 24 時間において採水し、コンポジットすること。なお、コンポジット方法については局が指示する。 また、当該採水後、次回の水質試験予定日を考慮して自動採水スケジュールを設定すること。	BOD 分析のために、放流水に対して 2 L ポリ瓶 1 本を、またその他の各試料に対して 1 L ポリ瓶 1 本を提出すること。また、放流水の大腸菌群数分析のために、滅菌容器 1 本を提出すること。 なお、ポリ瓶は満水、滅菌容器は 7 分目程度まで採水すること。

<高速ろ過試験>

試料名	採水方法	局へ提出する試料量
高速ろ過流入水・高速ろ過流出水・初沈流出水（沈殿放流水）	自動採水機を用いて、1h 間隔のスポットサンプルを 24h 分採水する。なお、分析する検体を局が指示する。 ここで、高速ろ過運転開始時に合わせて、自動採水機の採水を開始する。	BOD 分析のために、1 試料あたり 1 L ポリ瓶 1 本を提出すること。なお、ポリ瓶は満水まで採水すること。

<松川貯留管・牛島雨水滞水池等貯留施設返水試行運転時の水質試験>

試料名	採水方法	局へ提出する試料量
初沈流入水・エアタン流入水・終沈流出水	試行運転開始日は、自動採水機を用いて 1h 間隔のスポットサンプルを 24h 分採水する。2 日目以降は、24h 分のスポットサンプルを混合し、24h コンポジットサンプルとする。	無
エアタン混合液・返送汚泥	採水当日の代表的な試料が得られる場所、時刻、方法でスポット採水すること。	無

(2) 水橋浄化センター

<日常試験>

試料名	採水方法	局へ提出する試料量
初沈流入水・エアタン流入水・放流水	採水当日の午前8時30分から午前9時30分の間にスポット採水すること。	無

<活性汚泥試験>

試料名	採水方法	局へ提出する試料量
エアタン混合液・返送汚泥	採水当日の代表的な試料が得られる場所、時刻、方法でスポット採水すること。	無

<返流水試験>

試料名	採水方法	局へ提出する試料量
濃縮タンク分離液・機械濃縮分離液・脱水ろ液	採水当日の代表的な試料が得られる場所、時刻、方法でスポット採水すること。	無

<汚泥試験>

試料名	採水方法	局へ提出する試料量
余剰汚泥・重力濃縮汚泥・機械濃縮汚泥・脱水機供給汚泥・脱水汚泥	採水当日の代表的な試料が得られる場所、時刻、方法でスポット採取すること。	無
初沈汚泥	採水当日の任意の1回の汚泥引き抜き時間内においてコンポジット採取すること。	無

<中試験>

試料名	採水方法	局へ提出する試料量
流入水・放流水・神通町ポンプ場放流水	採水当日の午前8時30分から午前9時15分の間にスポット採水すること。	BOD 分析のために各試料に対して1L ポリ瓶1本を提出すること。また、放流水の大腸菌群数分析のために、滅菌容器1本を提出すること。 なお、ポリ瓶は満水、滅菌容器は7分目程度まで採水すること。

3. 水質試験項目と検体数

(1) 浜黒崎浄化センター

1. 活性汚泥試験 (4回/月以上)

単位: 検体数/回

	エアタン混合液	返送汚泥	分析方法
pH	※4	—	JIS K0102の12.1(ガラス電極法)
SV(%)	3系列×8水路	—	下水試験方法4.1.8.1
MLSS(mg/L)	3系列×8水路	—	下水試験方法4.1.6.2(ガラス繊維ろ紙法)
RSSS(mg/L)	—	3系列	下水試験方法4.1.6.2(ガラス繊維ろ紙法)
MLDO(mg/L)	3系列(代表池) ×3、4区画(上層)	—	携帯型DO計による方法
水温(°C)	3系列(代表池)	—	設置型DO計の表示値を読み取る。
生物相	3系列(代表池)	—	顕微鏡による検鏡(下水試験方法6参照)

※1 使用系列数によって検体数が変わります。上表は3系列運転の場合です。

※2 MLDOと水温及び生物相は1～4系の代表池で採取する。

※3 SV30の測定は、概ね30%以上となる場合には、下水試験方法に従って希釈法で行う。

※4 放流水のpHがpH6を下回った場合、受託者は使用しているエアタン全てにおいて、pH測定を行うこと。

※5 MLDOについては、第3、4区画の測定と同時時間帯に、第2、5区画の設置型DO計の数値を読み取ること。

※6 上記試験頻度は、局に報告するためのものであり、運転管理のための追加試験を妨げるものではない。

※7 通常と大幅に異なる値を検出した時に、局が試験頻度や試験箇所の増加を求めた時にはそれに従うこと。

2. 返流水試験 (2回/月以上)

単位: 検体数/回

	濃縮タンク 分離液	機械濃縮 分離液	洗浄タンク 分離液	脱水ろ液	総返流水	分析方法
pH	2	3	2	2	—	JIS K0102の12.1(ガラス電極法)
SS(mg/L)	2	3	2	2	—	JIS K0102の14.1
COD(mg/L)	2	3	2	2	—	JIS K0102の17
備考	濃縮タンク No.1, No.2	No.2, No.3, No.4で採 水	洗浄タンク No.1, No.2	FP, BPを 別々に分 析する	中試験で 分析する。	

3. 汚泥試験 (2回/月以上)

単位: 検体数/回

	余剰汚泥	初沈汚泥	重力濃縮汚泥	機械濃縮汚泥	消化汚泥	洗浄汚泥	FP脱水汚泥	BP脱水汚泥	分析方法
pH	3	3	1	3	4	3	1	2	JIS K0102の12.1 (ガラス電極法)
アルカリ度(mg/L)	—	—	—	—	2	3	—	—	下水試験方法5.1.13
含水率(%)	—	—	—	—	—	—	1	2	下水試験方法5.1.6
蒸発残留物(%)	3	3	1	3	4	3	—	—	下水試験方法5.1.6
強熱減量(%)	3	2	1	1	4	—	1	—	下水試験方法5.1.8
窒素含有量(%)	—	—	—	—	—	—	※3	※3	下水試験方法5.1.18 及び2.1.29
総水銀(mg/kg)	—	—	—	—	—	—	※3	※3	下水試験方法3.1と 3.2.6(ケルダール分 解法及び還元気化 原子吸光法)
備考	代表池/ 系列	代表池/ 系列。な お、強熱 減量はA 系統とB 系統の代 表池	代表タンクか ら採泥	分離液を採水 する濃縮機か ら採泥。強熱 減量は移送P より採泥	4基の消化槽 から採泥。な お、アルカリ度 は1系の2槽に 限定。	洗浄タンク No.1、No.2と洗 浄貯留タンクで 採泥			

※1 使用系列数によって検体数が変わります。上表は水処理施設3系列運転の場合です。

※2 初沈汚泥に関しては、引抜汚泥濃度の変動するため、1回の汚泥引抜時間内におけるコンポジットサンプルを分析する。

例(1系の初沈汚泥を採取する場合): 1回あたりの引き抜き時間が1池あたり10分程度である場合、運転開始から2分間隔(1分後、3分後、5分後、7分後、9分後)で5回、等量の初沈汚泥を採取し、バケツ等で混合した後、分析用サンプルを分取する。

※3 脱水汚泥の肥料化を行っていないため、窒素含有量及び総水銀の分析は求めないが、受託者提案による追加分析は認める。

※4 上記試験頻度は、局に報告するためのものであり、運転管理のための追加試験を妨げるものではない。

4. 中試験

(1) 浜黒崎浄化センター関係 (4回/月以上)

単位: 検体数/回

	八幡田・稲 荷幹線	黒崎・ 岩瀬幹線	初沈 流入水	エアタン 流入水	終沈 流出水	放流水	総返流水	分析方法
透視度(度)	—	—	3	3	3	1	1	下水試験方法2.1.6
pH	—	—	3	3	3	1	1	JIS K0102の12.1 (ガラス電極法)
BOD(mg/L)	—	—	③	③	③	①	①	JIS K0102の21
C-BOD(mg/L)	—	—	③	③	③	①	①	JIS K0102の21(備考1: N-(2-プロペニル)チオ 尿素を用いた手法)
S-BOD(mg/L)	—	—	—	③	—	—	—	JIS K0102の21
COD(mg/L)	—	—	3	3	3	1	1	JIS K0102の17
SS(mg/L)	—	—	3	3	3	1	1	JIS K0102の14.1
n-ヘキサン抽出物質(mg/L)	—	—	—	—	—	1	—	JIS K0102の24
大腸菌群数(個/mL)	—	—	—	—	—	①	—	下水の水質の検定方 法に関する省令
有機性窒素(mg/L)	—	—	3	3	3	1	1	JIS K0102の45.2, 45.3,45.4
アンモニア性窒素(mg/L)	—	—	3	3	3	1	1	JIS K0102の45.2, 45.3,45.4
亜硝酸性窒素(mg/L)	—	—	—	—	—	1	—	JIS K0102の45.2, 45.3,45.4
硝酸性窒素(mg/L)	—	—	—	—	—	1	—	JIS K0102の45.2, 45.3,45.4
全りん(mg/L)	—	—	—	—	—	1	—	JIS K0102の46
備考	①初沈流入水、エアタン流入水、終沈流出水、放流水及び総返流水は自動採水器を用いて、24hコンボジットサン プルを採水する。 ②n-ヘキサン抽出物質と大腸菌群数については、自動採水器による採水はできないため、別途、日間平均と推 定される時刻にスポット採水する。							

※1 ○印で標記したBODと大腸菌群数については、局の職員による直営検査とする。

※2 使用系列数によって検体数が変わります。上表は3系列運転の場合です。

※3 中試験については実施日を調整するなどして、月2回以上雨水の影響の少ない時の実施に努める。

また、水質試験日報には雨水の影響の少ない時の実施か、多い時の実施かを判別できるように明記する。

ただし雨水の影響の少ない時に月2回以上の実施が満たせなくとも、法定基準未達としてのペナルティ対象とはしない。

なお、雨水の影響の少ない時の実施とは、採水中及び採水前24時間以内に高速ろ過が稼働していない状況を指す。

※4 BOD分析とその他の水質分析のスケジュールを考慮して、自動採水が水曜日の朝または木曜日の朝に終了するようにセットする。

※5 高速ろ過試験を実施する日の中試験では、BOD関係の分析は行わない。

ただし、高速ろ過試験を実施する日においても、自動採水機を用いて24hコンボジット採水を行える箇所(下記)に関してはBODを除いた項目に関する中試験を実施する。

ア) 初沈流入水1箇所、イ) 初沈流出水2箇所、ウ) 終沈流出水3箇所、エ) 放流水1箇所、オ) 総返流水1箇所

5. 高速ろ過試験

(1) 浜黒崎浄化センター関係 (2回/年)

単位: 検体数/回

	高速ろ過流 入水	高速ろ過流 出水	初沈流出水 (沈殿放流水)	分析方法
BOD(mg/L)	24	24	24	JIS K0102の21
SS(mg/L)	24	24	24	JIS K0102の14.1
備考				

※1 自動採水機を用いて、1h間隔のスポットサンプルを24h分採水する。

なお、上記検体数は最大値であり、分析装置の上限数(48検体)を考慮して分析する具体的な検体を局が指示する。

※2 6～9月及び12月～3月に実施する中試験日の内、高速ろ過稼働時に各1回試験する。

なお、高速ろ過試験実施日の決定は局が行う。

※3 高速ろ過運転開始時に合わせて、自動採水機の採水を開始する。なお、BOD分析を考慮して

自動採水は火曜日の朝から水曜日の朝の間に開始し、水曜日の朝から木曜日の朝の間に採水を終了する。

6. 松川貯留管・牛島雨水滞水池等貯留施設返水試行運転時の水質試験(3回／契約期間)

(1) 自動採水器で採水する項目(試行運転開始後24時間:1時間毎)

単位:検体数/回

	初沈流入水	エアタン 流入水	終沈流出水	分析方法
透視度(度)	24	24	－	下水試験方法2.1.6
pH	24	24	24	JIS K0102の12.1 (ガラス電極法)
COD(mg/L)	24	24	－	JIS K0102の17
SS(mg/L)	24	24	24	JIS K0102の14.1
備考				

※1 各採水地点共に代表系列において採水する。

※2 自動採水機を用いて、24h分のスポットサンプルを採取する。

(2) 自動採水器で採水する項目(試行運転開始2日目から終了日まで:毎日)

単位:検体数/日

	初沈流入水	エアタン 流入水	終沈流出水	分析方法
透視度(度)	1	1	1	下水試験方法2.1.6
pH	1	1	1	JIS K0102の12.1 (ガラス電極法)
COD(mg/L)	1	1	1	JIS K0102の17
SS(mg/L)	1	1	1	JIS K0102の14.1
備考				

※1 各採水地点共に代表系列において採水する。

※2 自動採水機を用いて、24h分のコンポジットサンプルを採取する。

(3) 活性汚泥試験項目(試行運転開始日から終了日まで:毎日)

単位:検体数/日

	エアタン混合液	返送汚泥	分析方法
pH	※4	－	JIS K0102の12.1(ガラス電極法)
SV(%)	3系列×8水路	－	下水試験方法4.1.8.1
MLSS(mg/L)	3系列×8水路	－	下水試験方法4.1.6.2 (ガラス繊維ろ紙法)
RSSS(mg/L)	－	3系列	下水試験方法4.1.6.2 (ガラス繊維ろ紙法)
MLDO(mg/L)	3系列(代表池) ×3、4区画(上層)	－	携帯型DO計による方法
水温(℃)	3系列(代表池)	－	設置型DO計の表示値 を読み取る。
生物相	3系列(代表池)	－	顕微鏡による検鏡(下水試験方法6参照)

※1 使用系列数によって検体数が変わります。上表は3系列運転の場合です。

※2 MLDOと水温及び生物相は1～4系の代表池で採取する。

※3 SV30の測定は、概ね30%以上となる場合には、下水試験方法に従って希釈法で行う。

※4 放流水のpHがpH6を下回った場合、受託者は使用しているエアタン全てにおいて、pH測定を行うこと。

※5 MLDOについては、第3、4区画の測定と同時間帯に、第2、5区画の設置型DO計の数値を読み取ること。

(2) 水橋浄化センター

1. 日常試験

(1) 流入水・放流水関係(土日、祝祭日を除く) (5日/週)

単位: 検体数/日

	初沈 流入水	エアタン 流入水	放流水	分析方法
水温(°C)	1	1	1	JIS K0102の7.2
透視度(度)	1	1	1	下水試験方法2.1.6
pH	1	1	1	JIS K0102の12.1(ガラス電極法)
SS(mg/L)	1	1	1	JIS K0102の14.1
COD(mg/L)	1	1	1	JIS K0102の17
残留塩素(mg/L)	—	—	1	DPD法
備考	—	—	—	

※1 AM8時半からAM9時半の間に採水したスポットサンプルを用いて分析する。

2. 活性汚泥試験 (5日/週 ※MLDOと生物相は1日/週)

単位: 検体数/回

	エアタン混合液	返送汚泥	分析方法
水温(°C)	2	—	設置型DO計の表示値を読み取る。
pH	2	—	JIS K0102の12.1(ガラス電極法)
SV(%)	2	—	下水試験方法4.1.8.1
MLSS(mg/L)	2	—	下水試験方法4.1.6.2(ガラス繊維ろ紙法)
RSSS(mg/L)	—	1	下水試験方法4.1.6.2(ガラス繊維ろ紙法)
MLDO(mg/L)	2池×2、3、4区画(上層)	—	携帯型DO計による方法
生物相	2	—	顕微鏡による検鏡(下水試験方法6参照)

※1 使用系統によって検体数が変わります。

※2 SV30の測定は、概ね30%以上となる場合には、下水試験方法に従って希釈法で行う。

※3 MLDOについては、第2～4区画の測定と同時間帯に、第5区画の設置型DO計の数値を読み取ること。

※4 上記試験頻度は、局に報告するためのものであり、運転管理のための追加試験を妨げるものではない。

※5 通常と大幅に異なる値を検知した時に、局が試験頻度や試験箇所を増加を求めた時にはそれに従うこと。

3. 返流水試験(1回/月)

単位: 検体数/回

	重力濃縮 槽分離液	機械濃縮機 分離液	脱水ろ液	分析方法
pH	1	1	1	JIS K0102の12.1(ガラス電極法)
SS(mg/L)	1	1	1	JIS K0102の14.1
COD(mg/L)	1	1	1	JIS K0102の17
備考				

4. 汚泥試験

単位:検体数/回

	初沈汚泥	余剰汚泥	重力濃縮汚泥	機械濃縮汚泥	脱水機供給汚泥	BP脱水汚泥	分析方法
pH	1	1	1	1	2	—	JIS K0102の12.1 (ガラス電極法)
含水率(%)	—	—	—	—	—	2	下水試験方法5.1.6
蒸発残留物(%)	1	1	1	1	2	—	下水試験方法5.1.6
窒素含有量(%)	—	—	—	—	—	2※4	下水試験方法5.1.18 及び2.1.29
総水銀(mg/kg)	—	—	—	—	—	2※4	下水試験方法3.1と 3.2.6(ケルダール分 解法及び還元気化原 子吸光法)
頻度	2回/月	2回/月	2回/月	2回/月	3回/週	3回/週	

※1 初沈汚泥に関しては、引抜汚泥濃度の変動するため、1回の汚泥引抜時間内におけるコンポジットサンプルを分析する。

※2 上記試験頻度は、局に報告するためのものであり、運転管理のための追加試験を妨げるものではない。

※3 BP脱水汚泥の分析は、浜黒崎浄化センターにおいて実施する。

※4 窒素含有量と総水銀の試験頻度は2回/月とする。

5. 中試験

(1) 水橋浄化センター関係

単位:検体数/回

	流入水	放流水	神通町ポンプ場放流水	分析方法
pH	1	1	1	JIS K0102の12.1 (ガラス電極法)
BOD(mg/L)	①	①	①	JIS K0102の21
COD(mg/L)	1	1	1	JIS K0102の17
SS(mg/L)	1	1	1	JIS K0102の14.1
n-ヘキサン抽出物質(mg/L)	—	1	—	JIS K0102の24
大腸菌群数(個/mL)	—	①	①	下水の水質の検定 方法に関する省令
有機性窒素(mg/L)	1	1	—	JIS K0102の45.2, 45.3,45.4
アンモニア性窒素(mg/L)	1	1	—	JIS K0102の45.2, 45.3,45.4
亜硝酸性窒素(mg/L)	1	1	—	JIS K0102の45.2, 45.3,45.4
硝酸性窒素(mg/L)	1	1	—	JIS K0102の45.2, 45.3,45.4
全りん(mg/L)	—	1	—	JIS K0102の46
頻度	4回/月以上	4回/月以上	1回/月以上	

※1 ①と標記した放流水のBODと大腸菌群数については、局の職員による直営検査とする。

※2 AM8時半からAM9時半の間に採水したスポットサンプルを用いて分析する。

※3 中試験における各種分析は、浜黒崎浄化センターにおいて実施する。

4. 精度管理

①分析精度管理

受託者は定期的（2 回/年）に、公定法による分析結果（局発注）と包括業者分析値を比較する方法で分析精度管理を実施し、公定法による分析結果（局発注）に対して、COD に関しては 20%以上、その他の項目に関しては 10%以上の分析誤差*があることが明らかとなった場合には、その原因を究明し、当該原因や分析手順の見直しなどを記載した是正報告書を局に提出すること。

浜黒崎浄化センターにおいて分析精度管理を行う対象は中試験の放流水とし、その分析項目は、次の通りとする。

- ・ COD
- ・ SS
- ・ 有機性窒素
- ・ アンモニア性窒素
- ・ 亜硝酸性窒素
- ・ 硝酸性窒素
- ・ 全りん

水橋浄化センターにおいて分析精度管理を行う対象は日常試験の放流水とし、その分析項目は、次の通りとする。

- ・ COD
- ・ SS

また、上記局発注の分析試料の採水を行うとともに、局が別途クロスチェック分析を実施する場合は分析試料の採水を行うこと。さらに、当該クロスチェック分析に必要な備品（軽微）・試薬・消耗品等を提供すること。

※「水質基準に関する省令の制定及び水道法施行規則の一部改正等並びに水道水質管理における留意事項について（平成 15 年 10 月 10 日 健水発第 1010001 号）{最終改正 令和 3 年 3 月 26 日}」を参考に設定した。

②水質計器の精度管理（校正）

浜黒崎浄化センターにおける水質計器（下記参照）の内、水処理用水質計器の精度管理（校正）を 1 回/月の頻度で実施すること。また、汚泥処理用水質計器の精度管理（校正）を 2 回/年の頻度で実施すること。

区分	水質関係機器
水処理用水質計器	pH 計、DO 計、MLSS 計、UV 計、残留塩素計、濁度計
汚泥処理用水質計器	汚泥濃度計

定期的な精度管理の他、センサー測定値が通常レベルと異なる値を示したと受託者が判断した場合には、受託者側で手分析を行いセンサー精度の確認を行うこと。さらに、必要に応じて校正を行うこと。

また、局側の要請があれば、受託者側で手分析を行いセンサー精度の確認を行うこと。さらに、必要に応じて校正を行うこと。

なお、水橋浄化センターの水質計器の精度管理報告書の提出は求めないが、適切な精度管理に努めること。

5. 水質検査用備品・試薬・消耗品等の在庫管理と購入

受託者は水質試験や水質自動測定機で使用する備品（軽微なもの）・薬品・消耗品（滅菌シャーレ等）の在庫を管理し、必要に応じて購入すること。また、局職員が実施する分析のために必要とするものを定期的に聴取し、購入すること。

なお、薬品については、毎月、試薬在庫調査報告書（在庫量、当月購入量等）を局に提出すること。

6. 水質関係機器の保守・点検・清掃・修繕

受託者は次の水質関係機器について取り扱い説明書、保守点検マニュアル等に従って適切な保守・点検・清掃を行い、局職員に実施内容や機器の状態を報告すること。保守・点検・清掃に必要な軽微な消耗品（採水チューブ等）購入は受託者側の負担とし、常に適切に使用できるようにすること。

また、受託者は、次の水質関係機器が故障した場合には、速やかに局職員に報告し、双方で協議した上で、突発修繕費を用いて機能回復のための修繕を速やかに行うこと。

なお、水橋浄化センターの水質関係機器の保守・点検・清掃・修繕報告書の提出は求めないが、適切な保全管理に努めること。

水質関係機器の種類	水質関係機器
水処理用水質計器	pH 計、DO 計、MLSS 計、ORP 計、UV 計、残留塩素計、濁度計
汚泥処理用水質計器	汚泥濃度計、温度計
自動採水器	自動採水器
水質試験室分析機器	pH 計、分光光度計、水銀分析装置等
その他水質試験室の分析関連機器	蒸留水製造装置、定温乾燥機、電気炉、電子天秤、真空ポンプ、電動ビュレット等

7. 検査廃液等の廃棄物の処理

受託者は検査廃液等について、下記の通り取り扱うこと。また、廃液の数量は受託者が常

に把握しておき、毎月、報告すること。また、廃液用容器の補充・更新を行うこと。

なお、これらの検査廃液等は、局が廃液等の数量を考慮して産業廃棄物として処理する。

廃液の種類	取り扱い方法
COD 分析廃液	この廃液は極めて酸性が強く重金属のマンガンが含まれるので、分析終了後は必ずこの廃液を COD 廃液専用ポリタンクに回収すること。
水銀分析廃液	この廃液には有害性の強い水銀が含まれるので、分析終了後は必ずこの廃液を水銀廃液専用ポリタンクに回収すること。
NO3-N 分析廃液	この廃液には毒性の強いブルシンが含まれるので、分析終了後は必ずこの廃液を硝酸性窒素分析廃液専用ポリタンクに回収すること。
その他の廃棄物	ガラスくず、金属くず等は分別し、専用容器に回収すること。
使用済み試薬瓶	試薬空瓶については、容器内を洗浄した後、蓋と瓶を分けて箱に戻し、次回試薬購入時に業者に引き取ってもらうこと。
可燃物	紙くず等の可燃物は指定のごみ袋に詰めて回収し、場内にある可燃物収集場所に搬入すること。

8. 見学者対応

受託者は局から施設見学についての協力依頼があった場合は、事前に見学場所の清掃を行い、見学に合わせて照明、悪臭対策等を行い、現場の環境を整えること。また、見学開始時刻前に正面玄関前に、初沈流入水、エアタン混合液、放流水及び水道水を各々1Lのトルビーカーに入れ机の上に展示すること。なお、局から要請があった場合には、現場説明についても協力すること。

9. その他

①分析器具の管理及び洗浄

受託者が行う分析に伴い使用するポリ瓶等は定期的に新品交換し、ガラス器具は性能劣化が認められる場合には新品交換すること。また、分析器具類の洗浄は、受託者がこまめに実施し、試験・検査の精度を保つように責任をもって行うこと。

②試験室の整理・整頓・清掃等

受託者は、各浄化センターの試験室内の整理整頓・清掃を行い、使用機器及び使用器具の状態を良好に保つこと。ここで、試験室内の床清掃については1回/月以上の頻度で行い、試験室内の軽微な清掃は1回/週以上の頻度で行うこと。

③試験室・薬品庫の施錠等

受託者は、試験室及び薬品庫について、次のことに注意し、責任をもって使用すること。

- 薬品等の盗難防止の観点から関係者以外の試験室への入室を禁止すること。
- 試験室は使用時に開錠し、使用終了後に必ず施錠すること。
- 薬品庫は常時施錠し、使用時のみ解錠すること。

④備品の借用について

受託者は、貸与品以外で水質関係備品を借用したい場合は、事前に局に申し入れを行い、許可を得ること。

⑤委託終了時の備品・消耗品・検査用薬品等の在庫量

委託終了時の備品・消耗品・検査用薬品等の在庫量は、受託時に引き継いだ在庫量とすること。

以上

富山市上下水道局
浜黒崎浄化センター・水橋浄化センター
維持管理業務包括委託

業務要領－ 3

施設平面図

令和 4 年 1 0 月

富山市上下水道局

1. 使用許可施設等

(1) 浜黒崎浄化センター内対象施設等

①管理本館	1 F	事務室控室、湯沸室、脱衣室、浴室、更衣洗濯室、男子更衣室等	1 8 0 m ²	受託者従業員用
②管理本館	2 F	事務室、更衣室等	7 0 m ²	中央管理室内
③管理本館	3 F	水質試験室、薬品庫	3 3 0 m ²	
④脱水機棟	2 F	和室、浴室、便所等	7 0 m ²	受託者従業員用
⑤脱水機棟	3 F	事務室等	1 0 m ²	監視室内
⑥駐車場		場内脱水機棟西側	8 0 0 m ²	受託者従業員用

(2) 水橋浄化センター内対象施設等

①機械棟	1 F	事務室、浴室、更衣室等	9 0 m ²	中央管理室内
②機械棟	3 F	事務室控室、湯沸室、脱衣室	1 0 m ²	監視室内
③管理本館	1 F	水質試験室、薬品庫	4 0 m ²	
④駐車場		場内	3 0 0 m ²	受託者従業員用

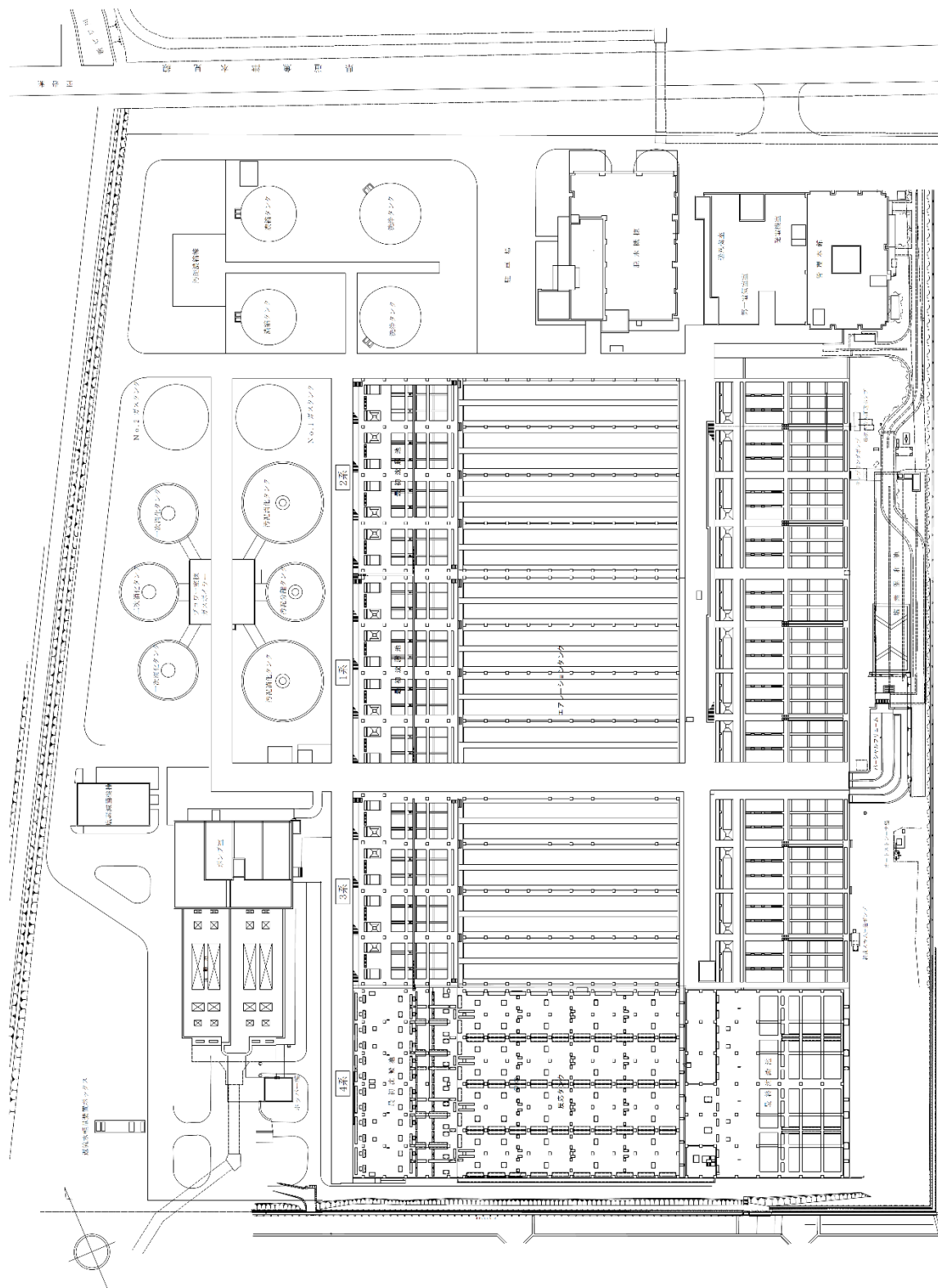
2. 使用許可条件

(1) 許可期間

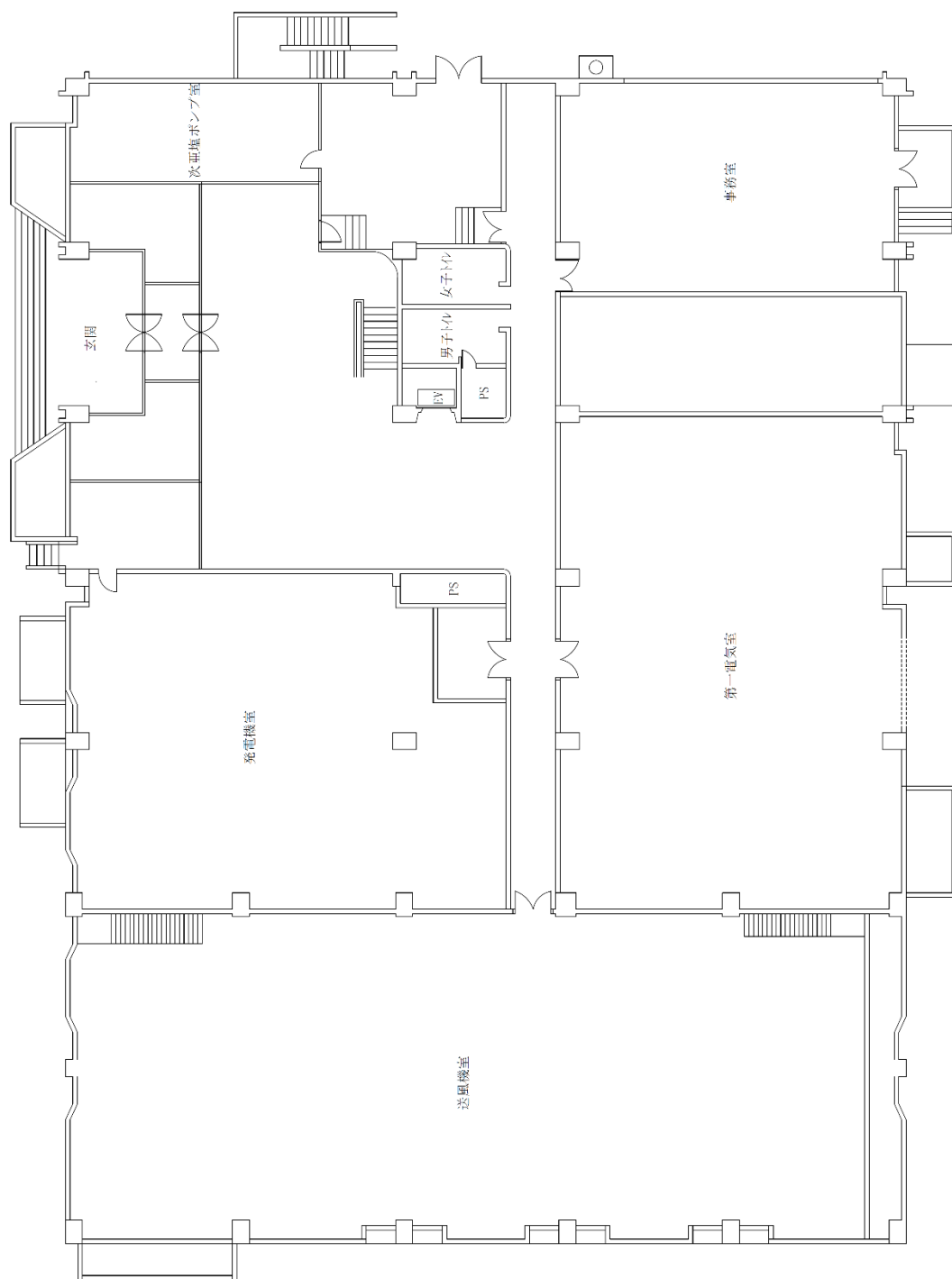
令和5年4月1日～令和8年3月31日

(2) 許可条件

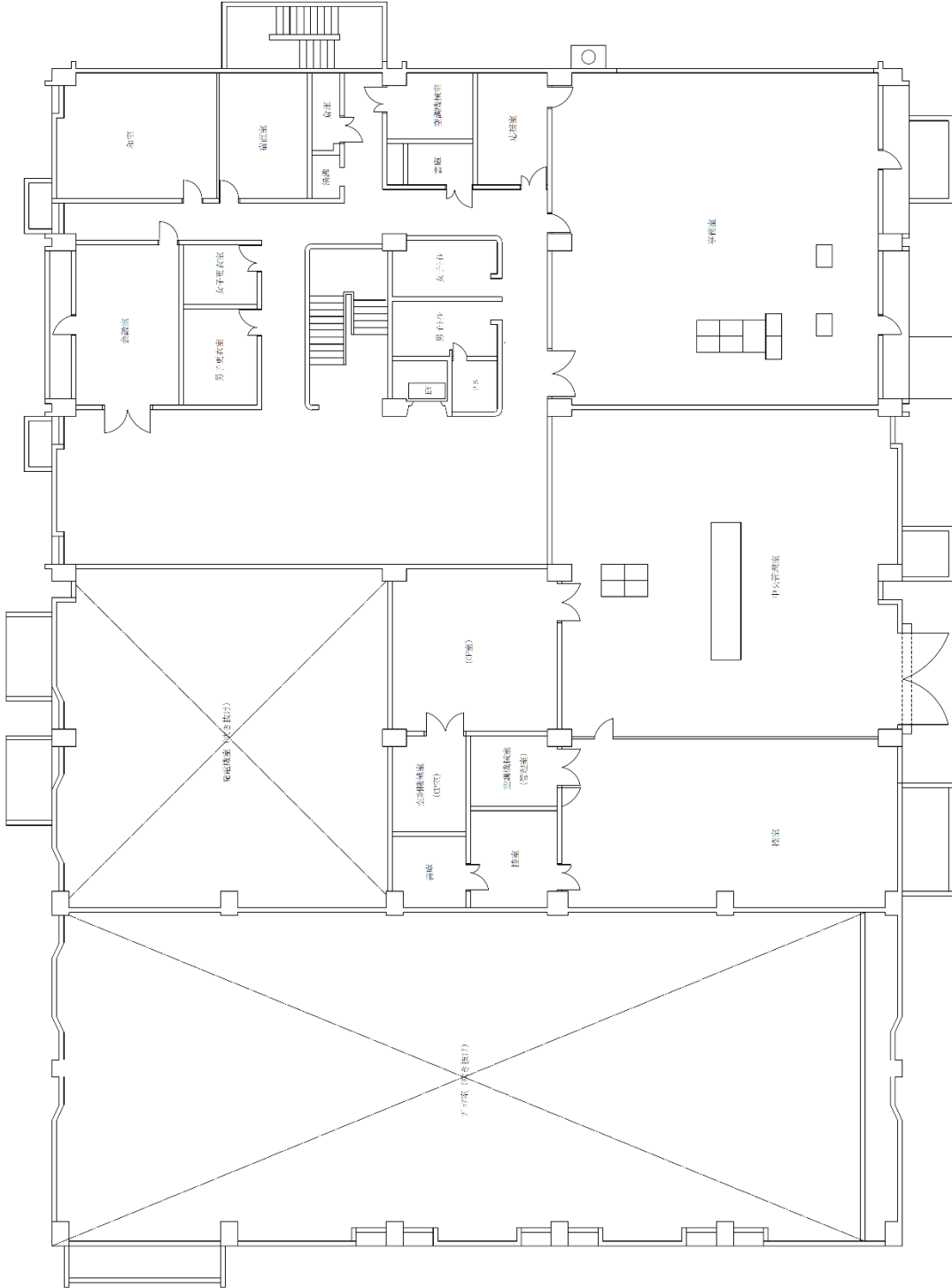
- ① 常に善良な管理者の注意を持ち使用し維持に要する費用は受託者の負担とする。
- ② 第三者に使用させ、又は担保に供してはならない。
- ③ 使用目的以外の目的に使用してはならない。
- ④ 使用期間の満了又は使用期間の取消しにより、使用を終えた場合、速やかに受託者の負担で原状回復して返還すること。ただし、局が特に認める場合は、その限りではない。
- ⑤ 公用もしくは公共用に供するための必要が生じた場合、又は許可の条件に違反した場合、局は許可を取り消すことができる。
- ⑥ 施設等について形質の変改をしてはならない。ただし、あらかじめ書面にて承認をうけたときは、この限りではない。
- ⑦ 受託者がその責に帰する事由により施設等の全部又は一部を滅失、毀損した場合その損害を賠償しなければならない。
- ⑧ 施設等について局が随時検査を行い、資料の提出又は報告を求め、その使用について指示した場合、その指示に従わなければならない。

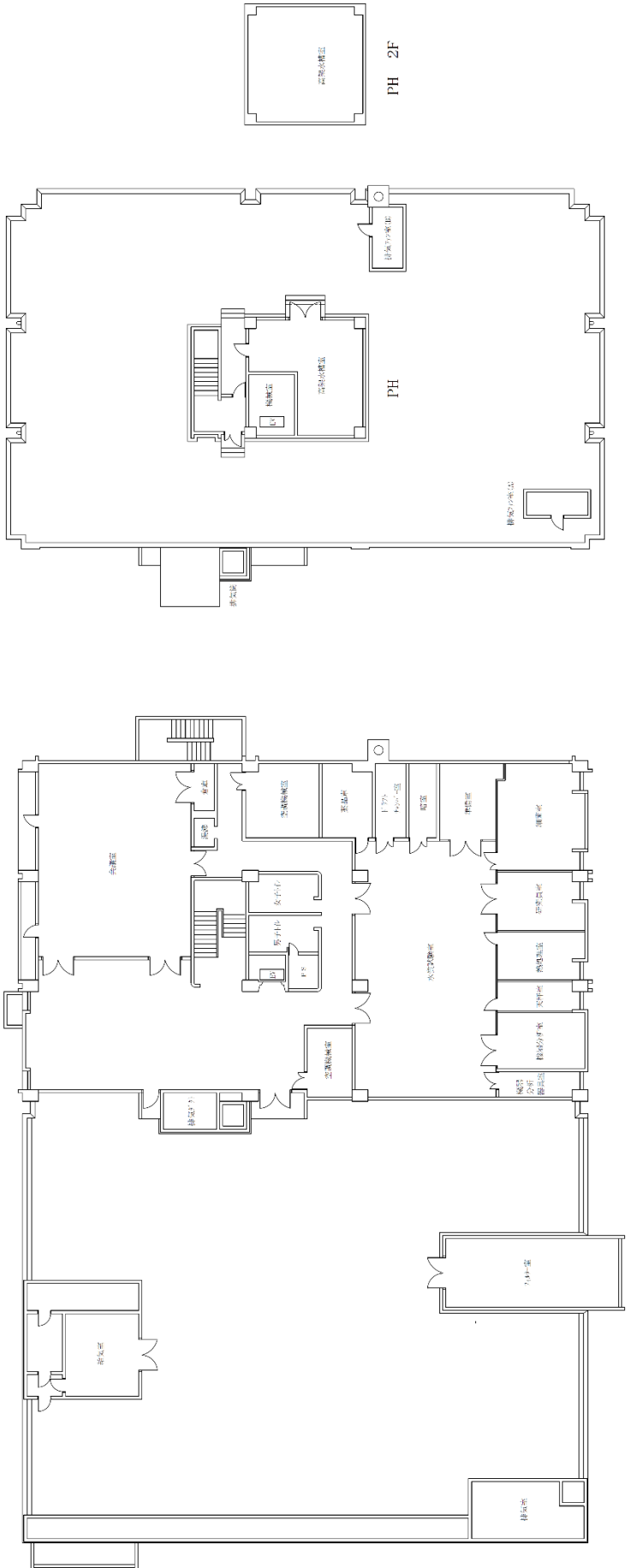


浜黒崎浄化センター全体平面図



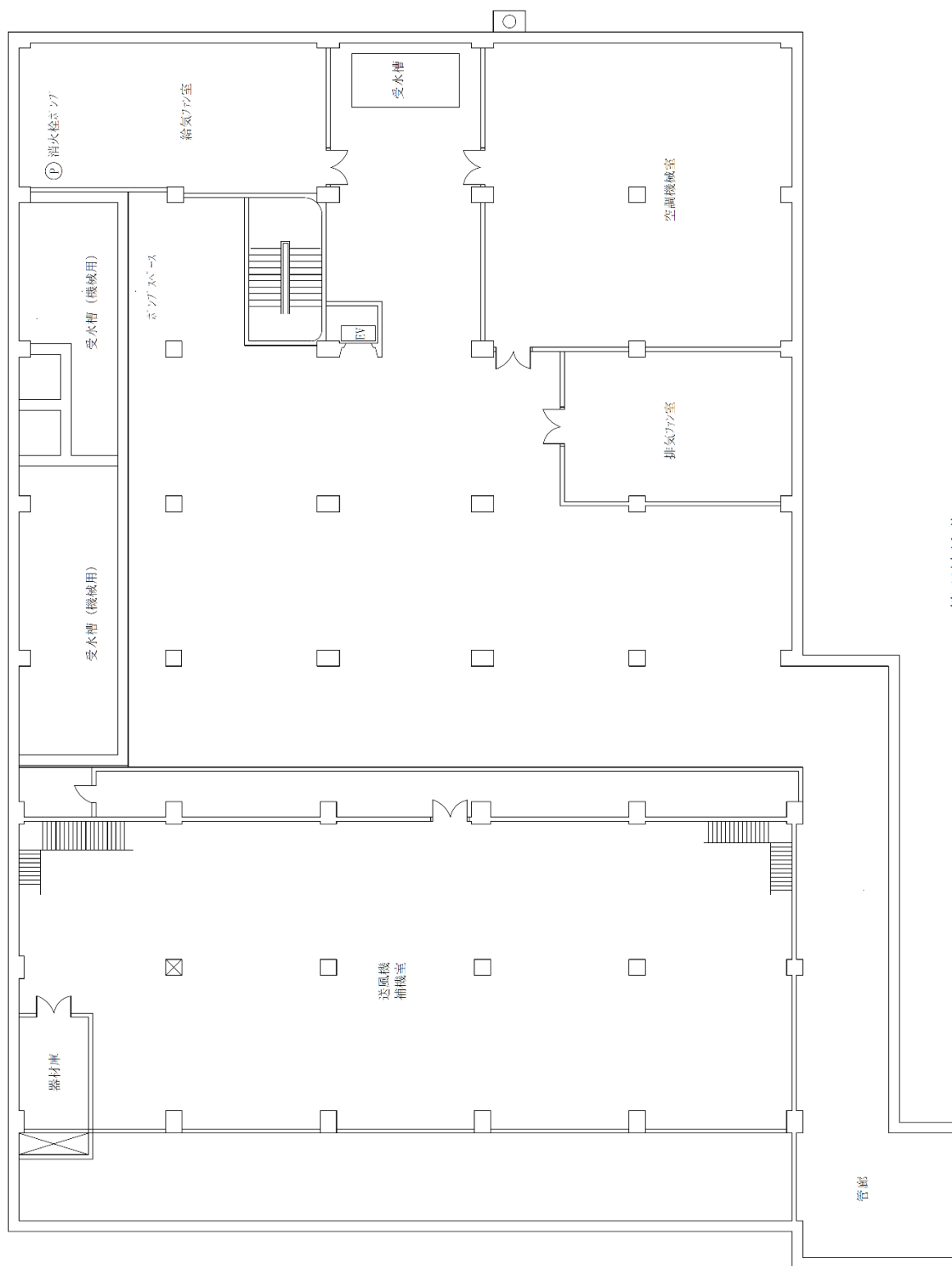
管理棟 1 階

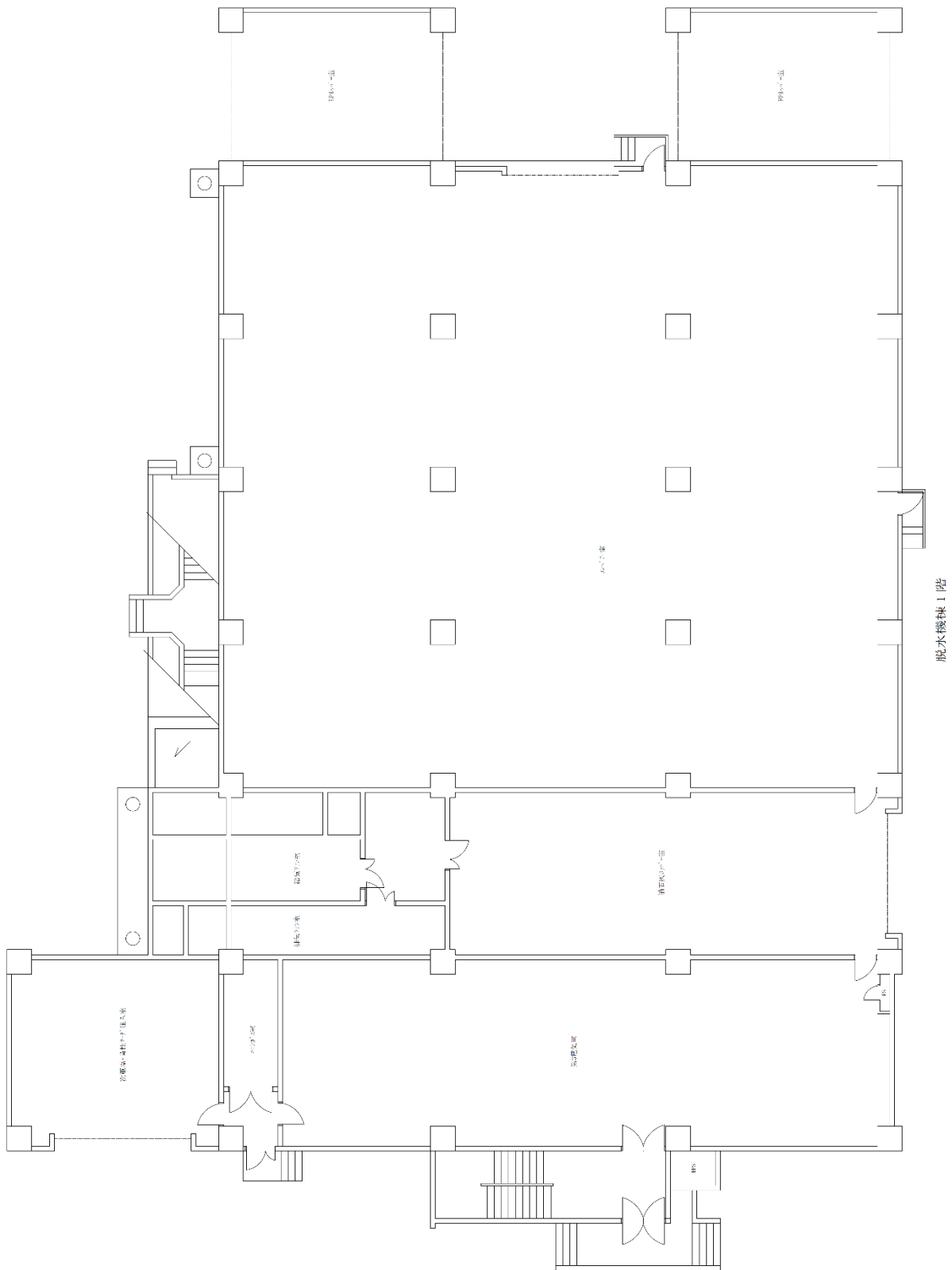


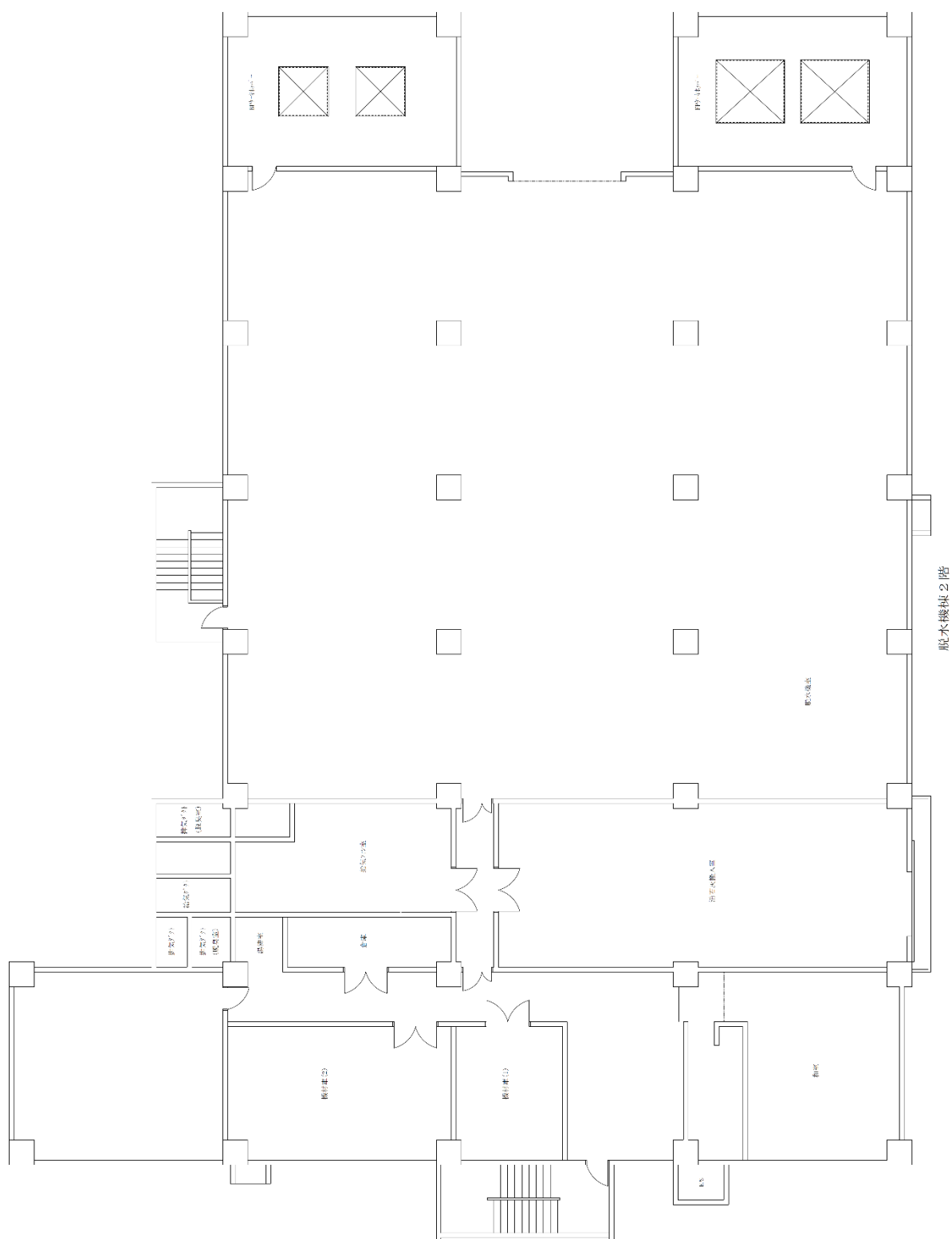


管理煉3階

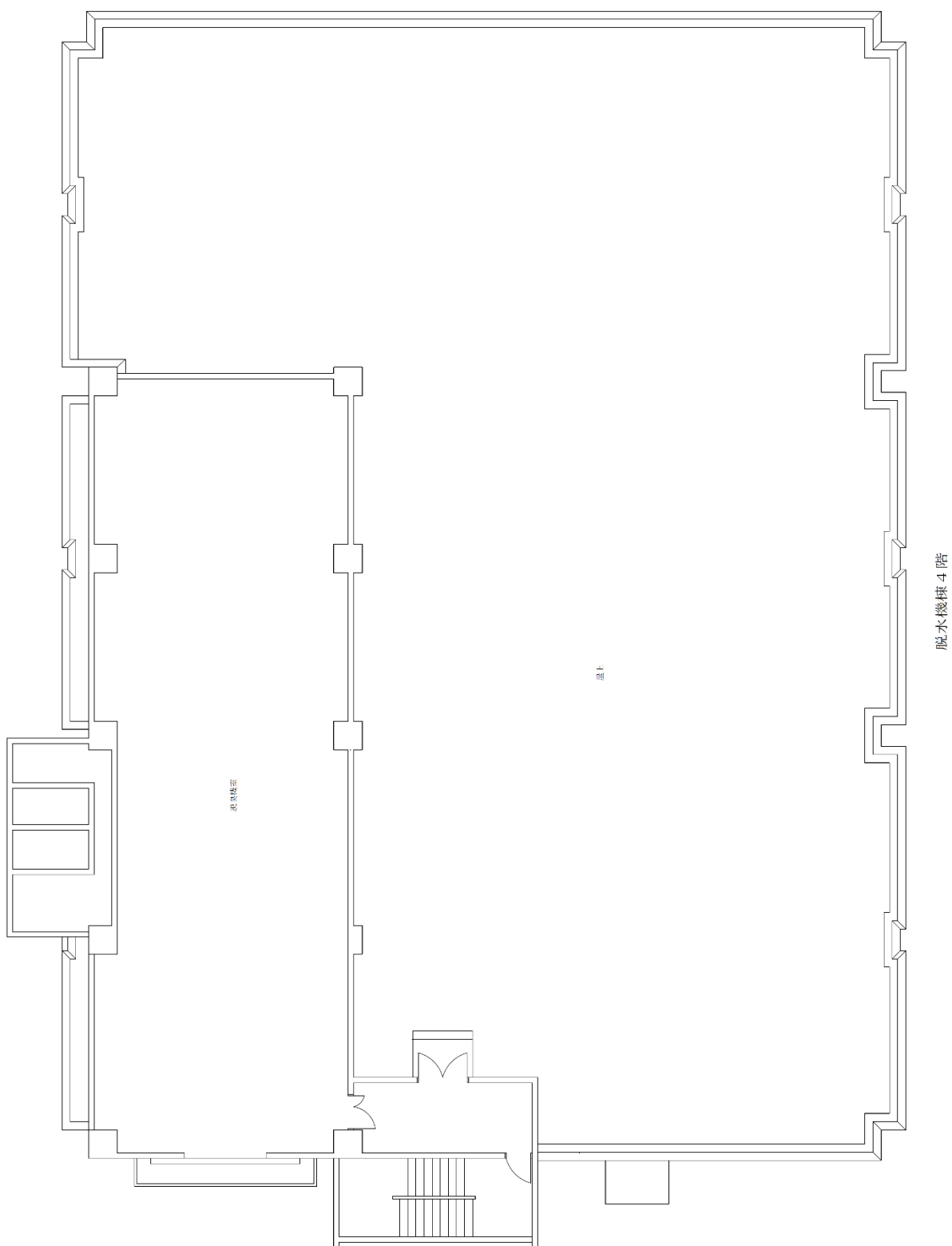
管理棟屋上

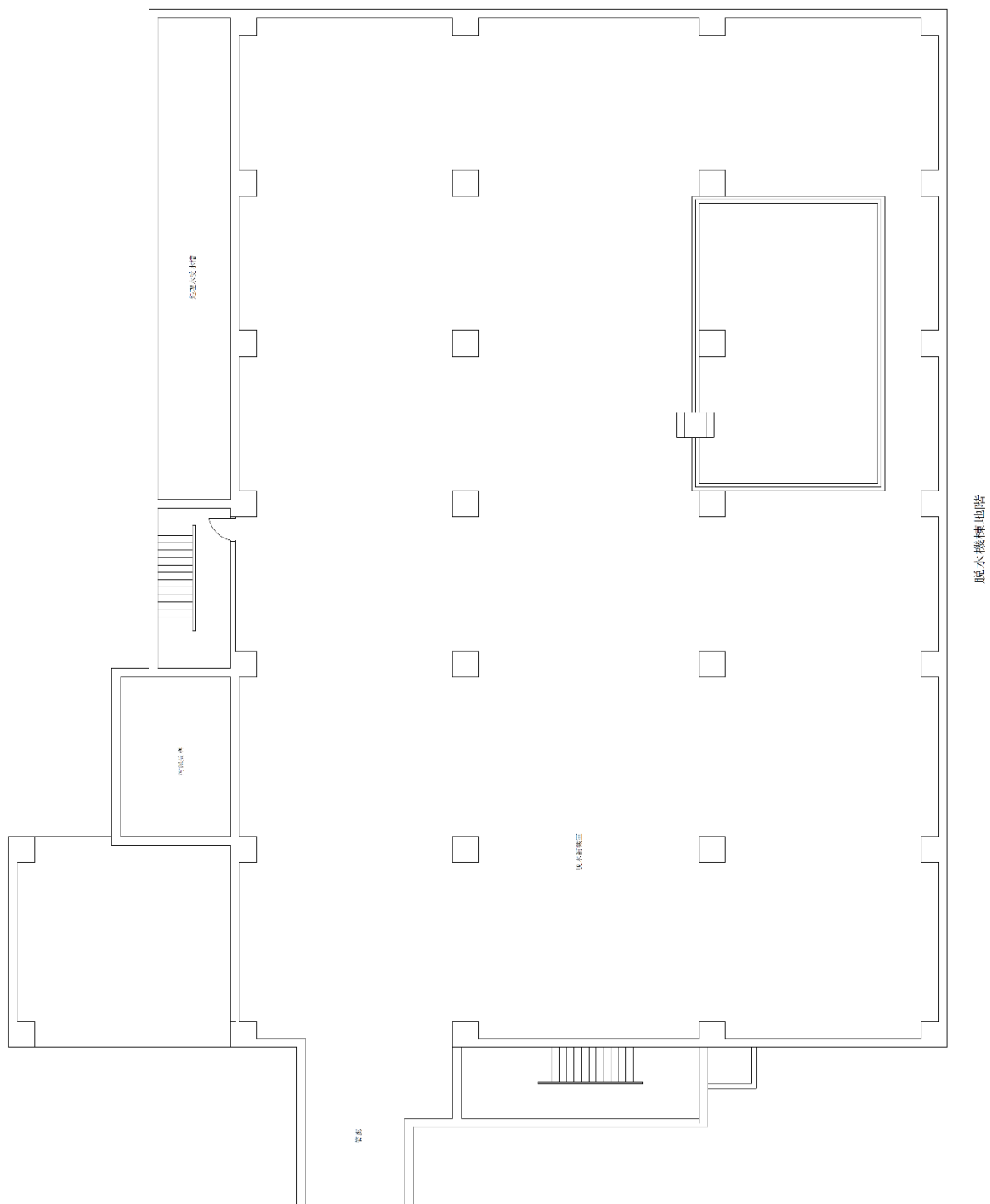




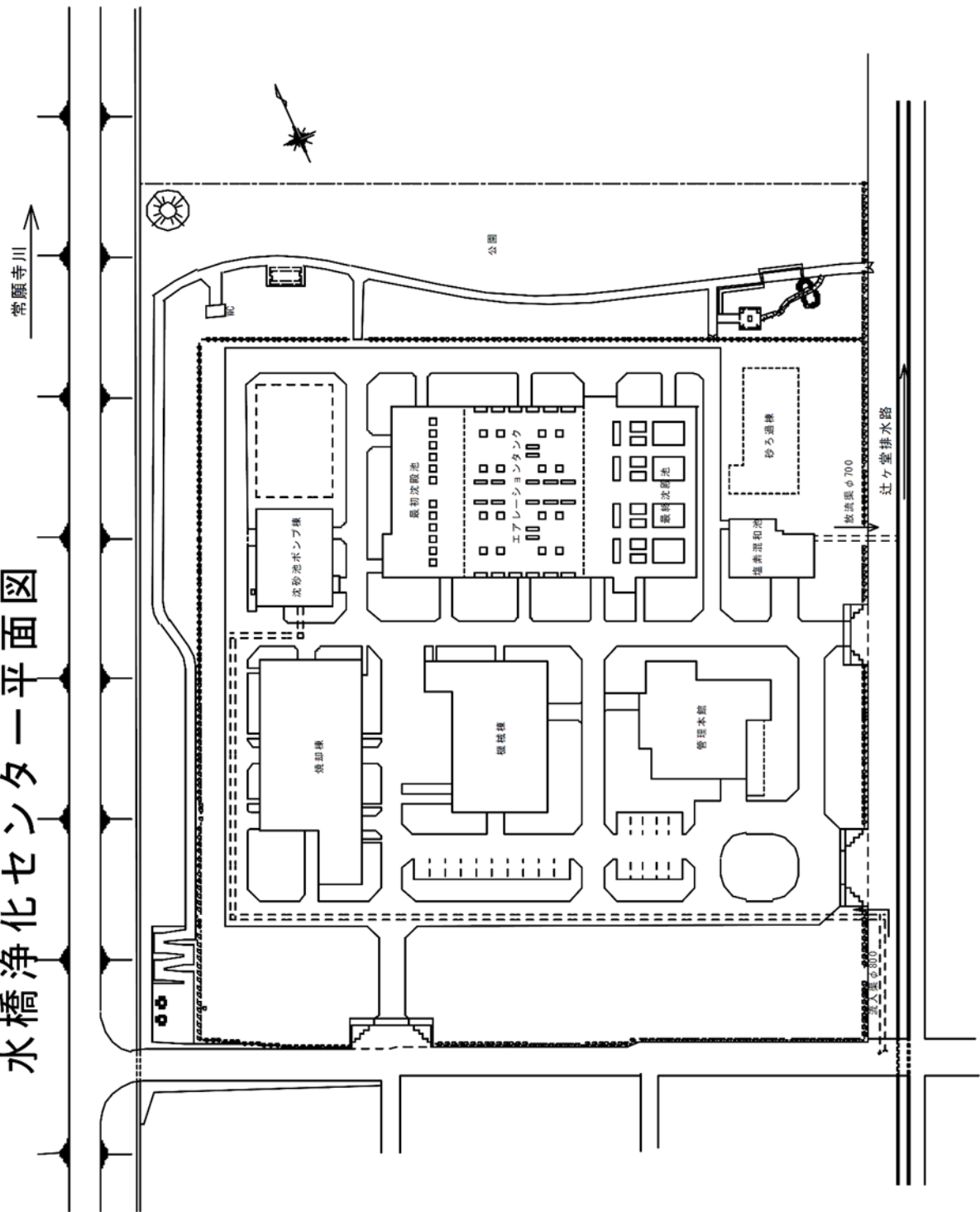








水橋浄化センター平面図



富山市上下水道局
浜黒崎浄化センター・水橋浄化センター
維持管理業務包括委託

業務要領－ 4
浜黒崎浄化センター 施設管理等業務要領

令和 4 年 1 0 月

富山市上下水道局

浜黒崎浄化センター 施設管理等業務要領

- 1 汚水ポンプ保守点検業務委託
- 2 遠心濃縮機保守点検業務委託
- 3 加圧脱水機薬品洗浄業務委託
- 4 加圧脱水機薬品洗浄（配管）業務委託
- 5 脱水ろ液排水集合管洗浄業務委託
- 6 重力濃縮分配槽清掃業務委託
- 7 非常用自家発電設備保守点検業務委託
- 8 油タンク点検業務委託
- 9 直流電源装置保守点検業務委託
- 10 脱臭塔活性炭入替業務委託
- 11 ポンプ棟天井クレーン年次点検業務委託
- 12 昇降機保守点検業務委託
- 13 消防設備保守点検業務委託
- 14 電話交換機設備保守点検業務委託
- 15 受水槽清掃業務委託
- 16 ボイラー点検整備業務委託
- 17 冷暖房機器保守点検業務委託
- 18 管理本館等清掃業務委託
- 19 ねずみ防除業務委託
- 20 修景施設整備業務委託
- 21 脱硫塔脱硫剤入替業務委託
- 22 FP3 加圧脱水機ろ布交換業務委託
- 23 フロンガス使用機器点検業務委託
- 24 脱臭装置用脱臭フィルター取替業務委託

1 浜黒崎浄化センター汚水ポンプ保守点検業務委託仕様書

第1条 一般事項

本仕様書は、浜黒崎浄化センター汚水ポンプ保守点検業務委託に必要な事項について定めるものとする。

第2条 業務委託の目的

本業務委託は、汚水ポンプの故障を未然に防ぐため保守点検を実施し、異状の早期発見と必要な措置をとることを目的とする。

第3条 業務委託の内容

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| (1) 主ポンプ | 外観、羽根車隙間計測 |
| (2) 吐出弁・逆止弁・封水弁 | 外観、開閉単体確認 |
| (3) 電動機 | 絶縁抵抗試験、電動機集電部清掃点検、始動抵抗器清掃点検 |
| (4) 試運転 | 振動、騒音、軸温度、圧力測定 |

(5)機器の仕様は次のとおり

機 器 名 称	機 器 仕 様	
主ポンプ	立軸渦巻斜流ポンプ	φ 700×64 m ³ /min×12m (No. 1, 2, 5, 6) φ 700×55 m ³ /min×13m (No. 3, 4)
電動機 (No. 1, 6)	立軸かご形三相誘導電動機	175～39KW×720rpm×440V×60Hz (可変速)
電動機 (No. 2, 5)	立軸巻線形三相誘導電動機	180kW×720rpm×6600V×60Hz (固定速)
電動機 (No. 3)	立軸かご形三相誘導電動機	170kW×720rpm×6600V×60Hz (固定速)
電動機 (No. 4)	立軸巻線形三相誘導電動機	170kW×720rpm×6600V×60Hz (固定速)
吐出弁	直結形電動蝶形弁	φ 700
逆止弁	緩閉式スイング形	φ 700
封水弁	電磁弁 2	100V
始動器・抵抗器	始動抵抗器 (電動カム式)	

(6)年度毎の対象機は次のとおり

	R5	R6	R7
No. 1 (M 東 芝－ P クボタ)			○
No. 2 (M 明電舎－ P 西 島)			
No. 3 (M 東芝三菱－P 電業社)	○		
No. 4 (M 東芝三菱－P クボタ機工)		○	
No. 5 (M 明電舎－ P 三 菱)			
No. 6 (M 東芝三菱－P クボタ)			

第4条 施工上の留意事項

- (1) 業務実施前に、実施時期、実施内容等、委託者、受託者双方協議の上、決定すること。
- (2) 受託者は不具合等を発見した場合、速やかに委託者へ報告し指示を受けること。
- (3) 年度毎の点検対象機は原則として「年度毎の対象機」に示すとおりとする。なお、対象機の入れかえ等は、監督員と協議の上、決定すること。

第5条 業務完了報告書

受託者は、業務完了後、業務完了報告書を提出すること。

2 浜黒崎浄化センター遠心濃縮機保守点検業務委託仕様書

1. 一般事項

本仕様書は、浜黒崎浄化センター遠心濃縮機保守点検業務委託に必要な事項について定めるものとする。

2. 業務委託の目的

本業務委託は、浜黒崎浄化センターの遠心濃縮機において労働安全衛生規則第 141 条に基づく法的点検を含む分解点検業務であり、部品の摩耗進行を把握し適切に交換を実施することにより良好な汚泥処理を行うことを目的とする。

3. 業務内容

- (1) スロットルバルブ部 分解点検及び消耗部品（オイルシール・O リング）の交換
- (2) V ベルトの交換（芯出・張り調整の確認）
- (3) 外観検査（目視点検及び各締付ボルトナット類の緩み確認）
- (4) 各箇所摩耗測定（寸法が基準値内であるか確認）
- (5) 機能検査（試運転確認時、振動・騒音・軸受温度を測定し基準値内であるか確認）
- (6) (1)～(5)は 3 台のうち工場整備対象機以外の 2 台とする。
工場整備が実施されない場合は 3 台とする。
- (7) 3 台のうち 1 台、「逆流防止リング」「オイルクーラー」の交換を実施する。
(摩耗、劣化状況により対象号機を選定する)
- (8) 潤滑装置オイル及びオイルフィルターは 3 台とも交換する。

4. 年度毎対象号機

	R5	R6	R7
No. 2 遠心濃縮機		○	○
No. 3 遠心濃縮機	○		○
No. 4 遠心濃縮機	○	○	

5. 対象機器

制御盤表示器

給泥圧力指示計

振動検出装置

シール水・洗浄水流量計

濃縮機本体（外観）

回転継手

遊星歯車減速機

潤滑装置

濃度検出装置（センサー・モニター）

6. 業務完了報告書

受託者は、業務完了後、業務完了報告書を提出すること。

7. その他

- (1) 点検時仕様以外に摩耗、損傷等交換あるいは補修が必要な場合は別途協議の上、進める。
- (2) 年度毎の点検対象機は原則として「年度毎対象号機」に示すとおりとする。なお、対象機の入れかえ等は、監督員と協議の上、決定すること。

3 浜黒崎浄化センター加圧脱水機洗浄業務委託仕様書

1. 一般事項

本仕様書は、浜黒崎浄化センター加圧脱水機洗浄業務委託に必要な事項について定めるものとする。

2. 業務委託の目的

本業務委託は、浜黒崎浄化センター加圧脱水機のろ板等にスケールが付着し脱水能力が低下するため、薬液洗浄により機能回復を図り、良好な汚泥脱水処理を行うことを目的とする。（局定期修繕号機の洗浄）

3. 業務内容

- (1) 加圧脱水機ろ布取り外し
- (2) シャワーリングによるろ板表面の結晶除去
- (3) 循環洗浄による配管内部の結晶除去
- (4) (2)、(3)を2～3回繰り返し
- (5) 超高压洗浄機によるろ板の結晶除去（作業日数 約6日）
- (6) 洗浄排液は中和処理後、委託者立ち合いのもと pH 値を測定し、ろ液集合管末端のマンホールへ投入処理する。
- (7) 該当号機を年1回洗浄する。業務実施時期については、委託者、受託者双方協議の上決定します。

4. 年度毎対象号機

	R5	R6	R7
No. 1 加圧脱水機			○
No. 2 加圧脱水機			
No. 4 加圧脱水機		○	

5. 脱水機仕様

- ① No.1、2 加圧脱水機
KP-1500 ろ過面積：120 m²，ろ室：34 室
- ② No.4 加圧脱水機
KP-1500 ろ過面積：100 m²，ろ室：28 室

6. 業務完了報告書

受託者は、業務完了後、業務完了報告書を提出すること。

7. その他

年度毎の点検対象機は原則として「年度毎対象号機」に示すとおりとする。なお、対象機の入替え等は、監督員と協議の上、決定すること。

4 浜黒崎浄化センター加圧脱水機洗浄（配管）業務委託仕様書

1. 一般事項

本仕様書は、浜黒崎浄化センター加圧脱水機洗浄（配管）業務委託に必要な事項について定めるものとする。

2. 業務委託の目的

本業務委託は、浜黒崎浄化センター加圧脱水機配管の経年使用による閉塞を防ぎ、良好な汚泥脱水処理を行うことを目的とする。

3. 業務内容

- (1) 加圧脱水機ろ布取り外し・取り付け（支給品）
- (2) 循環洗浄による配管内部の結晶除去
- (3) 高圧洗浄による内部洗浄（洗浄薬品除去）
- (4) 消耗部品（パッキン類）の交換
- (5) 洗浄排液は中和処理後、委託者立ち合いのもと pH 値を測定し、ろ液集合管末端のマンホールへ投入処理する。
- (6) 該当号機を年 1 回洗浄する。業務実施時期については、委託者、受託者双方協議の上、決定する。

4. 年度毎対象号機

	R5	R6	R7
No. 1 加圧脱水機	○		
No. 2 加圧脱水機		○	
No. 4 加圧脱水機			

5. 脱水機仕様

① No.1、2 加圧脱水機

KP-1500 ろ過面積：120 m²，ろ室：34 室

② No.4 加圧脱水機

KP-1500 ろ過面積：100 m²，ろ室：28 室

6. 業務完了報告書

受託者は、業務完了後、業務完了報告書を提出すること。

7. その他

年度毎の点検対象機は原則として「年度毎対象号機」に示すとおりとする。なお、対象機の入れかえ等は、監督員と協議の上、決定すること。

5 浜黒崎浄化センター脱水ろ液排水集合管洗浄業務委託仕様書

第1条 一般仕様

本仕様書は、浜黒崎浄化センター脱水ろ液排水集合管洗浄業務委託に必要な事項について定めるものとする。

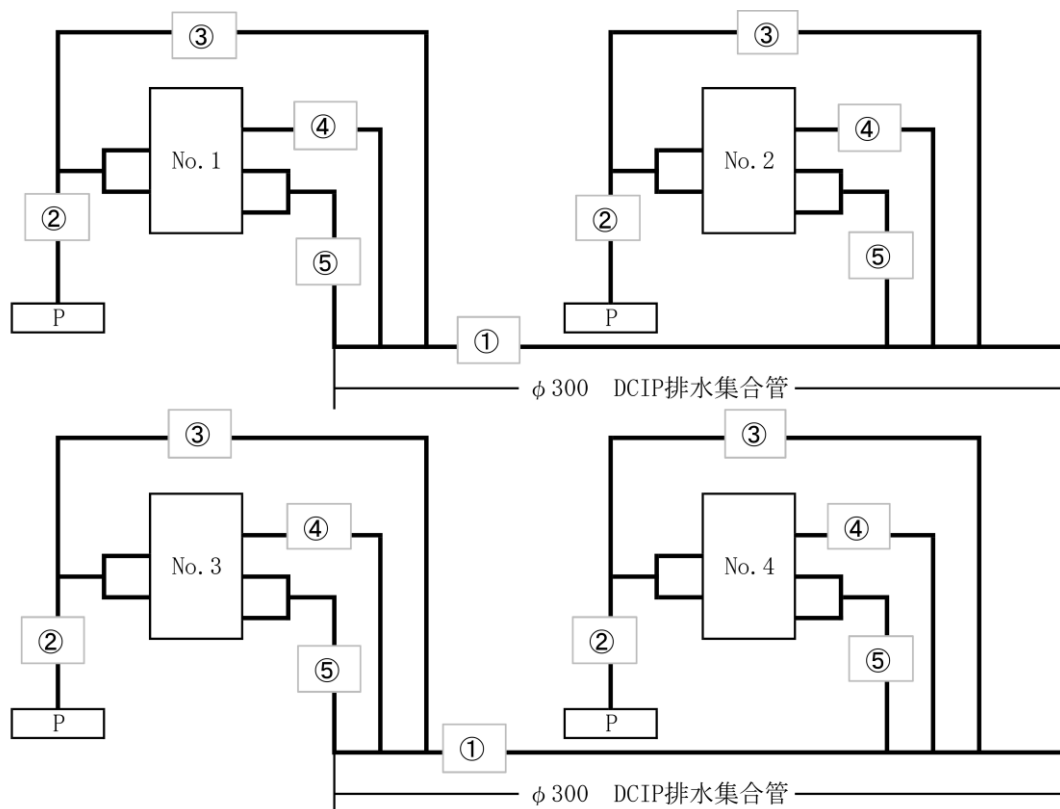
第2条 業務委託の目的

本業務委託は、消化污泥脱水用の横型全自動脱水機（フィルタープレス）脱水ろ液用排水管等の付着スケールを除去し、良好な污泥脱水処理を行うことを目的とする。

第3条 業務委託の内容

(1) 洗浄範囲は次のとおり。

- ① 集合管接続バルブ～排水ピット間配管 (φ 300 DCIP 排水集合管)
- ②～⑤ No. 1～No. 4 污泥打込ポンプ～脱水機 配管 (φ 100 STPG370 sch40)
- ② 污泥打込管 ④ ろ布洗浄排水管
- ③ φ 100DCIP 污泥戻り管 ⑤ ろ液排水管



(2) 付着スケールは場外搬出・処分とする。

(3) 洗浄業務対象脱水機の該当配管を洗浄すること。年度ごとの対象脱水機は次のとおり。

	R5	R6	R7
No. 1 加圧脱水機		○	
No. 2 加圧脱水機		○	
No. 3 加圧脱水機	○		○
No. 4 加圧脱水機	○		○

(4) 洗浄廃液は中和処理後、pHを確認し、委託者の承諾を得て、場内処理すること。

第4条 業務完了報告書

受託者は、業務完了後、業務完了報告書を提出すること。

6 浜黒崎浄化センター重力濃縮分配槽清掃業務委託仕様書

第1条 一般事項

本仕様書は、浜黒崎浄化センター重力濃縮分配槽清掃業務委託に必要な事項について定めるものとする。

第2条 業務委託の目的

本業務委託は、浜黒崎浄化センターの重力濃縮分配槽に堆積している汚泥を取り除き、良好な水処理及び汚泥処理を行うことを目的とする。

第3条 業務委託の内容

浜黒崎浄化センターの重力濃縮分配槽に堆積している汚泥を浚渫、収集、運搬、処分する。作業手順、日時については事前に委託者、受託者双方協議の上、決定する。なお、収集された汚泥は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄法」という。）並びに関係法令を遵守し適正に処理すること。数量及び回数は6 m³、年6回を基本とする。

第4条 汚泥の搬出量及び処分の確認

汚泥は適正に管理された秤による重量を記録・報告すること。また汚泥の収集・運搬から中間処理・最終処分に至る流れについては、(社)全国産業廃棄物連合会発行の帳票（マニフェスト）により管理し、処理・処分状況を常に明確にすること。

第5条 許可証の提出

受託者は、この事業範囲を証するものとして許可証の写しを委託者に提出する。
なお、許可事項に変更があった場合、速やかにその旨を受託者に通知するとともに、変更後の許可証の写しを提出すること。

第6条 積み替え保管及び再委託の禁止

受託者は、委託された汚泥の積み替え及び保管を行わない。また、他のものに委託してはならない。
ただし、委託者の承認を得た場合はこの限りではない。

第7条 収集運搬車の表示等

産業廃棄物運搬車の表示をするとともに、許可証の写し等の書面を常備すること。

第8条 業務完了報告書

受託者は、業務完了後、マニフェストB2、E、D票を添え、業務完了報告書を提出すること。

7 浜黒崎浄化センター非常用自家発電設備保守点検業務委託仕様書

第1条 一般事項

本仕様書は、浜黒崎浄化センター非常用自家発電設備保守点検業務委託に必要な事項について定めるものとする。

第2条 業務委託の目的

本業務委託は、浜黒崎浄化センター非常用発電機の故障を未然に防ぐため保守点検を実施し、異状の早期発見と必要な措置をとることを目的とする。

第3条 業務委託の内容

(1) 保守点検対象機器は次のとおりとする。

№ 1, 2 非常用発電装置 (1250KVA, 6600V)

・ガスタービン機関 (形式NGT2-S)

新潟原動機㈱製 最大出力 1103Kw 22000rpm

・発電機 (形式TAKLSCK)

東芝製 4P, 1250KVA, 6600V, 109.4A, 60Hz, 励磁電流 80A, 励磁電圧 165V

(2) 定期保守点検仕様は、非常用自家発電設備保守点検表による。

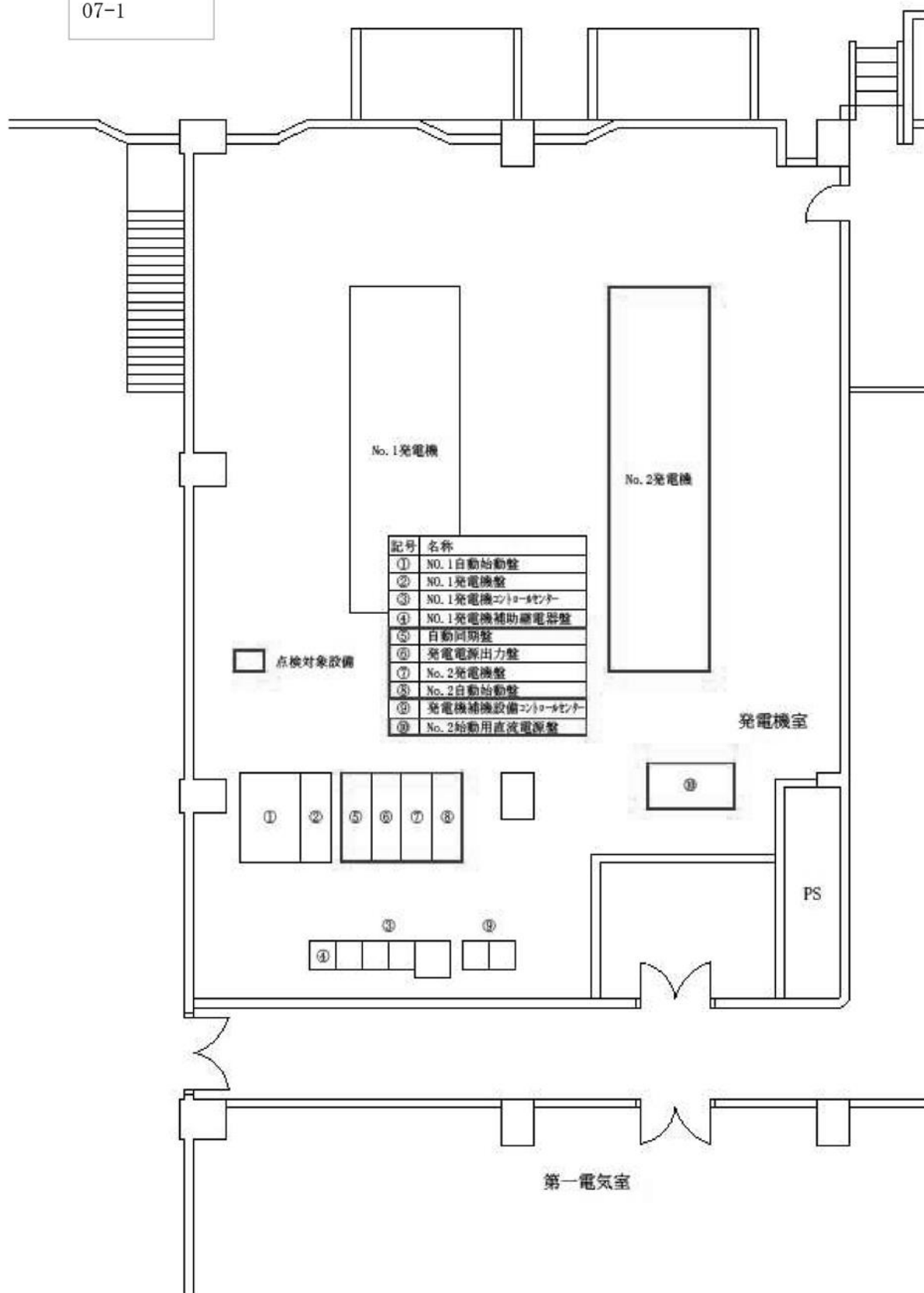
(3) 定期保守点検は1年毎の普通点検とする

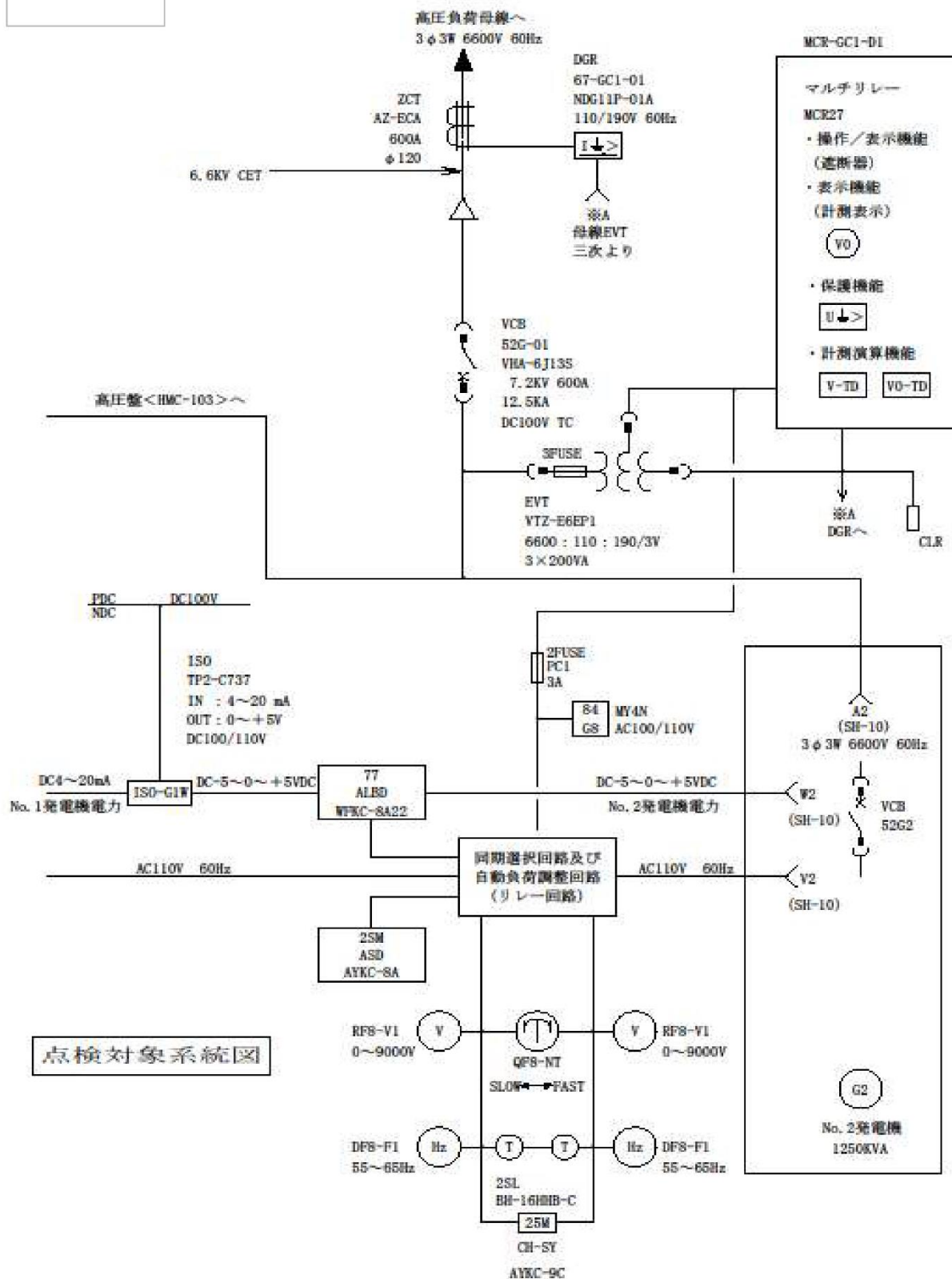
第4条 施工にあたる際の留意事項は次のとおりである。

(1) 保守点検の結果不具合が発見された場合、その取扱いについては、局、受託者双方協議の上、決定する。

(2) 受託者は業務完了後、業務完了報告書を提出すること。

07-1





8 浜黒崎浄化センター油タンク点検業務委託仕様書

第1条 一般事項

本仕様書は、浜黒崎浄化センターの油タンク点検業務委託に必要な事項について定めるものとする。

第2条 業務委託の目的

本業務委託は、消防法第14条の3に基づき、1回／年の点検を行い、異状の早期発見と必要な措置をとることを目的とする。

第3条 業務委託の内容

(1)業務委託対象箇所は次のとおり。

- | | | |
|---------------|---------|------------|
| ①管理本館非常用発電機設備 | 重油地下タンク | 容量 20,000ℓ |
| ②ボイラー棟消化槽加温設備 | 重油地下タンク | 容量 20,000ℓ |
| ③管理本館暖房用設備 | 灯油地下タンク | 容量 10,600ℓ |

(2)検査の内容は次のとおり。

- ①地下タンク本体 気相部漏洩検査
- ②地下タンク本体 液相部漏洩検査
- ③埋設配管加圧式漏洩検査
- ④ローリーアース等接地抵抗測定
- ⑤地下タンク底部スラッジ検査
- ⑥機密検査等実施結果報告書の作成

第4条 施工上の留意事項

- (1)業務実施時期は、委託者、受託者双方協議の上、決定する。
- (2)業務実施中、不具合を発見した場合、速やかに委託者へ報告すること。
- (3)検査に掛かる手数料等は、受託者の負担とする。
- (4)関係官庁への書類提出は、受託者にて行うこと。

第5条 業務完了報告書

受託者は、業務完了後、業務完了報告書を提出すること。

9 浜黒崎浄化センター直流電源装置保守点検業務委託仕様書

第1条 一般事項

本仕様書は、浜黒崎浄化センター無停電電源装置及び直流電源装置（以下装置という。）の保守点検業務委託に必要な事項について定めるものとする。

第2条 業務委託の目的

本業務委託は、浜黒崎浄化センター装置の故障を未然に防ぐため、保守点検を実施し、異状の早期発見と必要な措置をとることを目的とする。

第3条 業務委託の内容

(1)保守点検対象装置

- ・ 第1電気室 制御用直流電源装置 1式

【サイリスタ式整流器】

（型式）TR-SNMR10100

（交流入力）440V、三相3線、60Hz

（直流出力）120.4V、100A

【制御弁式鉛蓄電池】

（型式）MSE-100-6形 54セル 1組

（定格）公称電圧：108V、公称容量：100Ah/10HR

- ・ 第3電気室 非常照明用直流電源装置 1式

【サイリスタ式整流器】

（型式）BROS10015TRG

（交流入力）440V、三相3線、60Hz

（直流出力）120.4V、15A

【制御弁式鉛蓄電池】

（型式）MSE-150形 54セル 1組

（定格）公称電圧：108V、公称容量：150Ah/10HR

- ・ 第3電気室 制御用直流電源装置 1式

【サイリスタ式整流器】

（型式）BROS10020TRG

（交流入力）440V、三相3線、60Hz

（直流出力）120.4V、20A

【制御弁式鉛蓄電池】

（型式）MSE-50-12形 54セル 1組

（定格）公称電圧：108V、公称容量：50Ah/10HR

- ・ 第4電気室 制御用直流電源装置 1式

【サイリスタ式整流器】

（型式）BROS10020TRG

(交流入力) 440V、三相 3 線、60Hz

(直流出力) 120.4V、20A

【制御弁式鉛蓄電池】

(型式) MSE-50-12形 54セル 1組

(定格) 公称電圧：108V、公称容量：50Ah/10HR

・機械濃縮棟 制御用直流電源装置 1 式

【サイリスタ式整流器】

(型式) TR-SNMB10015

(交流入力) 440V、三相 3 線、60Hz

(直流出力) 120.4V、15A

【制御弁式鉛蓄電池】

(型式) MSE-50-12形 54セル 1組

(定格) 公称電圧：108V、公称容量：50Ah/10HR

(2)年 1 回、保守点検を行う。

(3)受託者は、装置の設置場所に技術者を派遣し、装置の現状、外観、機能、特性等の点検を行う。

第 4 条 施工上の留意事項

(1)保守点検中に、動作不良及び損傷部品・部位が発見された場合、その取扱いについては委託者、受託者双方協議の上、決定する。

(2)受託者は、装置に不具合が発生し、点検の要請を受けた場合、速やかに技術者を派遣して対応する。これに掛かる費用については受託者、委託者双方協議の上、決定する。

第 5 条 業務完了報告書

受託者は、業務完了後、業務完了報告書を提出すること。

10 浜黒崎浄化センター脱臭塔活性炭入替業務委託仕様書

第1条 一般事項

本仕様書は、浜黒崎浄化センター脱臭塔活性炭入替業務委託に必要な事項について定めるものとする。

第2条 業務委託の目的

本業務委託は、浜黒崎浄化センター脱水機棟及び遠心濃縮棟に設置されている脱臭塔の活性炭入替を行い、脱臭装置の性能を良好な状態に保つことを目的とする。

第3条 業務委託の内容

(1)活性炭の入替。

(2)活性炭の種類及び数量は次表のとおり。

種類 \ 場所	脱水機棟	遠心濃縮機棟	計
酸性 ガス用	1,923kg×2 塔	1,260kg	5,106kg
アルカリ性ガス用	2,454kg×2 塔	—	4,908kg
中性 ガス用	2,045kg×2 塔	975kg	5,065kg
計	6,422g×2 塔	2,235kg	15,079kg

(3)取り出した活性炭の計量及び再生炭の分析

①取り出し：重量（kg）

②再生：再生炭が(4)の仕様どおりとなっているか各設備性質ごとに2検体分析する。

(4)取り出した活性炭は次の仕様で再生する。（再生率80%以上）

脱水機棟活性炭仕様

名称	単位	アルカリ性ガス用	中性ガス用	酸性ガス用
充填密度	g/L	350～900	350～900	350～900
粒度	メッシュ	4～8 95%以上	4～8 94%以上	4～8 95%以上
硬度	%	90 以上	90 以上	90 以上
平衡吸着量	%	>7 (※1)	>4 (※2)	>18 (※2)

※1 アンモニア濃度 5ppm における平均吸着量

※2 硫化メチル濃度 5ppm における平均吸着量

※3 硫化水素濃度 5ppm における平均吸着量

脱水機棟の活性炭仕様については令和4年度更新予定のため、工事発注時の活性炭仕様である。

また、令和5年度は活性炭は新規購入、以後再生炭を使用すること。

遠心濃縮棟活性炭仕様

名称	単位	中性ガス用	酸・両性ガス用
形状		円柱状	円柱状
乾燥減量	%	<10	<13
充填密度	g /L	450～550	650～750
粒度	メッシュ	4～6 94%以上	4～8 95%以上
硬度	%	95 以上	95 以上
PH		1.5～2.0	6.0～10.0
平衡吸着量	%	>4 (※1)	>53 (※2)
強熱残分	%	>5.0	>50

※1 5ppm 硫化メチルを含む湿り空気（相対湿度 80％）を 25℃で脱臭剤と接触させたときの平衡吸着量（g/100g・腐植質脱臭剤）

※2 5ppm 硫化水素を含む湿り空気（相対湿度 80％）を 25℃で脱臭剤と接触させたときの平衡吸着量（g/100g・腐植質脱臭剤）

- ①取り出した活性炭は、混合しないよう運搬・再生・納入する。
- ②活性炭は 10kg～20kg の 2 重袋（内袋はナイロン製）に詰め、納入する。
- ③納入の際には取出し、再生時に使用不可となった分量を補充して納入すること。

第 4 条 施工上の留意事項

- (1)受託者は契約締結後、業務内容及び実施時期について委託者と協議を行い、現地を調査確認の上、業務を実施すること。
- (2)活性炭入替は年 1 回行うこと。
- (3)活性炭は再生を標準とするが、活性炭の使用状況等により再生し難い場合は、委託者、受託者協議により廃棄処分することができる。この場合、仕様に合わせた活性炭を入替えること。
- (4)前項により使用済み活性炭を廃棄処分する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」並びに関係法令を遵守し適正に処分すること、処分報告として、マニフェストを提出すること。
- (5)本仕様書、設計書、図面等に明示なきもので、業務実施上必要と認められる事項については、受託者、委託者双方協議の上、決定する。
- (6)受託者は、業務着手前、完了、各工程、作業機械、搬入資材等業務実施の状況、数量が確認できる写真（カラー）を適宜撮影し、1 部提出する。
- (7)受託者は業務内容、作業員数、作業車両、搬入資材等を記入した業務日誌を 1 部提出する。
- (8)業務実施中、浜黒崎浄化センターの設備、構造物等を損傷させた場合、速やかに委託者まで届け出ること。なお、復旧に掛かる費用は受託者の負担とする。
- (9)活性炭の取り出し、充填時に発生する炭塵が周辺機器に付着しないよう、十分留意すること。炭塵が付着した場合は受託者にて除去すること。
- (10)クレーン、スキップホイストは、委託者立ち合いの上、使用すること。
- (11)本業務委託は、労働安全衛生規則を遵守して実施すること。また、活性炭入れ替えは高所作業を

伴うため、事故を未然に防ぐ措置を怠らないこと。

第5条 業務完了報告書

受託者は、業務完了後、業務完了報告書を提出すること。

(参考) 活性炭再生にかかる標準仕様

種別 \ 規格	硫化水素用 活性炭 (酸性用)	アセトン用 活性炭 (中性用)	トリメチルアミン用 活性炭 (アルカリ性用)
活性炭形状	円形状	円形状	円形状
充填密度 (g/ℓ)	450～550	450～550	450～550
添着処理	有	有	有
粒度 (4～6mesh) (%)	95 以上	95 以上	95 以上
硬度 (%)	95 以上	95 以上	95 以上
硫化水素平均吸着量(30ppm25℃) (%)	25 以上		
アセトン平均吸着量(28%以上 25%) (%)		27 以上	
トリメチルアミン平均吸着量(30ppm25℃) (%)			12 以上
再生率 (%)	80 以上	80 以上	80 以上

- ①取り出した活性炭は、混合しないよう運搬・再生・納入する。
- ②活性炭は 10kg～20kg の 2 重袋（内袋はナイロン製）に詰め、納入する。
- ③納入の際には取出し、再生時に使用不可となった分量を補充して納入すること。

11 浜黒崎浄化センターポンプ棟天井クレーン年次点検業務委託仕様書

第1条 一般事項

本仕様書は、浜黒崎浄化センターポンプ棟天井クレーン年次点検業務委託に必要な事項について定めるものとする。

第2条 業務委託の目的

本業務委託は、クレーン等安全衛生規則第34条に基づき、浜黒崎浄化センターポンプ棟天井クレーン設備の故障を未然に防ぐため年次点検を実施し、異状の早期発見と必要な措置をとることを目的とする。

第3条 業務委託の内容

(1) 業務対象

- ①10 t 天井クレーン設備 1 式
- ②負荷試験に必要な錘等の準備
- ③性能検査の受検及び立会（令和5年度、令和7年度）

(2) 設備点検箇所

- ①10t 天井クレーン本体（ワイヤーロープ、巻上装置、フック等）
- ②鉄構造物（ランウェイ、プラットフォーム等）
- ③集電装置（制御盤、押しボタン、接続ケーブル等）
- ④負荷試験
- ⑤その他点検表記載項目

(3) 点検回数 年1回

(4) 業務実施日は委託者、受託者双方協議の上、決定する。

第4条 業務完了報告書

受託者は、業務完了後、業務完了報告書を提出すること。

12 浜黒崎浄化センター昇降機保守点検業務委託仕様書

第1条 一般事項

本仕様書は、浜黒崎浄化センター昇降機保守点検業務委託に必要な事項について定めるものとする。

第2条 業務委託の目的

本業務委託は、昇降機の故障を未然に防ぐため保守点検を実施し、異状の早期発見と必要な措置をとることを目的とする。

第3条 業務委託の内容

(1) 昇降機の仕様は次のとおり。

東芝エレベータ P6-CO-60型)

定員 6名、積載 450kg、B1F～3F

(2) 通常点検は月1回実施する。

(3) 法定点検は年1回実施する。

(4) 点検箇所及び点検項目の詳細は次のとおり。

機械室	(室内環境、受電盤、起動盤、制御盤、リレー盤、巻上機、巻上電動機、それら車、調速機、電動発動機、回転増幅機、はかり装置、制御盤取付用アダプター、パルスジェネレーター、遠隔監視装置、地震管制運転装置、停電時自動着床装置等各機器の運転状態、回転状態、動作状態、異常音の有無、異常発熱、異常アークの有無、各回路電圧、絶縁状態の点検)
かご回り	(安全スイッチ、かご戸回り、錠外し装置、インダクター、着床リレー、非常止め装置、ガイドシュー給油器、救出口、はかり装置、ファン、デフューザー、ケーブルハンガー、かご室組立ビス、ボルト、つり車、リニアホーマー、ドアユニット等各機器の運転状態、動作状態、取付状態、ゆるみ、摩耗、変形の有無の点検)
昇降路	(昇降機リミットスイッチ、位置スイッチ、プレート、配管、配線、継ぎ箱、ガイドレール、釣合おもり、ロープ、移動ケーブル、着床スイッチ、乗場戸回り、周壁面、C/W調整用サブウェイト、90・105m/min L/S 等各機器の運転状態、等各機器の漏水、ヒビ割れ、ゆるみ、保護状態、固定状態、摩耗、変形の有無の点検)
ピット	(バッファー、張り車、釣合車、壁面、等各機器の漏水、ヒビ割れ、動作状態、運転状態、固定状態、取付状態、摩耗、変形の有無の点検)
かご室	(意匠、照明、かご内操作盤、インジケータ、押ボタン、乗場外部連絡装置、セフティーシュー、停電灯、等各機器の運転状態、ゆるみ、保護状態、固定状態、取付状態、摩耗、変形の有無の点検、
付加装置	(火災管制、非常電源運転、空調機等各装置の点検)
消耗部品	(可動・固定コンタクト、ヒューズ、V型抵抗管、ランプ、点検用オイル グリス類、ウエス、サンドペーパー)

注1 スリムランプ、ネオン管、インテリア照明、その他特殊な発光体は別途。

注2 巻上機等使用ギヤオイル、作動油は別途。

第4条 緊急時の対応

受託者は、常時、故障に緊急対応できる体制を整えておくこと。

第5条 法令に基づく検査の立会い

受託者は建築基準法第12条又は労働安全衛生法第41条に基づく定期検査、性能検査の立ち合いをしなければならない。

第6条 業務完了報告書

- (1) 通常点検は必要に応じて給油、調整、清掃を行い、業務実施報告書を提出すること。
- (2) 総合点検（年1回）は年度最終月、通常点検に併せて実施し、その結果を記載した業務完了報告書を提出すること。

13 浜黒崎浄化センター消防設備保守点検業務委託仕様書

第1条 一般事項

本仕様書は、浜黒崎浄化センター自動火災報知機等（以下「設備」という。）の保守点検業務に必要な事項について定めるものとする。

第2条 業務委託の目的

本業務委託は、浜黒崎浄化センター設備が消防法第17条第1項の技術上の基準に適合しているか点検することを目的とする。

第3条 業務委託の内容

(1) 保守点検対象設備は、次のとおり。（別表 消防設備一覧表参照）

- ① 自動火災報知機設備
- ② 誘導灯設備
- ③ ハロンガス消火設備
- ④ 屋内消火栓設備
- ⑤ 消火器設備
- ⑥ 防排煙設備
- ⑦ 非常放送設備
- ⑧ 非常電源（蓄電池設備）

(2) 保守点検は年2回、次の項目について行う。

- ① 機器点検 1回／6ヶ月 （消防法施行規則第31条の6）
- ② 総合点検 1回／1年 （消防法施行規則第31条の6）

(3) 設備に不具合が発生し、点検の要請を受けた場合、速やかに技術員を派遣し対応する。それに掛かる費用については委託者、受託者双方協議の上、決定する。

第4条 業務完了報告書

受託者は、業務完了後、消防法施行規則第31条の6第3項1号、2号により、業務完了報告書を作成、提出すること。

別表 消防設備一覧表

浜黒崎浄化センター

設備名	棟 名 機器名		管 理 棟	脱 水 機 棟	沈 砂 池 ポン プ 棟	ボ イ ラー 棟	脱 臭 機 棟	初 沈 エ ア タン	終 沈	機 械 濃 縮 機 棟	屋 外	合 計
①自動火災 報知機設備	受信機		1	1		1				1		4
			(30L)	(20L)		(10L)				(10L)		
	副受信機		1	1								2
	発信機		6	11		2				4		23
	ベル		6	11		2				4		23
	スポット	差動式	91	154		42						287
	煙感知器	定温式（一式）	41	53		17				6		117
	差動分布型感知器											0
	煙感知器	イオン式										0
		光電式	71	17		2				19		109
②誘導灯設備	非常口	小型			6	6	4	24		5		45
	誘導灯	中型	17	19				5	16			57
	通路誘導灯	小型			1							1
③ハロンガス消火設備				1								1
④屋内消火栓 設備	屋内消火栓		6	10								16
	消火栓ポンプ		1									1
⑤消火器設備	ABC 粉末 消火器	4 型										0
		10 型	8	3		1				15	8	35
		20 型	14	1	1	3					2	21
		50 型	4		2							6
⑥防排煙設備	連動制御盤		3									3
	防火戸		4									4
	防火シャッター		2									2
	煙感知器（3 種）		5									5
⑦非常放送設備			1	1								2
⑧非常電源（蓄電池設備）				1								1

14 浜黒崎浄化センター電話交換機設備保守点検業務委託仕様書

第1条 一般事項

本仕様書は、浜黒崎浄化センター電話交換機設備（以下「設備」という。）の保守点検業務委託に必要な事項について定めるものとする。

第2条 業務委託の目的

本業務委託は、設備の故障を未然に防ぐため保守点検を実施し、異状の早期発見と必要な措置をとることを目的とする。

第3条 業務委託の内容

(1) 保守点検対象設備

- ① 構内電話交換機
- ② 各種ユニット
(主制御ユニット、システムユニット、局線アナログユニット、ページングユニット、IP 中継線)
- ③ バッテリー装置
- ④ 表示付停電用電話機
- ⑤ 表示付電話機
- ⑥ 一般用電話機（壁掛け）
- ⑦ ストロボリンガー（騒音箇所用）
- ⑧ ファクシミリ

(2) 毎月1回、機能、外観点検を行う。点検範囲は保安器以降の全設備とする。

第4条 故障時の対応

設備に不具合が発生し、点検の要請を受けた場合、速やかに技術員を派遣し、対応する。それに掛かる費用については、委託者、受託者双方協議の上、決定する。

第5条 業務完了報告書

受託者は、業務完了後、業務完了報告書を提出すること。

15 浜黒崎浄化センター受水槽清掃業務委託仕様書

第1条 一般事項

本仕様書は、浜黒崎浄化センター受水槽及び高架水槽清掃業務委託に必要な事項について定めるものとする。

第2条 業務委託の目的

本業務委託は水道法施行規則第55条（受水槽清掃）、第56条（水質検査）を遵守することを目的とする。

第3条 業務委託の内容

(1)業務実施箇所は次のとおり。

①管理本館地下	受水槽	25.0	m ³	FRP	1基
②管理本館塔屋	高架水槽	6.0	m ³	FRP	1基

第4条 施工上の留意事項

- (1)受託者は、委託者と実施時期、業務内容について協議し、業務中の断水時間を最小限にすること。
- (2)清掃、消毒、点検、水質検査に必要な工具、機器、薬剤等は受託者の負担とする。
- (3)業務実施中、浜黒崎浄化センターの施設を損傷した場合は、速やかに委託者へ報告し、その指示に従う。原状復旧に掛かる費用は受託者の負担とする。
- (4)高所、構内作業を行うため、墜落、酸欠その他の事項について十分留意し、事故防止に努めること。
- (5)業務実施中は、委託者と連絡を密にし、浜黒崎浄化センターの運転に支障が起こらないよう留意すること。
- (6)検査に掛かる手数料等は、受託者の負担とする。

第5条 受託者の資格

受託者は、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」第12条の2第1項第4号の建築物飲料水貯水槽清掃事業の登録をしたものとする。

第6条 業務完了報告書

受託者は、業務完了後、貯水槽清掃作業報告書、一般飲料水水質試験成績書等、業務完了報告書を提出すること。

第1条 一般事項

本仕様書は、浜黒崎浄化センターのボイラー点検整備業務委託に必要な事項について定めるものとする。

第2条 業務委託の目的

本業務委託は、厚生労働省令安全衛生法のボイラー及び圧力容器安全規則第37条、第38条に基づき、暖房用ボイラーの性能検査に合格するよう点検整備することを目的とする。

第3条 業務委託の内容

- (1) ボイラー検査証の有効期限内に点検整備を完了すること。
- (2) ボイラーの運転停止期間は、検査日を含め3日以内とすること。
- (3) (社)日本ボイラー協会富山検査事務所が行う性能検査を受けること。
- (4) 業務対象ボイラーの仕様は次のとおり。

暖房用ボイラー	1基
鋳鉄製前後組合型ボイラー	前田F B 7－9
伝熱面積	15.60m ²

第4条 施工上の留意事項

- (1) 受託者は、ボイラーに不具合が発生し、点検の要請を受けたときは速やかに対応する。
なお、それに掛かる費用については、委託者、受託者双方協議の上、決定する。
- (2) 業務実施中は、安全に十分留意し、事故の防止に努めること。
- (3) 業務実施時期については、委託者と受託者双方協議の上、決定する。
- (4) 検査に掛かる手数料等は、受託者の負担とする。

第5条 業務完了報告書

受託者は、業務完了後、業務完了報告書を提出すること。

17 浜黒崎浄化センター冷暖房機器保守点検業務委託仕様書

第1条 一般事項

本仕様書は、浜黒崎浄化センター冷暖房機器（以下「機器」という。）の保守点検業務委託に必要な事項について定めるものとする。

第2条 業務委託の目的

本業務委託は、機器の故障を未然に防ぐため保守点検を実施し、異状の早期発見と必要な措置をとることを目的とする。

第3条 業務委託の内容

1 熱源機器

- (1) 保守点検は、年2回（冷暖房開始予定の10日以内に1回ずつ）実施すること。
- (2) 受託者は、機器の設置場所に技術者を派遣し、外観、機能、水質管理（薬剤投入）の各点検を行う。
- (3) 保守点検対象機器は次のとおり。

①管理本館

チリングユニット（東芝キャリア（株）製）

1台 型式 RUW-TBP0901SLKV-D、冷却能力 340kW、冷媒 R410A

冷水循環ポンプ（テラル（株）製）

1台 型式 SJ4-80×65H65.5-e （出力 5.5kW）

冷却水ポンプ（テラル（株）製）

1台 型式 SJ4-80×65H65.5-e （出力 5.5kW）

真空給水ポンプ（（株）前田鉄工所製）

1台 型式 F A C

クーリングタワー（三菱樹脂（株）製）

1台（冷却水質保存剤4個） 型式 HT-100ME-LE

②水質試験室

排ガス洗浄装置（（株）ダルトン製）

1台 型式 VSN-I-60（特）

2 空気調和機器

- (1) 保守点検は、年1回（冷房開始予定の10日以内に1回）実施すること。
- (2) 受託者は、機器の設置場所に技術者を派遣し、外観、機能、フィルター清掃、機器周辺配管のストレーナー清掃の各保守点検を行う。
- (3) 保守点検対象機器は次のとおり。

①管理本館1階

エアハンドリングユニット（中部日立冷機（株）製）

1台 型式 CAH-135V（特）、送風機 152m³/min×70mmAq×5.5kW

②管理本館2階

エアハンドリングユニット（中部日立冷機(株)製）

1 台 型式 CAH-270V（改）、送風機 250m³/min×70mmAq×7.5kW

ファンコイルユニット 床置露出形（三菱電機(株)製）

1 台 型式 LV-FE300FEB、冷房 1,720kcal/h、暖房 2,400kcal/h

2 台 型式 LV-FE400FEB、冷房 2,520kcal/h、暖房 3,390kcal/h

1 台 型式 LV-FE600FEB、冷房 3,600kcal/h、暖房 5,150kcal/h

③管理本館 3 階

エアハンドリングユニット（中部日立冷機(株)製）

1 台 型式 CAH-135V（特）、送風機 150m³/min×67mmAq×5.5kW

エアハンドリングユニット（中部日立冷機(株)製）

1 台 型式 CAH-135V（特）、送風機 127m³/min×65mmAq×5.5kW

第 4 条 施工上の留意事項

- (1) 受託者は、機器に不具合が発生し、点検の要請を受けた場合、速やかに対応する。
それに掛かる費用については委託者、受託者双方協議の上、決定する。
- (2) 検査に掛かる手数料等は、受託者の負担とする。

第 5 条 業務完了報告書

受託者は、業務完了後、業務完了報告書を提出すること。

第 6 条 その他

対象機器が履行期間中に更新された場合、更新後の機器を対象機器として業務を履行すること。

18 浜黒崎浄化センター管理本館等清掃業務委託仕様書

第1条 一般事項

本仕様書は、浜黒崎浄化センター管理本館等清掃業務委託に必要な事項について定めるものとする。

第2条 業務委託の目的

本業務委託は、管理本館、脱水機棟、機械濃縮棟における定期清掃を実施し、場内環境を良好に保つことを目的とする。

第3条 業務委託の内容

(1) 日常清掃（委託者が施設管理として実施している清掃） 週1回程度

管理本館及び脱水機棟、機械濃縮棟の玄関（玄関ガラス清掃含む）、ポーチ、廊下、階段、便所、エレベーター内の清掃。

(2) 定期清掃（建物内） 月1回×12ヶ月 計12回

日常清掃箇所に加え、管理本館－1F 作業員控室 2F 事務室、会議室、3F 水質試験室等各部屋、大会議室。

(3) 定期清掃（窓ガラス等清掃） 管理本館ガラス内外面、脱水機棟ガラス内外面

(4) その他 各トイレのタイル酸洗

(5) 業務仕様は次表に拠る。

項目	日常清掃	定期清掃
Pタイル面 各室・廊下・ホール等	1. 箒、埃取り等による清掃 2. モップによる水拭き仕上げ	1. 剥離剤にて既存ワックスの剥離 2. 洗剤にて剥離剤及び汚れの除去 3. 乾燥及びワックス仕上げ
タイル面 （便所・浴室）	1. 薬剤（洗剤）による汚れ落とし 2. 水拭き仕上げ	—
石タイル面 （玄関・ホール等）	1. モップ等での水拭き	1. 洗剤による汚れ落とし 2. 乾燥、ワックス仕上げ
板面	—	1. モップ等で清掃 2. ワックス仕上げ
扉及び手摺等	1. 雑巾にて水拭き仕上げ	1. 適性洗剤にて汚れを落とす
玄関マット	1. 土、埃を落とし正しく配置する。	同左

第4条 施工上の留意事項

(1) 各月の業務計画書を提出し、委託者の承認を得ること。

(2) 各業務完了後、委託者の承認を得た後、業務日誌を作成し提出すること。

(3) 定期清掃に必要な日常清掃作業は受託者が行う。

(4) 業務に用いる資材、洗剤及び薬品は、委託者の承認を得て使用すること。

(5) 業務中、建築物及び機械等を損傷した場合、速やかに委託者へ報告し、指示を受けること。

第5条 業務完了報告書

受託者は、業務完了後、業務完了報告書を提出すること。

19 浜黒崎浄化センターねずみ防除業務委託仕様書

第1条 一般事項

本仕様書は、浜黒崎浄化センターねずみ防除業務委託に必要な事項について定めるものとする。

第2条 業務委託の目的

本業務委託は、ねずみによる機器の故障を未然に防ぐとともに、場内環境を良好に保つことを目的とする。

第3条 業務委託の内容

- (1) ネズミ防除剤実施 2回／年
- (2) 巡回点検 10回／年
- (3) 業務実施場所は汚水ポンプ棟、沈砂池棟、送風機室とする。
- (4) 使用薬剤は、クマリン系殺鼠剤とする。
- (5) 業務実施方法は接触法とする。

第4条 施工上の留意事項

- (1) 防除作業時には、防除作業監督者を設置し業務責任者とすること。
- (2) 期間中に薬剤が不足した場合、委託者と打ち合わせの上、補充薬剤を設置すること。
- (3) 薬剤設置場所については委託者と協議すること。

第5条 業務完了報告書

受託者は、業務完了後、業務完了報告書を提出すること。また、薬剤設置時に、別途それについての報告書を提出すること。

<参考>薬品類年間使用量

クマリン系殺鼠剤 30kg

粘着シート 60枚

第1条 一般事項

本仕様書は浜黒崎浄化センター修景施設整備業務委託に必要な事項について定めるものとする。

第2条 業務委託の目的

本業務委託は、浜黒崎浄化センター修景施設を整備し、場内環境を良好に保つことを目的とする。

第3条 業務委託の内容

(1) 業務履行施設は次のとおり。

富山市浜黒崎浄化センター（富山市浜黒崎 18 番地）

(2) 業務仕様は次のとおり。

① 剪定工（敷地内樹木等の剪定、刈込）

- ・ 中低木 5, 680 m²
- ・ 高木落葉及び広葉樹 25 本
- ・ 高木針葉樹（松） 40 本
- ・ 西側松の木 14 本（南側境界～第4電気室）指示により適宜

② 薬剤防除（敷地内の樹木等に対する殺虫剤散布）

【浜黒崎浄化センター】

- ・ 中低木 2, 405 m² 2回/年
- ・ 高 木 80 本 2回/年
- ・ マツノマダラカミキリ防除 2回/年

③ 生垣補植

- ・ 敷地内にシラカシを補植（10 本）

④ 枯枝処分

第4条 施工上の留意事項

(1) 薬剤散布については次のとおりとする。

- ① 薬剤の使用に際しては、農薬取締法等の法令及びメーカー等で定める使用安全基準及び使用方法等を遵守すること。
- ② 散布量は指定濃度に希釈して混合すること。
- ③ 散布に際しては、風が少なく天候の不順でない日を選び、真夏に行う場合は、日中を避け夕方に行うこと。
- ④ 散布は対象物以外にかからないよう注意し、風上から散布すること。
- ⑤ 散布方法はそれぞれの病害虫の特性に応じ、最も効果的な方法で行うこと。

(2) 業務実施上の注意事項は次のとおりとする。

- ① 対象となる樹木の特性、当該作業が対象植物に及ぼす影響等を十分理解し、細心の注意を払い業務にあたること。
- ② 業務実施にあたっては、作業予定表を作成し委託者の承認を得ること。

③剪定は、当該樹木の適期に行うものとし、次に掲げる枝を剪定し、樹木を良好な容姿に整えること。

例：成長の止まった弱小の枝、著しく病害虫に侵された枝、通風・架線・人車の通行等に障害となる枝、ひこばえ等主幹の成長を妨げる恐れのある枝。

④受託者は、土木工事安全施工技術指針を参考とし、業務の安全に留意し現場管理を行い、災害の防止を図らなければならない。

⑤受託者は、委託者の許可無く、流水、交通の支障、又は一般公衆に迷惑を及ぼすような施工をしてはならない。

⑥受託者は、豪雨、出水及び異常気象等に備え、天気予報等に注意を払い、これらに対処できるよう準備をしておかなければならない。

⑦受託者は、作業中に事故が発生した場合、直ちに委託者に報告しなければならない。

⑧受託者は、業務実施期間中、周辺住民等から苦情又は意見等があったときは丁寧に対応し、直ちに委託者に報告しなければならない。

⑨受託者は一般公衆の通行の用に供する道路を使用するときは、路面汚損及び第三者に対する損害が無きよう留意しなければならない。

(施工周知用看板設置、施工範囲区画、誘導員配置)

⑩受託者は、業務実施にあたり労働安全衛生法令及び業務に関する諸法規を遵守しなければならない。また、諸法令、諸法規の運用・適用は、受託者の責任において行なわなければならない。

第5条 業務完了報告書

受託者は、業務完了後、業務完了報告書を提出すること。(業務実施状況がわかる写真を添付)

21 浜黒崎浄化センター脱硫塔脱硫剤入替業務委託仕様書

第1条 目的

本仕様書は、浜黒崎浄化センターの乾式脱硫塔の脱硫剤を入替る事により、脱硫機能を回復することを目的とする。また、使用済み脱硫剤を「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」並びに関係法令を遵守し適正に処分することを目的とする。

第2条 業務委託の内容

浜黒崎浄化センターの No. 1 脱硫設備の脱硫塔内の脱硫剤を入替、使用済み脱硫剤の処分報告として、マニフェストを提出する。(No. 1-1 と No. 1-2 を毎年各 1 回実施)

産廃処分を行うに当り、重金属含有量分析等の試験にて特管産廃でない証明用として計量証明を添付のこと。

業務遂行には、窒素ガス置換が必要であり、作業内容等については、監督員と十分協議し、安全に留意して行うこと。また、実施に伴い疑義が生じた場合は、監督員と協議すること。

第3条 脱硫剤の仕様

(1) 脱硫剤の仕様及び数量

仕様 ・ 本装置に使用する脱硫剤は、1,000 kg にて 100 kg 以上の硫化水素を吸着できる能力を有する品質のもの。

参考；リモニック、円柱状 $\phi 11 \sim 13 \text{mm}$

数量 6,640kg (8.3 m³) / 塔 × 1 塔

(2) 入替時期の指定

脱硫剤入替の時期は、委託者より事前に日（平日）を指定し、受託者へ連絡する。

第4条 積替保管及び再委託の禁止

受託者は、委託された産業廃棄物の積替及び保管を行わない。又、他のものに委託してはならない。ただし、書面により委託者の承認を得たときは、この限りではない。

第5条 収集運搬車等の表示

産業廃棄物運搬車であることの表示をすると共に、許可証の写し等の書面の備付けを厳守すること。

第6条 書類の提出

受託者は、委託された業務の実施前及び完了後に、次の書類を提出すること。

業務実施前

- ・ 計画業務委託工程表
- ・ 業務委託施工要領書

業務完了後

- ・ 業務完了届
- ・ 実施業務委託工程表

- ・業務委託報告書（脱硫剤検査報告書、脱硫剤計量票）
- ・重金属含有量分析結果報告書
- ・産業廃棄物管理票（マニフェスト）
- ・工事写真（A4 版）
- ・脱硫性能測定表
- ・その他監督員が指示するもの

第 7 条 脱硫剤の入替要領は次のとおりとする。

（吸水工程なし）

(1) 脱硫剤取出し要領

- 1) ガス出入口サンプリングロ⑤⑥により、入替前の脱硫性能の測定を行う。
- 2) 取出しに先立ち次のことを確認する。
 - ・脱硫剤取出しに必要な機材及び人員があらかじめ準備されていることを確認する。
 - ・ガス出入口、サンプリング、ドレン、オーバーフローの配管バルブ（①～⑦）が完全に閉じられているかを確認する。
- 3) 脱硫剤投入口保護カバー・断熱材を取外す。
- 4) 塔内消化ガスを窒素ガスに置換する。
 ガス入口サンプリングロ⑤より窒素ガスを注入しパージを行う。ガス出口サンプリングロ⑥を開とし、脱硫塔内の消化ガスを窒素にて置換する。ガス出口サンプリングロ⑥でメタン濃度計によりメタン濃度が 5%以下になったことを確認する。
- 5) 脱硫剤投入口を開け、ドレン配管バルブ③開にする。
- 6) 脱硫剤投入口より注水しながら、水と共に既設脱硫材をバキューム吸引により塔より排出する。
 塔内で作業員が作業する為、酸素濃度計により酸素濃度 20%を継続確認すること。（塔内作業員は安全の為、防塵マスク・メガネを着用する。また、投入口で作業する者は、投入口が開いている為、落下の危険があるので必ず安全帯を使用のこと。）
- 7) 取出し終了後、塔内を充分水洗いし、細かい粉・かけら等を取り除く。脱硫剤のつまりがある場合は、塔底部の点検用マンホールより塔内に入り洗浄する。
- 8) 洗浄後は、ドレン配管バルブ③を閉じる。

(2) 脱硫剤充填要領

- 1) 充填に先立ち次のことを確認する。
 - ・脱硫剤充填に必要な機材及び人員があらかじめ準備されていることを確認する。
 - ・ガス出入口、サンプリング、ドレン、オーバーフローの配管バルブ（①～⑦）が完全に閉じられているかを確認する。
 - ・塔内が充分空気で置換されていることを確認する。塔内酸素濃度 20%以上。
 - ・整流材がほぼ均一に置かれていることを確認する。
- 2) 塔内を充分点検し、異物が無いことを確認する。
- 3) 脱硫剤投入口を除き、すべてのマンホールが閉じていることを確認する。
- 4) 作業員は安全の為、防塵マスク・メガネを着用する。
- 5) 付属チェーンブロックによりコンテナバックを投入用マンホール上部まで吊上げる。コンテナバ

ックをゆっくり降ろし、塔底部付近に達した時点で止めてコンテナバックを開放（コンテナバック下部の紐を架台上から開放）する。

- 6) 充填は脱硫剤の粉化を避ける為、60cm 以上の高さから落下させないこと。また充填中に異物が混入しないように注意する。
 - 7) 充填時作業員が槽内に入る場合は直接脱硫剤を踏みつけないこと。入る場合は脱硫剤の損傷を最小限にする為、脱硫剤上に板を敷きその上で作業を行う。
 - 8) 全量の充填が完了したら、ガスの偏流を避けるために、脱硫剤の上部表面をすり鉢上にならす。
 - 9) 作業完了後、塔内に異物（作業道具等）が無いことを確認し、投入口及びマンホールを閉じる。
この時、フランジ面に汚れがある場合は必ず清掃し、ガスケットを取付ける。
 - 10) 塔内酸素を窒素ガスに置換する。
全ての配管バルブ（①～⑦）が閉まっていることを確認し、ガス出口サンプリングロ⑥より窒素パージを行う。ガス入口サンプリングロ⑤で酸素濃度計により酸素濃度 10%以下になったことを確認する。同時に開口したフランジ箇所の漏洩有無を確認する。
 - 11) 脱硫塔投入口の保護カバー断熱材の取替えを行う。
 - 12) ドレン配管バルブ③、ガス出入口バルブ①②を開き運転を再開する。
 - 13) ガス出入口サンプリングロ⑤⑥により、入替後の脱硫性能の測定を行う。
- ※バルブ（①～⑦）は別紙脱硫塔の形状図を参照のこと

（吸水工程あり）

（3）脱硫剤取出し要領

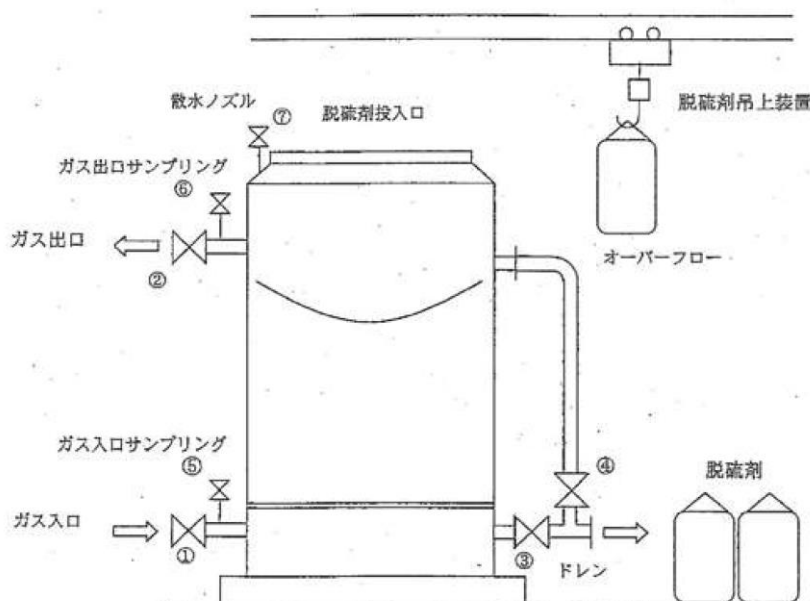
- 1) 取出しに先立ち次のことを確認する。
 - ・脱硫剤取出しに必要な機材及び人員があらかじめ準備されていることを確認する。
 - ・ガス出入口、サンプリング、ドレン、オーバーフローの配管バルブ（①～⑦）が完全に閉じられているかを確認する。
- 2) オーバーフロー配管バルブ④をあけた後、ガス出入口サンプリングロ⑤⑥または上部散水ノズル⑦より注水を行い、脱硫材に吸水させる。
- 3) オーバーフローより水が排出されたことを確認した後、注水を止める。
- 4) ガス入口サンプリングロ⑤より窒素ガスを注入しパージを行う。ガス出口サンプリングロ⑥を開とし、脱硫塔内の消化ガスを窒素にて置換する。ガス出口サンプリングロ⑥でメタン濃度計によりメタン濃度が 5%以下になったことを確認する。
- 5) 1～2 時間後、脱硫剤投入口を開け、ドレン配管バルブ③開き、放水する。
- 6) 脱硫剤投入口を開けた後、バキューム吸引により水と共に脱硫材を塔より排出する。（取出し作業中に脱硫剤が乾いてきて熱くなり煙が出るようになったら直ちに注水をする。投入口開口時は落下の危険があるので必ず安全帯を使用のこと。）
- 7) 取出し終了後、塔内を充分水洗いし、細かい粉・かけら等を取り除く。脱硫剤のつまりがある場合は、塔底部の点検用マンホールより塔内に入り洗浄する。
- 8) 洗浄後は脱硫塔投入口・ドレン配管バルブ③を閉じる。

（4）脱硫剤充填要領

- 1) 充填に先立ち次のことを確認する。

- ・脱硫剤充填に必要な機材及び人員があらかじめ準備されていることを確認する。
 - ・ガス出入口、サンプリング、ドレン、オーバーフローの配管バルブ（①～⑦）が完全に閉じられているかを確認する。
 - ・塔内が充分空気で置換されていることを確認する。塔内酸素濃度 20%以上。
 - ・整流材がほぼ均一に置かれていることを確認する。
- 2) 塔内を充分点検し、異物が無いことを確認する。
 - 3) 脱硫剤投入口を除き、すべてのマンホールハンドホールが閉じていることを確認する。
 - 4) 作業者は安全の為、防塵マスク・メガネを着用する。
 - 5) 付属チェーンブロックによりコンテナバックを投入用マンホール上部まで吊上げる。コンテナバックをゆっくり降ろし、塔底部付近に達した時点で止めてコンテナバックを開放（コンテナバック下部の紐を架台上から開放）する。
 - 6) 充填は脱硫剤の粉化を避ける為、60cm 以上の高さから落下させないこと。また充填中に異物が混入しないように注意する。
 - 7) 充填時作業員が槽内に入る場合は直接脱硫剤を踏みつけないこと。入る場合は脱硫剤の損傷を最小限にする為、脱硫剤上に板を敷きその上で作業を行う。
 - 8) 全量の充填が完了したら、ガスの偏流を避けるために、脱硫剤の上部表面をすり鉢上にならす。
 - 9) 作業完了後、塔内に異物（作業道具等）が無いことを確認し、投入口及びマンホールを閉じる。
この時、フランジ面に汚れがある場合は必ず清掃し、ガスケットを取付ける。
 - 10) 全ての配管バルブ（①～⑦）が閉まっていることを確認し、ガス出口サンプリングロ⑥より窒素パージを行う。ガス入口サンプリングロ⑤で酸素濃度計により酸素濃度 10%以下になったことを確認する。同時に開口したフランジ箇所の漏洩有無を確認する。
 - 11) N01-1 及び N01-2 脱硫塔の投入口の保護カバー断熱材の取替えを行う。
 - 12) ドレン配管バルブ③、ガス出入口バルブ①②を開き運転を再開する。
- ※バルブ（①～⑦）は下記脱硫塔の形状図を参照のこと

脱硫塔の形状図



第1条 一般事項

本仕様書は、浜黒崎浄化センター加圧脱水機ろ布交換業務委託に必要な事項について定めるものとする。

第2条 業務委託の目的

本業務委託は、浜黒崎浄化センター加圧脱水機(FP-3)のろ布が目詰まりし脱水能力が低下するため、ろ布の交換を行う事で機能回復を図り、良好な汚泥脱水処理を行うことを目的とする。

第3条 業務委託内容

- (1) 脱水機の停止。
- (2) ろ布駆動チェーンの張りを弛めろ布芯金：下部から取外す。
- (3) ろ布芯金：下部をろ布から取外す。
- (4) ろ布を脱水機上部へ引き上げる。
- (5) ろ布駆動チェーン及びろ布芯金：上部を取外す。
- (6) ろ布を脱水機から取外す。
- (7) 旧ろ布から給液板を取外し、新ろ布へ取り付ける。
- (8) 新ろ布を脱水機へ仮置きする。
- (9) ろ布駆動チェーン及びろ布芯金：上部を新ろ布に取付け、新ろ布を脱水機に設置する。
- (10) ろ布駆動チェーンとろ布芯金：下部を結び、ろ布の張り調整を行う。
- (11) 動作確認および実負荷運転を行う。

第4条 業務完了報告書

受託者は業務完了後、業務完了報告書を提出する。

第5条 交換部品

交換部品を下記に示す。

名称	規格・材質	数量	備考
ろ布：奇数板	IP179	14 枚	
ろ布：偶数板	IP179	14 枚	
ろ布：エンド	IP158	1 枚	

23 浜黒崎浄化センターフロンガス使用機器点検業務委託仕様書

第1条 一般事項

本仕様書は、浜黒崎浄化センターのフロンガス使用機器（以下「機器」という。）の点検業務委託に必要な事項について定めるものとする。

第2条 業務委託の目的

本業務委託は、「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」に基づき、簡易点検及び十分な知見を有する者による定期点検を行い、異状の早期発見と必要な措置をとることを目的とする。

第3条 業務委託の内容

1 簡易点検

(1) 簡易点検対象機器は次のとおり。

対象機器	数量
チリングユニット	1 台
マルチエアコン・パッケージエアコン	
室外機	19 台
室内機	33 台
空気圧縮機（エアドライヤー内蔵）	16 台
エアドライヤー	6 台
自動採水器（冷蔵機能付）	15 台
製氷機	1 台
低温恒温器	2 台
冷却水循環装置	1 台
冷凍冷蔵庫・冷蔵庫・冷凍庫	2 台

(2) 簡易点検は、年4回実施すること。

(3) 点検記録簿を電子データで作成し、提出すること。

2 定期点検

(1) 定期点検対象機器、点検頻度は次のとおり。

対象機器	数量	点検頻度
チリングユニット	1 台	1 回／年
マルチエアコン		
室外機	2 台	3 年に 1 回 (R5 年度に実施すること)
室内機	13 台	

(2) 定期点検報告書を作成し、提出すること。

(3) 定期点検の実施によって簡易点検を兼ねることを認める。

(4) 定期点検を行う者は、以下の①から③のいずれかの資格等を有していること。また、それを証

明するものを提出すること。

- ① 第一種冷媒フロン類取扱技術者〔日本冷凍空調設備工業連合会〕
- ② 第二種冷媒フロン類取扱技術者〔日本冷媒・環境保全機構〕
- ③ 以下のいずれかの資格等を有し、かつ、点検に必要な知識等の習得を伴う講習（環境省及び経済産業省において、適正性が確認されているもの）を受講した者
 - ・冷凍空調技士〔日本冷凍空調学会〕
 - ・高圧ガス製造保安責任者：冷凍機械〔高圧ガス保安協会〕
 - ・高圧ガス製造保安責任者（冷凍機械以外）であって、第一種特定製品の製造または管理に関する業務に5年以上従事した者
 - ・冷凍空気調和機器施工技能士〔中央職業能力開発協会〕
 - ・高圧ガス保安協会冷凍空調施設工事事業所の保安管理者

第5条 施工上の留意事項

受託者は、機器に不具合が発生し、点検の要請を受けた場合、速やかに対応する。それに掛かる費用については委託者、受託者双方協議の上、決定する。

第6条 業務完了報告書

受託者は、業務完了後、業務完了報告書を提出すること。

第7条 その他

対象機器が履行期間中に更新された場合、更新後の機器を対象機器として業務を履行すること。

24 浜黒崎浄化センター脱臭装置用脱臭フィルター取替業務委託仕様書

第1条 一般事項

本仕様書は、浜黒崎浄化センター脱臭装置用脱臭フィルター（以下「フィルター」という。）の取替業務に関して必要な事項について定めるものとする。

第2条 業務の内容

浜黒崎浄化センターに設置されている脱臭装置について、フィルターの取替を行う。フィルター交換の時期は、浜黒崎浄化センターから指示するものとし、受注者は指示を受けた後、速やかに取替を実施する。またフィルターの在庫数等に留意し、フィルターの取替を迅速に行える体制を常に整えておくこと。

第3条 フィルターの仕様・数量

(1) ガス用フィルター脱臭量 (kg/m³)

・酸性ガス用フィルター

硫化水素 5. 5 kg/m³以上

メチルメルカプタン 0. 6 kg/m³以上

・中性ガス用フィルター

硫化メチル 4. 5 kg/m³以上

二硫化メチル 8. 0 kg/m³以上

(2) 湿度 80%以上の環境で性能が発揮されること。

(3) 圧力損失 860Pa/m (1. 0 m/sec 時) 以下

(4) フィルターは中性用(厚み120mm程度)、酸性用(厚み90mm程度)のユニットとして取付け出来るよう内包状態で納入のこと。

(5) 620×620の枠に隙間なく設置できること。

(スぺーサなどでの調整可 但し、スぺーサは付属させること)

(6) 日本下水道新技術推進機構の建設技術審査証明を取得しているものであること。

参考品番 【 荏原実業(株)製 】

○中性ガス用ユニット数 2, 080ユニット分/年度(8, 320枚)

1ユニット当り 中性ガス用 EFC1 154×154×30mm×3層
(6, 240枚)

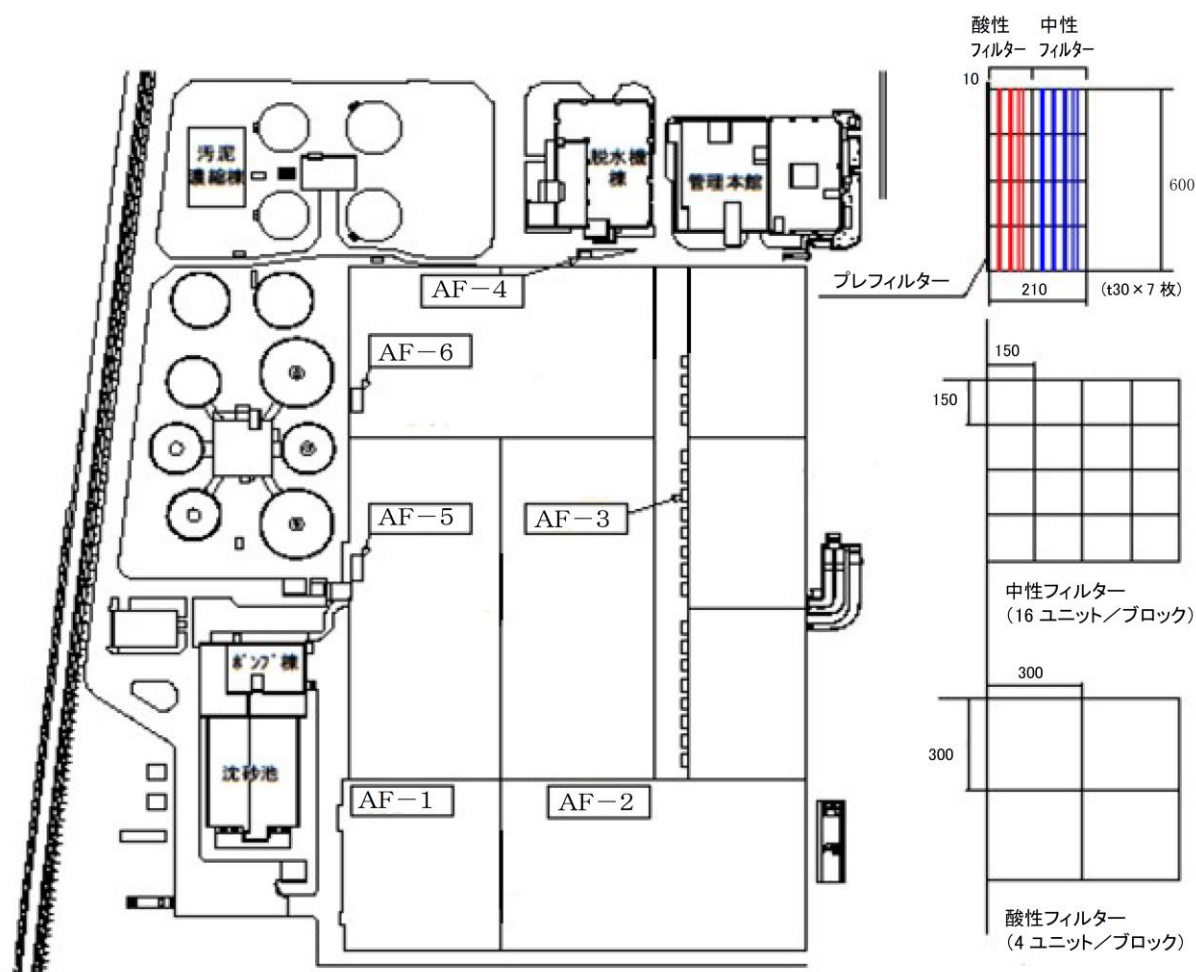
1ユニット当り 一般ガス用 EFM1 154×154×30mm×1層
(2, 080枚)

○酸性ガス用ユニット数 520ユニット分/年度(1, 560枚)

1ユニット当り 酸性ガス用 EFS1 308×308×30mm×3層

第4条 脱臭装置の設置場所及びフィルターの必要数量

(1) 脱臭装置の設置場所は、下図のとおり。



(2) 脱臭装置に必要なフィルターの数量は下表のとおり。

脱臭装置名称	A F - 1	A F - 2	A F - 3
中性ガス用フィルター	2 8 8	5 7 6	3 8 4
酸性ガス用フィルター	7 2	1 4 4	9 6
脱臭装置名称	A F - 4	A F - 5	A F - 6
中性ガス用フィルター	1 9 2	3 2 0	3 2 0
酸性ガス用フィルター	4 8	8 0	8 0

単位：ユニット

富山市上下水道局
浜黒崎浄化センター・水橋浄化センター
維持管理業務包括委託

業務要領－ 4
水橋浄化センター 施設管理等業務要領

令和 4 年 1 0 月

富山市上下水道局

水橋浄化センター 施設管理等業務要領

- 01 管理本館等清掃業務委託
- 02 消防設備保守点検業務委託
- 03 ミニ公園トイレ清掃業務委託
- 04 遠心濃縮機保守点検業務委託
- 05 空調・衛生設備外点検業務委託
- 06 脱臭装置活性炭入替業務委託
- 07 中央監視制御設備保守点検業務委託
- 08 警備保障業務委託
- 09 次亜塩注入ポンプ保守点検業務委託
- 10 電話交換機保守点検業務委託
- 11 油タンク点検業務委託
- 12 修景施設整備業務委託

01 水橋浄化センター管理本館等清掃業務委託仕様書

第1条 一般事項

本仕様書は、水橋浄化センター管理本館等清掃業務委託に必要な事項について定めるものとする。

第2条 業務委託の目的

本業務委託は、管理本館及び場内各箇所における定期清掃を実施し、場内環境を良好に保つことを目的とする。

第3条 業務委託の内容

(1) 業務箇所、日常清掃・定期清掃の範囲、頻度は次表に拠る。

場所	履行箇所		対象範囲	頻 度	備 考
管理本館	風除室	磁気質タイル	床面清掃	1回／週	日常
	正面玄関	磁気質タイル	床面清掃	1回／週	日常
	裏玄関	磁気質タイル	床面清掃	1回／週	日常
	廊下・玄関ロビー	ビニール床シート	床面清掃	1回／週	日常
			ワックス掛け	2回／年	定期
	会議室	ビニール床シート	床面清掃	1回／週	日常
			ワックス掛け	2回／年	定期
	トイレ・洗面所	モザイクタイル	床面・便器清掃	1回／週	日常
	湯沸室	ビニール床シート	床面清掃	1回／週	日常
			ワックス掛け	2回／年	定期
	事務所	ビニール床シート	床面清掃	1回／週	日常
			ワックス掛け	2回／年	定期
	職員控室	ビニール床シート	床面清掃	1回／週	日常
			ワックス掛け	2回／年	定期
	和室	畳	畳清掃	随時	日常
	浴室	モザイクタイル	床面清掃	随時	日常
	脱衣室	天然木化粧複合フローリング	床面清掃	随時	日常
	水質試験室	ビニール床シート	床面清掃	1回／週	日常
			ワックス掛け	2回／年	定期
監視室	フリーアクセスフロア	床面清掃	1回／週	日常	
本館窓ガラス		ガラス清掃	2回／年	日常	
各棟	沈砂池・ポンプ棟、水処理棟（初沈・AT・終沈）、砂ろ過棟、塩素混和池		床面清掃	随時	日常
構内	清掃、除草（除草剤散布含む）、除雪			随時	日常

場所	履行箇所		対象範囲	頻 度	備 考
管理道路	除草（除草剤散布含む）			随時	日常
	落葉清掃			随時	日常
	放流先水路の除草（南北 20m）			1 回／2 ヶ月	定期
ミニ公園	池清掃			2 回／月	降雪期除く
	池の水管理調整			1 回／日	日常
	北側擁壁除草			随時	定期
機械棟	玄関	磁気質タイル	床面清掃	1 回／週	日常
	各階廊下	ビニール床シート	床面清掃	1 回／週	日常
			ワックス掛け	2 回／年	定期
	事務所	ビニール床シート	床面清掃	1 回／週	日常
			ワックス掛け	2 回／年	定期
	トイレ・洗面所（1, 3F）	モザイクタイル	床面・便器清掃	1 回／週	日常
	中央監視室	フローアクリル	床面清掃	1 回／週	日常
	階段			1 回／週	日常
	浴室	モザイクタイル	床面清掃	1 回／週	日常
	脱衣室	天然木化粧複合フローリング	床面清掃	1 回／週	日常
	事務所及び各階窓	開閉可能窓	水洗い	1 回／年	定期
焼却棟	外部ケーキヤード		床面水洗い	1 回／週	日常
	床面		床面水洗い	随時	日常
	ブロワ室		床面水洗い	随時	日常
	予備品室		床面清掃	随時	日常
	灰ホッパー室		床面水洗い	随時	日常

※日常清掃：施設管理の一環として行う清掃

第 4 条 施工上の留意事項

- (1) 各月の業務計画書を提出し、委託者の承認を得ること。
- (2) 各業務完了後、委託者の承認を得た後、作業日誌を作成し提出すること。
- (3) 定期清掃に必要となる日常清掃作業は受託者が行う。
- (4) 業務に用いる資材、洗剤及び薬品は、委託者の承認を得て使用すること。
- (5) 業務中、建築物及び機械等を損傷した場合、速やかに委託者へ報告し、指示を受けること。

第 5 条 業務完了報告書

受託者は、業務完了後、業務完了報告書を提出すること。

02 水橋浄化センター消防設備保守点検業務委託仕様書

第1条 一般事項

本仕様書は、水橋浄化センター消防設備（以下「設備」という。）の保守点検業務委託に必要な事項について定めるものとする。

第2条 業務委託の目的

本業務委託は、水橋浄化センター設備が、消防法第17条第1項の技術上の基準に適合するかを点検することを目的とする。

第3条 業務委託の内容

(1) 保守点検対象設備は次のとおり。（別表 消防設備一覧表参照）

- ① 自動火災報知機設備
- ② 誘導灯設備
- ③ 非常放送設備
- ④ 屋内消火栓設備
- ⑤ 消火器設備
- ⑥ 粉末消火設備
- ⑦ 防排煙設備

(2) 保守点検は年2回、次の項目について行う。

- ① 機器点検 1回／6ヶ月 （消防法施行規則第31条の6）
- ② 総合点検 1回／ 年 （消防法施行規則第31条の6）

(3) 設備に不具合が発生し、点検の要請を受けた場合、速やかに技術員を派遣し、対応する。それに掛かる費用については委託者、受託者双方協議の上、決定する。

第4条 業務完了報告書

受託者は、業務完了後、消防法施行規則第31条の6第3項1号、2号により、業務完了報告書を作成、提出しなければならない。

別表 消防設備一覧表

水橋浄化センター

設備名	棟 名 機器名		管 理 棟	機 械 棟	沈 砂 池 ポ ン プ 棟	滅 菌 棟	水 処 理 棟	管 廊	焼 却 棟	合 計
①自動火災 報知機設備	複合受信機		1 (10L)	1 (20L)						2
	副受信機									0
	発信機、表示灯		3	5					3	11
	ベル		3	5					3	11
	スポット 煙感知器	作動式	13	42					14	69
		定温式	3						5	8
		定温式（防水）	2	43						45
		定温式（防爆型）							1	1
		定温式（耐酸型）								0
	煙感知器	光電式 2 種	10	35					2 分離型	47
②誘導灯設備	避難口誘導灯（小型 10W）		1	4	6	1	12	3		27
	通路誘導灯（小型 10W）				1		3	1		5
③非常放送設備	主装置（アンプ）（240W）		1							1
	スピーカ		12	29	9	2	7		5	64
④屋内消火栓設備	屋内消火栓			2						2
	消火栓ポンプ			1						1
⑤消火器設備	ABC 粉末 消火器	10 型	5	17	4	1	6		5	38
		20 型							6	6
		50 型		1					1	2
⑥粉末消火設備	移動式粉末消火器								1	1
⑦防排煙設備	連動制御盤（受信機内装）		1 (5L)	1 (5L)						2
	煙感知器	光電式 3 種	2							2
	垂れ壁		1							1
	ダンパー			2						2

03 水橋浄化センターミニ公園トイレ清掃業務委託仕様書

第1条 一般事項

本仕様書は、水橋浄化センターミニ公園トイレ清掃業務委託に必要な事項について定めるものとする。

第2条 業務委託の目的

本業務委託は、ミニ公園トイレを清掃し、トイレ内環境を良好に保つことを目的とする。

第3条 業務委託の内容

(1) 日常清掃の仕様は、次のとおり。

【床面清掃】

- ① ほうき等で掃いたあと、モップによる水拭きを行うこと。
- ② 床面の排水を行うこと。
- ③ 排水口のゴミ等を取り除くこと。

【便器清掃】

- ① 専用洗剤で洗浄すること。
- ② 詰りまたは詰りぎみの場合は異物を除去すること。
- ③ 小便器感知洗浄システムに直接、水をかけないこと。

【洗面台、チャイルド器具等、鏡の清掃】

- ① 洗剤を用いて洗浄し、乾拭きで水滴を拭き取ること。

【ゴミ、吸い殻の回収】

- ① ゴミ、吸い殻を回収し、入れ物は洗浄後、元の位置に戻すこと。

【壁、窓、天井清掃】

- ① 蜘蛛の巣、ほこりは取り除くこと。
- ② 直接、水をかけて清掃しないこと。

【トイレットペーパー等消耗品の補充】

- ① 切らさないよう留意すること。

【清掃用具の整理整頓】

- ① 保管庫内に整理して収納すること。

(2) 定期清掃の仕様は次のとおり。

【便器の清掃】

- ① 便器内側、目皿を専用洗剤で洗浄すること。 (1回/週)
- ② 照明器具、換気扇の汚れ等を除去すること。 (1回/月)

(3) 定期点検の仕様は次のとおり。

- ① パトライト、非常ボタンが正常に動作するか確認する。(1回/週)

第4条 業務完了報告書

受託者は、業務完了後、業務完了報告書を提出すること。

04 水橋浄化センター遠心濃縮機保守点検業務委託仕様書

第1条 一般事項

本仕様書は、水橋浄化センター遠心濃縮機保守点検業務委託に必要な事項について定めるものとする。

第2条 業務委託の目的

本業務委託は、水橋浄化センター遠心濃縮機における、労働安全衛生規則 141 条に基づく法的点検を含む分解整備業務であり、当設備の機能低下及び劣化等の進行を予防し、良好な汚泥処理を行うことを目的とする。

第3条 業務委託の内容

(1)業務仕様は次のとおり。

- | | | |
|----------------------|-------------|-----------|
| ①ボウルシール状況点検 | ②フロントハブ状況点検 | ③リアハブ状況点検 |
| ④コンベア状況点検（コンベアタイル含む） | ⑤回転部分解点検 | |
| ⑥ギアボックスオイル交換 | ⑦ドラム内部清掃 | |
| ⑧消耗部品交換（次表に拠る） | | |

消耗品一覧表

No.	品 名	図 番	数量
1	Oーリング	7 F C 43 P	1
2	ベアリング	V 3718－457－H X A	1
3	Oーリング	7 F E 41 P	1
4	Oーリング	7 F C 51 P	1
5	オイルシール	V 5247 A－26－W C A	2
6	リテイニングリング	V 3722－217－C H A	1
7	ベアリング	V 3718－122－H X A	1
8	Oーリング	7 F C 40 P	1
9	オイルシール	V 5247 A－30－W C A	2
10	リテイニングリング	V 3722－218－C H A	1
11	オイルシール	V 5247 A－28－W C A	2

(2)機器仕様

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| ①名称 横型連続遠心濃縮機（巴工業㈱） | 形式 EIC－350 |
| ②処理量 8 m ³ /h | ③処理汚泥 下水余剰汚泥（濃度 0.8%） |
| ④本体回転数 2900rpm | ⑤駆動機 15 k w |
| ⑥差動機 2.2 k w | |

第4条 業務完了報告書

受託者は、業務完了後、業務完了報告書を提出すること。

05 水橋浄化センター空調・衛生設備外点検業務委託仕様書

第1条 一般事項

本仕様書は、水橋浄化センター空調・衛生設備機器（以下「機器」という。）の保守点検及びフロンガス使用機器の点検業務委託に必要な事項について定めるものとする。

第2条 業務委託の目的

本業務委託は、機器の故障を未然に防ぐための保守点検及び「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」に基づいた簡易点検及び定期点検を実施し、異状の早期発見と必要な措置をとることを目的とする。

第3条 業務委託の内容

(1)保守点検業務対象機器は、次のとおり。

【管理棟】

①真空式温水器	130,000Kcal/h 2.16 m ²	1 台
②ファンコンベクター	床置き式	9 台
③空冷パッケージ	床置ダクト型 5.5kW 外	全 6 台
④受水槽	有効 3 m ³	1 基
⑤加圧給水装置	1.1kw	2 台

【沈砂池ポンプ棟】

①給排気チャンバー用フィルター	573×475×25	19 枚
-----------------	------------	------

【水処理棟】

①給排気チャンバー用フィルター	500×500×25	33 枚
-----------------	------------	------

【塩素滅菌棟】

①給排気チャンバー用フィルター	500×500×25	4 枚
-----------------	------------	-----

【機械棟】

①空冷パッケージ	床置ダクト型 7.5kW 外	全 2 台
②給排気チャンバー用フィルター	500×500×10	92 枚

(2)フロンガス使用機器点検業務（簡易点検）対象機器は、次のとおり。

【管理棟】

①空冷パッケージ	床置ダクト型 5.5kW 外	全 6 台
②冷凍冷蔵庫		1 台

【水処理棟】

①エアドライヤー		1 台
----------	--	-----

【機械棟】

①空冷パッケージ	床置ダクト型 7.5kW 外	全 2 台
①エアドライヤー		2 台

【焼却棟】

①エアドライヤー		1 台
----------	--	-----

【機械棟】

第4条 施工上の留意事項

- ## 第5条 業務完了報告書

第6条 その他

8

06 水橋浄化センター脱臭装置活性炭入替業務委託仕様書

第1条 一般事項

本仕様書は、水橋浄化センター脱臭装置活性炭入替業務委託に必要な事項について定めるものとする。

第2条 業務委託の目的

本業務委託は、水橋浄化センター内に設置されている脱臭装置用活性炭の入替・再生を行い、脱臭装置の性能を良好な状態に保つことを目的とする。

第3条 業務委託の内容

(1) 活性炭の入替。

(2) 脱臭増値の設置場所と活性炭仕様、数量は次のとおり。

種類 \ 場所	沈砂池棟	水処理棟	機械棟	焼却棟（搬出）
	造粒炭（kg）	造粒炭（kg）	破碎炭（kg）	破碎炭（kg）
酸性 ガス用	735	450	420	360
アルカリ性ガス用	735	450	420	360
中性 ガス用	735	450	750	690
計	2,205	1,350	1,590	1,410

(3) 取り出した活性炭の計量及び再生炭の分析

① 取り出し：計量、重量（kg）

② 再生：再生炭が(4)の仕様どおりとなっているか各設備性質ごとに2検体分析する。

(4) 取り出した活性炭は次の仕様で再生する。

種別 \ 規格	硫化水素用 活性炭 (酸性用)	アセトン用 活性炭 (中性用)	トリメチルシン用 活性炭 (アルカリ性用)
活性炭形状	円形状、破碎状	円形状、破碎状	円形状、破碎状
充填密度（g/ℓ）	450～550	450～550	450～550
添着処理	有	有	有
粒度（4～6mesh）（%）	95 以上	95 以上	95 以上
硬度（%）	95 以上	95 以上	95 以上
硫化水素平均吸着量(30ppm25℃)（%）	25 以上		
アセトン平均吸着量(28%以上 25℃)（%）		27 以上	
トリメチルシン平均吸着量(30ppm25℃)（%）			12 以上
再生率（%）	80 以上	80 以上	80 以上

① 取り出した活性炭は、混合しないよう運搬・再生・納入する。

② 活性炭は 10kg～20kg 程度の 2 重袋（内袋はナイロン製）に詰め、納入する。

③ 納入の際には取出し、再生時に使用不可となった分量を補充して納入すること。

第4条 施工上の留意事項

- (1) 受託者は契約締結後、業務内容及び実施時期について委託者と協議を行い、現地を調査確認の上、業務を実施すること。
- (2) 活性炭入替は年1回行うこと。
- (3) 活性炭は再生を標準とするが、活性炭の使用状況等により再生し難い場合は、委託者、受託者協議により廃棄処分することができる。
- (4) 前項により使用済み活性炭を廃棄処分する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」並びに関係法令を遵守し適正に処分すること、処分報告として、マニフェストを提出すること。
- (5) 本仕様書、設計書、図面等に明示なきもので、業務実施上必要と認められる事項については、受託者、委託者双方協議の上、決定する。
- (6) 受託者は、業務着手前、完了、各工程、作業機械、搬入資材等業務実施の状況、数量が確認できる写真（カラー）を適宜撮影し、1部提出する。
- (7) 受託者は業務内容、作業員数、作業車両、搬入資材等を記入した業務日誌を1部提出する。
- (8) 業務実施中、水橋浄化センターの設備、構造物等を損傷させた場合、速やかに委託者まで届け出ること。なお、復旧に掛かる費用は受託者の負担とする。
- (9) 活性炭の取り出し、充填時に発生する炭塵が周辺機器に付着しないよう、十分留意すること。炭塵が付着した場合は受託者にて除去すること。
- (10) クレーン、スキップホイストは、委託者立ち合いの上、使用すること。
- (11) 本業務委託は、労働安全衛生規則を遵守して実施すること。また、活性炭入れ替えは高所作業を伴うため、事故を未然に防ぐ措置を怠らないこと。

第5条 業務完了報告書

受託者は、業務完了後、業務完了報告書を提出すること。

07 水橋浄化センター中央監視制御設備保守点検業務委託仕様書

第1条 一般事項

本仕様書は、水橋浄化センター中央監視制御設備（以下「設備」という。）の保守点検業務委託に必要な事項について定めるものとする。

第2条 業務委託の目的

本業務委託は、水橋浄化センターの監視、計測、自動制御を行う設備の故障を未然に防ぐため保守点検を実施し、異状の早期発見と必要な措置をとることを目的とする。

第3条 業務委託の内容

保守点検対象機器及び保守点検内容は次のとおりとする。

【動力設備】

(1) 直流電源設備（設備監視・遮断器用電源）

- ① シール形焼結式アルカリ電池（制御用） AHH-E 50 20A h / H r 86 個
- ② シール形焼結式アルカリ電池（非常灯用） AHH-E 50 20A h / H r 86 個

※目視点検

亀裂、変形、漏液、錆、汚損、補液

※測定試験

比重、温度、浮動充電中蓄電池総電圧、浮動充電中各セル電圧

③ 自動定電圧装置付サイリスター整流器

※目視点検

異音、異臭、汚損、損傷、変形、変色、各部温度、端子増締め

※測定試験

浮動充電電圧、均等充電電圧、出力電流、負荷電圧、交流入力電圧、絶縁抵抗、浮動・均等手動充電

(2) インバーター装置（7 台）

- ① 汚水揚水ポンプ 1・2 号
- ② 送風機 1・2 号
- ③ 汚泥供給ポンプ 1・2 号
- ④ 薬品供給ポンプ 1・2 号
- ⑤ 次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ 1・2 号
- ⑥ 返送汚泥速度制御盤
- ⑦ 汚泥供給ポンプ速度制御盤

※目視点検

室内温度、停電・故障履歴確認、変形、変色、冷却ファン

※測定試験

絶縁抵抗、制御電圧、負荷運転時出力電圧・電流・周波数、データコード設定値

(3) 非常用自家発電設備

① 非常用自家発電設備 375KVA ガスタービン (カワサキ PU375-ER 形)

①-1 ガスタービン機関本体

※目視点検

異音、異臭、振動、排気ガス漏れ、電磁弁類動作、空気吸入フィルタ、空気逃がし弁、減速装置、配管各部緩み

※測定試験

機関各部温度、吸入・排気温度、過給機温度

①-2 ガスタービン機関計器類・制御装置

※測定試験

回転数、電圧、電流、電力、周波数、圧力、温度計、現場盤指示

①-3 ガスタービン機関燃料系統

※目視点検

燃料漏れ、燃料ろ過器ドレン、燃料小出槽、配管腐食、盤指示計校正

※試験測定

燃料ポンプ圧力

①-4 ガスタービン機関潤滑油系統

※目視点検

潤滑油ろ過器ドレン、潤滑油量、潤滑油変色

※測定試験

潤滑油圧力、潤滑油温度、

①-5 ガスタービン機関始動装置

※測定試験

始動用蓄電池電圧

①-6 発電機本体

※目視点検

異音、異臭、振動、集電装置、カップリング、励磁装置、潤滑油量、軸受温度、各部の緩み

①-7 発電機計器類・制御装置

※測定試験

電圧、電流、電力、周波数、絶縁抵抗、無負荷運転試験、保護継電器試験、シーケンス試験、保安装置作動試験

①-8 発電機直流電源盤

動力設備直流電源装置に準ずる。

(4) 無停電電源装置 (UPS)

① シール形焼結式アルカリ電池 (制御用) AHH-E 50 100Ah/Hr 180 個

※目視点検

変色、加熱、変形、ファン冷却状態

※測定試験

静特性試験 (入力電圧、電流、直送電圧、出力電圧、電流、遠方電圧)

出力周波数、制御電源電圧、充電電圧、バッテリーセル電圧、シーケンス試験、波形測定、設定値確認

【監視制御装置】

(1) シーケンス制御装置 PCS-500A (6 台)

- ① 水処理 設備コントローラー
- ② 沈砂池 設備コントローラー
- ③ 給水・滅菌設備コントローラー
- ④ 濃縮・脱水設備コントローラー

(2) ミニグラコントローラ HDC-500 (2 台)

- ⑤ 水処理 設備監視操作コントローラー
- ⑥ 汚泥（・焼却）設備監視操作コントローラー

※点検内容

・本体装置

冷却ファン、エアフィルター、各電源電圧、リップル確認、接続部・装置部の異状
シェルフ

回線インターフェース（DPCS-F）機能確認、周辺ユニットとのインターフェース確認

・通信装置

ループバック機能確認、バイパス機能確認

(3) CRT 設備装置 OCS-1500 (ハードコピー装置含む)

- ① 水処理設備 CRT コントローラー (2 台)
- ② 汚泥設備 CRT コントローラー (2 台)

※点検内容

・本体装置

冷却ファン、エアフィルター、各電源電圧、リップル確認、接続部・装置部の異状

・MPU シェルフ

システム基本部の機能確認、周辺ユニットとのインターフェース確認

・通信装置

ループバック機能確認、バイパス機能確認

・ディスプレイ、ハードコピー装置

動作確認

(4) データベース制御装置 DBS-1500

① データベース制御装置 (プリンター装置含む)

・本体装置

冷却ファン、エアフィルター、各電源電圧、リップル確認、接続部・装置部の異状

・MPU シェルフ

システム基本部の機能確認、回線インターフェース（DPCS-F）機能確認、周辺ユニットとのインターフェース確認

・ハードディスク

動作確認

- ・プリンター装置

動作確認

- ・通信装置

ループバック機能確認、バイパス機能確認

(5)EWS（ソフトウェアメンテナンス）

①EWS（本体、ディスプレイ装置、ハードコピー）

- ・本体装置

冷却ファン、各電源電圧、リップル確認、接続部・装置部の異状

- ・ディスプレイ装置

動作確認

- ・プリンター装置

動作確認、周辺ユニットとのインターフェース確認

監視制御装置一覧

No.	装置名	名称	型式	台数
1	シーケンス制御装置	沈砂池ポンプ設備コントローラー	PCS-500	1
2	シーケンス制御装置	水処理設備コントローラー	PCS-500	1
3	シーケンス制御装置	給水・滅菌設備コントローラー	PCS-500	1
4	シーケンス制御装置	濃縮・脱水設備コントローラー	PCS-500	1
5	シーケンス制御装置	汚泥（・焼却）設備コントローラー	PCS-500	1
6	ミニグラフィック設備	水処理設備操作コントローラー	HDC-500	1
7	ミニグラフィック設備	汚泥（・焼却）設備コントローラー	HDC-500	1
8	CRT 制御装置	水処理設備操作 CRT コントローラー	OCS-500	1
9	CRT 制御装置	汚泥（・焼却）設備操作 CRT コントローラー	OCS-500	1
10	データベース制御装置	データベースコントローラー	DBS-1500W	1
11	EWS	エンジニアリングワークステーション	EWS-500	1
12	ハードコピー			1
13	プリンター			1

【計装設備】

(1) 共通事項

①可視部分は錆、異臭、変色の有無を点検し、入出力特性等信号伝達機能を確認するため、ループ試験を実施する。ループ試験の模擬入力は原則として 0、25、50、75、100%の 5 点を標準とする。

②発信器

模擬入力にて単体試験を行う。それができないものは、キャリブレーションによる出力試験を行う。

③変換器、アイソレーター、ディストリビューター

発信器出力より模擬入力にてループ試験を行う。

④警報設定器

設定値に対する動作確認を行う。

⑤差圧伝送器

電圧測定、入出力変換器特性確認、0・スパン調整、導圧配管内ドレン

⑥圧力伝送部

電圧測定、入出力変換器特性確認、0・スパン調整、導圧配管内ドレン受圧部確認

⑦投込式レベル計

絶縁抵抗測定、電圧測定、入出力変換器特性確認、0・スパン調整、受圧部確認

⑧静電容量式水位計

絶縁抵抗測定（プローブ）、電圧測定、入出力変換器特性確認、0・スパン調整

【水質計器】

(1) 共通事項

①清掃を実施する。可視部分は錆、異臭、変色の有無を点検する。

②DO 計検出部

0・スパン調整、温度校正試料分析値による調整、洗浄ノズル孔洗浄、水ジェット吐出時間確認

③MLSS 計

0・スパン調整、ワイパー・光源ランプ・防錆剤確認、測定セル点検・交換

④UV 計

0・スパン調整、ワイパー・光源ランプ・防錆剤確認、測定セル点検・交換

受光素子点検・交換、動作確認、シルカゲル・防錆剤交換

⑤ORP 計

0・スパン調整、温度校正試料分析値による調整、洗浄ノズル孔洗浄、水ジェット吐出時間確認、専用ケーブル絶縁抵抗

⑥汚泥濃度計

0・スパン校正、光源ランプ・防錆剤確認、駆動部注油、受けリードスイッチ点検

第4条 施工上の留意事項

- (1) 本業務は、契約書、図面、共通仕様、特記仕様に基づいて行うこと。
- (2) 契約書、図面、共通仕様、特記仕様に明示はないが、保守点検上必要と考えられる事項が発生した場合、業務実施上の疑義が生じた場合は、委託者、受託者双方協議の上、決定すること。
- (3) 業務実施中、不具合が発見された場合、速やかに委託者へ報告すること。
- (4) 業務実施中、受託者の過失で設備を損傷させた場合は、委託者に報告し、速やかに原状に戻さなければならない。その費用は受託者の負担とする。
- (5) 施設が稼働状態のまま、業務を行うので、受託者は、委託者と協議をしながら実施しなければならない。
- (6) 委託者よりの点検要請には応じなければならない。(緊急時保守点検：オンコール)
- (7) 高圧受電設備点検(停電を伴う作業)時には技術者を派遣し、停電、復電時に監視制御設備の状態を監視し、動作不良があれば復旧させること。
- (8) 汚水揚水量・遠心汚泥供給量・脱水機汚泥供給量各電磁流量計の内部清掃は受託者立ち合いのもと、年2回実施する。実施日は受託者と協議の上、決定する。
- (9) 受託者は、業務実施にあたり関係法令等を遵守し、労働災害等の防止に必要な措置を講じなければならない。
- (10) 受託者は、酸欠、薬液漏洩の恐れがある箇所での業務実施に際しては、安全に留意しなければならない。
- (11) 業務実施期間中の保安全管理体制表を提出すること。

第5条 業務完了報告書

受託者は、業務完了後、業務完了報告書を提出すること。

08 水橋浄化センター警備保障業務委託仕様書

第1条 一般事項

本仕様書は、水橋浄化センター警備保障業務委託に必要な事項について定めるものとする。

第2条 業務委託の目的

本業務委託は、対象物の火災・盗難、その他不法行為を排除し、水橋浄化センターの財産を守ることがを目的とする。

第3条 業務委託の内容

(1) 業務委託対象施設は次のとおり。

施設名：水橋浄化センター

所在地：富山市水橋辻ケ堂 101 番地

延床面積：719.59 m² RC 造地下 1 階

(2) 業務委託仕様は別紙－1 に拠る。

(3) 業務委託を実施する場所は管理棟の窓、正面玄関等の開口部分及び出入り口部分とする。

第4条 業務委託に要する器材の費用

業務委託に要する器材及びその設置に掛かる費用は受託者の負担とする。

第5条 業務完了報告書

受託者は、業務完了後、業務完了報告書を提出すること。

別紙ー1

警備実施要領

市有施設の保全を目的に警備業務を実施するにあたり、警備実施要領を以下のとおりとする。

(警備対象)

第1条 警備の対象となる施設は次のとおりとする。

施設名：水橋浄化センター

施設場所：富山市水橋辻ケ堂 101 番地

(警備目的)

第2条 この警備は、対象物の火災・盗難を防止するとともに、その他不法行為を排除し、水橋浄化センター（以下「甲」という。）の財産を守りその業務の円滑なる運営に寄与することを目的とする。

(警備任務)

第3条 火災・盗難及び不法行為の拡大防止（ガス監視を含む）

2 事故確知時における関係先への通知・連絡

3 事故報告書の提出

(警備方法)

第4条 遠方監視装置による機械警備監視とする。

(警備運営上の権限)

第5条 甲は受託者（以下「乙」という。）に対し警備業務遂行のため必要な警備上の権限を付与するものとする。

(警備実施時間)

第6条 警備担当時間内において、警備対象物が無人の状態にあるときとする。

2 甲からの警備装置作動開始の信号を受けたときに始まり、甲からの警備装置作動解除の信号を受けたときに終わる間の時間とする。

(警備機構)

第7条 警備機構は、次のとおりとする。

(1) 警報装置

ア 警備対象物で発生した異常事態を乙の中央管制本部へ自動的に通報する機能を有する。

イ 本警備に必要な警報機器は別添付の端末機設置図による。

(2) 乙の中央本部

乙は警備実施時間中、警報受信装置を間断なく監視するとともに、常に機動隊との連絡を保持する。

(3) 機動隊

機動隊は常に乙の中央管制本部と連絡を保持し、警備対象物の異常事態に備える。

(異常事態発生時における乙の処理)

第 8 条 警報受信装置により甲の警備対象物の異常事態を確認したとき、乙は機動隊を速やかに急行させ、異常事態を確認するとともに事態の拡大防止にあたる。

2 警備対象物に到着した機動隊は異常事態を確認後中央管制本部へその状況を連絡し必要に応じて関係先へ通報する。

3 あらかじめ届出のある甲の当該緊急連絡先へ連絡する。

(事故報告書の提出)

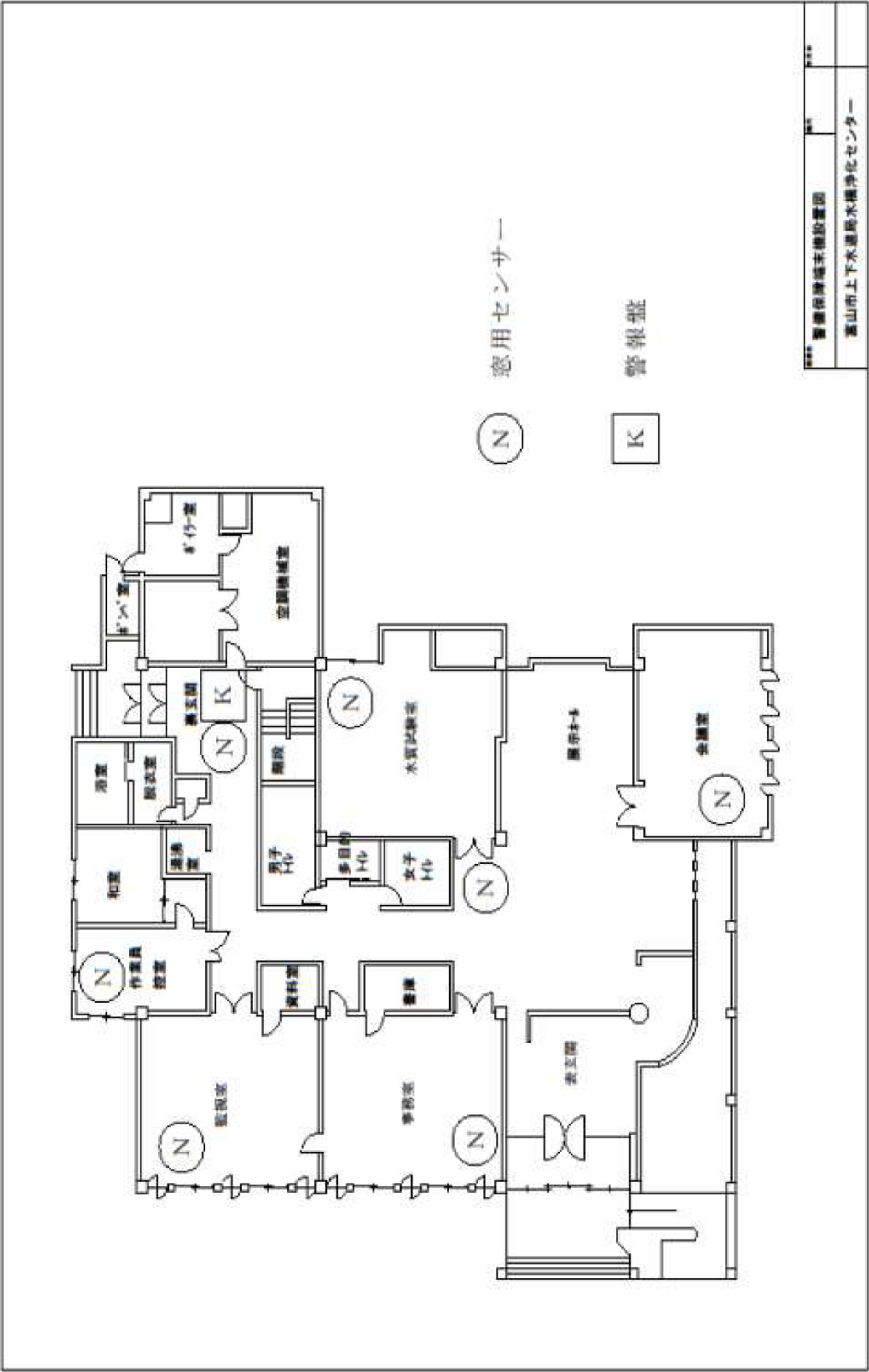
第 9 条 警備実施時間中に事故などが発生したときは、乙は速やかに電話もしくは口頭で報告するとともに事故発生報告書を甲へ提出する。

(甲の緊急連絡先名簿の提出)

第 10 条 甲は乙に対しあらかじめ緊急連絡先名簿を提出する。

(その他)

第 11 条 この警備実施要項に定めない事項については、その都度甲乙協議し文書を取り交わし決定する。



09 水橋浄化センター次亜塩素注入ポンプ点検業務委託仕様書

第1条 一般事項

本仕様書は、水橋浄化センター次亜塩素注入ポンプ点検業務委託に必要な事項について定めるものとする。

第2条 業務委託の目的

本業務委託は、水橋浄化センターの放流水の衛生に関する安全性を高めるため、次亜塩素注入ポンプの機能を十分発揮できるよう定期点検を行うことを目的とする。

第3条 業務委託の内容

(1) 業務対象機器は次のとおり。

①次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ

形 式 : 油圧シングルダイヤフラム形定量ポンプ×2台

口 径 : 15A (入口、出口)

容 量 : 0.429ℓ/min

吐出圧力: 2 k g/cm²

制御方式: ストローク長及び回転数制御

材 質 : PVC (本体) テフロン (ダイヤフラム)

②背圧弁

口 径 : 15A

設定圧力: 2 k g/cm²

材 質 : PVC (本体) テフロン (ダイヤフラム)

③安全弁

口 径 : 15A

設定圧力: 4 k g/cm²

材 質 : PVC (本体) テフロン (ダイヤフラム)

(2) 業務対象機器の消耗部品 (交換消耗品一覧表参照) を交換する。

第4条 業務完了報告書

受託者は、業務完了後、業務完了報告書を提出すること。

次亜塩注入ポンプ交換消耗品一覧表

水橋浄化センター

No.	品 名	規 格	数 量
1	(D02A) ダイヤフラム	型式 ISIAZE-0.4-20MIN(日機装)	1
2	(G04B) バルブガイド	〃	1
3	(G04C) バルブガイド	〃	1
4	(G2DB) ガスケット	〃	1
5	(G2DD) ガスケット	〃	1
6	(G2FD) ガスケット	〃	1
7	(P05A) プランジヤー	〃	1
8	(P07A) パッキン	〃	1
9	(S05A) バルブシート	〃	1
10	(S05B) バルブシート	〃	1
11	(V01A) ボールバルブ	〃	2
12	(762) O リング	〃	1
13	(763) O リング	〃	1
14	(Y52A) O リング	〃	1
15	(Y52B) O リング	〃	1
16	(Y52C) O リング	〃	1
17	(Y52D) O リング	〃	1
18	(Y52E) O リング	〃	2
19	(Y52F) O リング	〃	1
20	(G2FA) ガスケット	〃	1
21	(G2FC) ガスケット	〃	1
22	背圧弁用(1)バルブシート	15BVA-PV/TI-ZJ10	1
23	背圧弁用(14)ダイヤフラム	〃	1
24	背圧弁用(15)O リング	〃	1
25	安全弁用(11)バルブシート	15VA-PV/4JIDN	1
26	安全弁用(4)ダイヤフラム	〃	1
27	安全弁用(9)バルブ	〃	1
28	安全弁用(10)O リング	〃	1

10 水橋浄化センター電話交換機設備保守点検業務委託仕様書

第1条 一般事項

本仕様書は、水橋浄化センター電話交換機設備（以下「設備」という）の保守点検業務委託に必要な事項について定めるものとする。

第2条 業務委託の目的

本業務委託は、設備の故障を未然に防ぐため保守点検を実施し、異状の早期発見と必要な措置をとることを目的とする。

第3条 業務委託の内容

(1) 保守点検対象設備

① 構内電話交換機

② 各種ユニット

（主制御ユニット、システムユニット、局線デジタル・アナログユニット、ページングユニット）、LD専用線ユニット）

③ バッテリー装置

④ 多機能電話（表示付停電用電話機（12回線用））

⑤ 一般電話機（壁掛け）

⑥ ストロボリンガー（騒音箇所用）

⑦ ファクシミリ

(2) 毎月1回、機能、外観点検を行う。点検範囲は保安器以降の全設備とする。

第4条 施工上の留意事項

(1) 設備に不具合が発生し、点検の要請をうけた場合、速やかに技術員を派遣し、対応する。それに掛かる費用については、委託者、受託者双方協議の上、決定する。

第5条 業務完了報告書

受託者は、業務完了後、業務完了報告書を提出すること。

内線番号

管理棟		機械棟	
番号	設置場所	番号	設置場所
101 (多機能)	事務室 (所長)	201	自家発電機室
103 (多機能)	事務室	202	工作室
105 (卓上)	水処理監視室	203 (卓上)	控室
106 (卓上)	水処理監視室	204	濃縮機室
107	会議室	205	遠心濃縮機室
110	水質試験室	206	A 濃縮汚泥ホップ (地下)
111	管廊 (地下)	207	外部ケーシング室 (地下)
		207	B 脱臭塔側ホップ (地下)
		208	ブロワー室 (地下)
		210	電気室 (A)
		211	電気室 (B)
		220	脱水機室
		221 (卓上)	脱水・焼却・監視室 (3F)
焼却設備		水処理棟	
番号	設置場所	番号	設置場所
301	焼却炉室 (川側)	501	最初沈澱池 (一系)
302	焼却炉室	502	最終沈澱池 (一系)
303	電気室	503	生汚泥ポンプ
304	ブロワー室	504	返送汚泥ポンプ
		505	最初沈澱池 (二系)
		506	最終沈澱池 (二系)
		507	最初沈澱池 (管廊・地下)
		508	最終沈澱池 (管廊・地下)
塩素滅菌棟		沈砂池・ポンプ棟	
番号	設置場所	番号	設置場所
401	塩素注入室入口	601	スクリーン室
402	電気室	602	電気室
		603	ゲート室
特殊内線番号			
番号	機能	番号	機能
70～76	呼出放送	99	保留キャンセル
8	外線応答	94	代理応答
90	ダイヤル保留	95	再発信
*	短縮ダイヤル		

11 水橋浄化センター油タンク点検業務委託仕様書

第1条 一般事項

本仕様書は、水橋浄化センター油タンク点検業務委託に必要な事項について定めるものとする。

第2条 業務委託の目的

本業務委託は、消防法第14条の3に基づき1回／年の点検を行い、異状の早期発見と必要な措置をとることを目的とする。

第3条 業務委託の内容

(1)業務対象箇所は次のとおり。

①非常用発電機・管理本館暖房設備用重油地下タンク 容量6,000ℓ

(2)検査の内容は次のとおり。

①地下タンク本体 気相部漏洩検査

②地下タンク本体 液相部漏洩検査

③埋設配管加圧式漏洩検査

④ローリーアース等接地抵抗測定

⑤地下タンク底部スラッジ検査

⑥機密検査等実施結果報告書の作成

第4条 施工上の留意事項

(1)業務実施時期は、委託者、受託者双方協議の上、決定すること。

(2)業務実施中、不具合を発見した場合は、速やかに委託者へ報告すること。

(3)検査に伴う手数料等は、受託者の負担とする。

(4)関係官庁への書類提出は、受託者にて行うこと。

第5条 業務完了報告書

(1)受託者は、業務完了後、業務完了報告書を提出すること。

12 水橋浄化センター修景施設整備業務委託仕様書

第1条 一般事項

本仕様書は水橋浄化センター修景施設整備業務委託に必要な事項について定めるものとする。

第2条 業務委託の目的

本業務委託は、水橋浄化センター修景施設を整備し、場内環境を良好に保つことを目的とする。

第3条 業務委託の内容

(1) 業務履行施設は次のとおり。

富山市水橋浄化センター（富山市水橋辻ケ堂 101 番地）

(2) 業務仕様は次のとおり。

① 剪定工（敷地内樹木等の剪定、刈込）

- ・ 中低木 1, 170 m²
- ・ 生 垣 720 m²
- ・ 高 木 50 本

② 薬剤防除（敷地内の樹木等に対する殺虫剤散布）

- ・ 中低木 1, 170 m²
- ・ 高 木 420 本

③ 芝生管理工

- ・ 敷地内の芝生に対する芝刈り、除草剤散布、施肥、目土、除草等の養生。

④ 樹木施肥（敷地内の樹木等に対する施肥作業）

- ・ 中低木 1, 170 m²・生垣 145 m²・高木 265 本

第4条 施工上の留意事項

(1) 薬剤散布については次のとおりとする。

- ① 薬剤の使用に際しては、農薬取締法等の法令及びメーカー等で定める使用安全基準及び使用方法等を遵守すること。
- ② 散布量は指定濃度に希釈して混合すること。
- ③ 散布に際しては、風が少なく天候の不順でない日を選び、真夏に行う場合は、日中を避け夕方に行うこと。
- ④ 散布は対象物以外にかからないよう注意し、風上から散布すること。
- ⑤ 散布方法はそれぞれの病害虫の特性に応じ、最も効果的な方法で行うこと。

(2) 業務実施上の注意事項は次のとおりとする。

- ① 対象となる樹木の特性、当該作業が対象植物に及ぼす影響等を十分理解し、細心の注意を払い業務にあたること。
- ② 業務実施にあたっては、作業予定表を作成し委託者の承認を得ること。
- ③ 剪定は、当該樹木の適期に行うものとし、例に掲げる枝を剪定し、樹木を良好な容姿に整えること。

例：成長の止まった弱小の枝、著しく病害虫に侵された枝、通風・架線・人車の通行等に障害となる枝、ひこばえ等主幹の成長を妨げる恐れのある枝。

- ④受託者は、土木工事安全施工技術指針を参考とし、業務の安全に留意し現場管理を行い、災害の防止を図らなければならない。
 - ⑤受託者は、委託者の許可無く、流水、交通の支障、又は一般公衆に迷惑を及ぼすような施工をしてはならない。
 - ⑥受託者は、天気予報等に注意を払い、豪雨、出水及び異常気象等の場合には、作業中止・予定の変更を検討しておくこと。
 - ⑦受託者は、作業中に事故が発生した場合、直ちに委託者に報告しなければならない。
 - ⑧受託者は、業務実施期間中、周辺住民等から苦情又は意見等があったときは丁寧に対応し、直ちに委託者に報告しなければならない。
 - ⑨受託者は一般公衆の通行の用に供する道路を使用するときは、路面汚損及び第三者に対する損害が無きよう留意しなければならない。
- (施工周知看板、施工範囲区画、誘導員配置)
- ⑩受託者は、業務実施にあたり労働安全衛生法令及び業務に関する諸法規を遵守しなければならない。また、諸法令、諸法規の運用・適用は、受託者の責任において行なわなければならない。

第5条 業務完了報告書

受託者は、業務完了後、業務完了報告書を提出すること。(業務実施状況がわかる写真を添付)